

原管発官 R5 第 103 号

令和 5 年 9 月 4 日

原子力規制委員会 殿

東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 3 号  
東京電力ホールディングス株式会社  
代表執行役社長 小早川 智明

工事計画認可申請書の一部補正について

平成 25 年 9 月 27 日付け原管発官 25 第 225 号をもって申請しました工事計画認可申請書について、別紙のとおり一部補正します。

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
商業機密あるいは防護上の観点  
から公開できません。

別 紙

## 目 次

1. 設計及び工事計画認可申請書補正項目を記載した書類
2. 補正を必要とする理由を記載した書類
3. 設計及び工事計画認可申請書補正内容及び補正を行う書類

## 1. 設計及び工事計画認可申請書補正項目を記載した書類

### 補正項目

平成 25 年 9 月 27 日付け原管発官 25 第 225 号にて申請した工事計画認可申請書のうち、「IV 変更の理由」を「V 変更の理由」及び「V 添付資料」を「VI 添付資料」とした上で、「I 名称及び住所並びに代表者の氏名」、「II 工事計画」、「III 工事工程表」、「V 変更の理由」及び「VI 添付書類」を補正し、「IV 設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」を追加する。その内容については、「3. 設計及び工事計画認可申請書補正内容及び補正を行う書類」に示す。

## 2. 補正を必要とする理由を記載した書類

### 補正を必要とする理由

平成 25 年 9 月 27 日付け原管発官 25 第 225 号にて申請した工事計画認可申請書において、平成 25 年 9 月 27 日付け原管発官 25 第 192 号にて申請した発電用原子炉設置変更許可申請（平成 29 年 6 月 16 日付け原管発官 29 第 59 号，平成 29 年 8 月 15 日付け原管発官 29 第 135 号，平成 29 年 9 月 1 日付け原管発官 29 第 143 号及び平成 29 年 12 月 18 日付け原管発官 29 第 215 号にて一部補正），平成 30 年 12 月 12 日付け原管発官 30 第 164 号（平成 31 年 3 月 22 日付け原管発官 30 第 224 号にて一部補正），令和元年 10 月 31 日付け原管発官 R1 第 133 号（令和 2 年 2 月 21 日付け原管発官 R1 第 199 号及び令和 2 年 4 月 1 日付け原管発官 R2 第 8 号にて一部補正）及び平成 26 年 12 月 15 日付け原管発官 26 第 242 号（令和元年 10 月 24 日付け原管発官 R1 第 125 号，令和元年 12 月 17 日付け原管発官 R1 第 156 号，令和 2 年 12 月 18 日付け原管発官 R2 第 230 号，令和 4 年 6 月 21 日付け原管発官 R4 第 11 号及び令和 4 年 6 月 28 日付け原管発官 R4 第 101 号にて一部補正）の許可に伴い，変更が必要となった事項の反映並びに説明書の充実，表現の明確化，及び記載の適正化を行うこと，実用発電用原子炉及びその附属施設の基本設計方針等を一部変更したことに伴い，変更が必要となった事項の反映，及び記載の適正化を行うこと，並びに「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」，関連規則等の改正を踏まえ，関連する記載を一部補正する。

### 3. 設計及び工事計画認可申請書補正内容及び補正を行う書類

- (1) 設計及び工事計画認可申請書補正内容
  - I 名称及び住所並びに代表者の氏名
  - II 工事計画
  - III 工事工程表
  - IV 設計及び工事に係る品質マネジメントシステム
  - V 変更の理由
  - VI 添付書類
  
- (2) 補正を行う書類  
補正を行う書類を別紙 1 に示す。

## 補正を行う書類

- I 名称及び住所並びに代表者の氏名
- II 工事計画
- III 工事工程表
- IV 設計及び工事に係る品質マネジメントシステム
- V 変更の理由
- VI 添付書類



## 申請範囲

今回の申請範囲は、柏崎刈羽原子力発電所第6号機の次の部分であります。

1. 原子炉本体
  - 1 炉型式、定格熱出力、過剰反応度及び反応度係数（減速材温度係数、燃料棒温度係数、減速材ボイド係数及び出力反応度係数）並びに減速材
  - 2 炉心
    - (1) 炉心形状、格子形状、燃料集合体数、炉心有効高さ及び炉心等価直径
    - (2) 燃料体最高燃焼度及び核燃料物質の最大装荷量
    - (3) 燃料材の最高温度
  - 4 チャンネルボックス
  - 6 炉心支持構造物
    - (1) 炉心シュラウド及びシュラウドサポート
      - a. 炉心シュラウド
      - b. シュラウドサポート
    - (2) 上部格子板
    - (3) 炉心支持板
    - (4) 燃料支持金具
      - a. 中央燃料支持金具
      - b. 周辺燃料支持金具
    - (5) 制御棒案内管
  - 7 原子炉圧力容器
    - (1) 原子炉圧力容器本体及び監視試験片
      - a. 原子炉圧力容器
    - (2) 原子炉圧力容器支持構造物
      - イ 支持構造物
        - a. 原子炉圧力容器スカート
      - ロ 基礎ボルト
        - a. 原子炉圧力容器基礎ボルト
    - (3) 原子炉圧力容器付属構造物
      - イ 原子炉圧力容器スタビライザ
      - ハ 中性子束計測ハウジング
      - ニ 制御棒駆動機構ハウジング
      - ホ 制御棒駆動機構ハウジング支持金具
        - a. 制御棒駆動機構ハウジングレストレントビーム
      - ヘ 原子炉冷却材再循環ポンプモータケーシング
      - リ 主蒸気流量制限器

- (4) 原子炉圧力容器内部構造物
    - イ 蒸気乾燥器の蒸気乾燥器ユニット及び蒸気乾燥器ハウジング
      - a. 蒸気乾燥器ユニット
      - b. 蒸気乾燥器ハウジング
    - ロ 気水分離器及びスタンドパイプ
      - a. 気水分離器
      - b. スタンドパイプ
    - ハ シュラウドヘッド
    - ホ スパージャ及び内部配管
      - a. 給水スパージャ
      - b. 高圧炉心注水スパージャ
      - c. 低圧注水スパージャ
      - d. 高圧炉心注水系配管（原子炉圧力容器内部）
    - ヘ 中性子束計測案内管
  - 8 原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格
  - 9 原子炉本体に係る工事の方法
2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
- 1 燃料取扱設備
    - (1) 新燃料又は使用済燃料を取り扱う機器
      - a. 燃料取替機（1, 2, 5, 6 号機共用）
      - b. 原子炉建屋クレーン（1, 2, 5, 6 号機共用）
      - c. 燃料チャンネル着脱機（1, 2, 5, 6 号機共用）
  - 3 使用済燃料貯蔵設備
    - (1) 使用済燃料貯蔵槽
      - a. 使用済燃料貯蔵プール（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）
    - (2) 使用済燃料運搬用容器ピット
      - a. キャスクピット（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）
    - (3) 使用済燃料貯蔵ラック
    - (4) 破損燃料貯蔵ラック
      - a. 制御棒・破損燃料貯蔵ラック
    - (5) 制御棒貯蔵ラック
    - (6) 制御棒貯蔵ハンガ
    - (8) 使用済燃料貯蔵槽の温度，水位及び漏えいを監視する装置
  - 4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備
    - 4.1 燃料プール冷却浄化系
      - (1) 熱交換器
        - ・常設
          - a. 燃料プール冷却浄化系熱交換器（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）

- (2) ポンプ
    - ・常設
      - a. 燃料プール冷却浄化系ポンプ（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）
  - (5) スキマサージ槽
    - a. スキマサージタンク（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）
  - (8) 主配管
    - ・常設
  - 4.2 燃料プール代替注水系
    - (2) ポンプ
      - ・可搬型
        - 可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）（7 号機設備，6, 7 号機共用）
        - 可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）（7 号機設備，6, 7 号機共用）
    - (6) ろ過装置
      - ・可搬型
        - 可搬型 Y 型ストレーナ（7 号機設備，6, 7 号機共用）
    - (8) 主配管
      - ・常設
      - ・可搬型
  - 4.3 原子炉建屋放水設備
    - (2) ポンプ
      - ・可搬型
        - 大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）（7 号機設備，6, 7 号機共用）
    - (8) 主配管
      - ・可搬型
  - 5 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の基本設計方針，適用基準及び適用規格
  - 6 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る工事の方法
- 
- 3. 原子炉冷却系統施設
    - 3 原子炉冷却材再循環設備
      - 3.1 原子炉冷却材再循環系
        - (1) ポンプ
          - a. 原子炉冷却材再循環ポンプ
    - 4 原子炉冷却材の循環設備
      - 4.1 主蒸気系
        - (3) 容器
          - a. 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ
          - b. 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ
        - (6) 安全弁及び逃がし弁
        - (7) 主要弁

- (8) 主配管
- 4.2 復水給水系
  - (1) 熱交換器
    - a. 第1給水加熱器
  - (7) 主要弁
  - (8) 主配管
- 4.3 給水加熱器ドレンベント系
  - (6) 安全弁及び逃がし弁
  - (8) 主配管
- 4.4 復水浄化系
  - (8) 主配管
- 4.5 抽気系
  - (8) 主配管
- 5 残留熱除去設備
  - 5.1 残留熱除去系
    - (2) 熱交換器
      - ・常設
        - a. 残留熱除去系熱交換器
    - (3) ポンプ
      - ・常設
        - a. 残留熱除去系ポンプ
    - (5) ろ過装置
      - ・常設
        - a. 残留熱除去系ストレーナ
    - (6) 安全弁及び逃がし弁
      - ・常設
    - (7) 主要弁
      - ・常設
    - (8) 主配管
      - ・常設
  - 5.2 耐圧強化ベント系
    - (8) 主配管
      - ・常設
  - 5.3 格納容器圧力逃がし装置
    - (3) ポンプ
      - ・常設
        - ドレン移送ポンプ
      - ・可搬型
        - スクラバ水 pH 制御設備用ポンプ (7号機設備, 6,7号機共用)

可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）（7 号機設備，6, 7 号機共用）

(4) 圧縮機

- ・可搬型

可搬型窒素供給装置（7 号機設備，6, 7 号機共用）

(5) ろ過装置

- ・可搬型

可搬型 Y 型ストレーナ（7 号機設備，6, 7 号機共用）

(7) 主要弁

- ・常設

(8) 主配管

- ・常設
- ・可搬型

6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

6.1 高圧炉心注水系

(1) ポンプ

- ・常設

a. 高圧炉心注水系ポンプ

(3) 貯蔵槽

復水貯蔵槽

(4) ろ過装置

- ・常設

a. 高圧炉心注水系ストレーナ

(5) 安全弁及び逃がし弁

- ・常設

(6) 主要弁

- ・常設

(7) 主配管

- ・常設

6.2 原子炉隔離時冷却系

(1) ポンプ

- ・常設

a. 原子炉隔離時冷却系ポンプ

(3) 貯蔵槽

復水貯蔵槽

(4) ろ過装置

- ・常設

a. 原子炉隔離時冷却系ストレーナ

(5) 安全弁及び逃がし弁

- ・常設

- (6) 主要弁
  - ・常設
- (7) 主配管
  - ・常設
- 6.3 高压代替注水系
  - (1) ポンプ
    - ・常設
      - a. 高压代替注水系ポンプ
  - (3) 貯蔵槽
    - 復水貯蔵槽
  - (7) 主配管
    - ・常設
- 6.4 低压注水系
  - (1) ポンプ
    - ・常設
      - 残留熱除去系ポンプ
  - (4) ろ過装置
    - ・常設
      - 残留熱除去系ストレーナ
  - (5) 安全弁及び逃がし弁
    - ・常設
  - (7) 主配管
    - ・常設
- 6.5 低压代替注水系
  - (1) ポンプ
    - ・常設
      - 復水移送ポンプ
    - ・可搬型
      - 可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - (3) 貯蔵槽
    - 復水貯蔵槽
  - (4) ろ過装置
    - ・可搬型
      - 可搬型 Y 型ストレーナ（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - (5) 安全弁及び逃がし弁
    - ・常設
  - (7) 主配管
    - ・常設
    - ・可搬型

## 6.6 水の供給設備

### (1) ポンプ

- ・可搬型

大容量送水車（海水取水用）（7号機設備，6,7号機共用）

可搬型代替注水ポンプ（A-2級）（7号機設備，6,7号機共用）

### (2) 容器

- ・常設

ほう酸水注入系貯蔵タンク

### (3) 貯蔵槽

復水貯蔵槽

### (4) ろ過装置

- ・可搬型

可搬型Y型ストレーナ（7号機設備，6,7号機共用）

### (7) 主配管

- ・常設

- ・可搬型

## 6.7 ほう酸水注入系

### (1) ポンプ

- ・常設

ほう酸水注入系ポンプ

### (2) 容器

- ・常設

ほう酸水注入系貯蔵タンク

### (5) 安全弁及び逃がし弁

- ・常設

### (7) 主配管

- ・常設

## 7 原子炉冷却材補給設備

### 7.1 補給水系

#### (1) ポンプ

- a. 復水移送ポンプ

#### (3) 貯蔵槽

- a. 復水貯蔵槽

#### (5) 主配管

## 8 原子炉補機冷却設備

### 8.1 原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系

#### (2) 熱交換器

- ・常設

- a. 原子炉補機冷却水系熱交換器

- (3) ポンプ
  - ・常設
    - a. 原子炉補機冷却水ポンプ
    - b. 原子炉補機冷却海水ポンプ

- (5) 容器
  - ・常設
    - a. 原子炉補機冷却水系サージタンク

- (6) ろ過装置
  - ・常設
    - a. 原子炉補機冷却海水系ストレーナ

- (8) 主要弁
  - ・常設

- (9) 主配管
  - ・常設

## 8.2 代替原子炉補機冷却系

- (2) 熱交換器
  - ・可搬型
    - 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却系熱交換器（7号機設備，6,7号機共用）

- (3) ポンプ
  - ・可搬型
    - a. 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却水ポンプ（7号機設備，6,7号機共用）  
大容量送水車（熱交換器ユニット用）（7号機設備，6,7号機共用）

- (5) 容器
  - ・常設
    - 原子炉補機冷却水系サージタンク

- (6) ろ過装置
  - ・可搬型
    - 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ（7号機設備，6,7号機共用）

- (9) 主配管
  - ・常設
  - ・可搬型

## 9 原子炉冷却材浄化設備

### 9.1 原子炉冷却材浄化系

- (1) 熱交換器
  - a. 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器
  - b. 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器

- (5) 主要弁
- (6) 主配管

## 11 原子炉冷却系統施設の基本設計方針，適用基準及び適用規格



## 12 原子炉冷却系統施設に係る工事の方法

### 蒸気タービン

#### 1 蒸気タービン本体

##### (2) 車室, 円板, 隔版, 噴口, 翼, 車軸及び管

###### a. 蒸気タービンの管

##### (3) 調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁

###### a. 主蒸気止め弁

###### b. 蒸気加減弁

###### c. 組合せ中間弁

##### (4) 復水器

###### イ 種類, 冷却水温度, 冷気面積及び材料

#### 2 蒸気タービンの附属設備

##### (2) 熱交換器

###### イ 種類, 容量又は発生蒸気量, 入口及び出口の温度, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料並びに個数

###### a. 湿分分離加熱器

##### (4) 管等

###### イ 主配管

###### a. タービン補助蒸気系

###### b. 抽気系

###### c. タービングランド蒸気系

###### d. 復水器空気抽出系

###### e. 復水給水系

###### f. 給水加熱器ドレンベント系

###### ハ 安全弁及び逃がし弁

#### 3 蒸気タービンの基本設計方針, 適用基準及び適用規格

#### 4 蒸気タービンに係る工事の方法

### 4. 計測制御系統施設

#### 1 制御方式及び制御方法

##### (1) 発電用原子炉の制御方式

##### (2) 発電用原子炉の制御方法

#### 2 制御材

##### (1) 制御棒

##### (2) ほう酸水

#### 3 制御材駆動装置

##### (1) 制御棒駆動機構及び原動機

###### ・常設

- (2) 制御棒駆動水圧設備
  - (2.1) 制御棒駆動系
    - ロ 容器
      - ・常設
        - a. 水圧制御ユニット
    - ニ 主要弁
      - ・常設
    - ホ 主配管
      - ・常設
- 4 ほう酸水注入設備
  - 4.1 ほう酸水注入系
    - (1) ポンプ
      - ・常設
        - a. ほう酸水注入系ポンプ
    - (2) 容器
      - ・常設
        - a. ほう酸水注入系貯蔵タンク
    - (3) 安全弁及び逃がし弁
      - ・常設
    - (4) 主要弁
      - ・常設
    - (5) 主配管
      - ・常設
- 5 計測装置
  - (1) 起動領域計測装置及び出力領域計測装置
    - ・常設
  - (2) 原子炉压力容器本体の入口又は出口の原子炉冷却材の圧力，温度又は流量を計測する装置
    - ・常設
  - (3) 原子炉压力容器本体内の圧力又は水位を計測する装置
    - ・常設
  - (4) 原子炉格納容器本体内の圧力，温度，酸素ガス濃度又は水素ガス濃度を計測する装置
    - ・常設
  - (5) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る容器内又は貯蔵槽内の水位を計測する装置
    - ・常設
  - (7) 炉心流量を計測する装置
    - ・常設
  - (9) 制御棒駆動水の圧力を計測する装置
    - ・常設

- (10) 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置
  - ・常設
- (11) 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置
  - ・常設
- (12) 原子炉建屋内の水素ガス濃度を計測する装置
  - ・常設
- 6 原子炉非常停止信号，原子炉非常停止に要する信号及び原子炉非常停止信号を発信させない条件
  - ・常設
- 7 工学的安全施設等の起動信号，工学的安全施設等の起動に要する信号及び工学的安全施設等の起動信号を発信させない条件
  - ・常設
- 8 制御用空気設備
  - 8.1 高圧窒素ガス供給系
    - (3) 安全弁
      - ・常設
    - (5) 主配管
      - ・常設
  - 8.2 逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備
    - (2) 容器
      - ・常設
        - a. 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ
        - b. 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ
      - ・可搬型
        - a. 高圧窒素ガスポンペ
    - (3) 安全弁
      - ・常設
    - (5) 主配管
      - ・常設
      - ・可搬型
- 10 計測制御系統施設の基本設計方針，適用基準及び適用規格
- 11 計測制御系統施設に係る工事の方法

発電用原子炉の運転を管理するための制御装置

- 1 制御方式
  - 2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能
  - 4 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る工事の方法
5. 放射性廃棄物の廃棄施設

- 1 気体，液体又は固体廃棄物貯蔵設備
  - 1.1 濃縮廃液系
    - (2) 容器
      - 濃縮廃液タンク（5号機設備，5,6,7号機共用）
      - 濃縮廃液タンク（5,6,7号機共用）
- 2 気体，液体又は固体廃棄物処理設備
  - 2.1 気体廃棄物処理系
    - (1) 熱交換器
      - a. 気体廃棄物処理系排ガス復水器
      - b. 気体廃棄物処理系除湿冷却器
    - (4) 容器
      - a. 気体廃棄物処理系排ガス再結合器
      - b. 気体廃棄物処理系活性炭式希ガスホールドアップ塔
    - (10) 主配管
  - 2.2 液体廃棄物処理系
    - 2.2.1 放射性ドレン移送系
      - (4) 容器
        - a. 原子炉建屋低電導度廃液サンプル
        - b. 原子炉建屋高電導度廃液サンプル
      - 廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプル（6,7号機共用）
      - (9) 主要弁
      - (10) 主配管
    - 2.2.2 低電導度廃液系
      - (10) 主配管
    - 2.2.3 高電導度廃液系
      - (1) 熱交換器
        - 高電導度廃液系濃縮装置加熱器（5号機設備，5,6,7号機共用）
        - 高電導度廃液系濃縮装置加熱器（5,6,7号機共用）
      - (4) 容器
        - 高電導度廃液系収集タンク（5号機設備，5,6,7号機共用）
        - 高電導度廃液系収集タンク（5,6,7号機共用）
      - (10) 主配管
    - 2.2.4 圧力抑制室プール水排水系
      - (10) 主配管
  - 2.3 固体廃棄物処理系
    - 2.3.1 廃スラッジ系
      - (4) 容器
        - 焼却炉建屋廃スラッジタンク（5号機設備，5,6,7号機共用）
      - (10) 主配管

- 2.3.2 濃縮廃液系
    - (10) 主配管
  - 2.4 排気筒
    - (16) 排気筒
      - a. 主排気筒
  - 3 堰その他の設備
    - (2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰  
廃棄物処理建屋1階トラック室出入口(5,6,7号機共用)
  - 5 放射性廃棄物の廃棄施設の基本設計方針, 適用基準及び適用規格
  - 6 放射性廃棄物の廃棄施設に係る工事の方法
- 
- 6. 放射線管理施設
    - 1 放射線管理用計測装置
      - (1) プロセスモニタリング設備
        - イ 主蒸気管中の放射性物質濃度を計測する装置
          - ・常設
        - ロ 原子炉格納容器本体内の放射性物質濃度を計測する装置
          - ・常設
        - ハ 放射性物質により汚染するおそれがある管理区域から環境に放出する排水中又は排気中の放射性物質濃度を計測する装置
          - ・常設
      - (2) エリアモニタリング設備
        - ハ 緊急時対策所の線量当量率を計測する装置
          - ・可搬型
        - ニ 使用済燃料貯蔵槽エリアの線量当量率を計測する装置
          - ・常設
      - (3) 固定式周辺モニタリング設備
      - (4) 移動式周辺モニタリング設備
    - 2 換気設備
      - 2.1 中央制御室換気空調系
        - 2.1.1 中央制御室換気空調系
          - (3) 主配管
            - ・常設
          - (4) 送風機
            - ・常設
              - a. 中央制御室送風機(6,7号機共用)
              - b. 中央制御室再循環送風機(6,7号機共用)
          - (5) 排風機

- ・常設
  - a. 中央制御室排風機 (6, 7 号機共用)
- (6) フィルター
  - ・常設
    - a. 中央制御室再循環フィルタ装置 (6, 7 号機共用)
- 2.1.2 中央制御室陽圧化換気空調系
  - (3) 主配管
    - ・可搬型
  - (4) 送風機
    - ・可搬型
      - 中央制御室可搬型陽圧化空調機 (ファン) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)
  - (6) フィルター
    - ・可搬型
      - 中央制御室可搬型陽圧化空調機 (フィルタユニット) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)
- 2.1.3 中央制御室待避室陽圧化換気空調系
  - (1) 容器
    - ・可搬型
      - 中央制御室待避室陽圧化装置 (空気ポンペ) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)
  - (3) 主配管
    - ・常設
    - ・可搬型
- 2.2 緊急時対策所換気空調系
  - (1) 容器
    - ・可搬型
      - 5 号機原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (空気ポンペ) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)
      - 5 号機原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 陽圧化装置 (空気ポンペ) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)
  - (3) 主配管
    - ・常設
    - ・可搬型
  - (4) 送風機
    - ・可搬型
      - 5 号機原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機 (ファン) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)
      - 5 号機原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型陽圧化空調機 (ファン) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)
      - 5 号機原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型外気取入送風機 (7 号機設備, 6, 7 号機共用)

- (6) フィルター
    - ・可搬型
      - 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機(フィルタユニット)  
(7号機設備, 6, 7号機共用)
      - 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機(フィルタユニット)  
(7号機設備, 6, 7号機共用)
  - 3 生体遮蔽装置
    - a. 原子炉遮蔽壁, 二次遮蔽壁及び補助遮蔽
    - b. 中央制御室遮蔽
    - c. 中央制御室待避室遮蔽
    - d. 緊急時対策所遮蔽
  - 4 放射線管理施設の基本設計方針, 適用基準及び適用規格
  - 5 放射線管理施設に係る工事の方法
- 
- 7. 原子炉格納施設
    - 1 原子炉格納容器
      - (1) 原子炉格納容器本体
        - a. 原子炉格納容器
      - (2) 機器搬出入口
        - a. 上部ドライウエル機器搬入用ハッチ
        - b. 下部ドライウエル機器搬入用ハッチ
        - c. サプレッションチェンバ出入口
      - (3) エアロック
        - a. 上部ドライウエル所員用エアロック
        - b. 下部ドライウエル所員用エアロック
      - (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部
        - a. 配管貫通部
          - (a) 直結型
          - (b) 二重管型
          - (c) 計装用
        - b. 電気配線貫通部
    - 2 原子炉建屋
      - (1) 原子炉建屋原子炉棟
        - a. 原子炉建屋原子炉区域(二次格納施設)
      - (2) 機器搬出入口
        - a. 原子炉建屋機器搬出入口
      - (3) エアロック
        - a. 原子炉建屋エアロック
      - (4) 原子炉建屋基礎スラブ

- 3 圧力低減設備その他の安全設備
- (1) 真空破壊装置
- a. 真空破壊弁
- (2) ダイヤフラムフロア
- (4) ベント管
- (6) 原子炉格納容器安全設備
- (6.1) 格納容器スプレイ冷却系
- ロ 熱交換器
- ・常設  
残留熱除去系熱交換器
- ハ ポンプ
- ・常設  
残留熱除去系ポンプ
- ト ろ過装置
- ・常設  
残留熱除去系ストレーナ
- チ 安全弁及び逃がし弁
- ・常設
- ヌ 主配管
- ・常設
- (6.2) サプレッションチェンバプール水冷却系
- ロ 熱交換器
- ・常設  
残留熱除去系熱交換器
- ハ ポンプ
- ・常設  
残留熱除去系ポンプ
- ト ろ過装置
- ・常設  
残留熱除去系ストレーナ
- チ 安全弁及び逃がし弁
- ・常設
- ヌ 主配管
- ・常設
- (6.3) 格納容器下部注水系
- ハ ポンプ
- ・常設  
復水移送ポンプ
  - ・可搬型



可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)

へ 貯蔵槽

復水貯蔵槽

ト ろ過装置

・可搬型

可搬型 Y 型ストレーナ (7 号機設備, 6, 7 号機共用)

ヌ 主配管

・常設

・可搬型

(6.4) 代替格納容器スプレイ冷却系

ハ ポンプ

・常設

復水移送ポンプ

・可搬型

可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)

へ 貯蔵槽

復水貯蔵槽

ト ろ過装置

・可搬型

可搬型 Y 型ストレーナ (7 号機設備, 6, 7 号機共用)

チ 安全弁及び逃がし弁

・常設

ヌ 主配管

・常設

・可搬型

(6.5) 原子炉建屋放水設備

ハ ポンプ

・可搬型

大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) (7 号機設備, 6, 7 号機共用)

ホ 容器

・可搬型

泡原液搬送車 (7 号機設備, 6, 7 号機共用)

ヌ 主配管

・可搬型

(6.6) 代替循環冷却系

ロ 熱交換器

・常設

残留熱除去系熱交換器

ハ ポンプ

- ・常設  
 残留熱除去系ポンプ  
 復水移送ポンプ
- ト ろ過装置
  - ・常設  
 残留熱除去系ストレーナ
- チ 安全弁及び逃がし弁
  - ・常設
- ヌ 主配管
  - ・常設
- (6.7) 高压代替注水系
  - ハ ポンプ
    - ・常設  
 高压代替注水系ポンプ
  - ヘ 貯蔵槽  
 復水貯蔵槽
  - ヌ 主配管
    - ・常設
- (6.8) 低压代替注水系
  - ハ ポンプ
    - ・常設  
 復水移送ポンプ
    - ・可搬型  
 可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - ヘ 貯蔵槽  
 復水貯蔵槽
  - ト ろ過装置
    - ・可搬型  
 可搬型 Y 型ストレーナ（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - チ 安全弁及び逃がし弁
    - ・常設
  - ヌ 主配管
    - ・常設
    - ・可搬型
- (6.9) ほう酸水注入系
  - ハ ポンプ
    - ・常設  
 ほう酸水注入系ポンプ
  - ホ 容器

- ・常設
  - ほう酸水注入系貯蔵タンク
  - チ 安全弁及び逃がし弁
  - ・常設
  - ヌ 主配管
  - ・常設
- (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
- (7.1) 非常用ガス処理系
- ホ 加熱器
  - ・常設
  - a. 非常用ガス処理系乾燥装置
  - ヌ 主要弁
  - ・常設
  - ル 主配管
  - ・常設
  - ヨ 排風機
  - ・常設
  - a. 非常用ガス処理系排風機
  - タ フィルター
  - ・常設
  - a. 非常用ガス処理系フィルタ装置
- (7.2) 可燃性ガス濃度制御系
- ホ 加熱器
  - ・常設
  - a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器
  - リ 安全弁及び逃がし弁
  - ・常設
  - ヌ 主要弁
  - ・常設
  - ル 主配管
  - ・常設
  - ヲ ブロワ
  - ・常設
  - a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ
  - ワ 再結合装置及び電熱器
  - ・常設
  - a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置
  - b. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管
- (7.3) 水素濃度抑制系

- ワ 再結合装置及び電熱器
  - ・常設
    - a. 静的触媒式水素再結合器
- (7.4) 耐圧強化ベント系
  - ニ 圧縮機
    - ・可搬型
      - 可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用）
  - へ 容器
    - ・可搬型
      - 遠隔空気駆動弁操作用ポンペ
  - ル 主配管
    - ・常設
    - ・可搬型
- (7.5) 格納容器圧力逃がし装置
  - ハ ポンプ
    - ・常設
      - a. ドレン移送ポンプ
    - ・可搬型
      - スクラバ水 pH 制御設備用ポンプ（7号機設備，6,7号機共用）
      - 可搬型代替注水ポンプ（A-2級）（7号機設備，6,7号機共用）
  - ニ 圧縮機
    - ・可搬型
      - 可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用）
  - へ 容器
    - ・常設
      - ドレンタンク
      - フィルタ装置
      - よう素フィルタ
    - ・可搬型
      - 遠隔空気駆動弁操作用ポンペ
  - ヌ 主要弁
    - ・常設
  - ル 主配管
    - ・常設
    - ・可搬型
  - タ フィルター
    - ・常設
      - フィルタ装置
      - よう素フィルタ

- (8) 原子炉格納容器調気設備
    - (8.1) 不活性ガス系
      - ニ 主要弁
      - ホ 主配管
  - (9) 圧力逃がし装置
    - (9.1) 格納容器圧力逃がし装置
      - イ 容器
        - ・常設
          - a. ドレンタンク
          - b. フィルタ装置
          - c. よう素フィルタ
        - ・可搬型
          - a. 遠隔空気駆動弁操作ポンベ
      - ロ 主要弁
        - ・常設
      - ハ 圧力開放板
        - a. ラプチャーディスク (フィルタ装置出口側)
        - b. ラプチャーディスク (よう素フィルタ出口側)
      - ニ 主配管
        - ・常設
        - ・可搬型
      - ヘ フィルター
        - ・常設
          - a. フィルタ装置
          - b. よう素フィルタ
  - 4 原子炉格納施設の基本設計方針, 適用基準及び適用規格
  - 5 原子炉格納施設に係る工事の方法
8. その他発電用原子炉の附属施設
- 1 非常用電源設備
    - 1 常用電源設備との切換方法
      - 1.1 非常用ディーゼル発電設備
        - a. 発電機
      - 1.2 代替交流電源設備
        - 第一ガスタービン発電機 (7号機設備, 6,7号機共用)
        - 電源車 (7号機設備, 6,7号機共用)
      - 1.3 緊急時対策所代替電源設備
        - 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備 (7号機設備, 6,7号機共用)
      - 1.4 監視測定設備用電源設備

モニタリングポスト用発電機（7号機設備，6,7号機共用）

1.5 可搬型窒素供給装置用電源設備

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（7号機設備，6,7号機共用）

2 非常用発電装置

2.1 非常用ディーゼル発電設備

(2) 内燃機関

イ 機関及び過給機

・常設

a. ディーゼル機関

ロ 調速装置及び非常調速装置

a. 調速装置及び非常調速装置

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備

・常設

a. 機関付清水ポンプ

ニ 内燃機関に附属する空気圧縮設備

1 空気だめ

・常設

2 空気だめの安全弁

・常設

3 圧縮機

・常設

a. 空気圧縮機

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク

・常設

a. 燃料デイトンク

(4) 燃料設備

イ ポンプ

・常設

a. 燃料移送ポンプ

ロ 容器

・常設

a. 軽油タンク（重大事故等時のみ6,7号機共用）

ニ 主配管

・常設

(5) 発電機

イ 発電機

・常設

ロ 励磁装置

・常設

- ハ 保護継電装置
- ニ 原動機との連結方法
  - a. 発電機

## 2.2 代替交流電源設備

### (1) ガスタービン

#### イ ガスタービン

- ・常設

第一ガスタービン発電機用ガスタービン (7号機設備, 6,7号機共用)

#### ハ 調速装置及び非常調速装置

第一ガスタービン発電機用調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)

第一ガスタービン発電機用非常調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)

### (2) 内燃機関

#### イ 機関及び過給機

- ・可搬型

電源車用内燃機関 (7号機設備, 6,7号機共用)

#### ロ 調速装置及び非常調速装置

電源車用調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)

電源車用非常調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)

#### ハ 内燃機関に附属する冷却水設備

- ・可搬型

電源車用機関付冷却水ポンプ (7号機設備, 6,7号機共用)

#### ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク

- ・可搬型

電源車用車載燃料タンク (7号機設備, 6,7号機共用)

### (4) 燃料設備

#### イ ポンプ

- ・常設

第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ (7号機設備, 6,7号機共用)

#### ロ 容器

- ・常設

第一ガスタービン発電機用燃料タンク (7号機設備, 6,7号機共用)

第一ガスタービン発電機用燃料小出し槽 (7号機設備, 6,7号機共用)

軽油タンク (重大事故等時のみ 6,7号機共用)

軽油タンク (7号機設備, 重大事故等時のみ 6,7号機共用)

- ・可搬型

タンクローリ (16kL) (7号機設備, 6,7号機共用)

タンクローリ (4kL) (7号機設備, 6,7号機共用)

#### ニ 主配管

- ・常設

- ・可搬型
- (5) 発電機
  - イ 発電機
    - ・常設  
第一ガスタービン発電機（7号機設備，6,7号機共用）
    - ・可搬型  
電源車（7号機設備，6,7号機共用）
  - ロ 励磁装置
    - ・常設  
第一ガスタービン発電機用励磁装置（7号機設備，6,7号機共用）
    - ・可搬型  
電源車用励磁装置（7号機設備，6,7号機共用）
  - ハ 保護継電装置
    - 第一ガスタービン発電機用保護継電装置（7号機設備，6,7号機共用）
    - 電源車用保護継電装置（7号機設備，6,7号機共用）
  - ニ 原動機との連結方法
    - 第一ガスタービン発電機（7号機設備，6,7号機共用）
    - 電源車（7号機設備，6,7号機共用）

### 2.3 緊急時対策所代替電源設備

- (2) 内燃機関
  - イ 機関及び過給機
    - ・可搬型  
5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関（7号機設備，6,7号機共用）
  - ロ 調速装置及び非常調速装置
    - 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用調速装置（7号機設備，6,7号機共用）
    - 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用非常調速装置（7号機設備，6,7号機共用）
  - ハ 内燃機関に附属する冷却水設備
    - ・可搬型  
5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ（7号機設備，6,7号機共用）
  - ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク
    - ・可搬型  
5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク（7号機設備，6,7号機共用）
- (4) 燃料設備
  - ロ 容器



- ・常設  
軽油タンク（重大事故等時のみ 6, 7 号機共用）  
軽油タンク（7 号機設備，重大事故等時のみ 6, 7 号機共用）
- ・可搬型  
タンクローリ（4kL）（7 号機設備，6, 7 号機共用）
- ニ 主配管
  - ・常設
  - ・可搬型
- (5) 発電機
  - イ 発電機
    - ・可搬型  
5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - ロ 励磁装置
    - ・可搬型  
5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用励磁装置（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - ハ 保護継電装置  
5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用保護継電装置（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - ニ 原動機との連結方法  
5 号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（7 号機設備，6, 7 号機共用）

#### 2.4 監視測定設備用電源設備

- (2) 内燃機関
  - イ 機関及び過給機
    - ・常設  
モニタリングポスト用発電機用内燃機関（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - ロ 調速装置及び非常調速装置  
モニタリングポスト用発電機用調速装置（7 号機設備，6, 7 号機共用）  
モニタリングポスト用発電機用非常調速装置（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - ハ 内燃機関に附属する冷却水設備
    - ・常設  
モニタリングポスト用発電機用機関付冷却水ポンプ（7 号機設備，6, 7 号機共用）
  - ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク
    - ・常設  
モニタリングポスト用発電機用燃料タンク（7 号機設備，6, 7 号機共用）
- (4) 燃料設備
  - ロ 容器
    - ・常設  
軽油タンク（重大事故等時のみ 6, 7 号機共用）

軽油タンク（7号機設備，重大事故等時のみ6,7号機共用）

- ・可搬型

タンクローリ（4kL）（7号機設備，6,7号機共用）

ニ 主配管

- ・常設
- ・可搬型

(5) 発電機

イ 発電機

- ・常設

モニタリングポスト用発電機（7号機設備，6,7号機共用）

ロ 励磁装置

- ・常設

モニタリングポスト用発電機用励磁装置（7号機設備，6,7号機共用）

ハ 保護継電装置

モニタリングポスト用発電機用保護継電装置（7号機設備，6,7号機共用）

ニ 原動機との連結方法

モニタリングポスト用発電機（7号機設備，6,7号機共用）

2.5 可搬型窒素供給装置用電源設備

(2) 内燃機関

イ 機関及び過給機

- ・可搬型

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用内燃機関（7号機設備，6,7号機共用）

ロ 調速装置及び非常調速装置

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用調速装置（7号機設備，6,7号機共用）

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用非常調速装置（7号機設備，6,7号機共用）

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備

- ・可搬型

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ（7号機設備，6,7号機共用）

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク

- ・可搬型

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用燃料タンク（7号機設備，6,7号機共用）

(5) 発電機

イ 発電機

- ・可搬型

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（7号機設備，6,7号機共用）

ロ 励磁装置

- ・可搬型

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用励磁装置（7号機設備，6,7号機共用）

ハ 保護継電装置

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用保護継電装置（7号機設備，6,7号機共用）

ニ 原動機との連結方法

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（7号機設備，6,7号機共用）

3 その他の電源装置

3.1 その他の電源装置

(1) 無停電電源装置

- ・ 常設
  - a. バイタル交流電源装置
  - b. AM用直流125V充電器

(2) 電力貯蔵装置

- ・ 常設
  - a. 直流125V蓄電池
  - b. AM用直流125V蓄電池
- ・ 可搬型
  - a. 逃がし安全弁用可搬型蓄電池

4 非常用電源設備の基本設計方針，適用基準及び適用規格

5 非常用電源設備に係る工事の方法

2 常用電源設備

1 発電機

- (1) 発電機
- (2) 励磁装置
- (3) 保護継電装置
- (4) 原動機との連結方法

2 変圧器

(1) 変圧器

- a. 主変圧器
  - 1号高起動変圧器（1号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用）
  - 2号高起動変圧器（5号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用）
  - 3号高起動変圧器（4号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用）

(2) 保護継電装置

- a. 主変圧器
  - 1号高起動変圧器（1号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用）
  - 2号高起動変圧器（5号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用）
  - 3号高起動変圧器（4号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用）

3 遮断器

(1) 遮断器

線路用500kV遮断器（1号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用）（4号機設備，1,2,3,4,5,6,7

号機共用)

(2) 保護継電装置

線路用 500kV 遮断器 (1 号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 号機共用) (4 号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 号機共用)

4 常用電源設備の基本設計方針, 適用基準及び適用規格

5 常用電源設備に係る工事の方法

3 補助ボイラー

15 補助ボイラーの基本設計方針, 適用基準及び適用規格

16 補助ボイラーに係る工事の方法

4 火災防護設備

1 火災区域構造物及び火災区画構造物

a. 原子炉建屋

b. タービン建屋

c. コントロール建屋

廃棄物処理建屋

5 号機原子炉建屋内緊急時対策所

d. トレンチエリア

2 消火設備

(1) ポンプ

・常設

電動機駆動消火ポンプ (5 号機設備, 6, 7 号機共用)

ディーゼル駆動消火ポンプ (5 号機設備, 6, 7 号機共用)

(2) 容器

・常設

ろ過水タンク (5 号機設備, 6, 7 号機共用)

a. 二酸化炭素消火設備二酸化炭素ボンベ

b. 小空間固定式消火設備ハロゲン化物ボンベ

c. SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備ハロゲン化物ボンベ

d. 電源盤・制御盤消火設備ハロゲン化物ボンベ

e. ケーブルトレイ消火設備ハロゲン化物ボンベ

f. 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備ハロゲン化物ボンベ

5 号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備ハロゲン化物ボンベ

(5) 主配管

・常設

a. 水系消火設備主配管

b. 二酸化炭素消火設備主配管

c. 小空間固定式消火設備主配管

- d. SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備主配管
  - e. 電源盤・制御盤消火設備主配管
  - f. ケーブルトレイ消火設備主配管
  - g. 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備主配管
  - 5号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備主配管
  - 3 火災防護設備の基本設計方針，適用基準及び適用規格
  - 4 火災防護設備に係る工事の方法
- 5 浸水防護施設
- 1 外郭浸水防護設備
    - a. 取水槽閉止板
  - 2 内郭浸水防護設備
    - (1) 防水区画構造物
      - a. 水密扉
      - b. 水密扉付止水堰
      - c. 止水堰
  - 3 浸水防護施設の基本設計方針，適用基準及び適用規格
  - 4 浸水防護施設に係る工事の方法
- 6 補機駆動用燃料設備
- 1 燃料設備
    - (2) 容器
      - ・常設
        - ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク（5号機設備，6,7号機共用）
        - 軽油タンク（重大事故等時のみ6,7号機共用）
        - 軽油タンク（7号機設備，重大事故等時のみ6,7号機共用）
      - ・可搬型
        - 可搬型代替注水ポンプ（A-1級）燃料タンク（7号機設備，6,7号機共用）
        - 可搬型代替注水ポンプ（A-2級）燃料タンク（7号機設備，6,7号機共用）
        - 大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）燃料タンク（7号機設備，6,7号機共用）
        - 大容量送水車（海水取水用）燃料タンク（7号機設備，6,7号機共用）
        - 大容量送水車（熱交換器ユニット用）燃料タンク（7号機設備，6,7号機共用）
        - タンクローリ（4kL）（7号機設備，6,7号機共用）
    - (4) 主配管
      - ・常設
      - ・可搬型
  - 2 補機駆動用燃料設備の基本設計方針，適用基準及び適用規格
  - 3 補機駆動用燃料設備に係る工事の方法

7 非常用取水設備

1 取水設備

海水貯留堰

スクリーン室

取水路

a. 補機冷却用海水取水路

b. 補機冷却用海水取水槽

2 非常用取水設備の基本設計方針，適用基準及び適用規格

3 非常用取水設備に係る工事の方法

9 緊急時対策所

1 緊急時対策所機能

2 緊急時対策所の基本設計方針，適用基準及び適用規格

3 緊急時対策所に係る工事の方法

柏崎刈羽原子力発電所第6号機  
設計及び工事計画認可申請書本文及び添付書類  
目 録

- I 名称及び住所並びに代表者の氏名
- II 工事計画
- III 工事工程表
- IV 設計及び工事に係る品質マネジメントシステム
- V 変更の理由
- VI 添付書類
  - VI-1 説明書
    - VI-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書
      - VI-1-1-1 発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書
        - VI-1-1-1-1 発電用原子炉の設置の許可（本文（五号））との整合性に関する説明書
        - VI-1-1-1-2 発電用原子炉の設置の許可（本文（十一号））との整合性に関する説明書
      - VI-1-1-2 人が常時勤務し、又は頻繁に出入する工場又は事業所内の場所における線量に関する説明書
      - VI-1-1-3 発電用原子炉施設の自然現象等による損傷の防止に関する説明書
        - VI-1-1-3-1 発電用原子炉施設に対する自然現象等による損傷の防止に関する説明書
          - VI-1-1-3-1-1 発電用原子炉施設に対する自然現象等による損傷の防止に関する基本方針
          - VI-1-1-3-1-2 防護対象の範囲
        - VI-1-1-3-2 津波への配慮に関する説明書
          - VI-1-1-3-2-1 耐津波設計の基本方針
          - VI-1-1-3-2-2 基準津波の概要
          - VI-1-1-3-2-3 入力津波の設定
          - VI-1-1-3-2-4 入力津波による津波防護対象設備への影響評価
          - VI-1-1-3-2-5 津波防護に関する施設の設計方針
        - VI-1-1-3-3 竜巻への配慮に関する説明書
          - VI-1-1-3-3-1 竜巻への配慮に関する基本方針
          - VI-1-1-3-3-2 竜巻の影響を考慮する施設及び固縛対象物の選定
          - VI-1-1-3-3-3 竜巻防護に関する施設の設計方針
        - VI-1-1-3-4 火山への配慮に関する説明書
          - VI-1-1-3-4-1 火山への配慮に関する基本方針
          - VI-1-1-3-4-2 降下火砕物の影響を考慮する施設の選定
          - VI-1-1-3-4-3 降下火砕物の影響を考慮する施設の設計方針
        - VI-1-1-3-5 外部火災への配慮に関する説明書
          - VI-1-1-3-5-1 外部火災への配慮に関する基本方針
          - VI-1-1-3-5-2 外部火災の影響を考慮する施設の選定

- VI-1-1-3-5-3 外部火災防護における評価の基本方針
- VI-1-1-3-5-4 外部火災防護に関する許容温度設定根拠
- VI-1-1-3-5-5 外部火災防護における評価方針
- VI-1-1-3-5-6 外部火災防護における評価条件及び評価結果
- VI-1-1-3-5-7 二次的影響（ばい煙）及び有毒ガスに対する設計
- VI-1-1-3-別添1 屋外に設置されている重大事故等対処設備の抽出
- VI-1-1-4 取水口及び放水口に関する説明書
- VI-1-1-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書
  - VI-1-1-5-1 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（原子炉本体）
  - VI-1-1-5-2 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設）
  - VI-1-1-5-3 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（原子炉冷却系統施設）
  - VI-1-1-5-4 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（計測制御系統施設）
  - VI-1-1-5-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（放射性廃棄物の廃棄施設）
  - VI-1-1-5-6 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（放射線管理施設）
  - VI-1-1-5-7 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（原子炉格納施設）
  - VI-1-1-5-8 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設）
    - VI-1-1-5-8-1 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備））
    - VI-1-1-5-8-2 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備））
    - VI-1-1-5-8-3 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。）））
    - VI-1-1-5-8-4 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（非常用取水設備））
- VI-1-1-5-別添1 技術基準要求機器リスト
- VI-1-1-5-別添2 設定根拠に関する説明書（別添）
- VI-1-1-6 クラス1機器及び炉心支持構造物の応力腐食割れ対策に関する説明書
- VI-1-1-7 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書
  - VI-1-1-7-別添1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート
  - VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針
  - VI-1-1-7-別添3 発電用原子炉施設への人の不法な侵入等の防止について
  - VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針
- VI-1-1-8 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書
- VI-1-1-9 発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書
  - VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針
  - VI-1-1-9-2 防護すべき設備の設定



- VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定
- VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価
- VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計
- VI-1-1-10 発電用原子炉施設の蒸気タービン，ポンプ等の損壊に伴う飛散物による損傷防護に関する説明書
- VI-1-1-11 通信連絡設備に関する説明書
- VI-1-1-12 安全避難通路に関する説明書
- VI-1-1-13 非常用照明に関する説明書
- VI-1-2 原子炉本体の説明書
  - VI-1-2-1 原子炉本体の基礎に関する説明書
  - VI-1-2-2 原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する説明書
- VI-1-3 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の説明書
  - VI-1-3-1 使用済燃料貯蔵槽の温度，水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
  - VI-1-3-2 燃料取扱設備，新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書
  - VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書
  - VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書
  - VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書
- VI-1-4 原子炉冷却系統施設の説明書
  - VI-1-4-1 原子炉格納容器内の原子炉冷却材の漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
  - VI-1-4-2 流体振動又は温度変動による損傷の防止に関する説明書
  - VI-1-4-3 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備のポンプの有効吸込水頭に関する説明書
- VI-1-5 計測制御系統施設の説明書
  - VI-1-5-1 計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
    - VI-1-5-1-別添1 格納容器内水素濃度 (SA) による格納容器内水素濃度の監視について
  - VI-1-5-2 工学的安全施設等の起動 (作動) 信号の設定値の根拠に関する説明書
  - VI-1-5-3 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る制御方法に関する説明書
  - VI-1-5-4 中央制御室の機能に関する説明書
- VI-1-6 放射性廃棄物の廃棄施設の説明書
  - VI-1-6-1 主排気筒の基礎に関する説明書
- VI-1-7 放射線管理施設の説明書
  - VI-1-7-1 放射線管理用計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
  - VI-1-7-2 管理区域の出入管理設備及び環境試料分析装置に関する説明書
  - VI-1-7-3 中央制御室の居住性に関する説明書

VI-1-8 原子炉格納施設の説明書

VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書

VI-1-8-1-別添 1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について

VI-1-8-1-別添 2 コリウムシールドの設計

VI-1-8-1-別添 3 格納容器圧力逃がし装置の設計

VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書

VI-1-8-2-別添 1 静的触媒式水素再結合器の設計

VI-1-8-3 原子炉格納施設の基礎に関する説明書

VI-1-8-4 圧力低減設備その他の安全設備のポンプの有効吸込水頭に関する説明書

VI-1-8-4-別添 1 重大事故等時における非常用炉心冷却系ストレーナの異物付着による圧損上昇評価

VI-1-9 その他発電用原子炉の附属施設の説明書

VI-1-9-1 非常用電源設備の説明書

VI-1-9-1-1 非常用発電装置の出力の決定に関する説明書

VI-1-9-2 常用電源設備の説明書

VI-1-9-2-1 常用電源設備の健全性に関する説明書

VI-1-9-3 緊急時対策所の説明書

VI-1-9-3-1 緊急時対策所の機能に関する説明書

VI-1-9-3-2 緊急時対策所の居住性に関する説明書

VI-1-10 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書

VI-1-10-1 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書

VI-1-10-2 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 原子炉本体

VI-1-10-3 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

VI-1-10-4 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 原子炉冷却系統施設

VI-1-10-5 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 計測制御系統施設

VI-1-10-6 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 放射性廃棄物の廃棄施設

VI-1-10-7 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 放射線管理施設

VI-1-10-8 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 原子炉格納施設

VI-1-10-9 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 非常用電源設備

VI-1-10-10 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 常用電源設備

VI-1-10-11 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 補助ボイラー

VI-1-10-12 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 火災防護設備

VI-1-10-13 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 浸水防護施設

VI-1-10-14 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。）

VI-1-10-15 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 非常用取水設備

VI-1-10-16 設工認に係る設計の実績，工事及び検査の計画 緊急時対策所

## VI-2 耐震性に関する説明書

### VI-2-1 耐震設計の基本方針

- VI-2-1-1 耐震設計の基本方針
- VI-2-1-2 基準地震動  $S_s$  及び弾性設計用地震動  $S_d$  の策定概要
- VI-2-1-3 地盤の支持性能に係る基本方針
- VI-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針
- VI-2-1-5 波及的影響に係る基本方針
- VI-2-1-6 地震応答解析の基本方針
- VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針
- VI-2-1-8 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針
- VI-2-1-9 機能維持の基本方針
- VI-2-1-10 ダクティリティに関する設計方針
- VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針
- VI-2-1-12 配管及び支持構造物の耐震計算について
- VI-2-1-13 ダクト及び支持構造物の耐震計算について
- VI-2-1-14 計算書作成の方法

### VI-2-2 耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性についての計算書

- VI-2-2-1 原子炉建屋の地震応答計算書
- VI-2-2-2 原子炉建屋の耐震性についての計算書
- VI-2-2-3 原子炉建屋基礎スラブの耐震性についての計算書
- VI-2-2-4 原子炉本体の基礎の地震応答計算書
- VI-2-2-5 タービン建屋の地震応答計算書
- VI-2-2-6 タービン建屋の耐震性についての計算書
- VI-2-2-7 主排気筒の地震応答計算書
- VI-2-2-8 主排気筒の耐震性についての計算書
- VI-2-2-9 コントロール建屋の地震応答計算書
- VI-2-2-10 コントロール建屋の耐震性についての計算書
- VI-2-2-11 廃棄物処理建屋の地震応答計算書
- VI-2-2-12 廃棄物処理建屋の耐震性についての計算書
- VI-2-2-13 格納容器圧力逃がし装置基礎の地震応答計算書
- VI-2-2-14 格納容器圧力逃がし装置基礎の耐震性についての計算書
- VI-2-2-15 緊急時対策所の地震応答計算書
- VI-2-2-16 緊急時対策所の耐震性についての計算書
- VI-2-2-17 軽油タンク基礎の地震応答計算書
- VI-2-2-18 軽油タンク基礎の耐震性についての計算書
- VI-2-2-21 常設代替交流電源設備基礎の地震応答計算書
- VI-2-2-22 常設代替交流電源設備基礎の耐震性についての計算書
- VI-2-2-23 軽油タンク基礎（7号機設備）の地震応答計算書
- VI-2-2-24 軽油タンク基礎（7号機設備）の耐震性についての計算書

- VI-2-2-別添 1 地下水排水設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-2-別添 1-1 地下水排水設備に係る施設の耐震計算書の方針
  - VI-2-2-別添 1-2 6号機地下水排水設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-2-1 地下水排水設備設置位置の地盤応答
    - VI-2-2-別添 1-2-2 サブドレンポンプの耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-2-3 管の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-2-4 地下水排水設備水位の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-2-5 サブドレン動力制御盤の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-2-6 サブドレンシャフトの耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-2-7 サブドレンピットの耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-2-8 集水管の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-2-9 サブドレン管の耐震性についての計算書
  - VI-2-2-別添 1-3 5号機地下水排水設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-3-1 地下水排水設備設置位置の地盤応答
    - VI-2-2-別添 1-3-2 サブドレンポンプの耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-3-3 管の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-3-4 地下水排水設備水位の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-3-5 サブドレン動力制御盤の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-3-6 サブドレンシャフトの耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-3-7 サブドレンピットの耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-3-8 集水管の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-3-9 サブドレン管の耐震性についての計算書
  - VI-2-2-別添 1-4 7号機地下水排水設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-4-1 地下水排水設備設置位置の地盤応答
    - VI-2-2-別添 1-4-2 サブドレンピットの耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-4-3 集水管の耐震性についての計算書
    - VI-2-2-別添 1-4-4 サブドレン管の耐震性についての計算書
  - VI-2-2-別添 1-5 地下水排水設備に係る施設の水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
- VI-2-2-別添 2 隣接建屋による影響を考慮した耐震性についての計算書
  - VI-2-2-別添 2-1 隣接建屋による影響を考慮した地震応答計算及び建物・構築物の耐震性についての計算書
  - VI-2-2-別添 2-2 隣接建屋による影響を考慮した機器・配管系の耐震性についての計算書
- VI-2-3 原子炉本体の耐震性に関する説明書
  - VI-2-3-1 炉心，原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物の地震応答計算書
  - VI-2-3-2 炉心の耐震性についての計算書
    - VI-2-3-2-1 炉心の耐震計算結果
    - VI-2-3-2-2 炉心支持構造物の応力解析の方針

- VI-2-3-2-3 炉心支持構造物の応力計算書
- VI-2-3-3 原子炉压力容器の耐震性についての計算書
  - VI-2-3-3-1 原子炉压力容器本体の耐震性についての計算書
    - VI-2-3-3-1-1 原子炉压力容器の応力解析の方針
    - VI-2-3-3-1-2 原子炉压力容器の耐震計算結果
    - VI-2-3-3-1-3 原子炉压力容器本体の応力計算書
  - VI-2-3-3-2 原子炉压力容器付属構造物の耐震性についての計算書
    - VI-2-3-3-2-1 原子炉压力容器付属構造物の耐震計算結果
    - VI-2-3-3-2-2 原子炉压力容器スタビライザの応力計算書
    - VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジングレストレントビームの応力計算書
  - VI-2-3-3-3 原子炉压力容器内部構造物の耐震性についての計算書
    - VI-2-3-3-3-1 原子炉压力容器内部構造物の応力解析の方針
    - VI-2-3-3-3-2 原子炉压力容器内部構造物の耐震計算結果
    - VI-2-3-3-3-3 原子炉压力容器内部構造物の応力計算書
- VI-2-4 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-4-1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の耐震計算結果
  - VI-2-4-2 使用済燃料貯蔵設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-4-2-1 使用済燃料貯蔵プール及びキャスクピットの耐震性についての計算書
    - VI-2-4-2-2 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書
    - VI-2-4-2-3 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）の耐震性についての計算書
    - VI-2-4-2-4 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA 広域）の耐震性についての計算書
    - VI-2-4-2-5 使用済燃料貯蔵プール監視カメラの耐震性についての計算書
    - VI-2-4-2-6 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置の耐震性についての計算書
  - VI-2-4-3 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-4-3-1 燃料プール冷却浄化系の耐震性についての計算書
      - VI-2-4-3-1-1 燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算書
      - VI-2-4-3-1-2 燃料プール冷却浄化系ポンプの耐震性についての計算書
      - VI-2-4-3-1-3 管の耐震性についての計算書
    - VI-2-4-3-2 燃料プール代替注水系の耐震性についての計算書
      - VI-2-4-3-2-1 管の耐震性についての計算書
- VI-2-5 原子炉冷却系統施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-5-1 原子炉冷却系統施設の耐震計算結果
  - VI-2-5-2 原子炉冷却材の循環設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-2-1 主蒸気系の耐震性についての計算書
      - VI-2-5-2-1-1 アキュムレータの耐震性についての計算書
      - VI-2-5-2-1-2 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-3 残留熱除去設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-3-1 残留熱除去系の耐震性についての計算書
      - VI-2-5-3-1-1 残留熱除去系熱交換器の耐震性についての計算書

- VI-2-5-3-1-2 残留熱除去系ポンプの耐震性についての計算書
- VI-2-5-3-1-3 残留熱除去系ストレナの耐震性についての計算書
- VI-2-5-3-1-4 残留熱除去系ストレナ部ティーの耐震性についての計算書
- VI-2-5-3-1-5 管の耐震性についての計算書
- VI-2-5-4 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-4-1 高圧炉心注水系の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-1-1 高圧炉心注水系ポンプの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-1-2 高圧炉心注水系ストレナの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-1-3 高圧炉心注水系ストレナ部ティーの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-1-4 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-4-2 原子炉隔離時冷却系の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-2-1 原子炉隔離時冷却系ポンプの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-2-2 原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-2-3 原子炉隔離時冷却系ストレナの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-2-4 原子炉隔離時冷却系ストレナ部ティーの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-2-5 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-4-3 高圧代替注水系の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-3-1 高圧代替注水系ポンプの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-3-2 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-4-4 低圧代替注水系の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-4-1 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-4-5 水の供給設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-4-5-1 管の耐震性についての計算書
- VI-2-5-5 原子炉冷却材補給設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-5-1 補給水系の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-5-1-1 復水移送ポンプの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-5-1-2 復水貯蔵槽の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-5-1-3 管の耐震性についての計算書
- VI-2-5-6 原子炉補機冷却設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-6-1 原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-6-1-1 原子炉補機冷却水系熱交換器の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-6-1-2 原子炉補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-6-1-3 原子炉補機冷却海水ポンプの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-6-1-4 原子炉補機冷却水系サージタンクの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-6-1-5 原子炉補機冷却海水系ストレナの耐震性についての計算書
    - VI-2-5-6-1-6 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-5-6-2 代替原子炉補機冷却系の耐震性についての計算書
    - VI-2-5-6-2-1 管の耐震性についての計算書

- VI-2-6 計測制御系統施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-6-1 計測制御系統施設の耐震計算結果
  - VI-2-6-2 制御材の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-2-1 制御棒の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-3 制御材駆動装置の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-3-1 制御棒駆動機構の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-3-2 制御棒駆動水圧設備の耐震性についての計算書
      - VI-2-6-3-2-1 制御棒駆動系の耐震性についての計算書
        - VI-2-6-3-2-1-1 水圧制御ユニットの耐震性についての計算書
        - VI-2-6-3-2-1-2 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-4 ほう酸水注入設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-4-1 ほう酸水注入系の耐震性についての計算書
      - VI-2-6-4-1-1 ほう酸水注入系ポンプの耐震性についての計算書
      - VI-2-6-4-1-2 ほう酸水注入系貯蔵タンクの耐震性についての計算書
      - VI-2-6-4-1-3 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-5 計測装置の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-1 起動領域モニタの耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-2 出力領域モニタの耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-3 高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-4 残留熱除去系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-5 残留熱除去系熱交換器入口温度の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-6 残留熱除去系熱交換器出口温度の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-7 復水補給水系温度（代替循環冷却）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-8 残留熱除去系系統流量の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-9 原子炉隔離時冷却系系統流量の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-10 高圧炉心注水系系統流量の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-11 高圧代替注水系系統流量の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-12 復水補給水系流量（RHR A系代替注水流量）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-13 復水補給水系流量（RHR B系代替注水流量）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-14 原子炉圧力の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-15 原子炉圧力（SA）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-16 原子炉水位（広帯域）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-17 原子炉水位（燃料域）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-18 原子炉水位（SA）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-19 格納容器内圧力（D/W）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-20 格納容器内圧力（S/C）の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-21 ドライウェル雰囲気温度の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-22 サプレッションチェンバ氣體温度の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-5-23 サプレッションチェンバプール水温度の耐震性についての計算書

- VI-2-6-5-24 格納容器内酸素濃度の耐震性についての計算書
- VI-2-6-5-25 格納容器内水素濃度の耐震性についての計算書
- VI-2-6-5-26 格納容器内水素濃度 (SA) の耐震性についての計算書
- VI-2-6-5-27 復水貯蔵槽水位 (SA) の耐震性についての計算書
- VI-2-6-5-28 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) の耐震性についての計算書
- VI-2-6-5-29 サプレッションチェンバプール水位の耐震性についての計算書
- VI-2-6-5-30 格納容器下部水位の耐震性についての計算書
- VI-2-6-5-31 原子炉建屋水素濃度の耐震性についての計算書
- VI-2-6-6 制御用空気設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-6-1 高圧窒素ガス供給系の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-6-1-1 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-6-2 逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-6-6-2-1 管の耐震性についての計算書
- VI-2-6-7 その他の計測制御系統施設の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-1 ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-2 ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-3 代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-4 盤の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-6 安全パラメータ表示システム (SPDS) (6,7 号機共用) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-7 データ伝送設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-8 データ表示装置 (中央制御室待避室) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-9 衛星電話設備 (常設) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-10 衛星電話設備 (常設) (中央制御室待避室) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-11 衛星電話設備 (常設) (6,7 号機共用) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-12 無線連絡設備 (常設) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-13 無線連絡設備 (常設) (中央制御室待避室) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-14 無線連絡設備 (常設) (6,7 号機共用) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-15 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 (テレビ会議システム, IP-電話機及び IP-FAX) の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-16 5 号機屋外緊急連絡用インターフォンの耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-17 原子炉圧力容器温度の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-18 フィルタ装置水位の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-19 フィルタ装置入口圧力の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-20 フィルタ装置水素濃度の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-21 フィルタ装置金属フィルタ差圧の耐震性についての計算書
  - VI-2-6-7-22 フィルタ装置スクラバ水 pH の耐震性についての計算書



- VI-2-6-7-23 原子炉補機冷却水系系統流量の耐震性についての計算書
- VI-2-6-7-24 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量の耐震性についての計算書
- VI-2-6-7-25 復水移送ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書
- VI-2-6-7-26 静的触媒式水素再結合器動作監視装置の耐震性についての計算書
- VI-2-6-7-27 格納容器内ガスサンプリングポンプの耐震性についての計算書
- VI-2-6-7-28 格納容器内ガス冷却器の耐震性についての計算書
- VI-2-7 放射性廃棄物の廃棄施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-7-1 放射性廃棄物の廃棄施設の耐震計算結果
  - VI-2-7-2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-7-2-1 主排気筒の耐震性についての計算書
- VI-2-8 放射線管理施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-8-1 放射線管理施設の耐震計算結果
  - VI-2-8-2 放射線管理用計測装置の耐震性についての計算書
    - VI-2-8-2-1 プロセスモニタリング設備の耐震性についての計算書
      - VI-2-8-2-1-1 格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/W) の耐震性についての計算書
      - VI-2-8-2-1-2 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) の耐震性についての計算書
      - VI-2-8-2-1-3 フィルタ装置出口放射線モニタの耐震性についての計算書
      - VI-2-8-2-1-4 耐圧強化ベント系放射線モニタの耐震性についての計算書
    - VI-2-8-2-2 エリアモニタリング設備の耐震性についての計算書
      - VI-2-8-2-2-1 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (低レンジ) の耐震性についての計算書
      - VI-2-8-2-2-2 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ) の耐震性についての計算書
  - VI-2-8-3 換気設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-8-3-1 中央制御室換気空調系
      - VI-2-8-3-1-1 中央制御室換気空調系
        - VI-2-8-3-1-1-1 管の耐震性についての計算書
        - VI-2-8-3-1-1-2 中央制御室送風機，中央制御室排風機及び中央制御室再循環送風機の耐震性についての計算書
        - VI-2-8-3-1-1-3 中央制御室再循環フィルタ装置の耐震性についての計算書
      - VI-2-8-3-1-2 中央制御室待避室陽圧化換気空調系
        - VI-2-8-3-1-2-1 管の耐震性についての計算書
    - VI-2-8-3-2 緊急時対策所換気空調系
      - VI-2-8-3-2-1 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-8-4 生体遮蔽装置の耐震性についての計算書
    - VI-2-8-4-1 二次遮蔽壁の耐震性についての計算書
    - VI-2-8-4-2 補助遮蔽の耐震性についての計算書
    - VI-2-8-4-3 中央制御室遮蔽の耐震性についての計算書
    - VI-2-8-4-4 中央制御室待避室遮蔽の耐震性についての計算書

- VI-2-8-4-5 緊急時対策所遮蔽の耐震性についての計算書
- VI-2-8-4-6 フィルタベント遮蔽壁の耐震性についての計算書
- VI-2-8-4-7 配管遮蔽の耐震性についての計算書
- VI-2-8-5 その他の放射線管理施設の耐震性についての計算書
  - VI-2-8-5-1 中央制御室外気取入れ・排気ダクトの耐震性についての計算書
- VI-2-9 原子炉格納施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-9-1 原子炉格納施設の耐震計算結果
  - VI-2-9-2 原子炉格納容器の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-1 原子炉格納容器コンクリート部の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-2 原子炉格納容器ライナ部の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-3 ドライウェル上鏡の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-4 下部ドライウェルアクセストンネルスリーブ及び鏡板（所員用エアロック付）の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-5 下部ドライウェルアクセストンネルスリーブ及び鏡板（機器搬入用ハッチ付）の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-6 クエンチャサポート基礎の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-7 上部ドライウェル機器搬入用ハッチの耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-8 下部ドライウェル機器搬入用ハッチの耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-9 サプレッションチェンバ出入口の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-10 上部ドライウェル所員用エアロックの耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-11 下部ドライウェル所員用エアロックの耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-12 原子炉格納容器配管貫通部の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-2-13 原子炉格納容器電気配線貫通部の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-3 原子炉建屋の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-3-1 原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）の耐震性についての計算書
      - VI-2-9-3-1-1 燃料取替床ブローアウトパネルの耐震性についての計算書
      - VI-2-9-3-1-2 主蒸気系トンネル室ブローアウトパネルの耐震性についての計算書
    - VI-2-9-3-3 原子炉建屋エアロックの耐震性についての計算書
    - VI-2-9-3-4 原子炉建屋基礎スラブの耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4 圧力低減設備その他の安全設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-1 真空破壊弁の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-2 ダイヤフラムフロアの耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-3 ベント管の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-4 原子炉格納容器安全設備の耐震性についての計算書
      - VI-2-9-4-4-1 格納容器スプレイ冷却系の耐震性についての計算書
        - VI-2-9-4-4-1-1 ドライウェルスプレイ管の耐震性についての計算書
        - VI-2-9-4-4-1-2 サプレッションチェンバスプレイ管の耐震性についての計算書
      - VI-2-9-4-4-2 格納容器下部注水系の耐震性についての計算書
        - VI-2-9-4-4-2-1 管の耐震性についての計算書

- VI-2-9-4-4-3 代替循環冷却系の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-4-3-1 管の耐震性についての計算書
- VI-2-9-4-5 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-5-1 非常用ガス処理系の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-5-1-1 非常用ガス処理系乾燥装置の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-5-1-2 管の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-5-1-3 非常用ガス処理系排風機の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-5-1-4 非常用ガス処理系フィルタ装置の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-5-2 可燃性ガス濃度制御系の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-5-2-1 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-5-3 水素濃度抑制系の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-5-3-1 静的触媒式水素再結合器の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-5-4 耐圧強化ベント系の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-5-4-1 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-5-5 格納容器圧力逃がし装置の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-5-5-1 ドレン移送ポンプの耐震性についての計算書
- VI-2-9-4-6 原子炉格納容器調気設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-6-1 不活性ガス系の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-6-1-1 管の耐震性についての計算書
- VI-2-9-4-7 圧力逃がし装置の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-7-1 格納容器圧力逃がし装置の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-7-1-1 ドレンタンクの耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-7-1-2 管の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-7-1-3 フィルタ装置の耐震性についての計算書
    - VI-2-9-4-7-1-4 よう素フィルタの耐震性についての計算書
- VI-2-9-4-8 原子炉格納容器付属構造物の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-4-8-1 下部ドライウェルアクセストンネルの耐震性についての計算書
- VI-2-9-5 その他の原子炉格納施設の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-5-1 コリウムシールドの耐震性についての計算書
  - VI-2-9-5-2 管の耐震性についての計算書（格納容器圧力逃がし装置）
  - VI-2-9-5-3 遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-5-4 遠隔手動弁操作設備遮蔽の耐震性についての計算書
  - VI-2-9-5-5 燃料取替床ブローアウトパネル閉止装置の耐震性についての計算書
- VI-2-10 その他発電用原子炉の附属施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-10-1 非常用電源設備の耐震性に関する説明書
    - VI-2-10-1-1 非常用電源設備の耐震計算結果
    - VI-2-10-1-2 非常用発電装置の耐震性についての計算書
      - VI-2-10-1-2-1 非常用ディーゼル発電設備の耐震性についての計算書

- VI-2-10-1-2-1-1 非常用ディーゼル発電機の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-2-1-2 空気だめの耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-2-1-3 空気圧縮機の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-2-1-4 燃料ディタンクの耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-2-1-5 燃料移送ポンプの耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-2-1-6 軽油タンクの耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-2-1-8 非常用ディーゼル発電設備制御盤の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-2-2 代替交流電源設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-2-2-1 第一ガスタービン発電機の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-2-2-2 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプの耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-2-2-3 第一ガスタービン発電機用燃料タンクの耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-2-2-4 第一ガスタービン発電機用燃料小出し槽の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-2-2-5 軽油タンク（7号機設備）の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-2-2-6 管の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-2-2-7 第一ガスタービン発電機用発電機の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-2-2-8 第一ガスタービン発電機用制御盤の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-3 その他の電源装置の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-3-1 AM用直流125V充電器の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-3-2 直流125V蓄電池の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-3-3 AM用直流125V蓄電池の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-4 その他の非常用電源設備の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-1 緊急用断路器の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-2 緊急用電源切替箱断路器の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-3 緊急用電源切替箱接続装置の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-4 AM用動力変圧器の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-5 AM用MCCの耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-6 AM用切替盤の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-7 AM用操作盤の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-8 メタルクラッド開閉装置の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-9 パワーセンタの耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-10 モータコントロールセンタの耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-11 動力変圧器の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-12 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用電源盤の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-13 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流110V分電盤の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-14 直流125V充電器の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-1-4-15 直流125V主母線盤の耐震性についての計算書

- VI-2-10-1-4-16 直流 125V RCIC 制御切替盤の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-4-17 直流 125V RCIC 動力切替盤の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-4-18 直流 125V HPAC MCC の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-4-19 AM 用直流 125V 主母線盤の耐震性についての計算書
- VI-2-10-1-4-20 AM 用切替装置(SRV)の耐震性についての計算書
- VI-2-10-2 浸水防護施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-10-2-1 浸水防護施設の耐震計算結果
  - VI-2-10-2-2 外郭浸水防護設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-2-2-1 取水槽閉止板の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-2-3 内郭浸水防護設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-2-3-1 水密扉の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-2-3-2 水密扉付止水堰の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-2-3-3 止水堰の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-2-4 その他の浸水防護施設の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-2-4-1 床ドレンライン浸水防止治具の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-2-4-2 貫通部止水処置の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-2-4-3 取水槽水位計の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-2-4-4 津波監視カメラの耐震性についての計算書
- VI-2-10-3 非常用取水設備の耐震性に関する説明書
  - VI-2-10-3-1 取水設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-3-1-1 非常用取水設備の耐震計算結果
    - VI-2-10-3-1-2 海水貯留堰の耐震性についての計算書
      - VI-2-10-3-1-2-1 海水貯留堰の耐震性についての計算書
      - VI-2-10-3-1-2-2 取水護岸の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-3-1-3 海水貯留堰（7号機設備）の耐震性についての計算書
      - VI-2-10-3-1-3-1 海水貯留堰（7号機設備）の耐震性についての計算書
      - VI-2-10-3-1-3-2 取水護岸（7号機設備）の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-3-1-4 スクリーン室の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-3-1-5 スクリーン室（7号機設備）の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-3-1-6 取水路の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-3-1-7 取水路（7号機設備）の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-3-1-8 補機冷却用海水取水路の耐震性についての計算書
    - VI-2-10-3-1-9 補機冷却用海水取水槽の耐震性についての計算書
  - VI-2-10-4 緊急時対策所の耐震性に関する説明書
    - VI-2-10-4-1 緊急時対策所の耐震計算結果
    - VI-2-10-4-2 その他の緊急時対策所の耐震性についての計算書
      - VI-2-10-4-2-1 5号機原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）二酸化炭素吸収装置の耐震性についての計算書
- VI-2-11 波及的影響を及ぼすおそれのある施設の耐震性についての計算書

- VI-2-11-1 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針
- VI-2-11-2 波及的影響を及ぼすおそれのある施設の耐震性についての計算書
  - VI-2-11-2-1 サービス建屋の耐震性についての計算書
  - VI-2-11-2-2 竜巻対策設備の耐震性についての計算書
    - VI-2-11-2-2-1 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ防護板の耐震性についての計算書
    - VI-2-11-2-2-2 非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管防護板の耐震性についての計算書
    - VI-2-11-2-2-3 竜巻防護鋼製フードの耐震性についての計算書
    - VI-2-11-2-2-4 換気空調系ダクト防護壁の耐震性についての計算書
    - VI-2-11-2-2-5 原子炉補機冷却海水系配管防護壁の耐震性についての計算書
    - VI-2-11-2-2-6 見学者ギャラリー室竜巻防護扉の耐震性についての計算書
    - VI-2-11-2-2-7 竜巻防護ネットの耐震性についての計算書
  - VI-2-11-2-3 中央制御室天井照明の耐震性についての計算書
  - VI-2-11-2-4 原子炉建屋クレーンの耐震性についての計算書
  - VI-2-11-2-5 燃料取替機の耐震性についての計算書
  - VI-2-11-2-6 原子炉遮蔽壁の耐震性についての計算書
  - VI-2-11-2-7 原子炉ウェル遮蔽プラグの耐震性についての計算書
  - VI-2-11-2-8 耐火隔壁の耐震性についての計算書
- VI-2-12 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
- VI-2-別添 1 火災防護設備の耐震性に関する説明書
  - VI-2-別添 1-1 火災防護設備の耐震計算の方針
  - VI-2-別添 1-2 火災感知器の耐震計算書
  - VI-2-別添 1-3 火災受信機盤の耐震計算書
  - VI-2-別添 1-4 ボンベラックの耐震計算書
  - VI-2-別添 1-5 選択弁の耐震計算書
  - VI-2-別添 1-6 消火配管の耐震計算書
  - VI-2-別添 1-7 制御盤の耐震計算書
  - VI-2-別添 1-8 火災防護設備の水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価
- VI-2-別添 2 溢水防護に係る施設の耐震性に関する説明書
  - VI-2-別添 2-1 溢水防護に係る施設の耐震計算書の方針
  - VI-2-別添 2-2 溢水源としない耐震 B, C クラス機器の耐震計算書
  - VI-2-別添 2-3 溢水防護に係る施設の水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
  - VI-2-別添 2-4 循環水系隔離システムの耐震性についての計算書
  - VI-2-別添 2-5 復水器水室出入口弁の耐震性についての計算書
  - VI-2-別添 2-6 タービン補機冷却海水系隔離システムの耐震性についての計算書
  - VI-2-別添 2-7 タービン補機冷却海水ポンプ吐出弁の耐震性についての計算書
- VI-2-別添 3 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書

- VI-2-別添 3-1 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針
- VI-2-別添 3-2 可搬型重大事故等対処設備の保管場所における入力地震動
- VI-2-別添 3-3 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書
- VI-2-別添 3-4 可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震計算書
- VI-2-別添 3-5 可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書
- VI-2-別添 3-6 可搬型重大事故等対処設備の水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
- VI-2-別添 4 地震荷重と風荷重の組合せの影響評価結果
- VI-3 強度に関する説明書
  - VI-3-1 強度計算の基本方針
    - VI-3-1-1 強度計算の基本方針の概要
    - VI-3-1-2 クラス 1 機器の強度計算の基本方針
    - VI-3-1-3 クラス 2 機器の強度計算の基本方針
    - VI-3-1-4 クラス 3 機器の強度計算の基本方針
    - VI-3-1-5 重大事故等クラス 2 機器及び重大事故等クラス 2 支持構造物の強度計算の基本方針
    - VI-3-1-6 重大事故等クラス 3 機器の強度計算の基本方針
    - VI-3-1-7 原子炉格納容器の強度計算の基本方針
  - VI-3-2 強度計算方法
    - VI-3-2-1 強度計算方法の概要
    - VI-3-2-2 クラス 1 管の強度計算方法
    - VI-3-2-3 クラス 1 弁の強度計算方法
    - VI-3-2-4 クラス 2 管の強度計算方法
    - VI-3-2-5 クラス 2 弁の強度計算方法
    - VI-3-2-6 クラス 3 容器の強度計算方法
    - VI-3-2-7 クラス 3 管の強度計算方法
    - VI-3-2-8 重大事故等クラス 2 容器の強度計算方法
    - VI-3-2-9 重大事故等クラス 2 管の強度計算方法
    - VI-3-2-10 重大事故等クラス 2 ポンプの強度計算方法
    - VI-3-2-11 重大事故等クラス 2 弁の強度計算方法
    - VI-3-2-12 重大事故等クラス 2 支持構造物（容器）の強度計算方法
    - VI-3-2-13 重大事故等クラス 2 支持構造物（ポンプ）の強度計算方法
    - VI-3-2-14 重大事故等クラス 3 機器の強度評価方法
  - VI-3-3 強度計算書
    - VI-3-3-1 原子炉本体の強度に関する説明書
      - VI-3-3-1-1 原子炉圧力容器の強度計算書
        - VI-3-3-1-1-1 原子炉圧力容器本体の強度計算書
    - VI-3-3-2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の強度に関する説明書
      - VI-3-3-2-1 燃料取扱設備及び使用済燃料貯蔵設備の強度計算書

- VI-3-3-2-1-1 使用済燃料貯蔵プールの強度計算書
- VI-3-3-2-2 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備の強度計算書
  - VI-3-3-2-2-1 燃料プール冷却浄化系の強度計算書
    - VI-3-3-2-2-1-1 燃料プール冷却浄化系熱交換器の強度計算書
    - VI-3-3-2-2-1-2 燃料プール冷却浄化系ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-2-2-1-3 スキマサージタンクの強度計算書
    - VI-3-3-2-2-1-4 管の強度計算書
      - VI-3-3-2-2-1-4-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-2-2-1-4-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-2-2-2 燃料プール代替注水系の強度計算書
    - VI-3-3-2-2-2-1 可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）の強度計算書
    - VI-3-3-2-2-2-2 可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）の強度計算書
    - VI-3-3-2-2-2-3 可搬型 Y 型ストレーナの強度計算書
    - VI-3-3-2-2-2-4 管の強度計算書
      - VI-3-3-2-2-2-4-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-2-2-2-4-2 管の応力計算書
      - VI-3-3-2-2-2-4-3 管の強度計算書（可搬型）
- VI-3-3-2-3 その他の核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の強度についての説明書
  - VI-3-3-2-3-1 弁の強度計算書（燃料プール冷却浄化系）
- VI-3-3-3 原子炉冷却系統施設の強度に関する説明書
  - VI-3-3-3-1 原子炉冷却材の循環設備の強度計算書
    - VI-3-3-3-1-1 主蒸気系の強度計算書
      - VI-3-3-3-1-1-1 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータの強度計算書
      - VI-3-3-3-1-1-2 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータの強度計算書
      - VI-3-3-3-1-1-3 管の強度計算書
        - VI-3-3-3-1-1-3-1 管の基本板厚計算書
        - VI-3-3-3-1-1-3-2 管の応力計算書
    - VI-3-3-3-1-2 復水給水系の強度計算書
      - VI-3-3-3-1-2-1 管の強度計算書
        - VI-3-3-3-1-2-1-1 管の基本板厚計算書
        - VI-3-3-3-1-2-1-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-3-2 残留熱除去設備の強度計算書
    - VI-3-3-3-2-1 残留熱除去系の強度計算書
      - VI-3-3-3-2-1-1 残留熱除去系熱交換器の強度計算書
      - VI-3-3-3-2-1-2 残留熱除去系ポンプの強度計算書
      - VI-3-3-3-2-1-3 残留熱除去系ストレーナの強度計算書
      - VI-3-3-3-2-1-4 残留熱除去系ストレーナ部ティーの強度計算書
      - VI-3-3-3-2-1-5 弁の強度計算書
      - VI-3-3-3-2-1-6 管の強度計算書



- VI-3-3-3-2-1-6-1 管の基本板厚計算書
- VI-3-3-3-2-1-6-2 管の応力計算書
- VI-3-3-3-3 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備の強度計算書
  - VI-3-3-3-3-1 高圧炉心注水系の強度計算書
    - VI-3-3-3-3-1-1 高圧炉心注水系ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-3-3-1-2 高圧炉心注水系ストレナの強度計算書
    - VI-3-3-3-3-1-3 高圧炉心注水系ストレナ部ティーの強度計算書
    - VI-3-3-3-3-1-4 弁の強度計算書
    - VI-3-3-3-3-1-5 管の強度計算書
      - VI-3-3-3-3-1-5-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-3-3-1-5-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-3-3-2 原子炉隔離時冷却系の強度計算書
    - VI-3-3-3-3-2-1 原子炉隔離時冷却系ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-3-3-2-2 原子炉隔離時冷却系ストレナの強度計算書
    - VI-3-3-3-3-2-3 原子炉隔離時冷却系ストレナ部ティーの強度計算書
    - VI-3-3-3-3-2-4 弁の強度計算書
    - VI-3-3-3-3-2-5 管の強度計算書
      - VI-3-3-3-3-2-5-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-3-3-2-5-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-3-3-3 高圧代替注水系の強度計算書
    - VI-3-3-3-3-3-1 高圧代替注水系ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-3-3-3-2 管の強度計算書
      - VI-3-3-3-3-3-2-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-3-3-3-2-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-3-3-4 低圧代替注水系の強度計算書
    - VI-3-3-3-3-4-1 管の強度計算書
      - VI-3-3-3-3-4-1-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-3-3-4-1-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-3-3-5 水の供給設備の強度計算書
    - VI-3-3-3-3-5-1 大容量送水車（海水取水用）の強度計算書
    - VI-3-3-3-3-5-2 管の強度計算書
      - VI-3-3-3-3-5-2-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-3-3-5-2-2 管の応力計算書
      - VI-3-3-3-3-5-2-3 管の強度計算書（可搬型）
- VI-3-3-3-4 原子炉冷却材補給設備の強度計算書
  - VI-3-3-3-4-1 補給水系の強度計算書
    - VI-3-3-3-4-1-1 復水移送ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-3-4-1-2 復水貯蔵槽の強度計算書
    - VI-3-3-3-4-1-3 管の強度計算書

- VI-3-3-3-4-1-3-1 管の基本板厚計算書
- VI-3-3-3-4-1-3-2 管の応力計算書
- VI-3-3-3-5 原子炉補機冷却設備の強度計算書
  - VI-3-3-3-5-1 原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系の強度計算書
    - VI-3-3-3-5-1-1 原子炉補機冷却水系熱交換器の強度計算書
    - VI-3-3-3-5-1-2 原子炉補機冷却水ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-3-5-1-3 原子炉補機冷却海水ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-3-5-1-4 原子炉補機冷却水系サージタンクの強度計算書
    - VI-3-3-3-5-1-5 原子炉補機冷却海水系ストレーナの強度計算書
    - VI-3-3-3-5-1-6 管の強度計算書
      - VI-3-3-3-5-1-6-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-3-5-1-6-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-3-5-2 代替原子炉補機冷却系の強度計算書
    - VI-3-3-3-5-2-1 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却系熱交換器の強度計算書
    - VI-3-3-3-5-2-2 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却水ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-3-5-2-3 大容量送水車（熱交換器ユニット用）の強度計算書
    - VI-3-3-3-5-2-4 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ストレーナの強度計算書
    - VI-3-3-3-5-2-5 管の強度計算書
      - VI-3-3-3-5-2-5-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-3-5-2-5-2 管の応力計算書
      - VI-3-3-3-5-2-5-3 管の強度計算書（可搬型）
- VI-3-3-3-6 原子炉冷却材浄化設備の強度計算書
  - VI-3-3-3-6-1 原子炉冷却材浄化系の強度計算書
    - VI-3-3-3-6-1-1 弁の強度計算書
    - VI-3-3-3-6-1-2 管の強度計算書
      - VI-3-3-3-6-1-2-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-3-6-1-2-2 管の応力計算書
- VI-3-3-3-7 その他の原子炉冷却系統施設の強度についての説明書
  - VI-3-3-3-7-1 弁の強度計算書（原子炉隔離時冷却系）
  - VI-3-3-3-7-2 弁の強度計算書（高圧代替注水系）
- VI-3-3-4 計測制御系統施設の強度に関する説明書
  - VI-3-3-4-1 制御材駆動装置の強度計算書
    - VI-3-3-4-1-1 制御棒駆動機構の強度計算書
    - VI-3-3-4-1-2 制御棒駆動水圧設備の強度計算書
      - VI-3-3-4-1-2-1 制御棒駆動系の強度計算書
        - VI-3-3-4-1-2-1-1 水圧制御ユニットの強度計算書
        - VI-3-3-4-1-2-1-2 弁の強度計算書
        - VI-3-3-4-1-2-1-3 管の強度計算書

- VI-3-3-4-1-2-1-3-1 管の基本板厚計算書
- VI-3-3-4-1-2-1-3-2 管の応力計算書
- VI-3-3-4-2 ほう酸水注入設備の強度計算書
  - VI-3-3-4-2-1 ほう酸水注入系の強度計算書
    - VI-3-3-4-2-1-1 ほう酸水注入系ポンプの強度計算書
    - VI-3-3-4-2-1-2 ほう酸水注入系貯蔵タンクの強度計算書
    - VI-3-3-4-2-1-3 弁の強度計算書
    - VI-3-3-4-2-1-4 管の強度計算書
      - VI-3-3-4-2-1-4-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-4-2-1-4-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-4-3 制御用空気設備の強度計算書
    - VI-3-3-4-3-1 高圧窒素ガス供給系の強度計算書
      - VI-3-3-4-3-1-1 管の強度計算書
        - VI-3-3-4-3-1-1-1 管の基本板厚計算書
        - VI-3-3-4-3-1-1-2 管の応力計算書
    - VI-3-3-4-3-2 逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備の強度計算書
      - VI-3-3-4-3-2-1 高圧窒素ガスポンプの強度計算書
      - VI-3-3-4-3-2-2 管の強度計算書
        - VI-3-3-4-3-2-2-1 管の基本板厚計算書
        - VI-3-3-4-3-2-2-2 管の応力計算書
        - VI-3-3-4-3-2-2-3 管の強度計算書（可搬型）
- VI-3-3-5 放射線管理施設の強度に関する説明書
  - VI-3-3-5-1 換気設備の強度計算書
    - VI-3-3-5-1-1 中央制御室陽圧化換気空調系の強度計算書
      - VI-3-3-5-1-1-1 管の強度計算書
        - VI-3-3-5-1-1-1-1 管の強度計算書（可搬型）
    - VI-3-3-5-1-2 中央制御室待避室陽圧化換気空調系の強度計算書
      - VI-3-3-5-1-2-1 中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンプ）の強度計算書
      - VI-3-3-5-1-2-2 管の強度計算書
        - VI-3-3-5-1-2-2-1 管の基本板厚計算書
        - VI-3-3-5-1-2-2-2 管の応力計算書
        - VI-3-3-5-1-2-2-3 管の強度計算書（可搬型）
    - VI-3-3-5-1-3 緊急時対策所換気空調系の強度計算書
      - VI-3-3-5-1-3-1 5号機原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（空気ポンプ）及び5号機原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）陽圧化装置（空気ポンプ）の強度計算書
      - VI-3-3-5-1-3-2 管の強度計算書
        - VI-3-3-5-1-3-2-1 管の基本板厚計算書
        - VI-3-3-5-1-3-2-2 管の応力計算書

- VI-3-3-5-1-3-2-3 管の強度計算書（可搬型）
- VI-3-3-5-2 その他の放射線管理施設の強度についての説明書
  - VI-3-3-5-2-1 中央制御室隔離ダンパの強度計算書
  - VI-3-3-5-2-2 中央制御室外気取入れ・排気ダクトの強度計算書
- VI-3-3-6 原子炉格納施設の強度に関する説明書
  - VI-3-3-6-1 原子炉格納容器の強度計算書
    - VI-3-3-6-1-1 原子炉格納容器本体の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-1-1 原子炉格納容器コンクリート部の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-1-2 原子炉格納容器ライナ部の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-1-3 原子炉格納容器胴の基本板厚計算書
      - VI-3-3-6-1-1-4 ドライウエル上鏡の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-1-5 ドライウエル主フランジの強度計算書
      - VI-3-3-6-1-1-6 下部ドライウエルアクセストンネルスリーブ及び鏡板（所員用エアロック付）の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-1-7 下部ドライウエルアクセストンネルスリーブ及び鏡板（機器搬入用ハッチ付）の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-1-8 クエンチャサポート基礎の強度計算書
    - VI-3-3-6-1-2 機器搬出入口の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-2-1 機器搬入用ハッチ及びサプレッションチェンバ出入口の基本板厚計算書
      - VI-3-3-6-1-2-2 上部ドライウエル機器搬入用ハッチの強度計算書
      - VI-3-3-6-1-2-3 下部ドライウエル機器搬入用ハッチの強度計算書
      - VI-3-3-6-1-2-4 サプレッションチェンバ出入口の強度計算書
    - VI-3-3-6-1-3 エアロックの強度計算書
      - VI-3-3-6-1-3-1 所員用エアロックの基本板厚計算書
      - VI-3-3-6-1-3-2 上部ドライウエル所員用エアロックの強度計算書
      - VI-3-3-6-1-3-3 下部ドライウエル所員用エアロックの強度計算書
    - VI-3-3-6-1-4 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-4-1 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の基本板厚計算書
      - VI-3-3-6-1-4-2 原子炉格納容器配管貫通部の強度計算書
      - VI-3-3-6-1-4-3 原子炉格納容器電気配線貫通部の強度計算書
  - VI-3-3-6-2 圧力低減設備その他の安全設備の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-1 ダイヤフラムフロアの強度計算書
    - VI-3-3-6-2-2 ベント管の基本板厚計算書
    - VI-3-3-6-2-3 ベント管の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-4 原子炉格納容器安全設備の強度計算書
      - VI-3-3-6-2-4-1 格納容器スプレイ冷却系の強度計算書
        - VI-3-3-6-2-4-1-1 管の強度計算書
          - VI-3-3-6-2-4-1-1-1 ドライウエルスプレイ管及びサプレッションチェンバサブ

- レイ管の基本板厚計算書
- VI-3-3-6-2-4-1-1-2 ドライウェルスプレイ管の強度計算書
- VI-3-3-6-2-4-1-1-3 サプレッションチェンバスプレイ管の強度計算書
- VI-3-3-6-2-4-2 格納容器下部注水系の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-4-2-1 管の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-4-2-1-1 管の基本板厚計算書
    - VI-3-3-6-2-4-2-1-2 管の応力計算書
- VI-3-3-6-2-4-3 原子炉建屋放水設備の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-4-3-1 大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-4-3-2 泡原液搬送車の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-4-3-3 管の強度計算書（可搬型）
- VI-3-3-6-2-4-4 代替循環冷却系の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-4-4-1 管の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-4-4-1-1 管の基本板厚計算書
    - VI-3-3-6-2-4-4-1-2 管の応力計算書
- VI-3-3-6-2-5 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-5-1 非常用ガス処理系の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-5-1-1 非常用ガス処理系乾燥装置の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-5-1-2 管の強度計算書
      - VI-3-3-6-2-5-1-2-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-6-2-5-1-2-2 管の応力計算書
  - VI-3-3-6-2-5-1-3 非常用ガス処理系フィルタ装置の強度計算書
- VI-3-3-6-2-5-2 可燃性ガス濃度制御系の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-5-2-1 管の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-5-2-1-1 管の基本板厚計算書
    - VI-3-3-6-2-5-2-1-2 管の応力計算書
- VI-3-3-6-2-5-3 耐圧強化ベント系の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-5-3-1 管の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-5-3-1-1 管の基本板厚計算書
    - VI-3-3-6-2-5-3-1-2 管の応力計算書
    - VI-3-3-6-2-5-3-1-3 管の強度計算書（可搬型）
- VI-3-3-6-2-5-4 格納容器圧力逃がし装置の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-5-4-1 ドレン移送ポンプの強度計算書
  - VI-3-3-6-2-5-4-2 スクラバ水 pH 制御設備用ポンプの強度計算書
- VI-3-3-6-2-6 原子炉格納容器調気設備の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-6-1 不活性ガス系の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-6-1-1 弁の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-6-1-2 管の強度計算書

- VI-3-3-6-2-6-1-2-1 管の基本板厚計算書
- VI-3-3-6-2-6-1-2-2 管の応力計算書
- VI-3-3-6-2-7 圧力逃がし装置の強度計算書
  - VI-3-3-6-2-7-1 格納容器圧力逃がし装置の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-7-1-1 ドレンタンクの強度計算書
    - VI-3-3-6-2-7-1-2 遠隔空気駆動弁操作用ポンベの強度計算書
    - VI-3-3-6-2-7-1-3 弁の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-7-1-4 管の強度計算書
      - VI-3-3-6-2-7-1-4-1 管の基本板厚計算書
      - VI-3-3-6-2-7-1-4-2 管の応力計算書
      - VI-3-3-6-2-7-1-4-3 管の強度計算書（可搬型）
    - VI-3-3-6-2-7-1-5 フィルタ装置の強度計算書
    - VI-3-3-6-2-7-1-6 よう素フィルタの強度計算書
- VI-3-3-6-3 原子炉格納容器付属構造物の強度計算書
  - VI-3-3-6-3-1 下部ドライウェルアクセストンネルの強度計算書
- VI-3-3-6-4 その他の原子炉格納施設の強度についての説明書
  - VI-3-3-6-4-1 弁の強度計算書（耐圧強化ベント系）
  - VI-3-3-6-4-2 管の基本板厚計算書（格納容器圧力逃がし装置）
  - VI-3-3-6-4-3 管の応力計算書（格納容器圧力逃がし装置）
  - VI-3-3-6-4-4 管の強度計算書（可搬型）（格納容器圧力逃がし装置）
- VI-3-3-7 その他発電用原子炉の附属施設の強度に関する説明書
  - VI-3-3-7-1 非常用電源設備の強度に関する説明書
    - VI-3-3-7-1-1 非常用発電装置の強度計算書
      - VI-3-3-7-1-1-1 非常用ディーゼル発電設備の強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-1-1 空気だめの強度計算書
      - VI-3-3-7-1-1-2 代替交流電源設備の強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-2-1 電源車用機関付冷却水ポンプの強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-2-2 電源車用車載燃料タンクの強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-2-3 タンクローリ（16kL）の強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-2-4 タンクローリ（4kL）の強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-2-5 管の強度計算書（可搬型）
      - VI-3-3-7-1-1-3 緊急時対策所代替電源設備の強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-3-1 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプの強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-3-2 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンクの強度計算書
        - VI-3-3-7-1-1-4 可搬型窒素供給装置用電源設備の強度計算書
          - VI-3-3-7-1-1-4-1 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプの強度計算書

- VI-3-3-7-1-1-4-2 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用燃料タンクの強度計算書
- VI-3-3-7-2 火災防護設備の強度に関する説明書
  - VI-3-3-7-2-1 消火設備の強度計算書
    - VI-3-3-7-2-1-1 ろ過水タンクの強度計算書
    - VI-3-3-7-2-1-2 管の基本板厚計算書
- VI-3-3-7-3 浸水防護施設の強度に関する説明書
  - VI-3-3-7-3-1 管の基本板厚計算書 (6号機地下水排水設備)
- VI-3-3-7-4 補機駆動用燃料設備の強度に関する説明書
  - VI-3-3-7-4-1 燃料設備の強度計算書
    - VI-3-3-7-4-1-1 可搬型代替注水ポンプ (A-1級) 燃料タンクの強度計算書
    - VI-3-3-7-4-1-2 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 燃料タンクの強度計算書
    - VI-3-3-7-4-1-3 大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) 燃料タンクの強度計算書
    - VI-3-3-7-4-1-4 大容量送水車 (海水取水用) 燃料タンクの強度計算書
    - VI-3-3-7-4-1-5 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 燃料タンクの強度計算書
- VI-3-別添 1 竜巻への配慮が必要な施設の強度に関する説明書
  - VI-3-別添 1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針
  - VI-3-別添 1-2 防護対策施設の強度計算の方針
  - VI-3-別添 1-3 固縛装置の強度計算の方針
  - VI-3-別添 1-4 防護対策施設の強度計算書
    - VI-3-別添 1-4-1 竜巻防護ネットの強度計算書
    - VI-3-別添 1-4-2 竜巻防護鋼製フードの強度計算書
    - VI-3-別添 1-4-3 竜巻防護鉄筋コンクリート製フードの強度計算書
    - VI-3-別添 1-4-4 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ防護板の強度計算書
    - VI-3-別添 1-4-5 非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管防護板の強度計算書
    - VI-3-別添 1-4-6 建屋内防護壁の強度計算書
    - VI-3-別添 1-4-7 竜巻防護扉の強度計算書
  - VI-3-別添 1-5 竜巻より防護すべき施設を内包する施設の強度計算書
  - VI-3-別添 1-6 軽油タンクの強度計算書
  - VI-3-別添 1-7 非常用ディーゼル発電設備吸気配管の強度計算書
  - VI-3-別添 1-8 換気空調設備の強度計算書
  - VI-3-別添 1-9 波及的影響を及ぼす可能性がある施設の強度計算書
    - VI-3-別添 1-9-1 建屋の強度計算書
    - VI-3-別添 1-9-2 主排気筒の強度計算書
    - VI-3-別添 1-9-3 消音器の強度計算書
    - VI-3-別添 1-9-4 排気管及びミスト管の強度計算書
  - VI-3-別添 1-10 固縛装置の強度計算書
- VI-3-別添 2 火山への配慮が必要な施設の強度に関する説明書
  - VI-3-別添 2-1 火山への配慮が必要な施設の強度計算の方針

- VI-3-別添 2-1-1 軽油タンクの強度計算の方針
- VI-3-別添 2-1-2 原子炉建屋の強度計算の方針
- VI-3-別添 2-1-3 タービン建屋の強度計算の方針
- VI-3-別添 2-1-4 コントロール建屋の強度計算の方針
- VI-3-別添 2-1-5 廃棄物処理建屋の強度計算の方針
- VI-3-別添 2-2 防護対策施設の強度計算の方針
  - VI-3-別添 2-2-1 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ防護板の強度計算の方針
  - VI-3-別添 2-2-2 非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管防護板の強度計算の方針
- VI-3-別添 2-3 軽油タンクの強度計算書
- VI-3-別添 2-4 原子炉建屋の強度計算書
- VI-3-別添 2-5 タービン建屋の強度計算書
- VI-3-別添 2-6 コントロール建屋の強度計算書
- VI-3-別添 2-7 廃棄物処理建屋の強度計算書
- VI-3-別添 2-8 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ防護板の強度計算書
- VI-3-別添 2-9 非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管防護板の強度計算書
- VI-3-別添 3 津波又は溢水への配慮が必要な施設の強度に関する説明書
  - VI-3-別添 3-1 津波への配慮が必要な施設の強度に関する説明書
    - VI-3-別添 3-1-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の方針
    - VI-3-別添 3-1-2 海水貯留堰の強度計算書
    - VI-3-別添 3-1-3 海水貯留堰（7号機設備）の強度計算書
    - VI-3-別添 3-1-4 取水槽閉止板の強度計算書
    - VI-3-別添 3-1-5 水密扉の強度計算書
    - VI-3-別添 3-1-6 床ドレンライン浸水防止治具の強度計算書
    - VI-3-別添 3-1-7 貫通部止水処置の強度計算書
    - VI-3-別添 3-1-8 取水槽水位計の強度計算書
  - VI-3-別添 3-2 溢水への配慮が必要な施設の強度に関する説明書
    - VI-3-別添 3-2-1 溢水への配慮が必要な施設の強度計算の方針
    - VI-3-別添 3-2-2 水密扉の強度計算書（溢水）
    - VI-3-別添 3-2-3 水密扉付止水堰の強度計算書
    - VI-3-別添 3-2-4 止水堰の強度計算書
    - VI-3-別添 3-2-5 床ドレンライン浸水防止治具の強度計算書（溢水）
    - VI-3-別添 3-2-6 貫通部止水処置の強度計算書（溢水）
- VI-3-別添 4 発電用火力設備の技術基準による強度に関する説明書
- VI-3-別添 5 非常用発電装置（可搬型）の強度に関する説明書
- VI-3-別添 6 炉心支持構造物の強度計算書
  - VI-3-別添 6-1 炉心支持構造物の強度計算書
- VI-3-別添 7 原子炉圧力容器内部構造物の強度計算書
  - VI-3-別添 7-1 原子炉圧力容器内部構造物の強度計算書
- VI-3-別添 8 原子炉圧力容器スカートの強度計算書



## VI-4 その他の計算書

VI-4-1 安全弁及び逃がし弁の吹出量計算書

VI-4-2 生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書

VI-4-2-1 中央制御室の生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書

VI-4-2-2 緊急時対策所の生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書

## VI-5 図面

### 1. 発電所

#### 1.1 送電関係一覧図

- ・第 1-1-1 図 送電関係一覧図

#### 1.2 工場又は事業所の概要を明示した地形図

- ・第 1-2-1 図 発電所の概要を明示した地形図

#### 1.3 主要設備の配置の状況を明示した平面図及び断面図

- ・第 1-3-1 図 敷地内建屋配置図
- ・第 1-3-2 図 発電所機器配置図 (その 1) (平面)
- ・第 1-3-3 図 発電所機器配置図 (その 2) (平面)
- ・第 1-3-4 図 発電所機器配置図 (その 3) (平面)
- ・第 1-3-5 図 発電所機器配置図 (その 4) (平面)
- ・第 1-3-6 図 発電所機器配置図 (その 5) (平面)
- ・第 1-3-7 図 発電所機器配置図 (その 6) (平面)
- ・第 1-3-8 図 発電所機器配置図 (その 7) (平面)
- ・第 1-3-9 図 発電所機器配置図 (その 8) (断面)
- ・第 1-3-10 図 発電所機器配置図 (その 9) (断面)

#### 1.4 単線結線図

- ・第 1-4-1 図 交流全体単線結線図 (その 1)
- ・第 1-4-2 図 交流全体単線結線図 (その 2)
- ・第 1-4-3 図 直流全体単線結線図 (その 1)
- ・第 1-4-4 図 直流全体単線結線図 (その 2)
- ・第 1-4-5 図 計測制御単線結線図
- ・第 1-4-6 図 電源車単線結線図
- ・第 1-4-7 図 逃がし安全弁用可搬型蓄電池単線結線図
- ・第 1-4-8 図 5号機原子炉建屋内緊急時対策所単線結線図
- ・第 1-4-9 図 モニタリングポスト用発電機単線結線図

#### 1.5 環境測定装置の構造図及び取付箇所を明示した図面

- ・第 1-5-1-1 図 環境測定装置の取付箇所を明示した図面 (その 1)
- ・第 1-5-1-2 図 環境測定装置の取付箇所を明示した図面 (その 2)
- ・第 1-5-2-1 図 環境測定装置の構造図 取水槽水位計

#### 1.6 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面

- ・第 1-6-1 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 1)
- ・第 1-6-2 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 2)

- ・第 1-6-3 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 3)
- ・第 1-6-4 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 4)
- ・第 1-6-5 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 5)
- ・第 1-6-6 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 6)
- ・第 1-6-7 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 7)
- ・第 1-6-8 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 8)
- ・第 1-6-9 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 9)
- ・第 1-6-10 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 10)
- ・第 1-6-11 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 11)
- ・第 1-6-12 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 12)
- ・第 1-6-13 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 13)
- ・第 1-6-14 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 14)
- ・第 1-6-15 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 15)
- ・第 1-6-16 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 16)
- ・第 1-6-17 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 17)
- ・第 1-6-18 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 18)
- ・第 1-6-19 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 19)
- ・第 1-6-20 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 20)
- ・第 1-6-21 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 21)
- ・第 1-6-22 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 22)
- ・第 1-6-23 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 23)
- ・第 1-6-24 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 24)
- ・第 1-6-25 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 25)
- ・第 1-6-26 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 26)
- ・第 1-6-27 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 27)
- ・第 1-6-28 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 28)
- ・第 1-6-29 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 29)
- ・第 1-6-30 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 30)
- ・第 1-6-31 図 通信連絡設備の取付箇所を明示した図面 (その 31)

#### 1.7 安全避難通路を明示した図面

- ・第 1-7-1 図 安全避難通路を明示した図面 (その 1)
- ・第 1-7-2 図 安全避難通路を明示した図面 (その 2)
- ・第 1-7-3 図 安全避難通路を明示した図面 (その 3)
- ・第 1-7-4 図 安全避難通路を明示した図面 (その 4)
- ・第 1-7-5 図 安全避難通路を明示した図面 (その 5)
- ・第 1-7-6 図 安全避難通路を明示した図面 (その 6)
- ・第 1-7-7 図 安全避難通路を明示した図面 (その 7)
- ・第 1-7-8 図 安全避難通路を明示した図面 (その 8)
- ・第 1-7-9 図 安全避難通路を明示した図面 (その 9)

- ・第 1-7-10 図 安全避難通路を明示した図面 (その 10)
- ・第 1-7-11 図 安全避難通路を明示した図面 (その 11)
- ・第 1-7-12 図 安全避難通路を明示した図面 (その 12)
- ・第 1-7-13 図 安全避難通路を明示した図面 (その 13)
- ・第 1-7-14 図 安全避難通路を明示した図面 (その 14)
- ・第 1-7-15 図 安全避難通路を明示した図面 (その 15)
- ・第 1-7-16 図 安全避難通路を明示した図面 (その 16)
- ・第 1-7-17 図 安全避難通路を明示した図面 (その 17)
- ・第 1-7-18 図 安全避難通路を明示した図面 (その 18)
- ・第 1-7-19 図 安全避難通路を明示した図面 (その 19)
- ・第 1-7-20 図 安全避難通路を明示した図面 (その 20)
- ・第 1-7-21 図 安全避難通路を明示した図面 (その 21)
- ・第 1-7-22 図 安全避難通路を明示した図面 (その 22)
- ・第 1-7-23 図 安全避難通路を明示した図面 (その 23)
- ・第 1-7-24 図 安全避難通路を明示した図面 (その 24)
- ・第 1-7-25 図 安全避難通路を明示した図面 (その 25)
- ・第 1-7-26 図 安全避難通路を明示した図面 (その 26)
- ・第 1-7-27 図 安全避難通路を明示した図面 (その 27)
- ・第 1-7-28 図 安全避難通路を明示した図面 (その 28)
- ・第 1-7-29 図 安全避難通路を明示した図面 (その 29)
- ・第 1-7-30 図 安全避難通路を明示した図面 (その 30)
- ・第 1-7-31 図 安全避難通路を明示した図面 (その 31)
- ・第 1-7-32 図 安全避難通路を明示した図面 (その 32)
- ・第 1-7-33 図 安全避難通路を明示した図面 (その 33)
- ・第 1-7-34 図 安全避難通路を明示した図面 (その 34)
- ・第 1-7-35 図 安全避難通路を明示した図面 (その 35)
- ・第 1-7-36 図 安全避難通路を明示した図面 (その 36)
- ・第 1-7-37 図 安全避難通路を明示した図面 (その 37)
- ・第 1-7-38 図 安全避難通路を明示した図面 (その 38)
- ・第 1-7-39 図 安全避難通路を明示した図面 (その 39)

#### 1.8 非常用照明の取付箇所を明示した図面

- ・第 1-8-1 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 1)
- ・第 1-8-2 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 2)
- ・第 1-8-3 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 3)
- ・第 1-8-4 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 4)
- ・第 1-8-5 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 5)
- ・第 1-8-6 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 6)
- ・第 1-8-7 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 7)
- ・第 1-8-8 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 8)

- ・第 1-8-9 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 9)
- ・第 1-8-10 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 10)
- ・第 1-8-11 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 11)
- ・第 1-8-12 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 12)
- ・第 1-8-13 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 13)
- ・第 1-8-14 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 14)
- ・第 1-8-15 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 15)
- ・第 1-8-16 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 16)
- ・第 1-8-17 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 17)
- ・第 1-8-18 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 18)
- ・第 1-8-19 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 19)
- ・第 1-8-20 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 20)
- ・第 1-8-21 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 21)
- ・第 1-8-22 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 22)
- ・第 1-8-23 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 23)
- ・第 1-8-24 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 24)
- ・第 1-8-25 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 25)
- ・第 1-8-26 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 26)
- ・第 1-8-27 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 27)
- ・第 1-8-28 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 28)
- ・第 1-8-29 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 29)
- ・第 1-8-30 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 30)
- ・第 1-8-31 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 31)
- ・第 1-8-32 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 32)
- ・第 1-8-33 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 33)
- ・第 1-8-34 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 34)
- ・第 1-8-35 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 35)
- ・第 1-8-36 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 36)
- ・第 1-8-37 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 37)
- ・第 1-8-38 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 38)
- ・第 1-8-39 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 39)
- ・第 1-8-40 図 非常用照明の取付箇所を明示した図面 (その 40)

2. 原子炉本体

- ・原子炉本体の構造図 炉心シュラウド

【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-1 図「炉心シュラウド構造図」による。】

- ・原子炉本体の構造図 シュラウドサポート

【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-2 図「シュラウドサポート構造図」による。】

- ・原子炉本体の構造図 上部格子板  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-3 図「上部格子板構造図」による。】
- ・原子炉本体の構造図 炉心支持板  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-4 図「炉心支持板構造図」による。】
- ・原子炉本体の構造図 中央燃料支持金具  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-5 図「燃料支持金具構造図」による。】
- ・原子炉本体の構造図 周辺燃料支持金具  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-5 図「燃料支持金具構造図」による。】
- ・原子炉本体の構造図 制御棒案内管  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-6 図「制御棒案内管構造図」による。】
- ・原子炉本体の構造図 原子炉圧力容器（その 1）  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-3-1 図「原子炉圧力容器 全体構造図（その 1）」による。】
- ・原子炉本体の構造図 原子炉圧力容器（その 2）  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-3-2 図「原子炉圧力容器 全体構造図（その 2）」による。】
- ・原子炉本体の構造図 原子炉圧力容器（その 3）  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-3-3 図「原子炉圧力容器 部分構造図（その 1）」による。】
- ・原子炉本体の構造図 原子炉圧力容器（その 4）  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-3-4 図「原子炉圧力容器 部分構造図（その 2）」による。】
- ・原子炉本体の構造図 給水スパージャ  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-4-5 図「給水スパージャ構造図」による。】
- ・原子炉本体の構造図 高圧炉心注水スパージャ  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-4-6 図「高圧炉心注水スパージャ構造図」による。】
- ・原子炉本体の構造図 低圧注水スパージャ  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-4-7 図「低圧注水スパージャ構造図」による。】
- ・原子炉本体の構造図 高圧炉心注水系配管（原子炉圧力容器内部）  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-4-8 図「高圧炉心注水系配管（原子炉圧力容器内部）構造図」による。】

### 3. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

#### 3.1 使用済燃料貯蔵設備

- ・ 第 3-1-1-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備に係る機器の配置を明示した図面
- ・ 第 3-1-2-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備の使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 1）
- ・ 第 3-1-2-2 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備の使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 2）
- ・ 第 3-1-2-3 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備の使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 3）
- ・ 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備の構造図 使用済燃料貯蔵プール（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）  
【平成 14 年 2 月 14 日付け平成 13・12・20 原第 16 号にて認可された工事計画の添付図面第 1 図「使用済燃料貯蔵プール構造図」による。】
- ・ 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備の構造図 キャスクピット（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）  
【平成 14 年 2 月 14 日付け平成 13・12・20 原第 16 号にて認可された工事計画の添付図面第 1 図「使用済燃料貯蔵プール構造図」による。】
- ・ 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備の構造図 使用済燃料貯蔵ラック（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）（その 1）  
【平成 14 年 2 月 14 日付け平成 13・12・20 原第 16 号にて認可された工事計画の添付図面第 2 図「使用済燃料貯蔵ラック構造図（その 1）」による。】
- ・ 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備の構造図 使用済燃料貯蔵ラック（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）（その 2）  
【平成 14 年 2 月 14 日付け平成 13・12・20 原第 16 号にて認可された工事計画の添付図面第 3 図「使用済燃料貯蔵ラック構造図（その 2）」による。】
- ・ 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備の構造図 使用済燃料貯蔵ラック（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）（その 3）  
【平成 14 年 2 月 14 日付け平成 13・12・20 原第 16 号にて認可された工事計画の添付図面第 4 図「使用済燃料貯蔵ラック構造図（その 3）」による。】

#### 3.2 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備

##### 3.2.1 燃料プール冷却浄化系

- ・ 第 3-2-1-1-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・ 第 3-2-1-1-2 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）

- ・第 3-2-1-2-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 3-2-1-2-2 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 3-2-1-2-3 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 3-2-1-2-4 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 3-2-1-2-5 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 3-2-1-3-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 3-2-1-3-2 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）の系統図（その 2）（重大事故等対処設備）
- ・核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）の構造図 燃料プール冷却浄化系熱交換器（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）  
 【平成 9 年 5 月 1 日付け平成 09・02・24 資第 17 号にて認可された工事計画の添付図面第 3-3-3 図「燃料プール冷却浄化系熱交換器構造図」による。】
- ・核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）の構造図 燃料プール冷却浄化系ポンプ（設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用）  
 【平成 9 年 5 月 1 日付け平成 09・02・24 資第 17 号にて認可された工事計画の添付図面第 3-4-3 図「燃料プール冷却浄化系ポンプ構造図」による。】
- ・第 3-2-1-4-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）の構造図 スキマサージタンク

### 3.2.2 燃料プール代替注水系

- ・第 3-2-2-1-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 3-2-2-1-2 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 3-2-2-1-3 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 3-2-2-1-4 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 3-2-2-1-5 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 3-2-2-1-6 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）

- ・第 3-2-2-1-7 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 3-2-2-1-8 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 3-2-2-1-9 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 3-2-2-1-10 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 3-2-2-1-11 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 3-2-2-2-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 3-2-2-2-2 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 3-2-2-2-3 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 3-2-2-3-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）の系統図（その 1）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 3-2-2-3-2 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）の系統図（その 2）（燃料プール冷却浄化系）（重大事故等対処設備）
- ・第 3-2-2-3-3 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）の系統図（その 3）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）

### 3.2.3 原子炉建屋放水設備

- ・第 3-2-3-1-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建屋放水設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 3-2-3-1-2 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建屋放水設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 3-2-3-1-3 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建屋放水設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 3-2-3-2-1 図 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建屋放水設備）の系統図（重大事故等対処設備）

## 4. 原子炉冷却系統施設

### 4.1 原子炉冷却材の循環設備

#### 4.1.1 主蒸気系

- ・第 4-1-1-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る機器の配置を明示した図面



- ・第 4-1-1-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-1-1-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-1-1-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-1-1-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-1-1-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-1-1-2-6 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-1-1-2-7 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 4-1-1-2-8 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 4-1-1-2-9 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 4-1-1-2-10 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 4-1-1-2-11 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 4-1-1-2-12 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 4-1-1-2-13 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 13）
- ・第 4-1-1-2-14 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 14）
- ・第 4-1-1-2-15 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 15）
- ・第 4-1-1-2-16 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 16）
- ・第 4-1-1-2-17 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 17）
- ・第 4-1-1-2-18 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 18）
- ・第 4-1-1-2-19 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 19）

- ・第 4-1-1-2-20 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 20）
- ・第 4-1-1-2-21 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 21）
- ・第 4-1-1-2-22 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 22）
- ・第 4-1-1-2-23 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 23）
- ・第 4-1-1-2-24 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 24）
- ・第 4-1-1-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 4-1-1-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 4-1-1-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）の構造図 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-1-14 図「主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ構造図」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）の構造図 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-1-15 図「主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ構造図」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（主蒸気系）の構造図 B21-F001A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-1-5 図「主蒸気逃がし安全弁構造図」による。】

#### 4.1.2 復水給水系

- ・第 4-1-2-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（復水給水系）に係る主配管の配置を明示した図面
- ・第 4-1-2-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材の循環設備（復水給水系）の系統図（設計基準対象施設）

#### 4.2 残留熱除去設備

##### 4.2.1 残留熱除去系

- ・第 4-2-1-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-2-1-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）

- ・第 4-2-1-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-2-1-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-2-1-1-5 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-2-1-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-2-1-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-2-1-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-2-1-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-2-1-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-2-1-2-6 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-2-1-2-7 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 4-2-1-2-8 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 4-2-1-2-9 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 4-2-1-2-10 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 4-2-1-2-11 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 4-2-1-2-12 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 4-2-1-2-13 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 13）
- ・第 4-2-1-2-14 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 14）
- ・第 4-2-1-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 4-2-1-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）

- ・第 4-2-1-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の系統図（その 3）（設計基準対象施設）
- ・第 4-2-1-3-4 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の系統図（その 4）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-1-3-5 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の系統図（その 5）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-1-3-6 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の系統図（その 6）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-1-3-7 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の系統図（その 7）（復水給水系）（重大事故等対処設備）
- ・原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の構造図 残留熱除去系熱交換器

【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-3-4 図「残留熱除去系熱交換器構造図」による。】

- ・原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の構造図 残留熱除去系ポンプ

【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-3-5 図「残留熱除去系ポンプ構造図」による。】

- ・原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の構造図 残留熱除去系ストレーナ

【平成 17 年 12 月 20 日付け平成 17・12・06 原第 7 号にて認可された工事計画の添付図面第 1-4 図「残留熱除去系ストレーナ構造図」による。】

- ・原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の構造図 E11-F011A, B, C
- 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の第 2-3-12 図「主要弁構造図（その 7）」による。】

- ・第 4-2-1-4-1 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の構造図 E11-F039A, B, C
- ・第 4-2-1-4-2 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の構造図 E11-F042A, B, C
- ・第 4-2-1-4-3 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）の構造図 E11-F051A, B, C

#### 4.2.2 耐圧強化ベント系

- ・第 4-2-2-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-2-2-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-2-2-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）

- ・第 4-2-2-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-2-2-1-5 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-2-2-1-6 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-2-2-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その 1）（不活性ガス系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-2-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その 2）（格納容器圧力逃がし装置）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-2-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その 3）（非常用ガス処理系）（重大事故等対処設備）

#### 4.2.3 格納容器圧力逃がし装置

- ・第 4-2-3-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-2-3-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-2-3-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-2-3-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-2-3-1-5 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-2-3-1-6 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-2-3-1-7 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 4-2-3-1-8 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 4-2-3-1-9 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 4-2-3-1-10 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 4-2-3-1-11 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 4-2-3-1-12 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 4-2-3-1-13 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 13）

- ・第 4-2-3-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 1）（不活性ガス系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-3-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 2）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-3-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 3）（可燃性ガス濃度制御系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-3-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 4）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-2-3-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 5）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）

#### 4.3 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

##### 4.3.1 高圧炉心注水系

- ・第 4-3-1-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-1-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-1-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-1-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-1-1-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-3-1-1-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-3-1-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-1-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-1-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-1-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-1-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-3-1-2-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-3-1-2-7 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）

- ・第 4-3-1-2-8 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 4-3-1-2-9 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 4-3-1-2-10 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 4-3-1-2-11 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 4-3-1-2-12 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 4-3-1-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 4-3-1-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 4-3-1-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-1-3-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の系統図（その 4）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-1-3-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の系統図（その 5）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の構造図 高圧炉心注水系ポンプ  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-5-3 図「高圧炉心注水系ポンプ構造図」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の構造図 高圧炉心注水系ストレーナ  
 【平成 17 年 12 月 20 日付け平成 17・12・06 原第 7 号にて認可された工事計画の第 2-3 図「高圧炉心注水系ストレーナ構造図」による。】
- ・第 4-3-1-4-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の構造図 E22-F020B,C
- ・原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系）の構造図 E22-F003B,C  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-5-4 図「主要弁構造図（その 1）」による。】

#### 4.3.2 原子炉隔離時冷却系

- ・第 4-3-2-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-2-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）

- ・第 4-3-2-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-2-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-2-1-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-3-2-1-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-3-2-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-2-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-2-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-2-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-2-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 4-3-2-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の系統図（その 2）（主蒸気系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-2-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-2-3-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の系統図（その 4）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-2-3-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の系統図（その 5）（高圧炉心注水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-2-3-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の系統図（その 6）（復水給水系）（重大事故等対処設備）
- ・原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の構造図 原子炉隔離時冷却系ポンプ（その 1）  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-4-2 図「原子炉隔離時冷却系ポンプ構造図」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の構造図 原子炉隔離時冷却系ポンプ（その 2）  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-4-3 図「原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン構造図」による。】
- ・第 4-3-2-4-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の構造図 原子炉隔離時冷却系ストレーナ



- ・第 4-3-2-4-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の構造図 E51-F017
- ・原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の構造図 E51-F004  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-4-4 図「主要弁構造図（その 1）」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系）の構造図 E51-F037  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 2-4-8 図「主要弁構造図（その 5）」による。】

#### 4.3.3 高圧代替注水系

- ・第 4-3-3-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-3-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-3-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-3-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-3-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-3-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-3-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-3-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-3-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-3-3-2-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-3-3-2-7 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 4-3-3-2-8 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 4-3-3-2-9 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 4-3-3-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系）の系統図（その 1）（主蒸気系）（重大事故等対処設備）

- ・第 4-3-3-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压代替注水系）の系統図（その 2）（原子炉隔離時冷却系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-3-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压代替注水系）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-3-3-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压代替注水系）の系統図（その 4）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-3-3-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压代替注水系）の系統図（その 5）（高压炉心注水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-3-3-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压代替注水系）の系統図（その 6）（復水給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-3-4-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压代替注水系）の構造図 高压代替注水系ポンプ

#### 4.3.4 低圧注水系

- ・第 4-3-4-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-4-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-4-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-4-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-4-1-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-3-4-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）の系統図（その 1）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-4-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）の系統図（その 2）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-4-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）の系統図（その 3）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-4-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）の系統図（その 4）（復水給水系）（重大事故等対処設備）

#### 4.3.5 低圧代替注水系

- ・第 4-3-5-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-5-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-5-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）



- ・第 4-3-5-2-11 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 4-3-5-2-12 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 4-3-5-2-13 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 13）
- ・第 4-3-5-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）の系統図（その 1）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-5-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）の系統図（その 2）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-5-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）の系統図（その 3）（高压炉心注水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-5-3-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）の系統図（その 4）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-5-3-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）の系統図（その 5）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-5-3-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）の系統図（その 6）（復水給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-5-3-7 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低压代替注水系）の系統図（その 7）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）

#### 4.3.6 水の供給設備

- ・第 4-3-6-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-6-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-6-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-6-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-6-1-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-3-6-1-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-3-6-1-7 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 4-3-6-1-8 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 4-3-6-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）

- ・第 4-3-6-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-6-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-6-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-3-6-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-3-6-2-6 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-3-6-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）の系統図（その 1）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-6-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）の系統図（その 2）（ほう酸水注入系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-6-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）の系統図（その 3）（原子炉格納容器）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-6-3-4 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）の系統図（その 4）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）

#### 4.3.7 ほう酸水注入系

- ・第 4-3-7-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-3-7-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-3-7-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-3-7-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（ほう酸水注入系）の系統図（その 1）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-3-7-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（ほう酸水注入系）の系統図（その 2）（高圧炉心注水系）（重大事故等対処設備）

#### 4.4 原子炉冷却材補給設備

##### 4.4.1 補給水系

- ・第 4-4-1-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-4-1-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-4-1-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-4-1-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）

- ・第 4-4-1-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-4-1-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-4-1-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-4-1-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-4-1-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）の系統図（設計基準対象施設）
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）の構造図 復水移送ポンプ  
 【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-3-4 図「復水移送ポンプ構造図」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材補給設備（補給水系）の構造図 復水貯蔵槽  
 【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-3-5 図「復水貯蔵槽構造図」による。】

#### 4.5 原子炉補機冷却設備

##### 4.5.1 原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系

- ・第 4-5-1-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-5-1-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-5-1-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-5-1-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-5-1-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-5-1-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-5-1-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-5-1-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-5-1-2-6 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-5-1-2-7 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）









- ・第 4-5-1-2-65 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 65）
- ・第 4-5-1-2-66 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 66）
- ・第 4-5-1-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 4-5-1-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 4-5-1-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 3）（設計基準対象施設）
- ・第 4-5-1-3-4 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 4）（設計基準対象施設）
- ・第 4-5-1-3-5 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 5）（設計基準対象施設）
- ・第 4-5-1-3-6 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 6）（設計基準対象施設）
- ・第 4-5-1-3-7 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 7）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-5-1-3-8 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 8）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-5-1-3-9 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 9）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-5-1-3-10 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 10）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-5-1-3-11 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 11）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-5-1-3-12 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の系統図（その 12）（重大事故等対処設備）
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の構造図 原子炉補機冷却水系熱交換器（その 1）  
 【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-8 図「原子炉補機冷却水系熱交換器構造図（その 1）」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の構造図 原子炉補機冷却水系熱交換器（その 2）  
 【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-9 図「原子炉補機冷却水系熱交換器構造図（その 2）」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の構造図 原子炉補機冷却水ポンプ（その 1）

【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-10 図「原子炉補機冷却水ポンプ構造図（その 1）」による。】

- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の構造図 原子炉補機冷却水ポンプ（その 2）

【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-11 図「原子炉補機冷却水ポンプ構造図（その 2）」による。】

- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の構造図 原子炉補機冷却海水ポンプ

【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-12 図「原子炉補機冷却海水ポンプ構造図」による。】

- ・第 4-5-1-4-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の構造図 原子炉補機冷却水系サージタンク
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）の構造図 原子炉補機冷却海水系ストレーナ

【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 5-2-13 図「原子炉補機冷却海水系ストレーナ構造図」による。】

#### 4.5.2 代替原子炉補機冷却系

- ・第 4-5-2-1-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-5-2-1-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-5-2-1-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-5-2-1-4 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-5-2-1-5 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 4-5-2-1-6 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-5-2-2-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 4-5-2-2-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 4-5-2-2-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 4-5-2-2-4 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 4-5-2-2-5 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）

- ・第 4-5-2-2-6 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 4-5-2-2-7 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 4-5-2-2-8 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 4-5-2-2-9 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 4-5-2-2-10 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 4-5-2-3-1 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）の系統図（その 1）（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-5-2-3-2 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）の系統図（その 2）（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-5-2-3-3 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・第 4-5-2-3-4 図 原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）の系統図（その 4）（重大事故等対処設備）

#### 4.6 原子炉冷却材浄化設備

##### 4.6.1 原子炉冷却材浄化系

- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材浄化設備（原子炉冷却材浄化系）に係る主配管の配置を明示した図面  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の第 2-2-14 図「主配管の配置の概要を明示した図面（その 4）」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材浄化設備（原子炉冷却材浄化系）の系統図  
 【平成 22 年 9 月 28 日付け総官発 22 第 233 号にて届出した工事計画の第 1 図「原子炉冷却材浄化系系統図」による。】
- ・原子炉冷却系統施設のうち原子炉冷却材浄化設備（原子炉冷却材浄化系）の構造図 G31-F017  
 【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の第 2-2-9 図「主要弁構造図（その 3）」による。】

#### 5. 計測制御系統施設

##### 5.1 制御材

- ・第 5-1-1-1 図 計測制御系統施設のうち制御材に係る機器の配置を明示した図面
- ・計測制御系統施設のうち制御材の構造図 ボロンカーバイド型制御棒  
 【平成 18 年 2 月 13 日付け平成 18・02・01 原第 4 号にて認可された工事計画の添付図面第 1 図「制御棒構造図（ボロンカーバイド型）」による。】

## 5.2 制御材駆動装置

### 5.2.1 制御棒駆動機構

- ・第 5-2-1-1-1 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動機構に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 5-2-1-1-2 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動機構に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 5-2-1-1-3 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動機構に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動機構の構造図 制御棒駆動機構

【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の添付図面第 7-3-1 図「制御棒駆動機構構造図」による。】

### 5.2.2 制御棒駆動水圧設備

#### 5.2.2.1 制御棒駆動系

- ・第 5-2-2-1-1-1 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る機器の配置を明示した図面
- ・第 5-2-2-1-2-1 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 5-2-2-1-2-2 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 5-2-2-1-2-3 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 5-2-2-1-2-4 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 5-2-2-1-2-5 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 5-2-2-1-2-6 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 5-2-2-1-2-7 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 5-2-2-1-2-8 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 5-2-2-1-3-1 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 5-2-2-1-3-2 図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）の系統図（その 2）（重大事故等対処設備）
- ・計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）の構造図 水圧制御ユニット

【平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-3図「水圧制御ユニット構造図」による。】

- ・第5-2-2-1-4-1図 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置のうち制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動系）の構造図 C12-126

### 5.3 ほう酸水注入設備

#### 5.3.1 ほう酸水注入系

- ・第5-3-1-1-1図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その1）
- ・第5-3-1-1-2図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その2）
- ・第5-3-1-1-3図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その3）
- ・第5-3-1-2-1図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）に係る主配管の配置を明示した図面（その1）
- ・第5-3-1-2-2図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）に係る主配管の配置を明示した図面（その2）
- ・第5-3-1-2-3図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）に係る主配管の配置を明示した図面（その3）
- ・第5-3-1-3-1図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の系統図（その1）（設計基準対象施設）
- ・第5-3-1-3-2図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の系統図（その2）（重大事故等対処設備）
- ・第5-3-1-3-3図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の系統図（その3）（高圧炉心注水系）（重大事故等対処設備）
- ・計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の構造図 ほう酸水注入系ポンプ

【平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画の添付図面第6-2-2図「ほう酸水注入系ポンプ構造図」による。】

- ・計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の構造図 ほう酸水注入系貯蔵タンク

【平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画の添付図面第6-2-3図「ほう酸水注入系貯蔵タンク構造図」による。】

- ・第5-3-1-4-1図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の構造図 C41-F014
- ・第5-3-1-4-2図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の構造図 C41-F003A
- ・第5-3-1-4-3図 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の構造図 C41-F003B

- ・計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）の構造図 C41-F007, F008

【平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画の添付図面第6-2-4図「主要弁構造図」による。】

#### 5.4 計測装置

- ・第5-4-1-1図 計測制御系統施設のうち計測装置の系統図（その1）
- ・第5-4-1-2図 計測制御系統施設のうち計測装置の系統図（その2）
- ・第5-4-1-3図 計測制御系統施設のうち計測装置の系統図（その3）
- ・第5-4-2-1図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その1）
- ・第5-4-2-2図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その2）
- ・第5-4-2-3図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その3）
- ・第5-4-2-4図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その4）
- ・第5-4-2-5図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その5）
- ・第5-4-2-6図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その6）
- ・第5-4-2-7図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その7）
- ・第5-4-2-8図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その8）
- ・第5-4-2-9図 計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その9）
- ・計測制御系統施設のうち計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その10）

【平成5年6月17日付け4資庁第14561号にて認可された工事計画の添付図面第7-4-2図「核計装検出器炉心内配置図」による。】

#### 5.5 工学的安全施設等の起動信号

- ・第5-5-1図 計測制御系統施設のうち工学的安全施設等の起動（作動）信号の起動（作動）回路の説明図（その1）
- ・第5-5-2図 計測制御系統施設のうち工学的安全施設等の起動（作動）信号の起動（作動）回路の説明図（その2）
- ・第5-5-3図 計測制御系統施設のうち工学的安全施設等の起動（作動）信号の起動（作動）回路の説明図（その3）
- ・第5-5-4図 計測制御系統施設のうち工学的安全施設等の起動（作動）信号の起動（作動）回路の説明図（その4）

#### 5.6 制御用空気設備

### 5.6.1 高圧窒素ガス供給系

- ・第 5-6-1-1-1 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る機器の配置を明示した図面
- ・第 5-6-1-2-1 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 5-6-1-2-2 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 5-6-1-2-3 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 5-6-1-2-4 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 5-6-1-2-5 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 5-6-1-2-6 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 5-6-1-2-7 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 5-6-1-2-8 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 5-6-1-2-9 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 5-6-1-2-10 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 5-6-1-2-11 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 5-6-1-2-12 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 5-6-1-3-1 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）の系統図（設計基準対象施設）
- ・第 5-6-1-4-1 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高圧窒素ガス供給系）の構造図 P54-F023A, B

### 5.6.2 逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備

- ・第 5-6-2-1-1 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 5-6-2-1-2 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 5-6-2-2-1 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）



- ・第 5-6-2-2-2 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 5-6-2-3-1 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）の系統図（その 1）（高圧窒素ガス供給系）（重大事故等対処設備）
- ・第 5-6-2-3-2 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）の系統図（その 2）（主蒸気系）（重大事故等対処設備）
- ・第 5-6-2-3-3 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・第 5-6-2-4-1 図 計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）の構造図 高圧窒素ガスボンベ

## 6. 放射性廃棄物の廃棄施設

### 6.1 気体，液体又は固体廃棄物処理設備

#### 6.1.1 排気筒

- ・第 6-1-1-1-1 図 放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体，液体又は固体廃棄物処理設備（排気筒）の排気筒の設置場所を明示した図面
- ・放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体，液体又は固体廃棄物処理設備（排気筒）の構造図 主排気筒（その 1）  
【平成 20 年 8 月 25 日付け総官発 20 第 179 号にて届出した工事計画書の添付図面第 1-1 図「排気筒構造図（その 1）」による。】
- ・放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体，液体又は固体廃棄物処理設備（排気筒）の構造図 主排気筒（その 2）  
【平成 20 年 8 月 25 日付け総官発 20 第 179 号にて届出した工事計画書の添付図面第 1-2 図「排気筒構造図（その 2）」による。】
- ・放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体，液体又は固体廃棄物処理設備（排気筒）の排気筒の基礎の状況を明示した図面  
【平成 20 年 8 月 25 日付け総官発 20 第 179 号にて届出した工事計画書の添付図面第 1-4 図「排気筒の基礎の状況を明示した図面」による。】

#### 6.2 堰その他の設備

- ・第 6-2-1-1 図 放射性廃棄物の廃棄施設のうち堰その他の設備に係る機器の配置を明示した図面

## 7. 放射線管理施設

### 7.1 放射線管理用計測装置

- ・第 7-1-1-1 図 放射線管理施設のうち放射線管理用計測装置の系統図（その 1）
- ・第 7-1-1-2 図 放射線管理施設のうち放射線管理用計測装置の系統図（その 2）
- ・第 7-1-2-1 図 放射線管理施設のうち放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 1）
- ・第 7-1-2-2 図 放射線管理施設のうち放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 2）

- ・第 7-1-2-3 図 放射線管理施設のうち放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 3）
- ・第 7-1-2-4 図 放射線管理施設のうち放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 4）
- ・第 7-1-2-5 図 放射線管理施設のうち放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 5）
- ・第 7-1-2-6 図 放射線管理施設のうち放射線管理用計測装置の検出器の取付箇所を明示した図面（その 6）

## 7.2 換気設備

### 7.2.1 中央制御室換気空調系

#### 7.2.1.1 中央制御室換気空調系

- ・第 7-2-1-1-1-1 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 7-2-1-1-1-2 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 7-2-1-1-2-1 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 7-2-1-1-2-2 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 7-2-1-1-2-3 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 7-2-1-1-3-1 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）の系統図（設計基準対象施設）
- ・第 7-2-1-1-4-1 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）の構造図 中央制御室送風機
- ・第 7-2-1-1-4-2 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）の構造図 中央制御室再循環送風機
- ・第 7-2-1-1-4-3 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）の構造図 中央制御室排風機
- ・第 7-2-1-1-4-4 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室換気空調系）の構造図 中央制御室再循環フィルタ装置

#### 7.2.1.2 中央制御室陽圧化換気空調系

- ・第 7-2-1-2-1-1 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室陽圧化換気空調系）に係る機器の配置を明示した図面
- ・第 7-2-1-2-2-1 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室陽圧化換気空調系）の系統図（重大事故等対処設備）

#### 7.2.1.3 中央制御室待避室陽圧化換気空調系

- ・第 7-2-1-3-1-1 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室待避室陽圧化換気空調系）に係る機器の配置を明示した図面

- ・第 7-2-1-3-3-1 図 放射線管理施設のうち換気設備のうち中央制御室換気空調系（中央制御室待避室陽圧化換気空調系）の系統図（重大事故等対処設備）

#### 7.2.2 緊急時対策所換気空調系

- ・第 7-2-2-1-1 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 7-2-2-1-2 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 7-2-2-1-3 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 7-2-2-1-4 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 7-2-2-3-1 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 1）（重大事故等対処設備）
- ・第 7-2-2-3-2 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 2）（重大事故等対処設備）
- ・第 7-2-2-3-3 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・第 7-2-2-3-4 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 4）（重大事故等対処設備）
- ・第 7-2-2-3-5 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 5）（重大事故等対処設備）
- ・第 7-2-2-3-6 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 6）（重大事故等対処設備）
- ・第 7-2-2-3-7 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 7）（重大事故等対処設備）
- ・第 7-2-2-3-8 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 8）（重大事故等対処設備）
- ・第 7-2-2-3-9 図 放射線管理施設のうち換気設備（緊急時対策所換気空調系）の系統図（その 9）（重大事故等対処設備）

#### 7.3 生体遮蔽装置

- ・第 7-3-1-1 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置に係る機器の配置を明示した図面
- ・第 7-3-2-1 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 1）
- ・第 7-3-2-2 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 2）
- ・第 7-3-2-3 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 3）
- ・第 7-3-2-4 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 4）

- ・第 7-3-2-5 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 5）
  - ・第 7-3-2-6 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 6）
  - ・第 7-3-2-7 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 7）
  - ・第 7-3-2-8 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 8）
  - ・第 7-3-2-9 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 9）
  - ・第 7-3-2-10 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 10）
  - ・第 7-3-2-11 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 二次遮蔽壁・補助遮蔽（その 11）
  - ・第 7-3-2-12 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 補助遮蔽（タービン建屋）（その 1）
  - ・第 7-3-2-13 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 補助遮蔽（タービン建屋）（その 2）
  - ・第 7-3-2-14 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 補助遮蔽（タービン建屋）（その 3）
  - ・第 7-3-2-15 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 補助遮蔽（タービン建屋）（その 4）
  - ・第 7-3-2-16 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 補助遮蔽（タービン建屋）（その 5）
  - ・第 7-3-2-17 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 補助遮蔽（タービン建屋）（その 6）
  - ・第 7-3-2-18 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 補助遮蔽（タービン建屋）（その 7）
  - ・第 7-3-2-19 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 補助遮蔽（タービン建屋）（その 8）
  - ・第 7-3-2-20 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 フィルタベント遮蔽壁（その 1）
  - ・第 7-3-2-21 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 フィルタベント遮蔽壁（その 2）
  - ・第 7-3-2-22 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 配管遮蔽（その 1）
  - ・第 7-3-2-23 図 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置の構造図 配管遮蔽（その 2）
8. 原子炉格納施設
- 8.1 原子炉格納容器
- ・第 8-1-1-1 図 原子炉格納施設のうち原子炉格納容器に係る機器の配置を明示した図面

- (その1)
- ・第8-1-1-2 図 原子炉格納施設のうち原子炉格納容器に係る機器の配置を明示した図面  
(その2)
- ・第8-1-1-3 図 原子炉格納施設のうち原子炉格納容器に係る機器の配置を明示した図面  
(その3)
- ・第8-1-1-4 図 原子炉格納施設のうち原子炉格納容器に係る機器の配置を明示した図面  
(その4)
- ・第8-1-1-5 図 原子炉格納施設のうち原子炉格納容器に係る機器の配置を明示した図面  
(その5)
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 原子炉格納容器 (その1)  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-1  
図「原子炉格納容器全体構造図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 原子炉格納容器 (その2)  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-4-1  
図「下部ドライウェルアクセストンネル構造図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 原子炉格納容器 (その3)  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-2  
図「原子炉格納容器展開図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 原子炉格納容器 (その4)  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-3  
図「原子炉格納容器配筋図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 原子炉格納容器 (その5)  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-4  
図「原子炉格納容器ライナ構造図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 原子炉格納容器 (その6)  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-5  
図「ドライウェル主フランジ構造図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 上部ドライウェル機器搬入用ハッチ  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-7  
図「上部ドライウェル機器搬入用ハッチ構造図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 下部ドライウェル機器搬入用ハッチ  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-9  
図「下部ドライウェルアクセストンネルスリーブ及び鏡板(機器搬入用ハッチ付)構造  
図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 サプレッションチェンバ出入口  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-10  
図「サプレッションチェンバ出入口構造図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 上部ドライウェル所員用エアロック

【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-6図「上部ドライウェル所員用エアロック構造図」による。】

- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 下部ドライウェル所員用エアロック  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-1-8図「下部ドライウェルアクセストンネルスリーブ及び鏡板（所員用エアロック付）構造図」による。】
- ・第8-1-2-1図 原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部一覧表
- ・第8-1-2-2図 原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 配管貫通部（その1）
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 配管貫通部（その2）  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-2-2図「配管貫通部構造図（その2）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 配管貫通部（その3）  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-2-3図「配管貫通部構造図（その3）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 配管貫通部（その4）  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-2-4図「配管貫通部構造図（その4）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉格納容器の構造図 電気配線貫通部（その1）  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第6-2-5図「電気配線貫通部構造図（その1）」による。】

## 8.2 原子炉建屋

- ・第8-2-1-1図 原子炉格納施設のうち原子炉建屋に係る機器の配置を明示した図面（その1）
- ・第8-2-1-2図 原子炉格納施設のうち原子炉建屋に係る機器の配置を明示した図面（その2）
- ・第8-2-1-3図 原子炉格納施設のうち原子炉建屋に係る機器の配置を明示した図面（その3）
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉格納容器底部鉄筋コンクリートマット  
【平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の添付図面第5-1図「原子炉格納容器底部鉄筋コンクリートマット構造図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉建屋伏図（その1）  
【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-1図「原子炉建屋伏図（その1）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉建屋伏図（その2）  
【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-2図「原子炉建屋伏図（その2）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉建屋断面図

- 【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-3図「原子炉建屋断面図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 矩計図

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-4図「矩計図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 壁断面リスト

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-5図「壁断面リスト」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 大ばり断面リスト（その1）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-6図「大ばり断面リスト（その1）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 大ばり断面リスト（その2）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-7図「大ばり断面リスト（その2）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 柱断面リスト（その1）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-8図「柱断面リスト（その1）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 柱断面リスト（その2）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-9図「柱断面リスト（その2）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 フレーム配筋（その1）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-10図「フレーム配筋詳細図（その1）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 フレーム配筋（その2）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-11図「フレーム配筋詳細図（その2）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 フレーム配筋（その3）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-12図「フレーム配筋詳細図（その3）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 床スラブ，小ばり断面リスト

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-13図「床スラブ，小ばり断面リスト」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 鉄骨（その1）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-14図「鉄骨詳細図（その1）」による。】
- ・原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 鉄骨（その2）

【平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画の添付図面第8-1-15図「鉄骨詳細図（その2）」による。】
- ・第8-2-2-1図 原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉建屋機器搬出入口

- ・第 8-2-2-2 図 原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉建屋エアロック（その 1）
  - ・第 8-2-2-3 図 原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉建屋エアロック（その 2）
  - ・第 8-2-2-4 図 原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉建屋エアロック（その 3）
  - ・第 8-2-2-5 図 原子炉格納施設のうち原子炉建屋の構造図 原子炉建屋エアロック（その 4）
- 8.3 圧力低減設備その他の安全設備
- 8.3.1 真空破壊装置
- ・第 8-3-1-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（真空破壊装置）に係る機器の配置を明示した図面
  - ・原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（真空破壊装置）の構造図 真空破壊弁  
【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 6-3-1 図「真空破壊弁構造図」による。】
- 8.3.2 ダイヤフラムフロア
- ・第 8-3-2-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（ダイヤフラムフロア）に係る機器の配置を明示した図面
  - ・原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（ダイヤフラムフロア）の構造図  
ダイヤフラムフロア  
【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 6-3-2 図「ダイヤフラムフロア構造図」による。】
- 8.3.3 ベント管
- ・第 8-3-3-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（ベント管）に係る機器の配置を明示した図面
  - ・原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（ベント管）の構造図 ベント管  
【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 6-3-3 図「ベント管構造図」による。】
- 8.3.4 原子炉格納容器安全設備
- 8.3.4.1 格納容器スプレイ冷却系
- ・第 8-3-4-1-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
  - ・第 8-3-4-1-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）



- ・第 8-3-4-1-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-4-1-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）  
【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 6-3-4 図「ドライウェルスプレイ管構造図」による。】
- ・原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）  
【平成 4 年 3 月 27 日付け 3 資庁第 13033 号にて認可された工事計画の添付図面第 6-3-5 図「サプレッションチェンバースプレイ管構造図」による。】
- ・第 8-3-4-1-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 1）（残留熱除去系）（設計基準対象施設）
- ・第 8-3-4-1-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 2）（残留熱除去系）（設計基準対象施設）
- ・第 8-3-4-1-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 3）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-1-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 4）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.4.2 サプレッションチェンバプール水冷却系

- ・第 8-3-4-2-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サプレッションチェンバプール水冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-4-2-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サプレッションチェンバプール水冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-4-2-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サプレッションチェンバプール水冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-4-2-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サプレッションチェンバプール水冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）

- ・第 8-3-4-2-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サブプレッションチェンバプール水冷却系）の系統図（その1）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-2-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サブプレッションチェンバプール水冷却系）の系統図（その2）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-2-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サブプレッションチェンバプール水冷却系）の系統図（その3）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.4.3 格納容器下部注水系

- ・第 8-3-4-3-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その1）
- ・第 8-3-4-3-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その2）
- ・第 8-3-4-3-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その3）
- ・第 8-3-4-3-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その4）
- ・第 8-3-4-3-1-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その5）
- ・第 8-3-4-3-1-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その6）
- ・第 8-3-4-3-1-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その7）
- ・第 8-3-4-3-1-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その8）
- ・第 8-3-4-3-1-9 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その9）

- ・ 第 8-3-4-3-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・ 第 8-3-4-3-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・ 第 8-3-4-3-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・ 第 8-3-4-3-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・ 第 8-3-4-3-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）の系統図（その 1）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・ 第 8-3-4-3-3-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）の系統図（その 2）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・ 第 8-3-4-3-3-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）の系統図（その 3）（高圧炉心注水系）（重大事故等対処設備）
- ・ 第 8-3-4-3-3-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）の系統図（その 4）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.4.4 代替格納容器スプレイ冷却系

- ・ 第 8-3-4-4-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・ 第 8-3-4-4-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・ 第 8-3-4-4-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・ 第 8-3-4-4-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）

- ・第 8-3-4-4-1-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 8-3-4-4-1-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 8-3-4-4-1-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 8-3-4-4-1-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 8-3-4-4-1-9 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 8-3-4-4-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 1）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-4-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 2）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-4-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 3）（高圧炉心注水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-4-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 4）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-4-2-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）の系統図（その 5）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.4.5 原子炉建屋放水設備

- ・第 8-3-4-5-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-4-5-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）

- ・第 8-3-4-5-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-4-5-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）の系統図（重大事故等対処設備）

#### 8.3.4.6 代替循環冷却系

- ・第 8-3-4-6-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-4-6-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-4-6-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-4-6-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-4-6-1-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 8-3-4-6-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-4-6-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-4-6-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）の系統図（その 1）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-6-3-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）の系統図（その 2）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-6-3-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）の系統図（その 3）（高圧炉心注水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-6-3-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）の系統図（その 4）（補給水系）（重大事故等対処設備）

- ・第 8-3-4-6-3-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）の系統図（その 5）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-6-3-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）の系統図（その 6）（復水給水系）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.4.7 高压代替注水系

- ・第 8-3-4-7-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-4-7-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-4-7-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-4-7-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-4-7-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）の系統図（その 1）（主蒸気系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-7-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）の系統図（その 2）（原子炉隔離時冷却系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-7-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-7-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）の系統図（その 4）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-7-2-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）の系統図（その 5）（高压炉心注水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-7-2-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高压代替注水系）の系統図（その 6）（復水給水系）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.4.8 低压代替注水系

- ・第 8-3-4-8-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-4-8-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-4-8-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-4-8-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-4-8-1-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 8-3-4-8-1-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 8-3-4-8-1-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 8-3-4-8-1-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 8-3-4-8-1-9 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 8-3-4-8-1-10 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）に係る機器の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 8-3-4-8-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）の系統図（その 1）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-8-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）の系統図（その 2）（補給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-8-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）の系統図（その 3）（高圧炉心注水系）（重大事故等対処設備）

- ・第 8-3-4-8-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）の系統図（その 4）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-8-2-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）の系統図（その 5）（残留熱除去系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-8-2-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）の系統図（その 6）（復水給水系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-8-2-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）の系統図（その 7）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.4.9 ほう酸水注入系

- ・第 8-3-4-9-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-4-9-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-4-9-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-4-9-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）の系統図（その 1）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-4-9-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）の系統図（その 2）（高圧炉心注水系）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.5 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備

##### 8.3.5.1 非常用ガス処理系

- ・第 8-3-5-1-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-5-1-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-5-1-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）



- ・第 8-3-5-1-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-5-1-1-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 8-3-5-1-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-5-1-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-5-1-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-5-1-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-5-1-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 8-3-5-1-3-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の系統図（その 2）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-5-1-4-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の構造図 非常用ガス処理系乾燥装置
- ・第 8-3-5-1-4-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の構造図 非常用ガス処理系排風機
- ・第 8-3-5-1-4-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の構造図 非常用ガス処理系フィルタ装置

#### 8.3.5.2 可燃性ガス濃度制御系

- ・第 8-3-5-2-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）

- ・ 第 8-3-5-2-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・ 第 8-3-5-2-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・ 第 8-3-5-2-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・ 第 8-3-5-2-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・ 第 8-3-5-2-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・ 第 8-3-5-2-2-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・ 第 8-3-5-2-2-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・ 第 8-3-5-2-2-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・ 第 8-3-5-2-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）の系統図（設計基準対象施設）
- ・ 第 8-3-5-2-4-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）の構造図 T49-F015
- ・ 第 8-3-5-2-4-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）の構造図 可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ
- ・ 第 8-3-5-2-4-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）の構造図 可燃性ガス濃度制御系再結合装置

### 8.3.5.3 水素濃度抑制系

- ・第 8-3-5-3-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（水素濃度抑制系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-5-3-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（水素濃度抑制系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-5-3-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（水素濃度抑制系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-5-3-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（水素濃度抑制系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-5-3-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（水素濃度抑制系）の構造図 静的触媒式水素再結合器

#### 8.3.5.4 耐圧強化ベント系

- ・第 8-3-5-4-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-5-4-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-5-4-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-5-4-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-5-4-1-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 8-3-5-4-1-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 8-3-5-4-1-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）

- ・ 第 8-3-5-4-1-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）
- ・ 第 8-3-5-4-1-9 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 9）
- ・ 第 8-3-5-4-1-10 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その 10）
- ・ 第 8-3-5-4-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・ 第 8-3-5-4-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・ 第 8-3-5-4-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・ 第 8-3-5-4-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・ 第 8-3-5-4-2-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・ 第 8-3-5-4-2-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・ 第 8-3-5-4-2-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・ 第 8-3-5-4-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その 1）（不活性ガス系）（重大事故等対処設備）
- ・ 第 8-3-5-4-3-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その 2）（格納容器圧力逃がし装置）（重大事故等対処設備）

- ・第 8-3-5-4-3-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その 3）（非常用ガス処理系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-5-4-3-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その 4）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-5-4-3-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その 5）（格納容器圧力逃がし装置）（重大事故等対処設備）

#### 8.3.5.5 格納容器圧力逃がし装置

- ・第 8-3-5-5-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-5-5-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-5-5-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-5-5-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-5-5-1-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 8-3-5-5-1-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 8-3-5-5-1-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 8-3-5-5-1-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 8-3-5-5-1-9 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 9）

- ・第 8-3-5-5-1-10 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 8-3-5-5-1-11 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 8-3-5-5-1-12 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 8-3-5-5-1-13 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 13）
- ・第 8-3-5-5-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 1）（不活性ガス系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-5-5-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 2）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-5-5-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 3）（可燃性ガス濃度制御系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-5-5-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 4）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-5-5-2-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 5）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-5-5-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 ドレン移送ポンプ

### 8.3.6 原子炉格納容器調気設備

#### 8.3.6.1 不活性ガス系

- ・第 8-3-6-1-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-6-1-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）

- ・第 8-3-6-1-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-6-1-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-6-1-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）の系統図（設計基準対象施設）
- ・原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）の構造図 T31-F019, F022

【平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の添付図面第 10-2-2 図「主要弁構造図（その 1）」による。】

### 8.3.7 圧力逃がし装置

#### 8.3.7.1 格納容器圧力逃がし装置

- ・第 8-3-7-1-1-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-7-1-1-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-7-1-1-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-7-1-1-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-7-1-1-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 8-3-7-1-1-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 8-3-7-1-1-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 8-3-7-1-1-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）

- ・第 8-3-7-1-1-9 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 8-3-7-1-1-10 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 8-3-7-1-1-11 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 8-3-7-1-1-12 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 8-3-7-1-1-13 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その 13）
- ・第 8-3-7-1-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 8-3-7-1-2-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 8-3-7-1-2-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 8-3-7-1-2-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 8-3-7-1-2-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 8-3-7-1-2-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 8-3-7-1-2-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 8-3-7-1-2-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）



- ・第 8-3-7-1-2-9 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 8-3-7-1-2-10 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 8-3-7-1-2-11 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 8-3-7-1-2-12 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 8-3-7-1-2-13 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 13）
- ・第 8-3-7-1-2-14 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 14）
- ・第 8-3-7-1-2-15 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 15）
- ・第 8-3-7-1-2-16 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 16）
- ・第 8-3-7-1-2-17 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その 17）
- ・第 8-3-7-1-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 1）（不活性ガス系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-7-1-3-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 2）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-7-1-3-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 3）（可燃性ガス濃度制御系）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-7-1-3-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 4）（重大事故等対処設備）

- ・第 8-3-7-1-3-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その 5）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）
- ・第 8-3-7-1-4-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 ドレンタンク
- ・第 8-3-7-1-4-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 遠隔空気駆動弁操作用ポンペ
- ・第 8-3-7-1-4-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 T31-F070
- ・第 8-3-7-1-4-4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 T31-F072
- ・第 8-3-7-1-4-5 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 T61-F001
- ・第 8-3-7-1-4-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 ラプチャーディスク
- ・第 8-3-7-1-4-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 フィルタ装置
- ・第 8-3-7-1-4-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 よう素フィルタ

## 9. その他発電用原子炉の附属施設

### 9.1 非常用電源設備

#### 9.1.1 非常用発電装置

##### 9.1.1.1 非常用ディーゼル発電設備

- ・第 9-1-1-1-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-1-1-1-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-1-1-1-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-1-1-1-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-1-1-1-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）

- ・第 9-1-1-1-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-1-1-1-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-1-1-1-2-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-1-1-1-2-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 9-1-1-1-2-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 9-1-1-1-2-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 9-1-1-1-2-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 9-1-1-1-2-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 9-1-1-1-2-10 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 9-1-1-1-2-11 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 9-1-1-1-2-12 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 9-1-1-1-3-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 9-1-1-1-3-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の系統図（その 2）（燃料移送系）（設計基準対象施設）

- ・第 9-1-1-1-3-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の系統図（その 3）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-1-3-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の系統図（その 4）（燃料移送系）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-1-4-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 ディーゼル機関
- ・その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 空気だめ  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の第 9-1-3 図「非常用ディーゼル発電設備空気だめ構造図」による。】
- ・その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 空気だめの安全弁  
 【平成 5 年 6 月 17 日付け 4 資庁第 14561 号にて認可された工事計画の第 9-1-4 図「非常用ディーゼル発電設備空気だめの安全弁構造図」による。】
- ・第 9-1-1-1-4-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 空気圧縮機
- ・第 9-1-1-1-4-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 燃料ディタンク
- ・第 9-1-1-1-4-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 燃料移送ポンプ
- ・第 9-1-1-1-4-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 発電機
- ・第 9-1-1-1-4-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 励磁装置
- ・第 9-1-1-1-4-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）の構造図 保護継電装置

9.1.1.2 代替交流電源設備

- ・第 9-1-1-2-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-1-1-2-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-1-1-2-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-1-1-2-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）

- ・第 9-1-1-2-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）の系統図（その 1）（軽油タンク）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-2-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）の系統図（その 2）（軽油タンク）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-2-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）の系統図（その 3）（第一ガスタービン発電設備燃料移送系）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-2-2-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）の系統図（その 4）（第一ガスタービン発電設備燃料移送系）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-2-2-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）の系統図（その 5）（緊急安全対策資機材系）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-2-2-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）の系統図（その 6）（緊急安全対策資機材系）（重大事故等対処設備）

#### 9.1.1.3 緊急時対策所代替電源設備

- ・第 9-1-1-3-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-1-1-3-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-1-1-3-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-1-1-3-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-1-1-3-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）の系統図（その 1）（軽油タンク）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-3-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）の系統図（その 2）（軽油タンク）（重大事故等対処設備）

- ・第 9-1-1-3-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（緊急時対策所代替電源設備）の系統図（その 3）（緊急安全対策資機材系）（重大事故等対処設備）

#### 9.1.1.4 監視測定設備用電源設備

- ・第 9-1-1-4-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（監視測定設備用電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-1-1-4-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（監視測定設備用電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-1-1-4-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（監視測定設備用電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-1-1-4-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（監視測定設備用電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-1-1-4-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（監視測定設備用電源設備）の系統図（その 1）（軽油タンク）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-4-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（監視測定設備用電源設備）の系統図（その 2）（軽油タンク）（重大事故等対処設備）
- ・第 9-1-1-4-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（監視測定設備用電源設備）の系統図（その 3）（緊急安全対策資機材系）（重大事故等対処設備）

#### 9.1.1.5 可搬型窒素供給装置用電源設備

- ・第 9-1-1-5-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（可搬型窒素供給装置用電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-1-1-5-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（可搬型窒素供給装置用電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-1-1-5-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうち非常用発電装置（可搬型窒素供給装置用電源設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）

#### 9.1.2 その他の電源装置

- ・第 9-1-2-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-1-2-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-1-2-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置に係る機器の配置を明示した図面（その 3）

- ・第 9-1-2-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-1-2-1-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 9-1-2-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置の構造図 AM 用直流 125V 充電器
- ・第 9-1-2-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置の構造図 直流 125V 蓄電池（その 1）
- ・第 9-1-2-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置の構造図 直流 125V 蓄電池（その 2）
- ・第 9-1-2-2-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置の構造図 直流 125V 蓄電池（その 3）
- ・第 9-1-2-2-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置の構造図 直流 125V 蓄電池（その 4）
- ・第 9-1-2-2-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置の構造図 AM 用直流 125V 蓄電池
- ・第 9-1-2-2-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備のうちその他の電源装置の構造図 逃がし安全弁用可搬型蓄電池

## 9.2 常用電源設備

- ・第 9-2-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-2-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-2-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-2-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち常用電源設備に係る機器の配置を明示した図面（その 4）

## 9.3 火災防護設備

### 9.3.1 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・第 9-3-1-1-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（原子炉建屋）（その 1）
- ・第 9-3-1-1-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（原子炉建屋）（その 2）
- ・第 9-3-1-1-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（原子炉建屋）（その 3）

- ・第 9-3-1-1-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（原子炉建屋）（その 4）
- ・第 9-3-1-1-1-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（原子炉建屋）（その 5）
- ・第 9-3-1-1-1-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（原子炉建屋）（その 6）
- ・第 9-3-1-1-1-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（原子炉建屋）（その 7）
- ・第 9-3-1-1-1-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（原子炉建屋）（その 8）
- ・第 9-3-1-1-1-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（タービン建屋）（その 1）
- ・第 9-3-1-1-1-10 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（タービン建屋）（その 2）
- ・第 9-3-1-1-1-11 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（タービン建屋）（その 3）
- ・第 9-3-1-1-1-12 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（タービン建屋）（その 4）
- ・第 9-3-1-1-1-13 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（タービン建屋）（その 5）
- ・第 9-3-1-1-1-14 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（タービン建屋）（その 6）
- ・第 9-3-1-1-1-15 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（タービン建屋）（その 7）
- ・第 9-3-1-1-1-16 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（タービン建屋）（その 8）



- ・第 9-3-1-1-1-17 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（コントロール建屋）（その 1）
- ・第 9-3-1-1-1-18 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（コントロール建屋）（その 2）
- ・第 9-3-1-1-1-19 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（コントロール建屋）（その 3）
- ・第 9-3-1-1-1-20 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（コントロール建屋）（その 4）
- ・第 9-3-1-1-1-21 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（廃棄物処理建屋）（その 1）
- ・第 9-3-1-1-1-22 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（廃棄物処理建屋）（その 2）
- ・第 9-3-1-1-1-23 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（廃棄物処理建屋）（その 3）
- ・第 9-3-1-1-1-24 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（5 号機原子炉建屋内緊急時対策所）（その 1）
- ・第 9-3-1-1-1-25 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（5 号機原子炉建屋内緊急時対策所）（その 2）
- ・第 9-3-1-1-1-26 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（5 号機原子炉建屋内緊急時対策所）（その 3）
- ・第 9-3-1-1-1-27 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（5 号機原子炉建屋内緊急時対策所）（その 4）
- ・第 9-3-1-1-1-28 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（5 号機原子炉建屋内緊急時対策所）（その 5）
- ・第 9-3-1-1-1-29 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（トレンチエリア）（その 1）

- ・第 9-3-1-1-1-30 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（トレンチエリア）（その 2）
- ・第 9-3-1-1-1-31 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（トレンチエリア）（その 3）
- ・第 9-3-1-1-1-32 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（トレンチエリア）（その 4）

### 9.3.2 消火設備

- ・第 9-3-2-1-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-1-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-1-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-3-2-1-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（二酸化炭素消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-1-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（二酸化炭素消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-1-3-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-1-3-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-1-3-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-3-2-1-3-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-3-2-1-3-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 9-3-2-1-3-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 9-3-2-1-3-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 9-3-2-1-3-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 9-3-2-1-3-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 9）









- ・第 9-3-2-1-3-86 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 86）
- ・第 9-3-2-1-3-87 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 87）
- ・第 9-3-2-1-3-88 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 88）
- ・第 9-3-2-1-3-89 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 89）
- ・第 9-3-2-1-4-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-1-4-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-1-4-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-3-2-1-4-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-3-2-1-5-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-1-5-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-1-5-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-3-2-1-5-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-3-2-1-5-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 9-3-2-1-6-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-1-6-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-1-6-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-3-2-1-6-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-3-2-1-6-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 9-3-2-1-6-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）





- ・第 9-3-2-1-6-26 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 26）
- ・第 9-3-2-1-6-27 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 27）
- ・第 9-3-2-1-6-28 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 28）
- ・第 9-3-2-1-6-29 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 29）
- ・第 9-3-2-1-6-30 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 30）
- ・第 9-3-2-1-6-31 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 31）
- ・第 9-3-2-1-6-32 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 32）
- ・第 9-3-2-1-7-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-1-7-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-1-7-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-3-2-1-7-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-3-2-1-7-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 9-3-2-1-7-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 9-3-2-1-7-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 9-3-2-1-8-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（5 号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その 1）

- ・ 第 9-3-2-1-8-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（5号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備）に係る機器の配置を明示した図面（その2）
- ・ 第 9-3-2-2-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その1）
- ・ 第 9-3-2-2-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その2）
- ・ 第 9-3-2-2-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その3）
- ・ 第 9-3-2-2-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その4）
- ・ 第 9-3-2-2-1-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その5）
- ・ 第 9-3-2-2-1-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その6）
- ・ 第 9-3-2-2-1-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その7）
- ・ 第 9-3-2-2-1-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その8）
- ・ 第 9-3-2-2-1-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その9）
- ・ 第 9-3-2-2-1-10 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その10）
- ・ 第 9-3-2-2-1-11 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その11）
- ・ 第 9-3-2-2-1-12 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その12）
- ・ 第 9-3-2-2-1-13 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その13）
- ・ 第 9-3-2-2-1-14 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その14）
- ・ 第 9-3-2-2-1-15 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その15）
- ・ 第 9-3-2-2-1-16 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その16）
- ・ 第 9-3-2-2-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（二酸化炭素消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その1）
- ・ 第 9-3-2-2-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（二酸化炭素消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その2）



















- ・第 9-3-2-2-3-149 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 149）
- ・第 9-3-2-2-3-150 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 150）
- ・第 9-3-2-2-3-151 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 151）
- ・第 9-3-2-2-3-152 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 152）
- ・第 9-3-2-2-3-153 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 153）
- ・第 9-3-2-2-3-154 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 154）
- ・第 9-3-2-2-3-155 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 155）
- ・第 9-3-2-2-4-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-2-4-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-2-4-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-3-2-2-4-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-3-2-2-4-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 9-3-2-2-4-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）
- ・第 9-3-2-2-5-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-2-5-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-2-5-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）









- ・第 9-3-2-2-6-75 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 75）
- ・第 9-3-2-2-6-76 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 76）
- ・第 9-3-2-2-6-77 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 77）
- ・第 9-3-2-2-6-78 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 78）
- ・第 9-3-2-2-6-79 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 79）
- ・第 9-3-2-2-6-80 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 80）
- ・第 9-3-2-2-6-81 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 81）
- ・第 9-3-2-2-6-82 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 82）
- ・第 9-3-2-2-6-83 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 83）
- ・第 9-3-2-2-6-84 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 84）
- ・第 9-3-2-2-7-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 1）
- ・第 9-3-2-2-7-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 2）
- ・第 9-3-2-2-7-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 3）
- ・第 9-3-2-2-7-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 4）
- ・第 9-3-2-2-7-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 5）
- ・第 9-3-2-2-7-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 6）



- ・第 9-3-2-2-7-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 7）
- ・第 9-3-2-2-7-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 8）
- ・第 9-3-2-2-7-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 9）
- ・第 9-3-2-2-7-10 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 10）
- ・第 9-3-2-2-7-11 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 11）
- ・第 9-3-2-2-7-12 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 12）
- ・第 9-3-2-2-7-13 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 13）
- ・第 9-3-2-2-7-14 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 14）
- ・第 9-3-2-2-7-15 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 15）
- ・第 9-3-2-2-7-16 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 16）
- ・第 9-3-2-2-7-17 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 17）
- ・第 9-3-2-2-7-18 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 18）
- ・第 9-3-2-2-7-19 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 19）

- ・第 9-3-2-2-7-20 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 20）
- ・第 9-3-2-2-7-21 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 21）
- ・第 9-3-2-2-7-22 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 22）
- ・第 9-3-2-2-7-23 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 23）
- ・第 9-3-2-2-7-24 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 24）
- ・第 9-3-2-2-7-25 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 25）
- ・第 9-3-2-2-7-26 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 26）
- ・第 9-3-2-2-7-27 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 27）
- ・第 9-3-2-2-7-28 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 28）
- ・第 9-3-2-2-7-29 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 29）
- ・第 9-3-2-2-7-30 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 30）
- ・第 9-3-2-2-7-31 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 31）
- ・第 9-3-2-2-7-32 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 32）

- ・第 9-3-2-2-7-33 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 33）
- ・第 9-3-2-2-7-34 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 34）
- ・第 9-3-2-2-7-35 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 35）
- ・第 9-3-2-2-7-36 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 36）
- ・第 9-3-2-2-7-37 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 37）
- ・第 9-3-2-2-7-38 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 38）
- ・第 9-3-2-2-7-39 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 39）
- ・第 9-3-2-2-7-40 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 40）
- ・第 9-3-2-2-7-41 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 41）
- ・第 9-3-2-2-7-42 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 42）
- ・第 9-3-2-2-7-43 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 43）
- ・第 9-3-2-2-7-44 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 44）
- ・第 9-3-2-2-7-45 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 45）

- ・第 9-3-2-2-7-46 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 46）
- ・第 9-3-2-2-7-47 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 47）
- ・第 9-3-2-2-7-48 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 48）
- ・第 9-3-2-2-7-49 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）に係る主配管の配置を明示した図面（その 49）
- ・第 9-3-2-3-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（水系消火設備）の系統図（その 3）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（二酸化炭素消火設備）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（二酸化炭素消火設備）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 3）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 4）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 5）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 6）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 7）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 8）（設計基準対象施設）











- ・第 9-3-2-3-3-85 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 85）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-86 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 86）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-87 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 87）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-88 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 88）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-89 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 89）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-90 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 90）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-91 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 91）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-3-92 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の系統図（その 92）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-4-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-4-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-4-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）の系統図（その 3）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-4-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）の系統図（その 4）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-5-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-5-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-5-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）の系統図（その 3）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-6-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-6-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-6-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の系統図（その 3）（設計基準対象施設）
- ・第 9-3-2-3-6-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の系統図（その 4）（設計基準対象施設）





- ・ 第 9-3-2-3-7-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の系統図（その 3）（設計基準対象  
施設）
- ・ 第 9-3-2-3-7-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の系統図（その 4）（設計基準対象  
施設）
- ・ 第 9-3-2-3-7-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の系統図（その 5）（設計基準対象  
施設）
- ・ 第 9-3-2-3-7-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の系統図（その 6）（設計基準対象  
施設）
- ・ 第 9-3-2-3-7-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の系統図（その 7）（設計基準対象  
施設）
- ・ 第 9-3-2-3-8-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（5号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備）の系統図（その 1）（設計基準対象施設）
- ・ 第 9-3-2-3-8-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（5号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備）の系統図（その 2）（設計基準対象施設）
- ・ 第 9-3-2-4-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（二酸化炭素消火設備）の構造図   
用二酸化炭素ポンベ
- ・ 第 9-3-2-4-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（二酸化炭素消火設備）の構造図 用二酸化炭素ポン  
ベ
- ・ 第 9-3-2-4-3-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（小空間固定式消火設備）の構造図 TCW ポンプ・熱交換器室用ハロゲン化物ポンベ
- ・ 第 9-3-2-4-3-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（小空間固定式消火設備）の構造図   
用ハロゲン化物ポンベ
- ・ 第 9-3-2-4-3-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（小空間固定式消火設備）の構造図 T/A B2F ケーブル（Ⅰ）（Ⅲ）・配管トレンチ用ハ  
ロゲン化物ポンベ
- ・ 第 9-3-2-4-3-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（小空間固定式消火設備）の構造図 T/A B2F ケーブル（Ⅱ）・配管トレンチ用ハロゲ  
ン化物ポンベ
- ・ 第 9-3-2-4-3-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備  
（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハ  
ロゲン化物ポンベ

- ・第 9-3-2-4-3-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-10 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-11 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-12 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-13 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-14 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-15 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 HCU 室（西）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-16 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 HCU 室（東）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-17 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 HPAC ポンプ室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-18 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 RIP・CRD 取扱装置制御室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-19 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 CRD モータ試験室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-20 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 TIP 駆動装置現場制御盤室用ハロゲン化物ポンベ

- ・第 9-3-2-4-3-21 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 RIP-ASD(A) (B) (E) (F) (H) 室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-22 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-23 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 非管理区域入口室（R/B 1F 北）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-24 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 電気ペネ室（R/B 1F 東）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-25 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 FCS 再結合装置室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-26 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 非管理区域入口室（R/B 1F 南）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-27 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 SLC・電気ペネ室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-28 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 MSIV 搬出入用機器ハッチ室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-29 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 IA・HPIN ペネ室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-30 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-31 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-32 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 電気ペネ室（R/B 2F 北）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-33 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 電気ペネ室（R/B 2F 南）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-34 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 ASD 出力トランス(D) (J) 室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-35 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ポンベ

- ・第 9-3-2-4-3-36 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-37 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-38 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 ASD 出力トランス(A)(F)室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-39 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 SGTS 室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-40 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 北側 FMCRD 制御盤室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-41 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 DG(B)/Z 送風機室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-42 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 南側 FMCRD 制御盤室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-43 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 MS トンネル室空調機室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-44 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 配管室 (R-1-28) 用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-45 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 RIP・CRD 補修室/ケーブル室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-46 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-47 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-48 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 RIP-ASD(C)(D)(G)(J)(K)室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-49 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-50 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 A 系 HPIN 窒素ガスボンベラック・RCW(A)サージタンク室, AM バッテリー室用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-51 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-3-52 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 RIP 点検室用ハロゲン化物ボンベ

- ・第 9-3-2-4-3-53 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 B 系 HPIN 窒素ガスボンベラック・RCW(B)サージタンク室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-54 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機 HECW(A)(C)冷凍機室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-55 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機 HECW(B)(D)冷凍機室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-56 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機常用バッテリー（250V・48V）室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-57 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機 C/B 常用電気品区域送・排風機室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-58 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)送風機室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-59 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図  用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-60 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機 C/B 計測制御電源盤区域(A)送・排風機室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-61 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)排風機室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-62 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 非管理区域アクセス通路（R/B B1F）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-63 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機常用ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-64 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機区分 I ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-65 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6 号機区分 II ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベ



- ・第 9-3-2-4-3-66 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機区分Ⅲケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-67 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機ダクトスペース（C-3-7）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-68 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機中央制御室再循環フィルタ装置室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-69 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機中央制御室送・排風機室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-70 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機ケーブル処理室（C-4-2）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-71 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 パイプスペース（R-1-29）用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-72 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 R/B～C/B 区分Ⅰトレンチ用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-73 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機常用電気品室，6号機常用バッテリー（250V）室，R/B～C/B 区分Ⅱ，Ⅲ，Ⅳトレンチ用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-74 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機下部中央制御室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-75 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機プロセス計算機室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-3-76 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（小空間固定式消火設備）の構造図 6号機計算機用トランス室用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-4-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）の構造図 SLC ポンプ(A)局所消火設備用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-4-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）の構造図 SLC ポンプ(B)局所消火設備用ハロゲン化物ポンベ

- ・第 9-3-2-4-4-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）の構造図 CRD ポンプ(A)局所消火設備用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-4-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備）の構造図 CRD ポンプ(B)局所消火設備用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-5-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）の構造図 MCC 6A-2-1 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-5-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）の構造図 MCC 6B-2-1 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-5-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）の構造図 MCC 6SB-1 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-5-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）の構造図 MCC 6S 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-5-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（電源盤・制御盤消火設備）の構造図 CUW FPC F/D 盤用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-①-1 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-①-3 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-②-2 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-②-3 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-③-1 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-③-2 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-③-3 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-10 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-④-1 用ハロゲン化物ポンベ
- ・第 9-3-2-4-6-11 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-B3F-④-2 用ハロゲン化物ポンベ











- ・第 9-3-2-4-6-107 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（ケーブルトレイ消火設備）の構造図 R-3F-②-3 用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-7-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の構造図 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（NON）用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-7-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の構造図 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（区分Ⅰ）用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-7-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の構造図 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（区分Ⅱ）用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-7-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の構造図 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（区分Ⅲ）用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-7-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の構造図 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（区分Ⅳ）用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-7-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の構造図 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（SA（Ⅰ））用ハロゲン化物ボンベ
- ・第 9-3-2-4-7-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備のうち消火設備（中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備）の構造図 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（SA（Ⅱ））用ハロゲン化物ボンベ

#### 9.4 浸水防護施設

##### 9.4.1 外郭浸水防護設備

- ・第 9-4-1-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面
- ・第 9-4-1-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備の構造図 タービン補機冷却用海水取水槽 閉止板 1
- ・第 9-4-1-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備の構造図 タービン補機冷却用海水取水槽 閉止板 2
- ・第 9-4-1-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備の構造図 補機冷却用海水取水槽(A) 閉止板
- ・第 9-4-1-2-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備の構造図 補機冷却用海水取水槽(B) 閉止板
- ・第 9-4-1-2-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備の構造図 補機冷却用海水取水槽(C) 閉止板

##### 9.4.2 内郭浸水防護設備



- ・第 9-4-2-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 原子炉建屋 (その 1)
- ・第 9-4-2-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 原子炉建屋 (その 2)
- ・第 9-4-2-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 原子炉建屋 (その 3)
- ・第 9-4-2-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 原子炉建屋 (その 4)
- ・第 9-4-2-1-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 原子炉建屋 (その 5)
- ・第 9-4-2-1-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 原子炉建屋 (その 6)
- ・第 9-4-2-1-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 原子炉建屋 (その 7)
- ・第 9-4-2-1-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 原子炉建屋 (その 8)
- ・第 9-4-2-1-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 タービン建屋 (その 1)
- ・第 9-4-2-1-10 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 タービン建屋 (その 2)
- ・第 9-4-2-1-11 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 タービン建屋 (その 3)
- ・第 9-4-2-1-12 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 タービン建屋 (その 4)
- ・第 9-4-2-1-13 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 タービン建屋 (その 5)
- ・第 9-4-2-1-14 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 コントロール建屋 (その 1)
- ・第 9-4-2-1-15 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 コントロール建屋 (その 2)
- ・第 9-4-2-1-16 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 コントロール建屋 (その 3)
- ・第 9-4-2-1-17 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 廃棄物処理建屋 (その 1)
- ・第 9-4-2-1-18 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 廃棄物処理建屋 (その 2)
- ・第 9-4-2-1-19 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に係る機器の配置を明示した図面 屋外

- ・第 9-4-2-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下 2 階北西階段室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 C 系原子炉補機冷却水系熱交換器・ポンプ室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 建屋間連絡水密扉（タービン建屋地下 2 階～配管トレンチ）
- ・第 9-4-2-2-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 建屋間連絡水密扉（タービン建屋地下 2 階～廃棄物処理建屋地下 3 階）
- ・第 9-4-2-2-6 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 循環水配管，電解鉄イオン供給装置室 水密扉 1
- ・第 9-4-2-2-7 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 循環水配管，電解鉄イオン供給装置室 水密扉 2
- ・第 9-4-2-2-8 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下中 2 階南西階段室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-9 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下中 2 階北西階段室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-10 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 計装用圧縮空気系・所内用圧縮空気系空気圧縮機室 水密扉 1
- ・第 9-4-2-2-11 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 計装用圧縮空気系・所内用圧縮空気系空気圧縮機室 水密扉 2
- ・第 9-4-2-2-12 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 循環水系配管メンテナンス室 水密扉 1
- ・第 9-4-2-2-13 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 循環水系配管メンテナンス室 水密扉 2
- ・第 9-4-2-2-14 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 C 系原子炉補機冷却海水系ポンプ室 水密扉 1
- ・第 9-4-2-2-15 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 C 系原子炉補機冷却海水系ポンプ室 水密扉 2
- ・第 9-4-2-2-16 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 B 系原子炉補機冷却水系熱交換器・ポンプ室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-17 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下 1 階南西階段室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-18 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下 1 階北階段室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-19 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下 1 階北西階段室 水密扉

- ・第 9-4-2-2-20 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 A系原子炉補機冷却水系熱交換器・ポンプ室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-21 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 A系非常用電気品室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-22 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上1階北西階段室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-23 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 建屋間連絡水密扉（原子炉建屋地上1階～タービン建屋地上1階）
- ・第 9-4-2-2-24 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 建屋間連絡水密扉（タービン建屋地上1階～5号機タービン建屋地上1階）
- ・第 9-4-2-2-25 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 建屋間連絡水密扉（タービン建屋地上1階～廃棄物処理建屋地上1階）
- ・第 9-4-2-2-26 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 サプレッションプール浄化系ポンプ，原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器漏洩試験用ラック室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-27 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉隔離時冷却系ポンプ・蒸気タービン室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-28 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 高圧炉心注水系（B）ポンプ室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-29 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 高圧炉心注水系（C）ポンプ室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-30 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 残留熱除去系（A）ポンプ・熱交換器室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-31 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 残留熱除去系（B）ポンプ・熱交換器室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-32 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 残留熱除去系（C）ポンプ・熱交換器室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-33 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 水圧制御ユニット室，計装ラック，制御棒駆動機構マスターコントロール室 水密扉 1
- ・第 9-4-2-2-34 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 水圧制御ユニット室，計装ラック，制御棒駆動機構マスターコントロール室 水密扉 2
- ・第 9-4-2-2-35 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 水圧制御ユニット室，計装ラック室 水密扉 1
- ・第 9-4-2-2-36 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 水圧制御ユニット室，計装ラック室 水密扉 2

- ・第 9-4-2-2-37 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 高压代替注水系ポンプ室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-38 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 1 階 A 系非常用電気品室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-39 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 B 系非常用電気品室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-40 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 C 系非常用電気品室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-41 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 中央制御室外原子炉停止装置盤室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-42 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 大物搬出入口建屋 水密扉
- ・第 9-4-2-2-43 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 可燃性ガス濃度制御系再結合装置室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-44 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 非常用ディーゼル発電機 (B) 室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-45 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 燃料プール冷却浄化系熱交換器室, 燃料プール冷却浄化系弁室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-46 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 非常用ディーゼル発電機 (A) 補機室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-47 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 3 階南北連絡通路 水密扉
- ・第 9-4-2-2-48 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機常用電気品室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-49 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 2 階西階段室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-50 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 換気空調補機非常用冷却水系冷凍機 (B) (D) 室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-51 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 計測制御電源盤区域 (C) 送風機室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-52 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 1 階 空調ダクト, ケーブル処理室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-53 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 計測制御電源盤区域 (A) 送・排風機室 水密扉
- ・第 9-4-2-2-54 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 プロセス計算機室 水密扉

- ・第 9-4-2-2-55 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 燃料移送ポンプエリア (B系) 水密扉
- ・第 9-4-2-2-56 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 フィルタベントエリア 水密扉
- ・第 9-4-2-2-57 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T7-TBTC) 水密扉付止水堰
- ・第 9-4-2-2-58 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T4-TBTC) 水密扉付止水堰
- ・第 9-4-2-2-59 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 4 階 (R5R6-RFRG) 水密扉付止水堰
- ・第 9-4-2-2-60 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下 1 階 (T6T7-TJTK) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-61 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下 1 階 (T7T8-TCTD) A 系原子炉補機冷却水系熱交換器・ポンプ室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-62 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下 1 階 (T8T9-TATB) A 系原子炉補機冷却水系熱交換器・ポンプ室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-63 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地下 1 階 (T8T9-TCTD) A 系原子炉補機冷却水系熱交換器・ポンプ室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-64 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T1T2-TATB) 大物搬出入口 止水堰
- ・第 9-4-2-2-65 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T2T3-TATB) レイダウンスペース 止水堰
- ・第 9-4-2-2-66 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T2T3-TBTC) 海水熱交換器エリア給気処理装置室 止水堰 1
- ・第 9-4-2-2-67 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T2T3-TBTC) 海水熱交換器エリア給気処理装置室 止水堰 2
- ・第 9-4-2-2-68 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T2T3-TBTC) 海水熱交換器エリア給気処理装置室 止水堰 3
- ・第 9-4-2-2-69 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T3T4-TATB) レイダウンスペース 止水堰
- ・第 9-4-2-2-70 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T3T4-TCTD) 南階段室 止水堰

- ・第 9-4-2-2-71 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T7T8-TATB) レイダウンスペース 止水堰
- ・第 9-4-2-2-72 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T7T9-TATB) レイダウンスペース 止水堰
- ・第 9-4-2-2-73 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T8T9-TATB) 北階段室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-74 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T8T9-TATB) 原子炉補機冷却海水系配管室、空調ダクト室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-75 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T8T9-TBTC) レイダウンスペース 止水堰
- ・第 9-4-2-2-76 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T1T2-TCTD) 南西階段室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-77 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 1 階 (T2T3-TCTD) 南西階段室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-78 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 2 階 (T7T8-TCTD) 北西階段室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-79 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 2 階 (T2T3-TCTD) 南西階段室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-80 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 2 階 (T7T8-TBTC) 主油タンクメンテナンス室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-81 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 タービン建屋地上 2 階 (T8T9-TCTD) 主油タンクメンテナンス室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-82 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 2 階 (R1R2-RDRE) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-83 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 2 階 (R3R4-RFRG) 原子炉内蔵型再循環ポンプ・制御棒駆動機構補修室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-84 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 2 階 (R4R5-RARB) 制御棒駆動機構配管室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-85 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 2 階 (R4R5-RFRG) 原子炉内蔵型再循環ポンプ・制御棒駆動機構補修室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-86 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 2 階 (R5R6-RBRC) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-87 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 2 階 (R6R7-RDRE) 通路 止水堰

- ・第 9-4-2-2-88 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 1 階 (R1R2-RCRD) 原子炉系 (DIV-IV) 計装ラック室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-89 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 1 階 (R1R2-RDRE) 原子炉系 (DIV-II) 計装ラック室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-90 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 1 階 (R6R7-RCRD) 原子炉系 (DIV-I) 計装ラック室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-91 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下 1 階 (R6R7-RDRE) 原子炉系 (DIV-III) 計装ラック室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-92 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地下中 1 階 (R2R3-RARB) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-93 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R1R2-RBRC) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-94 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R1R2-RCRD) ほう酸水注入系・電気ペネ室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-95 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R2R3-RBRC) 原子炉冷却材浄化系弁室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-96 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R3R4-RFRG) 電気ペネ室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-97 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R4R5-RFRG) 可燃性ガス濃度制御系エアロック室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-98 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R5R6-RARB) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-99 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R5R6-RBRC) 原子炉補機冷却水系・不活性ガス系・電気ペネ室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-100 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R5R6-RG) 大物搬出入口建屋 止水堰
- ・第 9-4-2-2-101 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 1 階 (R5R6) 大物搬出入口建屋 止水堰
- ・第 9-4-2-2-102 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 2 階 (R1R2-RFRG) 非常用ディーゼル発電機 (B) 非常用送風機室 止水堰

- ・第 9-4-2-2-103 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 2 階 (R2R3-RFRG) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-104 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 2 階 (R5R6-RARB) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-105 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 2 階 (R5R6-RARB) 主蒸気系トンネル室, 配管ペネ室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-106 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 2 階 (R5R6-RDRE) 電気ペネ室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-107 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 2 階 (R6R7-RBRC) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-108 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 3 階 (R2R3-RBRC) 非常用ガス処理系室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-109 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 3 階 (R2R3-RCRD) 非常用ガス処理系室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-110 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 3 階 (R2R3-RFRG) 格納容器内雰囲気モニタ系 (B) 室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-111 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 3 階 (R3R4-RARB) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-112 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 3 階 (R4R5-RARB) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-113 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上中 3 階 (R4-RFRG) 通路 止水堰
- ・第 9-4-2-2-114 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上中 3 階 (R6R7-RCRD) 北側改良型制御棒駆動機構制御盤室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-115 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上中 3 階 (R6R7-RDRE) 北側改良型制御棒駆動機構制御盤室 止水堰 1
- ・第 9-4-2-2-116 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上中 3 階 (R6R7-RDRE) 北側改良型制御棒駆動機構制御盤室 止水堰 2
- ・第 9-4-2-2-117 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上中 3 階 (R6R7-RBRC) 非常用ディーゼル発電機 (A) 区域送風機室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-118 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上中 3 階 (R6R7-RERF) 非常用ディーゼル発電機 (C) 区域送風機室 止水堰



- ・第 9-4-2-2-119 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 4 階 (R1R2-RERF) 原子炉内蔵型再循環ポンプ点検室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-120 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 4 階 (R2R3-RARB) オペレーティングフロア 止水堰
- ・第 9-4-2-2-121 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 4 階 (R2R3-RDRE) オペレーティングフロア 止水堰
- ・第 9-4-2-2-122 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋地上 4 階 (R6R7-RDRE) 原子炉補機冷却水系 (C) サージタンク室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-123 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 2 階 (C3C4-CCCD) 常用電気品室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-124 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下中 2 階 (C4C5-CBCC) 常用電気品区域送・排風機室 止水堰 1
- ・第 9-4-2-2-125 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下中 2 階 (C4C5-CBCC) 常用電気品区域送・排風機室 止水堰 2
- ・第 9-4-2-2-126 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下中 2 階 (C3C4-CBCC) 空調ダクト、ケーブル処理室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-127 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 1 階 (C3C4-CBCC) 計測制御電源盤区域 (A) 送・排風機室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-128 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 1 階 (C4C5-CBCC) 計測制御電源盤区域 (A) 送・排風機室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-129 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 1 階 (C3C4-CCCD) 区分 I 計測制御用電源盤室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-130 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 1 階 (C3C4-CDCE) 区分 IV 計測制御用電源盤室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-131 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 1 階 (C3C4-CECF) 区分 II 計測制御用電源盤室 止水堰

- ・第 9-4-2-2-132 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 6 号機 コントロール建屋地下 1 階 (C3C4-CFCG) 区分Ⅲ計測制御用電源盤室 止水堰
- ・第 9-4-2-2-133 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備の構造図 廃棄物処理建屋地下 1 階 (RW6RW7-RWBRWC) 通路 止水堰
- ・第 9-4-3-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設に係る機器の配置を明示した図面

#### 9.5 補機駆動用燃料設備

- ・第 9-5-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備に係る機器の配置を明示した図面 (その 1)
- ・第 9-5-1-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備に係る機器の配置を明示した図面 (その 2)
- ・第 9-5-1-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備に係る機器の配置を明示した図面 (その 3)
- ・第 9-5-1-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備に係る機器の配置を明示した図面 (その 4)
- ・第 9-5-1-5 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備に係る機器の配置を明示した図面 (その 5)
- ・第 9-5-3-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備の系統図 (その 1) (設計基準対象施設)
- ・第 9-5-3-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備の系統図 (その 2) (軽油タンク) (重大事故等対処設備)
- ・第 9-5-3-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備の系統図 (その 3) (軽油タンク) (重大事故等対処設備)
- ・第 9-5-3-4 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち補機駆動用燃料設備の系統図 (その 4) (緊急安全対策資機材系) (重大事故等対処設備)

#### 9.6 非常用取水設備

- ・第 9-6-1-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用取水設備 (取水設備) に係る機器の配置を明示した図面
- ・第 9-6-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用取水設備 (取水設備) の構造図 非常用取水設備
- ・第 9-6-2-2-1 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用取水設備の構造図 補機冷却用海水取水槽 (A)
- ・第 9-6-2-2-2 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用取水設備の構造図 補機冷却用海水取水槽 (B)
- ・第 9-6-2-2-3 図 その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用取水設備の構造図 補機冷却用海水取水槽 (C)

#### 9.7 緊急時対策所

- ・第 9-7-1 図 緊急時対策所の設置場所を明示した図面

## I 名称及び住所並びに代表者の氏名

I 名称及び住所並びに代表者の氏名

名 称 東京電力ホールディングス株式会社

住 所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

代表者の氏名 代表執行役社長 小早川 智明

## II 工事計画

## II 工事計画

### 一 発電用原子炉施設

#### 1. 発電用原子炉を設置する事業所の名称及び所在地

名 称	柏崎刈羽原子力発電所
所 在 地	新潟県柏崎市及び刈羽郡刈羽村

#### 2. 発電用原子炉施設の出力及び周波数

出 力	8,212,000kW
1号機	1,100,000kW
2号機	1,100,000kW
3号機	1,100,000kW
4号機	1,100,000kW
5号機	1,100,000kW
6号機	1,356,000kW (今回申請分)
7号機	1,356,000kW
周 波 数	50Hz

1. 原子炉本体

沸騰水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

- 1 炉型式、定格熱出力、過剰反応度及び反応度係数（減速材温度係数、燃料棒温度係数、減速材ボイド係数及び出力反応度係数）並びに減速材の名称、種類及び組成

		変 更 前	変 更 後
炉	型 式	—	変更なし
定 格 熱 出 力	<sup>*1</sup> MW	3926（原子炉定格熱出力）	
過 剰 反 応 度	Δk	0.14 以下	
反 応 度 係 数	減速材温度係数	(Δk/k)/°C -0.11×10 <sup>-3</sup> ～ -0.28×10 <sup>-3</sup> (高温、ボイドなし)	-0.11×10 <sup>-3</sup> ～ -0.20×10 <sup>-3</sup> (高温、ボイドなし)
	燃料棒温度係数	<sup>*2</sup> (Δk/k)/°C -1.56×10 <sup>-5</sup> ～ -2.13×10 <sup>-5</sup> (運転状態— 原子炉定格出力時)	-2.01×10 <sup>-5</sup> ～ -2.13×10 <sup>-5</sup> (運転状態— 原子炉定格出力時)
	減速材ボイド係数	(Δk/k)/%ボイド -0.52×10 <sup>-3</sup> ～ -0.84×10 <sup>-3</sup> (運転状態— 原子炉定格出力時)	-0.78×10 <sup>-3</sup> ～ -0.84×10 <sup>-3</sup> (運転状態— 原子炉定格出力時)
	出力反応度係数	(Δk/k)/(Δp/p) -0.036 以下 (運転状態— 原子炉定格出力時)	-0.037 以下 (運転状態— 原子炉定格出力時)

		変 更 前	変 更 後	
名	称	軽水減速材 <sup>*3</sup>	変更なし	
種	類	—		軽水
組	成	—		導電率 1 μ S/cm 以下

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱出力」と記載。

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料棒温度係数（ドップラ係数）」と記載。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

2 炉心に係る次の事項

(1) 炉心形状, 格子形状, 燃料集合体数, 炉心有効高さ及び炉心等価直径

		変 更 前		変 更 後	
炉 心 形 状	—	円柱状 (8×8型燃料集合体形状, チャンネルボックス付き) <sup>*</sup>	円柱状 (9×9型燃料集合体形状, チャンネルボックス付き) <sup>*</sup>	廃止	変更 なし
格 子 形 状	—	N 格子			
燃料集合体数	—	872			
炉心有効高さ	mm	□			
炉心等価直径	mm	□			

注記\* : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「円柱状 (8×8型及び9×9型燃料集合体形状, チャンネルボックス付き)」と記載。



(2) 燃料体最高燃焼度（初装荷及び取替えの別並びに燃料材，燃料要素及び燃料集合体の別に記載すること。）及び核燃料物質の最大装荷量

				変更前		変更後
燃料体 最高燃焼度*1	取替 燃料	燃料材	MWd/t	取替燃料タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)	65000*2	廃止
				取替燃料タイプ 2 (9×9 燃料(A型))	75000*2	変更なし
		燃料要素		取替燃料タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)	57000*2	廃止
				取替燃料タイプ 2 (9×9 燃料(A型))	71000*2	変更なし
		燃料 集合体		取替燃料タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)	50000	廃止
				取替燃料タイプ 2 (9×9 燃料(A型))	55000	変更なし
核燃料物質の最大装荷量*3			t	高燃焼度 8×8 炉心	約 150*4	廃止
				9×9 燃料(A型) 炉心	約 151*4	変更なし

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃焼率」と記載。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「装荷量」と記載。

\*4：ウラン装荷量を示す。

(3) 燃料材の最高温度

		変更前		変更後
最 高 温 度	℃	高燃焼度 8×8 燃料集合体	約 1790 (原子炉定格出力時) *	廃止
		9×9 燃料集合体 (A 型)	約 1660 (原子炉定格出力時) *	変更なし

注記\* : ガドリニア混合二酸化ウラン燃料棒の場合。

4 チャンネルボックスの主要寸法及び材料

			変 更 前*1	変 更 後
主要寸法	断面内寸法	mm	<input type="text"/>	変更なし
	板厚	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *2)	
材	料	—	ジルカロイ-4	

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

6 炉心支持構造物に係る次の事項

(1) 炉心シュラウド及びシュラウドサポートの名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数

a. 炉心シュラウド

				変 更 前	変 更 後
名 称				炉心シュラウド*1	炉心シュラウド*2
種	類	—	円筒形	変更なし	
最 高 使 用 圧 力	上部胴	MPa	<input type="text"/> *3 (差圧)	変更なし <input type="text"/> *4, *5 (差圧) <input type="text"/> *4, *6 (差圧)	
	下部胴	MPa	<input type="text"/> *3 (差圧)	変更なし <input type="text"/> *4, *5 (差圧) <input type="text"/> *4, *6 (差圧)	
最 高 使 用 温 度		℃	302*3	変更なし <input type="text"/> *4, *5 <input type="text"/> *4, *6	
主 要 寸 法	胴 高 さ	mm	<input type="text"/> *7, *8	変更なし	
	下 部 胴 高 さ (下部フランジを含む)	mm	<input type="text"/> *3, *8		
	上 部 胴 内 径	mm	<input type="text"/> *8		
	下 部 胴 内 径	mm	<input type="text"/> *8		
	上 部 胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *8) *3		
	下 部 胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *8) *3		
	上 部 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *8) *3		
	下 部 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *8) *3		
	上 部 フ ラ ン ジ 高 さ	mm	<input type="text"/> *3, *8		
	下 部 フ ラ ン ジ 高 さ	mm	<input type="text"/> *3, *8		
材 料	上 部 胴 *9	—	SUS316L		
	下 部 胴 *9	—	SUS316L		
	上 部 フ ラ ン ジ	—	SUS316L *3		
	下 部 フ ラ ン ジ	—	SUS316L *3		
個	数	—	1		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「a. 炉心シュラウド」と記載。

\*2：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備（高压炉心注水系，原子炉隔離時冷却系，高压代替注水系，低  
圧注水系，低压代替注水系，ほう酸水注入系）並びに計測制御系統施設のうちほう酸  
水注入設備（ほう酸水注入系）と兼用。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

- \*4 : 重大事故等時における使用時の値。
- \*5 : 運転状態Ⅲにおける値。
- \*6 : 運転状態Ⅳにおける値。
- \*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には炉心シュラウド単品の高さである「」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*8 : 公称値を示す。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

b. シュラウドサポート

		変 更 前	変 更 後
名 称		シュラウドサポート*1	シュラウドサポート*2
種 類	—	脚支持円筒形	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa	<input type="text"/> *3 (差圧)	変更なし <input type="text"/> *4,*5 (差圧) <input type="text"/> *4,*6 (差圧)
最 高 使 用 温 度	℃	302*3	変更なし <input type="text"/> *4,*5 <input type="text"/> *4,*6
主 要 寸 法	シ リ ン ダ 外 径	mm	<input type="text"/> *7
	高 さ	mm	<input type="text"/> *7 (原子炉圧力容器零レベルより)
	シ リ ン ダ 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *7)*8
	シュラウドサポート レ グ 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *7)*8
	シュラウドサポート プ レ ー ト 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *7)*8
材 料	シ リ ン ダ	—	NCF600-P
	シュラウドサポート レ グ	*9 —	NCF600-P
	シュラウドサポート プ レ ー ト	*10 —	NCF600-P
個 数	—	1	変更なし

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「b. シュラウドサポート」と記載。

\*2：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備（高压炉心注水系，原子炉隔離時冷却系，高压代替注水系，低  
圧注水系，低圧代替注水系，ほう酸水注入系）並びに計測制御系統施設のうちほう酸  
水注入設備（ほう酸水注入系）と兼用。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成5年6月17日  
付け4資庁第14561号にて認可された工事計画のIV-3-1-1-3「シュラウドサポートの  
応力計算書」による。

\*4：重大事故等時における使用時の値。

\*5：運転状態Ⅲにおける値。

\*6：運転状態Ⅳにおける値。

\*7：公称値を示す。

\*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レグ」と記載。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「プレート」と記載。

(2) 上部格子板の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変更前	変更後
名 称			上部格子板*1	上部格子板*2
種	類	—	格子形	変更なし
最 高 使 用 圧 力	リ ム 胴 板	MPa	<input type="text"/> *3 (差圧)	変更なし <input type="text"/> *4,*5 (差圧) <input type="text"/> *4,*6 (差圧)
	グリッドプレート	MPa	<input type="text"/> *3 (差圧)	変更なし <input type="text"/> *4,*5 (差圧) <input type="text"/> *4,*6 (差圧)
最 高 使 用 温 度		℃	302*3	変更なし <input type="text"/> *4,*5 <input type="text"/> *4,*6
主 要 寸 法	外 径	mm	<input type="text"/> *7	変更なし
	高 さ	mm	<input type="text"/> *7	
	リ ム 胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *7) *3	
	グリッドプレート厚さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *7) *3	
材 料	リ ム 胴 板*8	—	SUS316L	
	グ リ ッ ド プ レ ー ト	—	SUSF316L	
個 数		—	1	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「c. 上部格子板」と記載。

\*2 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系, 高圧代替注水系, 低  
圧注水系, 低圧代替注水系, ほう酸水注入系）並びに計測制御系統施設のうちほう酸  
水注入設備（ほう酸水注入系）と兼用。

\*3 : 既工認計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 重大事故等時における使用時の値。

\*5 : 運転状態Ⅲにおける値。

\*6 : 運転状態Ⅳにおける値。

\*7 : 公称値を示す。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。



(3) 炉心支持板の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変更前	変更後
名 称			炉心支持板* <sup>1</sup>	炉心支持板* <sup>2</sup>
種 類	—		円板形	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa		<input type="text"/> * <sup>3</sup> (差圧)	変更なし * <sup>4</sup> , * <sup>5</sup> (差圧) * <sup>4</sup> , * <sup>6</sup> (差圧)
最 高 使 用 温 度	℃		302* <sup>3</sup>	変更なし <input type="text"/> * <sup>4</sup> , * <sup>5</sup> * <sup>4</sup> , * <sup>6</sup>
主 要 寸 法	外 径	mm	<input type="text"/> * <sup>7</sup>	変更なし
	高 さ	mm	<input type="text"/> * <sup>7</sup>	
	リ ム 洞 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> * <sup>7</sup> ) * <sup>3</sup>	
	支 持 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> * <sup>7</sup> ) * <sup>3</sup>	
材 料	リ ム 洞 板* <sup>8</sup>	—	SUS316L	
	支 持 板	—	SUS316L	
個 数	—		1	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「d. 炉心支持板」と記載。

\*2 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系, 高圧代替注水系, 低  
圧注水系, 低圧代替注水系, ほう酸水注入系）並びに計測制御系統施設のうちほう酸  
水注入設備（ほう酸水注入系）と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 重大事故等時における使用時の値。

\*5 : 運転状態Ⅲにおける値。

\*6 : 運転状態Ⅳにおける値。

\*7 : 公称値を示す。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「リム洞」と記載。

(4) 燃料支持金具の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

a. 中央燃料支持金具

			変 更 前	変 更 後
名 称			中央燃料支持金具*1	中央燃料支持金具*2
種 類	—		4 体支持形	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa		<input type="text"/> *3 (差圧)	変更なし <input type="text"/> *4,*5 (差圧) <input type="text"/> *4,*6 (差圧)
最 高 使 用 温 度	℃		302*3	変更なし <input type="text"/> *4,*5 <input type="text"/> *4,*6
主 要 寸 法	外 径	mm	<input type="text"/> *7	変更なし
	高 さ	mm	<input type="text"/> *7	
	厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *7)*3	
材 料	—	SCS19A 相当 ( <input type="text"/> )		
個 数	—		205	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「e. 燃料支持金具」と記載。

\*2 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (残留熱除去系) 及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備 (高压炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系, 高压代替注水系, 低  
圧注水系, 低压代替注水系, ほう酸水注入系) 並びに計測制御系統施設のうちほう酸  
水注入設備 (ほう酸水注入系) と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 重大事故等時における使用時の値。

\*5 : 運転状態Ⅲにおける値。

\*6 : 運転状態Ⅳにおける値。

\*7 : 公称値を示す。

b. 周辺燃料支持金具

			変 更 前	変 更 後
名 称			周辺燃料支持金具*1	周辺燃料支持金具*2
種 類	—		1 体支持形	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa		<input type="text"/> *3 (差圧)	変更なし <input type="text"/> *4,*5 (差圧) <input type="text"/> *4,*6 (差圧)
最 高 使 用 温 度	℃		302*3	変更なし <input type="text"/> *4,*5 <input type="text"/> *4,*6
主 要 寸 法	外 径	mm	<input type="text"/> *7,*8	変更なし
	高 さ	mm	<input type="text"/> *7	
	厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *7) *3	
材 料	—	SUS316L 相当 ( <input type="text"/> )		
個 数	—		52	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「e. 燃料支持金具」と記載。

\*2 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系，原子炉隔離時冷却系，高圧代替注水系，低  
圧注水系，低圧代替注水系，ほう酸水注入系）並びに計測制御系統施設のうちほう酸  
水注入設備（ほう酸水注入系）と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*4 : 重大事故等時における使用時の値。

\*5 : 運転状態Ⅲにおける値。

\*6 : 運転状態Ⅳにおける値。

\*7 : 公称値を示す。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には炉心支持板貫通部分の外径である「」と  
記載。記載内容は，設計図書による。

(5) 制御棒案内管の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変更前	変更後
名称			制御棒案内管*1	制御棒案内管*2
種類	—		円筒形	変更なし
最高使用圧力	MPa		<input type="text"/> *3 (差圧)	変更なし <input type="text"/> *4,*5 (差圧) <input type="text"/> *4,*6 (差圧)
最高使用温度	℃		302*3	変更なし <input type="text"/> *4,*5 <input type="text"/> *4,*6
主要寸法	外径	mm	<input type="text"/> *7	変更なし
	長さ	mm	<input type="text"/> *7	
	厚さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *7) *3	
材料	ボデイ*8	—	SUS316L 相当 ( <input type="text"/> )	
	ベース*8	—	GXM1 相当 ( <input type="text"/> )	
個数	—		205	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「f. 制御棒案内管」と記載。

\*2 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (残留熱除去系) 及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備 (高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系, 高圧代替注水系, 低  
圧注水系, 低圧代替注水系, ほう酸水注入系) 並びに計測制御系統施設のうちほう酸  
水注入設備 (ほう酸水注入系) と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 重大事故等時における使用時の値。

\*5 : 運転状態Ⅲにおける値。

\*6 : 運転状態Ⅳにおける値。

\*7 : 公称値を示す。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料」と記載。

7 原子炉圧力容器に係る次の事項

(1) 原子炉圧力容器本体の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数並びに監視試験片の種類，初装荷個数及び取付箇所

a. 原子炉圧力容器

			変 更 前	変 更 後		
名 称			原子炉圧力容器	原子炉圧力容器*1		
種 類	—		たて置円筒形	変更なし		
最 高 使 用 圧 力	MPa		8.62*2	変更なし 9.22*3		
最 高 使 用 温 度	℃		302	変更なし 306*3		
主	胴 内 径	mm	<input type="text"/> *4 (母材内径)	変更なし		
	高 さ*5	mm	<input type="text"/> *4,*6			
	上 部 鏡 板 内 半 径	mm	<input type="text"/> *4,*7			
	下 部 鏡 板 内 半 径	mm	<input type="text"/> *4,*7 (母材内半径)			
*8 厚 さ	胴 板*9	mm	<input type="text"/> *10 ( <input type="text"/> *4,*7)			
	上 部 鏡 板	mm	<input type="text"/> *11 ( <input type="text"/> *4,*7)			
	下 部 鏡 板	mm	<input type="text"/> *12 ( <input type="text"/> *4,*7)			
要 寸 法	管 台 ・ ノ ズ ル セ ー フ エ ン ド	原子炉冷却材再循環ポンプ貫通孔(N1)	管 台 内 径		mm	<input type="text"/> *4,*7 (母材内径)
			管 台 厚 さ		mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7
	主蒸気ノズル(N3)	ノズルセーフエンド内径	mm		<input type="text"/> *4,*7	
		ノズルセーフエンド厚さ	mm		<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
	給水ノズル(N4)	管 台 内 径	mm		<input type="text"/> *4,*7	
		管 台 厚 さ	mm		<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
		ノズルセーフエンド内径	mm	<input type="text"/> *4,*7		
		ノズルセーフエンド厚さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7		
	低圧注水ノズル(N6)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4,*7		
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7		
		ノズルセーフエンド内径	mm	<input type="text"/> *4,*7		
		ノズルセーフエンド厚さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7		

				変更前	変更後
主 管 台 ・ ノ ズ ル セ ー フ エ ン ド	上蓋スプレイ・ ベントノズル (N7)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7	変更なし
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
	原子炉停止時 冷却材出口ノ ズル(N8)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
		ノズルセーフ エンド内径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		ノズルセーフ エンド厚さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
	原子炉冷却材 再循環ポンプ 差圧検出ノズ ル(N9)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
	原子炉停止時 冷却材出口ノ ズル(N10)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
		ノズルセーフ エンド内径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		ノズルセーフ エンド厚さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
	炉心支持板差 圧検出ノズル (N11)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
	計装ノズル (N12, N13)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
		ノズルセーフ エンド内径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		ノズルセーフ エンド厚さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
	計装ノズル (N14)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7	
ノズルセーフ エンド内径		mm	<input type="text"/> *4, *7		
ノズルセーフ エンド厚さ		mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7		
ドレンノズル (N15)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7		
	管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4) *7		

					変 更 前	変 更 後
主 要 寸 法	管台・ノズルセーフエンド	高圧炉心注水 ノズル (N16)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7	変 更 な し
			管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4 ) *7	
			ノズルセーフ エンド内径	mm	<input type="text"/> *4, *7	
			ノズルセーフ エンド厚さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4 ) *7	
	振動計測ノズル (N18)	管 台 内 径	mm	<input type="text"/> *4, *7		
		管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *4 ) *7		
	スタッド ボルト	呼び 径	ナ ッ ト 側	mm	<input type="text"/> *7	
			埋 込 み 側	—	<input type="text"/> *7	
		本 数	—	<input type="text"/> *7		
	内 張 り 厚 さ	円 筒 部*13	mm	<input type="text"/> *4, *14		
下 部 鏡 板 部*13		mm	<input type="text"/> *4, *7			
材  料	胴 板 上 部		—	SQV2A		
	胴 板 下 部		—	SFVQ1A		
	上 部 鏡 板		—	SQV2A		
	下 部 鏡 板		—	SFVQ1A		
	鏡 板 フ ラ ン ジ		—	SFVQ1A		
	胴 板 フ ラ ン ジ		—	SFVQ1A		
	管 台*15		—	SFVQ1A, SFVC2B, SUSF316, NCF600-B		
	ノズルセーフエンド		—	SFVQ1A, SFVC2B, SUSF316		
	スタッドボルト, ナット		—	SNB24-3		
	内 張 り 材	円 筒 部*16	—	ステンレス鋼		
下 部 鏡 板 部*16		—	高ニッケル合金			
個 数		—	1*7			
監 視 試 験 片	種 類		—	<input type="text"/> *7		
	初 装 荷 個 数		—	3 組*7		
	取 付 箇 所		—	原子炉圧力容器内面 <input type="text"/> *7		

注記\*1 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系, 高圧代替注水系, 低

圧注水系， 低圧代替注水系， ほう酸水注入系）， 計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系， 高圧代替注水系， 低圧代替注水系， ほう酸水注入系）と兼用。

- \*2 : SI 単位に換算したものである。
- \*3 : 重大事故等時における使用時の値。
- \*4 : 公称値を示す。
- \*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- \*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（上蓋スプレイ・ベントノズルフランジ面からドレンノズル下端まで）」と記載。記載内容は，設計図書による。
- \*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚」と記載。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒部」と記載。
- \*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）」と記載。
- \*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）」と記載。
- \*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）」と記載。
- \*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り厚さ」と記載。
- \*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）」と記載。記載内容は，設計図書による。
- \*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ノズル」と記載。
- \*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材」と記載。



(2) 原子炉压力容器支持構造物に係る次の事項

イ 支持構造物の名称，種類，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数

a. 原子炉压力容器スカート

			変 更 前*1	変 更 後
名 称			原子炉压力容器スカート	
種 類	—		円錐台形	
最 高 使 用 温 度	℃		302	
主 要 寸 法	内 径	mm	□ *2	
	厚 さ	mm	□ (□ *2)	
	高 さ	mm	□ *2	
材 料	—		SQV2A	
個 数	—		1	

変更なし

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

ロ 基礎ボルトの名称，種類，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数

a. 原子炉压力容器基礎ボルト

			変 更 前	変 更 後
名 称			原子炉压力容器基礎ボルト	
種 類	—		埋込型	
最 高 使 用 温 度	℃		171* <sup>1</sup>	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	□	
	全 長	mm	□* <sup>2</sup>	
材 料	—		SNCM439	
個 数	—		120	

変更なし

注記\*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成3年8月23日付け3資庁第6674号にて認可された工事計画のIV-2-5-1-1「原子炉压力容器基礎ボルトの耐震性についての計算書」による。

\*2：公称値を示す。

(3) 原子炉圧力容器付属構造物に係る次の事項

イ 原子炉圧力容器スタビライザの名称, 種類, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			原子炉圧力容器スタビライザ*1	
種 類	—		皿ばね支持形	
最 高 使 用 温 度	℃		302*2	
主 要 寸 法	ロ ッ ド ( 呼 び 径 )	—	□	
	ブ ラ ケ ッ ト 厚 さ	mm	□ (□*4) □ (□*4) *3	
	ブ ラ ケ ッ ト 高 さ	mm	□ *3, *4	
材 料	ヨ ー ク	—	□*5	
	ロ ッ ド	—	□	
	ブ ラ ケ ッ ト	—	□*3	
個 数	—	8		

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「a. 原子炉圧力容器スタビライザ」と記載。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成5年6月17日付け4資庁第14561号にて認可された工事計画のIV-3-1-4-1「原子炉圧力容器スタビライザの応力計算書」による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「□」と記載。記載内容は, 設計図書による。

ハ 中性子束計測ハウジングの名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			中性子束計測ハウジング*1	
種 類	—		円筒形	
最 高 使 用 圧 力	MPa		8.62*2	
最 高 使 用 温 度	℃		302	
主 要 寸 法	全 長*3	mm	□*4	
	外 径 ( 貫 通 部 )	mm	□*4	
	厚 さ*5	mm	□*6 ( □*4)	
材 料	—	SUSF316 相当 ( □ )		
個 数	—	62		

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「c. 中性子束計測ハウジング」と記載。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「長さ」と記載。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「厚さ (貫通部)」と記載。

\*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

ニ 制御棒駆動機構ハウジングの名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			制御棒駆動機構ハウジング*1	
種 類	—		円筒形	
最 高 使 用 圧 力	MPa		8.62*2	
最 高 使 用 温 度	℃		302	
主 要 寸 法	全 長*3	mm	[ ]*4	
	外 径 ( 貫 通 部 )	mm	[ ]*4	
	厚 さ*5	mm	[ ]*6 ( [ ]*4 )	
材 料	—	SUSF316 相当 ( [ ] )		
個 数	—	205		

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「d. 制御棒駆動機構ハウジング」と記載。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「長さ」と記載。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「厚さ (貫通部)」と記載。

\*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

ホ 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の名称，種類，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数

a. 制御棒駆動機構ハウジングレストレントビーム

			変更前	変更後
名称			制御棒駆動機構ハウジングレストレントビーム*1	
種類	—		鋼板形	
最高使用温度	℃		171*2	
主要寸法	レストレントビーム幅	mm	□*3,*4	
	レストレントビーム高さ*5	mm	□*3	
	レストレントビーム厚さ	mm	□(□*3)*4	
材料	—		□*6	
個数	—		1	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「b. 制御棒駆動機構ハウジングレストレントビーム」と記載。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成5年6月17日付け4資庁第14561号にて認可された工事計画のIV-3-1-4-2「制御棒駆動機構ハウジングレストレントビームの応力計算書」による。

\*3：公称値を示す。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「高さ」と記載。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「□」と記載。記載内容は，設計図書による。

へ 原子炉冷却材再循環ポンプモータケーシング（改良型沸騰水型発電用原子炉施設に係るものに限る。）の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			原子炉冷却材再循環 ポンプモータケーシング <sup>*1</sup>	変更なし
種 類	—	円筒形		
最 高 使 用 圧 力	MPa	8.62 <sup>*2</sup>		
最 高 使 用 温 度	℃	302		
主 要 寸 法	モ ー タ 収 納 部 長 さ	mm	<input type="text"/> <sup>*3</sup>	
	上 部 内 径	mm	<input type="text"/> <sup>*3</sup>	
	上 部 厚 さ	mm	<input type="text"/> <sup>*4</sup> ( <input type="text"/> <sup>*3, *5</sup> )	
	下 部 内 径	mm	<input type="text"/> <sup>*3</sup>	
	下 部 厚 さ	mm	<input type="text"/> <sup>*6</sup> ( <input type="text"/> <sup>*3, *5</sup> )	
材 料	—	SFVQ1A		
個 数	—	10		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「e. 原子炉冷却材再循環ポンプモータケーシング」と記載。

\*2：SI単位に換算したものである。

\*3：公称値を示す。

\*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 (最小)」と記載。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 (最小)」と記載。

リ 主蒸気流量制限器（改良型沸騰水型発電用原子炉施設に係るものに限る。）の名称，種類，制限流量，主要寸法，材料，個数及び取付箇所

			変 更 前	変 更 後	
名 称			主蒸気流量制限器*1	変更なし	
種	類	—	ベンチュリ形		
制	限	流 量	—		定格流量の200%
主 要 寸 法	内 （ 入 口 平 行 部 ） 径	mm	 *2, *3		
材	料	—	SFVQ1A*3		
個	数	—	4		
取	付	箇 所	—		主蒸気ノズル(N3)*3

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気流量制限器（主蒸気ノズル）」と記載。

\*2：公称値を示す。


\*3：工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。



(4) 原子炉圧力容器内部構造物に係る次の事項

イ 蒸気乾燥器の蒸気乾燥器ユニット及び蒸気乾燥器ハウジングの名称，種類，主要寸法，材料及び個数

a. 蒸気乾燥器ユニット

			変 更 前	変 更 後
名 称			蒸気乾燥器ユニット*1	変更なし
種	類	—	平行波板形	
主要寸法	高	さ mm	 *2	
材	料	—	SUS316L	
個	数	—	22	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「a. 蒸気乾燥器」と記載。

\*2 : 公称値を示す。

b. 蒸気乾燥器ハウジング

			変 更 前	変 更 後
名 称			蒸気乾燥器ハウジング*1	
種	類	—	円筒形	
主要 寸法	外 径	mm	□ *2	
	高 さ	mm	□ *4 □ *5 *2, *3	
	サポ ー ト リ ン グ 厚 さ	mm	□ (□ *2) *6	
材 料	サポ ー ト リ ン グ*7	—	SUS316L	
	フ ー ド*7	—	SUS316L	
	ス カ ー ト*7	—	SUS316L	
個	数	—	1	

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「a. 蒸気乾燥器」と記載。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカート部とフード部の合計高さである「□」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*4 : スカート部高さ（サポートリング含む。）を示す。




\*5 : フード部高さを示す。

\*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料」と記載。

ロ 気水分離器及びスタンドパイプの名称, 種類, 主要寸法, 材料及び個数

a. 気水分離器




			変 更 前	変 更 後
名 称			気水分離器*1	変更なし
種	類	—	たて形軸流遠心式	
主要寸法	外 径	mm	 *2	
	厚 さ	mm	 (  *2) *3	
材 料	イ ン ナ ー チ ュ ー ブ	—	SUS316L	
個	数	—	349	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「c. 気水分離器」と記載。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

b. スタンドパイプ

			変 更 前	変 更 後	
名 称			スタンドパイプ*1	変更なし	
種	類	—	円筒形		
主要 寸法	外	径	mm		 *2
	厚	さ	mm		 (  *2) *3
材 料			—		SUS316L
個 数			—		349

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「c. 気水分離器」と記載。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

ハ シュラウドヘッドの名称、種類、主要寸法、材料及び個数

			変 更 前	変 更 後	
名 称			シュラウドヘッド*1		
種 類	—	さら形			
主 要 寸 法	フ ラ ン ジ 外 径	mm	<input type="text"/> *2	変更なし	
	高 さ	mm	<input type="text"/> *2, *3, *4		
	鏡 板 内 半 径	mm	<input type="text"/> *2, *3		
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *2) *3		
	フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	<input type="text"/> ( <input type="text"/> *2) *3		
材 料	鏡 板*5	—	SUS316L		
	フ ラ ン ジ*5	—	SUS316L		
個 数	—	1			

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「b. シュラウドヘッド」と記載。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 気水分離器及びスタンドパイプを含む高さを示す。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料」と記載。

ホ スパーージャ及び内部配管の名称，種類，主要寸法，材料及び個数

a. 給水スパーージャ

			変 更 前	変 更 後
名 称			給水スパーージャ*1	給水スパーージャ*2
種	類	—	ヘッダ形	変更なし
主 要 寸 法	ヘ ッ ダ 外 径*3	mm	[ ] *4	
	ヘ ッ ダ 厚 さ*5	mm	[ ] *6 ( [ ] *4 )	
	テ イ ー 外 径	mm	[ ] *4, *7	
	テ イ ー 厚 さ	mm	[ ] ( [ ] *4 ) *7	
材 料	ヘ ッ ダ	—	SUS316LTP 相当 ( [ ] )	
	テ イ ー	—	SUSF316L 相当*6 ( [ ] )	
個	数	—	6	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「d. 給水スパーージャ」と記載。

\*2：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系， 高压代替注水系， 低压注水系， 低压代  
替注水系）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉  
格納容器安全設備（代替循環冷却系， 高压代替注水系， 低压代替注水系）と兼用。

\*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「外径」と記載。

\*4：公称値を示す。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「厚さ」と記載。

\*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成5年6月  
17日付け4資庁第14561号にて認可された工事計画のIV-3-1-3-5「給水スパーージャ  
の応力計算書」による。

b. 高圧炉心注水スパーージャ

			変更前	変更後
名称			高圧炉心注水スパーージャ*1	高圧炉心注水スパーージャ*2
種	類	—	ヘッダ形	
主要寸法	ヘッダ外径*3	mm	[ ] *4	変更なし
	ヘッダ厚さ*5	mm	[ ] *6 ( [ ] *4 )	
	テイー外径	mm	[ ] *4, *7	
	テイー厚さ	mm	[ ] ( [ ] *4 ) *7	
材料	ヘッダ	—	SUS316LTP 相当 ( [ ] )	
	テイー	—	SUS316L 相当*6 ( [ ] )	
個	数	—	2	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「e. 高圧炉心注水スパーージャ」と記載。

\*2 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系、ほう酸水注入系）、計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）と兼用。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「外径」と記載。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「厚さ」と記載。

\*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成5年6月17日付け4資庁第14561号にて認可された工事計画のIV-3-1-3-6「高圧炉心注水スパーージャの応力計算書」による。

c. 低圧注水スパージャ

		変 更 前	変 更 後
名 称		低圧注水スパージャ*1	低圧注水スパージャ*2
種 類	—	ヘッダ形	
主 要 寸 法	ヘ ッ ダ 外 径*3	mm	[ ] *4
	ヘ ッ ダ 厚 さ*5	mm	[ ] *6 ( [ ] *4)
	テ イ ー 外 径	mm	[ ] *4, *7
	テ イ ー 厚 さ	mm	[ ] ( [ ] *4) *7
材 料	ヘ ッ ダ	—	SUS316LTP 相当 ( [ ] )
	テ イ ー	—	SUSF316L 相当*6 ( [ ] )
個 数	—	2	

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「f. 低圧注水スパージャ」と記載。

\*2 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備  
その他原子炉注水設備（低圧注水系、低圧代替注水系）並びに原子炉格納施設のうち  
圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）と  
兼用。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「外径」と記載。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「厚さ」と記載。

\*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成5年6月17  
日付け4資庁第14561号にて認可された工事計画のIV-3-1-3-7「低圧注水スパージャ  
の応力計算書」による。



d. 高圧炉心注水系配管（原子炉圧力容器内部）

			変 更 前	変 更 後
名 称			高圧炉心注水系配管 （原子炉圧力容器内部） <sup>*1</sup>	高圧炉心注水系配管 （原子炉圧力容器内部） <sup>*2</sup>
種 類	—		管形（継手構造）	変更なし
主要寸法	外 径	mm	 <sup>*3</sup>	
	厚 さ	mm	 <sup>*4</sup> (  <sup>*3</sup> )	
材 料	パ イ プ	—	SUS316LTP	
	ス リ ー ブ	—	SUSF316L	
個 数	—		2	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「g. 高圧炉心注水系配管（原子炉圧力容器内部）」と記載。

\*2：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心注水系，ほう酸水注入系），計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）と兼用。

\*3：公称値を示す。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

へ 中性子束計測案内管の名称, 種類, 主要寸法, 材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			中性子束計測案内管*1	
種 類	—		管形	
主 要 寸 法	全 長*2	mm	[ ]*3	変更なし
	外 径	mm	[ ]*3	
	厚 さ	mm	[ ] ([ ]*3)*4	
材 料	—	SUS316LTP 相当 ( [ ] )		
個 数	—	62		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「h. 中性子束計測案内管」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「長さ」と記載。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

## 8 原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格

## (1) 基本設計方針

変更前	変更後
<p>用語の定義は「発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令」，「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>	<p>用語の定義は「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>
<p>第1章 共通項目</p> <p>原子炉本体の共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象，3. 火災，5. 設備に対する要求（5.5 安全弁等，5.6 逆止め弁，5.7 内燃機関の設計条件，5.8 電気設備の設計条件を除く。），6. その他」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>原子炉本体の共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象，3. 火災，4. 溢水等，5. 設備に対する要求（5.5 安全弁等，5.6 逆止め弁，5.7 内燃機関及びガスタービンの設計条件，5.8 電気設備の設計条件を除く。），6. その他」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 炉心等</p> <p>燃料体（燃料要素及びその他の部品を含む。）は，設置（変更）許可を受けた仕様となる構造及び設計とする。</p> <p>燃料体，減速材及び反射材並びに炉心支持構造物の材料は，通常運転時における原子炉運転状態に対応した圧力，温度条件，燃料使用期間中の燃焼度，中性子照射量及び水質の組合せのうち想定される最も厳しい条件において，耐放射線性，寸法安定性，耐熱性，核性質及び強度のうち必要な物理的性質並びに，耐食性，水素吸収特性及び化学的安定性のうち必要な化学的性質を保持する材料を使用する。</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 炉心等</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p>燃料体は炉心支持構造物で支持され、その荷重は原子炉圧力容器に伝えられる設計とする。</p> <p>燃料体は、設置（変更）許可を受けた、通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時における発電用原子炉内の圧力、自重、附加荷重、核分裂生成物の蓄積による燃料被覆管の内圧上昇、熱応力等の荷重に耐える設計とする。また、輸送中又は取扱中において、著しい変形を生じない設計とする。</p> <p>炉心支持構造物は、最高使用圧力、自重、附加荷重及び地震力に加え、熱応力の荷重に耐える設計とする。</p> <p>炉心は、通常運転時又は運転時の異常な過渡変化時に発電用原子炉の運転に支障が生ずる場合において、原子炉冷却系統、原子炉停止系統、反応度制御系統、計測制御系統及び安全保護回路（安全保護系）の機能と併せて機能することにより燃料要素の許容損傷限界を超えない設計とする。</p> <p>炉心部は燃料体、制御棒及び支持構造物からなり、上端が半球形、下端がさら形の円筒形鋼製圧力容器に収容される。原子炉圧力容器の外側には、遮蔽壁を設ける設計とする。</p> <p>燃料体（燃料要素を除く。）、減速材及び反射材並びに炉心支持構造物は、通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、停止後に炉心の冷却機能を維持できる設計とする。</p> <p>なお、熱遮蔽材は設けない設計とする。</p>	
2. 原子炉圧力容器	2. 原子炉圧力容器

変更前	変更後
<p>2.1 原子炉圧力容器本体</p> <p>原子炉圧力容器の原子炉冷却材圧力バウンダリに係る基本設計方針については、原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第2章 個別項目 3. 原子炉冷却材の循環設備 3.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ」に基づく設計とする。</p> <p>原子炉圧力容器は、円筒形の胴部にさら形の底部を付した鋼製容器に、半球形の鋼製上ぶたをボルト締めする構造であり、主蒸気ノズル、給水ノズル等を取り付ける設計とする。</p> <p>原子炉圧力容器内の原子炉冷却材の流路は、給水ノズル（胴中央部6箇所）から入り、ダウンカムを經由し、原子炉冷却材再循環ポンプにより、炉心内へ送り込まれ、燃料体周囲のチャンネルボックスが形成した原子炉冷却材の流路を炉心の下方から上方向に流れ、主蒸気ノズル（胴上部4箇所）に組み込まれた主蒸気流量制限器から出る設計とする。</p> <p>原子炉圧力容器の支持方法として、下部については円錐スカート支持、上部については横振防止機構で原子炉遮蔽壁に支持する設計とする。</p> <p>原子炉圧力容器及び原子炉冷却材再循環ポンプモータケーシングは最低使用温度を10℃に設定し、関連温度（初期）を-35℃以下に設定することで脆性破壊が生じない設計とする。</p> <p>中性子照射脆化の影響を受ける原子炉圧力容器及び原子炉冷却材再循環ポンプモータケーシングにあつては、日本電気協会「原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法」（JEAC4206）に基づき、適切な破壊じん性を有する設計とする。</p>	<p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p>チャンネルボックスは、制御棒をガイドし、燃料集合体を保護する設計とする。</p> <p>2.2 監視試験片</p> <p>1 メガ電子ボルト以上の中性子の照射を受ける原子炉圧力容器は、当該容器が想定される運転状態において脆性破壊を引き起こさないようにするために、施設時に適用された告示「発電用原子力設備に関する構造等の技術基準（昭和55年通商産業省告示第501号）」を満足し、機械的強度及び破壊じん性の変化を確認できる個数の監視試験片を原子炉圧力容器内部に挿入することにより、照射の影響を確認できる設計とする。</p> <p>監視試験片は、適用可能な日本電気協会「原子炉構造材の監視試験方法」（JEAC4201）により、取出し及び監視試験を実施する。</p> <p>また、保安規定に、監視試験片の評価結果に基づき、原子炉冷却材温度及び圧力の制限範囲を設定することを定めて、原子炉圧力容器の非延性破壊（脆性破壊）を防止するよう管理する。</p>	
<p>3. 流体振動等による損傷の防止</p> <p>燃料体、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器は、原子炉冷却材の循環、沸騰その他の原子炉冷却材の挙動により生ずる流体振動又は温度差のある流体の混合その他の原子炉冷却材の挙動により生ずる温度変動により損傷を受けない設計とする。</p>	<p>3. 流体振動等による損傷の防止 変更なし</p>

変更前	変更後
<p>4. 主要対象設備 原子炉本体の対象となる主要な設備について、「表 1 原子炉本体の主要設備リスト」に示す。</p>	<p>4. 主要対象設備 原子炉本体の対象となる主要な設備について、「表 1 原子炉本体の主要設備リスト」に示す。</p>

表1 原子炉本体の主要設備リスト (1/3)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設*		重大事故等対処設備*		名 称	設計基準対象施設*		重大事故等対処設備*	
				耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
—	—	炉型式, 定格熱出力, 過剰反応度及び反応度係数 (減速材温度係数, 燃料棒温度係数, 減速材ボイド係数及び出力反応度係数) 並びに減速材	炉型式, 定格熱出力, 過剰反応度及び反応度係数 (減速材温度係数, 燃料棒温度係数, 減速材ボイド係数及び出力反応度係数) 並びに減速材	—	—	—	—	変更なし	—	—	—	—
炉心	—	炉心形状, 格子形状, 燃料集合体数, 炉心有効高さ及び炉心等価直径	炉心形状, 格子形状, 燃料集合体数, 炉心有効高さ及び炉心等価直径	—	—	—	—	変更なし	—	—	—	—
		燃料体最高燃焼度及び核燃料物質の最大装荷量	燃料体最高燃焼度及び核燃料物質の最大装荷量	—	—	—	—	変更なし	—	—	—	—
		燃料材の最高温度	燃料材の最高温度	—	—	—	—	変更なし	—	—	—	—
—	—	チャンネルボックス	チャンネルボックス	S	—	—	—	変更なし		—	—	
炉心支持構造物	—	炉心シュラウド及びシュラウドサポート	炉心シュラウド	S	炉心支持構造物	—	—	変更なし		—	—	
			シュラウドサポート	S	炉心支持構造物	—	—	変更なし		—	—	
		上部格子板	上部格子板	S	炉心支持構造物	—	—	変更なし		—	—	
		炉心支持板	炉心支持板	S	炉心支持構造物	—	—	変更なし		—	—	



表1 原子炉本体の主要設備リスト (2/3)

			変更前				変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*		重大事故等対処設備*		名称	設計基準対象施設*		重大事故等対処設備*		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
炉心支持構造物	—	燃料支持金具	中央燃料支持金具	S	炉心支持構造物	—	—	—	変更なし		—		
			周辺燃料支持金具	S	炉心支持構造物	—	—		変更なし		—		
		制御棒案内管	制御棒案内管	S	炉心支持構造物	—	—		変更なし		—		
原子炉圧力容器	—	原子炉圧力容器本体及び監視試験片		原子炉圧力容器	S	クラス1	—	—	変更なし		—		
		器支持構造物	原子炉圧力容器	支持構造物	原子炉圧力容器スカート	S	クラス1	—	—	変更なし		—	
			基礎ボルト	原子炉圧力容器基礎ボルト	S	クラス1	—	—	変更なし		—		
		原子炉圧力容器付属構造物	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器スタビライザ	原子炉圧力容器スタビライザ	S	—	—	—	変更なし		—	
			中性子束計測ハウジング	中性子束計測ハウジング	中性子束計測ハウジング	S	クラス1	—	—	変更なし		—	
			制御棒駆動機構ハウジング	制御棒駆動機構ハウジング	制御棒駆動機構ハウジング	S	クラス1	—	—	変更なし		—	
			制御棒駆動機構ハウジング支持金具	制御棒駆動機構ハウジングレストレントビーム	制御棒駆動機構ハウジングレストレントビーム	S	—	—	—	変更なし		—	
			原子炉冷却材再循環ポンプモータケーシング	原子炉冷却材再循環ポンプモータケーシング	原子炉冷却材再循環ポンプモータケーシング	S	クラス1	—	—	変更なし		—	
主蒸気流量制限器	主蒸気流量制限器	主蒸気流量制限器	S	クラス1	—	—	変更なし		—				

表1 原子炉本体の主要設備リスト (3/3)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設*		重大事故等対処設備*		名 称	設計基準対象施設*		重大事故等対処設備*	
				耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
原子炉圧力容器	—	原子炉圧力容器内部構造物	蒸気乾燥器の蒸気乾燥器ユニット及び蒸気乾燥器ハウジング	蒸気乾燥器ユニット	S	—	—	—	変更なし	—	—	—
			蒸気乾燥器ハウジング	蒸気乾燥器ハウジング	S	—	—	—	変更なし	—	—	—
			気水分離器及びスタンドパイプ	気水分離器	S	—	—	—	変更なし	—	—	
				スタンドパイプ	S	—	—	—	変更なし	—	—	
			シュラウドヘッド	シュラウドヘッド	S	—	—	—	変更なし	—	—	
			スパージャ及び内部配管	給水スパージャ	S	—	—	—	変更なし	—	—	
				高圧炉心注水スパージャ	S	—	—	—	変更なし	—	—	
				低圧注水スパージャ	S	—	—	—	変更なし	—	—	
				高圧炉心注水系配管 (原子炉圧力容器内部)	S	—	—	—	変更なし	—	—	
			中性子束計測案内管	中性子束計測案内管	S	—	—	—	変更なし	—	—	

注記\* : 表1に用いる略語の定義は「付表1」による。

付表 1 略語の定義 (1/3)

		略 語	定 義
設 計 基 準 対 象 施 設	耐 震 重 要 度 分 類	S	耐震重要度分類におけるSクラス（津波防護施設、浸水防止設備及び津波監視設備を除く。）
		S*	Sクラス施設のうち、津波防護施設、浸水防止設備及び津波監視設備 なお、基準地震動による地震力に対して、それぞれの施設及び設備に 要求される機能（津波防護機能、浸水防止機能及び津波監視機能をい う。）を保持するものとする。
		B	耐震重要度分類におけるBクラス（B-1、B-2及びB-3を除く。）
		B-1	Bクラスの設備のうち、共振のおそれがあるため、弾性設計用地震動 S <sub>d</sub> に2分の1を乗じたものによる地震力に対して耐震性を保持できる 設計とするもの
		B-2	Bクラスの設備のうち、波及的影響によって、耐震重要施設がその安 全機能を損なわないように設計するもの
		B-3	Bクラスの設備のうち、基準地震動による地震力に対して、使用済燃 料貯蔵プールの冷却、給水機能を保持できる設計とするもの
		C	耐震重要度分類におけるCクラス（C-1、C-2及びC-3を除く。）
		C-1	Cクラスの設備のうち、波及的影響によって、耐震重要施設がその安 全機能を損なわないように設計するもの
		C-2	Cクラスの設備のうち、基準地震動による地震力に対して、火災感知 及び消火の機能並びに地震時の溢水伝播を防止する機能を保持できる 設計とするもの
		C-3	Cクラスの設備のうち、基準地震動による地震力に対して非常時にお ける海水の取水機能を保持できる設計とするもの
—	当該施設において設計基準対象施設として使用しないもの		

付表 1 略語の定義 (2/3)

		略 語	定 義
設 計 基 準 対 象 施 設	機 器 ク ラ ス	クラス 1	技術基準規則第二条第二項第三十二号に規定する「クラス 1 容器」、「クラス 1 管」、「クラス 1 ポンプ」、「クラス 1 弁」又はこれらを支持する構造物
		クラス 2	技術基準規則第二条第二項第三十三号に規定する「クラス 2 容器」、「クラス 2 管」、「クラス 2 ポンプ」、「クラス 2 弁」又はこれらを支持する構造物
		クラス 3	技術基準規則第二条第二項第三十四号に規定する「クラス 3 容器」又は「クラス 3 管」
		クラス 4	技術基準規則第二条第二項第三十五号に規定する「クラス 4 管」
		格納容器*1	技術基準規則第二条第二項第二十八号に規定する「原子炉格納容器」
		炉心支持 構造物	原子炉圧力容器の内部において燃料集合体を直接に支持するか又は拘束する部材
		火力技術基準	発電用火力設備に関する技術基準を定める省令の規定を準用するもの
		Non	上記以外の容器、管、ポンプ、弁又は支持構造物
		—	当該施設において設計基準対象施設として使用しないもの又は上記以外のもの

付表1 略語の定義 (3/3)

		略 語	定 義
重 大 事 故 等 対 処 設 備	設 備 分 類	常設／防止	技術基準規則第四十九条第一項第一号に規定する「常設耐震重要重大事故防止設備以外の常設重大事故防止設備」
		常設耐震／防止	技術基準規則第四十九条第一項第一号に規定する「常設耐震重要重大事故防止設備」
		常設／防止 (DB 拡張)	常設重大事故防止設備（設計基準拡張）： 設計基準対象施設のうち、重大事故等発生時に機能を期待する設備であって、重大事故の発生を防止する機能を有する常設重大事故防止設備以外の常設のもの
		常設／緩和	技術基準規則第四十九条第一項第三号に規定する「常設重大事故緩和設備」
		常設／緩和 (DB 拡張)	常設重大事故緩和設備（設計基準拡張）： 設計基準対象施設のうち、重大事故等発生時に機能を期待する設備であって、重大事故の拡大を防止し、又はその影響を緩和するための機能を有する常設重大事故緩和設備以外の常設のもの
		常設／その他	常設重大事故防止設備及び常設重大事故緩和設備以外の常設重大事故等対処設備
		可搬／防止	重大事故防止設備のうち可搬型のもの
		可搬／緩和	重大事故緩和設備のうち可搬型のもの
		可搬／その他	可搬型重大事故防止設備及び可搬型重大事故緩和設備以外の可搬型重大事故等対処設備
	—	当該施設において重大事故等対処設備として使用しないもの	
	重 大 事 故 等 機 器 ク ラ ス	S Aクラス2	技術基準規則第二条第二項第三十八号に規定する「重大事故等クラス2 容器」, 「重大事故等クラス2 管」, 「重大事故等クラス2 ポンプ」, 「重大事故等クラス2 弁」又はこれらを支持する構造物
		S Aクラス3	技術基準規則第二条第二項第三十九号に規定する「重大事故等クラス3 容器」, 「重大事故等クラス3 管」, 「重大事故等クラス3 ポンプ」又は「重大事故等クラス3 弁」
		火力技術基準	発電用火力設備に関する技術基準を定める省令の規定を準用するもの又は使用条件を踏まえ、十分な強度を有していることを確認できる一般産業品規格を準用するもの
		—	当該施設において重大事故等対処設備として使用しないもの又は上記以外のもの

注記\*1: 「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (2005年版 (2007年追補版含む。)) <第I編 軽水炉規格> J S M E S N C 1-2005/2007」(日本機械学会)における「クラスMC」である。

## (2) 適用基準及び適用規格

変更前	変更後
<p>第1章 共通項目</p> <p>原子炉本体に適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>原子炉本体に適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>原子炉本体に適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令の解釈（平成17年12月15日原院第5号）</li> <li>・発電用原子力設備に関する構造等の技術基準（昭和55年通商産業省告示第501号）</li> <li>・発電用軽水型原子炉の燃料設計手法について（昭和63年5月12日原子力安全委員会了承）</li> <li>・原子力発電用機器に対する破壊靱性の確認試験方法（JEAC4206-2007）</li> </ul>	<p>第2章 個別項目</p> <p>原子炉本体に適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈（平成25年6月19日原規技発第1306194号）</li> <li>・発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令の解釈（平成17年12月15日原院第5号）</li> <li>・発電用原子力設備に関する構造等の技術基準（昭和55年通商産業省告示第501号）</li> <li>・発電用軽水型原子炉の燃料設計手法について（昭和63年5月12日原子力安全委員会了承）</li> <li>・原子力発電用機器に対する破壊靱性の確認試験方法（JEAC4206-2007）</li> </ul>

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉構造材の監視試験方法（J E A C 4 2 0 1-2007）</li> <li>・原子炉構造材の監視試験方法（J E A C 4 2 0 1-2007(2010年追補版)）</li> <li>・ J S M E S N C 1-2005 発電用原子力設備規格 設計・建設規格</li> <li>・ J S M E S N C 1-2005/2007 発電用原子力設備規格 設計・建設規格</li> <li>・原子炉冷却材圧力バウンダリ，原子炉格納容器バウンダリの範囲を定める規程（J E A C 4 6 0 2-2004）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉構造材の監視試験方法（J E A C 4 2 0 1-2007）</li> <li>・原子炉構造材の監視試験方法（J E A C 4 2 0 1-2007(2010年追補版)）</li> <li>・原子炉構造材の監視試験方法（J E A C 4 2 0 1-2007(2013年追補版)）</li> <li>・ J S M E S N C 1-2005 発電用原子力設備規格 設計・建設規格</li> <li>・ J S M E S N C 1-2005/2007 発電用原子力設備規格 設計・建設規格</li> <li>・原子炉冷却材圧力バウンダリ，原子炉格納容器バウンダリの範囲を定める規程（J E A C 4 6 0 2-2004）</li> </ul>

9 原子炉本体に係る工事の方法

変更前	変更後
<p>発電用原子炉施設の設置又は変更の工事並びに主要な耐圧部の溶接部における工事の方法として、原子炉設置（変更）許可を受けた事項，及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準」という。）の要求事項に適合するための設計（基本設計方針及び要目表）に従い実施する工事の手順と，それら設計や工事の手順に従い工事が行われたことを確認する使用前事業者検査の方法を以下に示す。</p> <p>これらの工事の手順及び使用前事業者検査の方法は、「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に定めたプロセス等に基づいたものとする。</p> <p>1. 工事の手順</p> <p>1.1 工事の手順と使用前事業者検査</p> <p>発電用原子炉施設の設置又は変更の工事における工事の手順を使用前事業者検査との関係を含め図 1-1 に示す。</p> <p>1.2 主要な耐圧部の溶接部に係る工事の手順と使用前事業者検査</p> <p>主要な耐圧部の溶接部に係る工事の手順を使用前事業者検査との関係を含め図 1-2 に示す。</p> <p>1.3 燃料体に係る工事の手順と使用前事業者検査</p> <p>燃料体に係る工事の手順を使用前事業者検査との関係を含め図 1-3 に示す。</p> <p>2. 使用前事業者検査の方法</p> <p>構造，強度及び漏えいを確認するために十分な方法，機能及び性能を確認するために十分な方法，その他発電用原子炉施設が設計及び工事の計画に従って施設されたものであることを確認するために十分な方法により，使用前事業者検査を図 1-1，図 1-2 及び図 1-3 のフローに基づき実施する。使用前事業者検査は「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に記載したプロセスにより，抽出されたものの検査を実施する。</p> <p>また，使用前事業者検査は，検査の時期，対象，方法，検査体制に加えて，検査の内容と重要度に応じて立会い，抜取り立会い，記録確認のいずれかとすることを要領書等で定め実施する。</p> <p>2.1 構造，強度又は漏えいに係る検査</p> <p>2.1.1 構造，強度又は漏えいに係る検査</p> <p>構造，強度又は漏えいに係る検査ができるようになったとき，表 2-1 に示す検査を実施する。</p>	<p>変更なし</p>



変更前			変更後
表 2-1 構造, 強度又は漏えいに係る検査 (燃料体を除く) *1			
検査項目	検査方法		判定基準
「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に記載したプロセスにより, 当該工事における構造, 強度又は漏えいに係る確認事項として次に掲げる項目の中から抽出されたもの。 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査(据付検査) ・状態確認検査 ・耐圧検査 ・漏えい検査 ・原子炉格納施設が直接設置される基盤の状態を確認する検査 ・建物・構築物の構造を確認する検査	材料検査	使用されている材料の化学成分, 機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。	設工認のとおりであること, 技術基準に適合するものであること。
	寸法検査	主要寸法が工事計画のとおりであり, 許容寸法内であることを確認する。	設工認に記載されている主要寸法の計測値が, 許容寸法を満足すること。
	外観検査	有害な欠陥がないことを確認する。	健全性に影響を及ぼす有害な欠陥がないこと。
	組立て及び据付け状態を確認する検査(据付検査)	組立て状態並びに据付け位置及び状態が工事計画のとおりであることを確認する。	設工認のとおりに組立て, 据付けされていること。
	状態確認検査	評価条件, 手順等が工事計画のとおりであることを確認する。	設工認のとおりであること。
	耐圧検査*2	技術基準の規定に基づく検査圧力で所定時間保持し, 検査圧力に耐え, 異常のないことを確認する。耐圧検査が構造上困難な部位については, 技術基準の規定に基づく非破壊検査等により確認する。	検査圧力に耐え, かつ, 異常のないこと。
	漏えい検査*2	耐圧検査終了後, 技術基準の規定に基づく検査圧力により漏えいの有無を確認する。なお, 漏えい検査が構造上困難な部位については, 技術基準の規定に基づく非破壊検査等により確認する。	著しい漏えいのないこと。
	原子炉格納施設が直接設置される基盤の状態を確認する検査	地盤の地質状況が, 原子炉格納施設の基盤として十分な強度を有することを確認する。	設工認のとおりであること。
	建物・構築物の構造を確認する検査	主要寸法, 組立方法, 据付位置及び据付状態等が工事計画のとおり製作され, 組み立てられていることを確認する。	設工認のとおりであること。
注記*1 : 基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。 *2 : 耐圧検査及び漏えい検査の方法について, 表 2-1 によらない場合は, 基本設計方針の共通項目として定めた「耐圧試験等」の方針によるものとする。			
2.1.2 主要な耐圧部の溶接部に係る検査 主要な耐圧部の溶接部に係る使用前事業者検査は, 技術基準第 17 条第 15 号, 第 31 条, 第 48 条第 1 項及び第 55 条第 7 号, 並びに実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈 (以下「技術基準解釈」という。) に適合するよう, 以下の(1)及び(2)の工程ごとに検査を実施する。			

変更なし

変更前	変更後
<p>(1) あらかじめ確認する事項</p> <p>次の①及び②については、主要な耐圧部の溶接をしようとする前に、「日本機械学会 発電用原子力設備規格 溶接規格（J S M E S N B 1-2007）又は（J S M E S N B 1-2012/2013）」（以下「溶接規格」という。）第2部 溶接施工法認証標準及び第3部 溶接士技能認証標準に従い、表2-2、表2-3に示す検査を行う。その際、以下のいずれかに該当する特殊な溶接方法は、その確認事項の条件及び方法の範囲内で①溶接施工法に関することを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年6月以前に旧電気工作物の溶接に関する技術基準を定める省令（昭和45年通商産業省令第81号）第2条に基づき、通商産業大臣の認可を受けた特殊な溶接方法。</li> <li>・平成12年7月以降に、一般社団法人日本溶接協会又は一般財団法人発電設備技術検査協会による確性試験により適合性確認を受けた特殊な溶接方法。</li> </ul> <p>① 溶接施工法に関すること</p> <p>② 溶接士の技能に関すること</p> <p>なお、①又は②について、既に、以下のいずれかにより適合性が確認されているものは、主要な耐圧部の溶接をしようとする前に表2-2、表2-3に示す検査は要さないものとする。</p> <p>① 溶接施工法に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年6月30日以前に電気事業法（昭和39年法律第170号）に基づき国の認可証又は合格証を取得した溶接施工法。</li> <li>・平成12年7月1日から平成25年7月7日に、電気事業法に基づく溶接事業者検査において、各設置者が技術基準への適合性を確認した溶接施工法。</li> <li>・平成25年7月8日以降、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和32年法律第166号）に基づき、各設置者が技術基準への適合性を確認した溶接施工法。</li> <li>・前述と同等の溶接施工法として、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和32年法律第166号）における他の施設にて、認可を受けたもの、溶接安全管理検査、使用前事業者検査等で溶接施工法の確認を受けたもの又は客観性を有する方法により確認試験が行われ判定基準に適合しているもの。ここで、他の施設とは、加工施設、試験研究用等原子炉施設、使用済燃料貯蔵施設、再処理施設、特定第一種廃棄物埋設施設、特定廃棄物管理施設をいう。</li> </ul> <p>② 溶接士の技能に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溶接規格第3部 溶接士技能認証標準によって認定されたものと同等と認められるものとして、技術基準解釈別記-5に示されている溶接士が溶接を</li> </ul>	<p>変 更 な し</p>

変更前	変更後																						
<p>行う場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溶接規格第 3 部 溶接士技能認証標準に適合する溶接士が、技術基準解釈別記-5 の有効期間内に溶接を行う場合。</li> </ul> <p style="text-align: center;">表 2-2 あらかじめ確認すべき事項（溶接施工法）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">検査項目</th> <th style="width: 80%;">検査方法及び判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶接施工法の内容確認</td> <td>計画している溶接施工法の内容が、技術基準に適合する方法であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>材料確認</td> <td>試験材の種類及び機械的性質が試験に適したものであることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>開先確認</td> <td>試験をする上で、健全な溶接が施工できることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>溶接作業中確認</td> <td>溶接施工法及び溶接設備等が計画どおりのものであり、溶接条件等が溶接検査計画書のとおり実施されることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>試験材について、目視により外観が良好であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>溶接後熱処理確認</td> <td>溶接後熱処理の方法等が技術基準に基づき計画した内容に適合していることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>浸透探傷試験確認</td> <td>技術基準に適合した試験の方法により浸透探傷試験を行い、表面における開口した欠陥の有無を確認する。</td> </tr> <tr> <td>機械試験確認</td> <td>溶接部の強度、延性及び靱性等の機械的性質を確認するため、継手引張試験、曲げ試験及び衝撃試験により溶接部の健全性を確認する。</td> </tr> <tr> <td>断面検査確認</td> <td>管と管板の取付け溶接部の断面について、技術基準に適合する方法により目視検査及びのど厚測定により確認する。</td> </tr> <tr> <td>(判定) *</td> <td>以上の全ての工程において、技術基準に適合していることが確認された場合、当該溶接施工法は技術基準に適合するものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記* : ( ) は検査項目ではない。</p>	検査項目	検査方法及び判定基準	溶接施工法の内容確認	計画している溶接施工法の内容が、技術基準に適合する方法であることを確認する。	材料確認	試験材の種類及び機械的性質が試験に適したものであることを確認する。	開先確認	試験をする上で、健全な溶接が施工できることを確認する。	溶接作業中確認	溶接施工法及び溶接設備等が計画どおりのものであり、溶接条件等が溶接検査計画書のとおり実施されることを確認する。	外観確認	試験材について、目視により外観が良好であることを確認する。	溶接後熱処理確認	溶接後熱処理の方法等が技術基準に基づき計画した内容に適合していることを確認する。	浸透探傷試験確認	技術基準に適合した試験の方法により浸透探傷試験を行い、表面における開口した欠陥の有無を確認する。	機械試験確認	溶接部の強度、延性及び靱性等の機械的性質を確認するため、継手引張試験、曲げ試験及び衝撃試験により溶接部の健全性を確認する。	断面検査確認	管と管板の取付け溶接部の断面について、技術基準に適合する方法により目視検査及びのど厚測定により確認する。	(判定) *	以上の全ての工程において、技術基準に適合していることが確認された場合、当該溶接施工法は技術基準に適合するものとする。	<p>変更なし</p>
検査項目	検査方法及び判定基準																						
溶接施工法の内容確認	計画している溶接施工法の内容が、技術基準に適合する方法であることを確認する。																						
材料確認	試験材の種類及び機械的性質が試験に適したものであることを確認する。																						
開先確認	試験をする上で、健全な溶接が施工できることを確認する。																						
溶接作業中確認	溶接施工法及び溶接設備等が計画どおりのものであり、溶接条件等が溶接検査計画書のとおり実施されることを確認する。																						
外観確認	試験材について、目視により外観が良好であることを確認する。																						
溶接後熱処理確認	溶接後熱処理の方法等が技術基準に基づき計画した内容に適合していることを確認する。																						
浸透探傷試験確認	技術基準に適合した試験の方法により浸透探傷試験を行い、表面における開口した欠陥の有無を確認する。																						
機械試験確認	溶接部の強度、延性及び靱性等の機械的性質を確認するため、継手引張試験、曲げ試験及び衝撃試験により溶接部の健全性を確認する。																						
断面検査確認	管と管板の取付け溶接部の断面について、技術基準に適合する方法により目視検査及びのど厚測定により確認する。																						
(判定) *	以上の全ての工程において、技術基準に適合していることが確認された場合、当該溶接施工法は技術基準に適合するものとする。																						

変更前		変更後
表 2-3 あらかじめ確認すべき事項（溶接士）		
検査項目	検査方法及び判定基準	
溶接士の試験内容の確認	検査を受けようとする溶接士の氏名，溶接訓練歴等，及びその者が行う溶接施工法の範囲を確認する。	
材料確認	試験材の種類及び機械的性質が試験に適したものであることを確認する。	
開先確認	試験をする上で，健全な溶接が施工できることを確認する。	
溶接作業中確認	溶接士及びその溶接士が行う溶接作業が溶接検査計画書のとおりであり，溶接条件が溶接検査計画書のとおり実施されることを確認する。	
外観確認	目視により外観が良好であることを確認する。	
浸透探傷試験確認	技術基準に適合した試験の方法により浸透探傷試験を行い，表面に開口した欠陥の有無を確認する。	
機械試験確認	曲げ試験を行い，欠陥の有無を確認する。	
断面検査確認	管と管板の取付け溶接部の断面について，技術基準に適合する方法により目視検査及びのど厚測定により確認する。	
（判定）*	以上の全ての工程において，技術基準に適合していることが確認された場合，当該溶接士は技術基準に適合する技能を持った者とする。	
<p>注記*：（ ）は検査項目ではない。</p> <p>(2) 主要な耐圧部の溶接部に対して確認する事項</p> <p>発電用原子炉施設のうち技術基準第 17 条第 15 号，第 31 条，第 48 条第 1 項及び第 55 条第 7 号の主要な耐圧部の溶接部について，表 2-4 に示す検査を行う。</p> <p>また，以下の①又は②に限り，原子炉冷却材圧力バウンダリに属する容器に対してテンパービード溶接を適用することができ，この場合，テンパービード溶接方法を含む溶接施工法の溶接部については，表 2-4 に加えて表 2-5 に示す検査を実施する。</p> <p>① 平成 19 年 12 月 5 日以前に電気事業法に基づき実施された検査において溶接後熱処理が不要として適合性が確認された溶接施工法</p> <p>② 以下の規定に基づく溶接施工法確認試験において，溶接後熱処理が不要として適合性が確認された溶接施工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 12 年 6 月以前に旧電気工作物の溶接に関する技術基準を定める省令（昭和 45 年通商産業省令第 81 号）第 2 条に基づき，通商産業大臣の許可を受けた特殊な溶接方法</li> <li>・平成 12 年 7 月以降に，一般社団法人日本溶接協会又は一般財団法人発電設備技術検査協会による確性試験による適合性確認を受けた特殊な溶接方法</li> </ul>		

変更なし

変更前		変更後
表 2-4 主要な耐圧部の溶接部に対して確認する事項		
検査項目	検査方法及び判定基準	
適用する溶接施工法, 溶接士の確認	適用する溶接施工法, 溶接士について, 表 2-2 及び表 2-3 に示す適合確認がなされていることを確認する。	
材料検査	溶接に使用する材料が技術基準に適合するものであることを確認する。	
開先検査	開先形状, 開先面の清浄及び継手面の食違い等が技術基準に適合するものであることを確認する。	
溶接作業検査	あらかじめの確認において, 技術基準に適合していることが確認された溶接施工法及び溶接士により溶接施工しているかを確認する。	
熱処理検査	溶接後熱処理の方法, 熱処理設備の種類及び容量が, 技術基準に適合するものであること, また, あらかじめの確認において技術基準に適合していることを確認した溶接施工法の範囲により実施しているかを確認する。	
非破壊検査	溶接部について非破壊試験を行い, その試験方法及び結果が技術基準に適合するものであることを確認する。	
機械検査	溶接部について機械試験を行い, 当該溶接部の機械的性質が技術基準に適合するものであることを確認する。	
耐圧検査*1	規定圧力で耐圧試験を行い, これに耐え, かつ, 漏えいがないことを確認する。規定圧力で行うことが著しく困難な場合は, 可能な限り高い圧力で試験を実施し, 耐圧試験の代替として非破壊試験を実施する。 (外観の状況確認) 溶接部の形状, 外観及び寸法が技術基準に適合することを確認する。	変更なし
(適合確認) *2	以上の全ての工程において, 技術基準に適合していることが確認された場合, 当該溶接部は技術基準に適合するものとする。	
<p>注記*1 : 耐圧検査の方法について, 表 2-4 によらない場合は, 基本設計方針の共通項目として定めた「材料及び構造等」の方針によるものとする。</p> <p>*2 : ( ) は検査項目ではない。</p>		

変更前					変更後
表 2-5 溶接施工した構造物に対して確認する事項 (テンパービード溶接を適用する場合)					
検査項目	検査方法及び判定基準	同種材の溶接	クラッド材の溶接	異種材の溶接	バタリング材の溶接
材料検査	1. 中性子照射 10 <sup>19</sup> nvt 以上受ける設備を溶接する場合に使用する溶接材料の銅含有量は、0.10%以下であることを確認する。	適用	適用	適用	適用
	2. 溶接材料の表面は、錆、油脂付着及び汚れ等がないことを確認する。	適用	適用	適用	適用
開先検査	1. 当該施工部位は、溶接規格に規定する溶接後熱処理が困難な部位であることを図面等で確認する。	適用	適用	適用	適用
	2. 当該施工部位は、過去に当該溶接施工法と同一又は類似の溶接後熱処理が不要な溶接方法を適用した経歴を有していないことを確認する。	適用	適用	適用	適用
	3. 溶接を行う機器の面は、浸透探傷試験又は磁粉探傷試験を行い、これに合格することを確認する。	適用	適用	適用	適用
	4. 溶接深さは、母材の厚さの2分の1以下であること。	適用	—	適用	—
	5. 個々の溶接部の面積は650cm <sup>2</sup> 以下であることを確認する。	適用	—	適用	—
	6. 適用する溶接施工法に、クラッド材の溶接開先底部とフェライト系母材との距離が規定されている場合は、その寸法が規定を満足していることを確認する。	—	適用	—	—
	7. 適用する溶接施工法に、溶接開先部がフェライト系母材側へまたがって設けられ、そのまたがりの距離が規定されている場合は、その寸法が規定を満足していることを確認する。	—	—	適用	—
溶接作業検査	自動ティグ溶接を適用する場合は、次によることを確認する。				
	1. 自動ティグ溶接は、溶加材を通電加熱しない方法であることを確認する。	適用	適用	適用	適用
	2. 溶接は、適用する溶接施工法に規定された方法に適合することを確認する。				
	①各層の溶接入熱が当該施工法に規定する範囲内で施工されていることを確認する。	適用	適用	適用	適用
	②2層目端部の溶接は、1層目溶接端の母材熱影響部（1層目溶接による粗粒化域）が適切なテンパー効果を受けるよう、1層目溶接端と2層目溶接端の距離が1mmから5mmの範囲であることを確認する。	適用	—	適用	—
	③予熱を行う溶接施工法の場合は、当該施工法に規定された予熱範囲及び予熱温度を満足していることを確認する。	適用	適用	適用	適用
	④当該施工法にパス間温度が規定されている場合は、温度制限を満足していることを確認する。	適用	適用	適用	適用
⑤当該施工法に、溶接を中断する場合及び溶接終了時の温度保持範囲と保持時間が規定されている場合は、その規定を満足していることを確認する。	適用	適用	適用	適用	
⑥余盛り溶接は、1層以上行われていることを確認する。	適用	—	適用	—	
⑦溶接後の温度保持終了後、最終層ビードの除去及び溶接部が平滑となるよう仕上げ加工されていることを確認する。	適用	—	適用	—	
非破壊検査	溶接部の非破壊検査は、次によることを確認する。				
	1. 1層目の溶接終了後、磁粉探傷試験又は浸透探傷試験を行い、これに合格することを確認する。	適用	—	—	—
	2. 溶接終了後の試験は、次によることを確認する。				
	①溶接終了後の非破壊試験は、室温状態で48時間以上経過した後に実施していることを確認する。	適用	適用	適用	適用
	②予熱を行った場合はその領域を含み、溶接部は磁粉探傷試験又は浸透探傷試験を行い、これに合格することを確認する。	適用	適用	適用	適用
	③超音波探傷試験を行い、これに合格することを確認する。	—	適用	適用	—
	④超音波探傷試験又は2層目以降の各層の磁粉探傷試験若しくは浸透探傷試験を行い、これに合格することを確認する。	適用	—	—	—
⑤放射線透過試験又は超音波探傷試験を行い、これに合格することを確認する。	—	—	—	適用	
3. 温度管理のために取り付けられた熱電対がある場合は、機械的方法で除去し、除去した面に欠陥がないことを確認する。	適用	適用	適用	適用	

変更なし

変更前	変更後																							
<p>2.1.3 燃料体に係る検査</p> <p>燃料体については、以下(1)～(3)の加工の工程ごとに表2-6に示す検査を実施する。なお、燃料体を発電用原子炉に受け入れた後は、原子炉本体として機能又は性能に係る検査を実施する。</p> <p>(1) 燃料材、燃料被覆材その他の部品については、組成、構造又は強度に係る試験をすることができる状態になった時</p> <p>(2) 燃料要素の加工が完了した時</p> <p>(3) 加工が完了した時</p> <p>また、燃料体については構造、強度又は漏えいに係る検査を実施することにより、技術基準への適合性が確認できることから、構造、強度又は漏えいに係る検査の実施をもって工事の完了とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-6 構造、強度又は漏えいに係る検査（燃料体）*</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">検査項目</th> <th style="width: 40%;">検査方法</th> <th style="width: 30%;">判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1)燃料材,燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成,構造又は強度に係る検査</td> <td>材料検査</td> <td>使用されている材料の化学成分,機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: middle;">設工認のとおりであること,技術基準に適合するものであること。</td> </tr> <tr> <td>寸法検査</td> <td>主要寸法が工事計画のとおりであり,許容寸法内であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(2)燃料要素に係る次の検査 ①寸法検査 ②外観検査 ③表面汚染密度検査 ④溶接部の非破壊検査 ⑤漏えい検査(この表の(3)③に掲げる検査が行われる場合を除く。)</td> <td>外観検査</td> <td>有害な欠陥等がないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度検査</td> <td>表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td>溶接部の非破壊検査</td> <td>溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。</td> </tr> <tr> <td>漏えい検査</td> <td>漏えい試験における漏えい量が,技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td>質量検査</td> <td>燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり,許容値内であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 ①寸法検査 ②外観検査 ③漏えい検査(この表の(2)⑤に掲げる検査が行われる場合を除く。) ④質量検査</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	検査項目	検査方法	判定基準	(1)燃料材,燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成,構造又は強度に係る検査	材料検査	使用されている材料の化学成分,機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。	設工認のとおりであること,技術基準に適合するものであること。	寸法検査	主要寸法が工事計画のとおりであり,許容寸法内であることを確認する。	(2)燃料要素に係る次の検査 ①寸法検査 ②外観検査 ③表面汚染密度検査 ④溶接部の非破壊検査 ⑤漏えい検査(この表の(3)③に掲げる検査が行われる場合を除く。)	外観検査	有害な欠陥等がないことを確認する。	表面汚染密度検査	表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。	溶接部の非破壊検査	溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。	漏えい検査	漏えい試験における漏えい量が,技術基準の規定を満足することを確認する。	質量検査	燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり,許容値内であることを確認する。	(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 ①寸法検査 ②外観検査 ③漏えい検査(この表の(2)⑤に掲げる検査が行われる場合を除く。) ④質量検査			<p>変更なし</p>
検査項目	検査方法	判定基準																						
(1)燃料材,燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成,構造又は強度に係る検査	材料検査	使用されている材料の化学成分,機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。	設工認のとおりであること,技術基準に適合するものであること。																					
	寸法検査	主要寸法が工事計画のとおりであり,許容寸法内であることを確認する。																						
(2)燃料要素に係る次の検査 ①寸法検査 ②外観検査 ③表面汚染密度検査 ④溶接部の非破壊検査 ⑤漏えい検査(この表の(3)③に掲げる検査が行われる場合を除く。)	外観検査	有害な欠陥等がないことを確認する。																						
	表面汚染密度検査	表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。																						
	溶接部の非破壊検査	溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。																						
	漏えい検査	漏えい試験における漏えい量が,技術基準の規定を満足することを確認する。																						
	質量検査	燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり,許容値内であることを確認する。																						
(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 ①寸法検査 ②外観検査 ③漏えい検査(この表の(2)⑤に掲げる検査が行われる場合を除く。) ④質量検査																								
	<p>注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。</p>																							

変更前	変更後						
<p>2.2 機能又は性能に係る検査</p> <p>機能又は性能を確認するため、以下のとおり検査を行う。</p> <p>ただし、表 2-1 の表中に示す検査により機能又は性能を確認できる場合は、表 2-7、表 2-8 又は表 2-9 の表中に示す検査を表 2-1 の表中に示す検査に替えて実施する。</p> <p>また、改造、修理又は取替えの工事であって、燃料体を挿入できる段階又は臨界反応操作を開始できる段階と工事完了時が同じ時期の場合、工事完了時として実施することができる。</p> <p>構造、強度又は漏えいを確認する検査と機能又は性能を確認する検査の内容が同じ場合は、構造、強度又は漏えいを確認する検査の記録確認をもって、機能又は性能を確認する検査とすることができる。</p> <p>2.2.1 燃料体を挿入できる段階の検査</p> <p>発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になったとき表 2-7 に示す検査を実施する。</p> <p style="text-align: center;">表 2-7 燃料体を挿入できる段階の検査*</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">検査項目</th> <th style="width: 33%;">検査方法</th> <th style="width: 33%;">判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電用原子炉に燃料体を挿入した状態において必要なものを確認する検査及び工程上発電用原子炉に燃料体を挿入する前でなければ実施できない検査</td> <td>発電用原子炉に燃料体を挿入するにあたり、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る機能又は性能を試運転等により確認するほか、発電用原子炉施設の安全性確保の観点から、発電用原子炉に燃料体を挿入した状態において必要な工学的安全施設、安全設備等の機能又は性能を当該各系統の試運転等により確認する。</td> <td>原子炉に燃料体を挿入するにあたり、確認が必要な範囲について、設工認のとおりであり、技術基準に適合するものであること。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。</p> <p>2.2.2 臨界反応操作を開始できる段階の検査</p> <p>発電用原子炉の臨界反応操作を開始することができる状態になったとき、表 2-8 に示す検査を実施する。</p>	検査項目	検査方法	判定基準	発電用原子炉に燃料体を挿入した状態において必要なものを確認する検査及び工程上発電用原子炉に燃料体を挿入する前でなければ実施できない検査	発電用原子炉に燃料体を挿入するにあたり、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る機能又は性能を試運転等により確認するほか、発電用原子炉施設の安全性確保の観点から、発電用原子炉に燃料体を挿入した状態において必要な工学的安全施設、安全設備等の機能又は性能を当該各系統の試運転等により確認する。	原子炉に燃料体を挿入するにあたり、確認が必要な範囲について、設工認のとおりであり、技術基準に適合するものであること。	<p>変更なし</p>
検査項目	検査方法	判定基準					
発電用原子炉に燃料体を挿入した状態において必要なものを確認する検査及び工程上発電用原子炉に燃料体を挿入する前でなければ実施できない検査	発電用原子炉に燃料体を挿入するにあたり、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る機能又は性能を試運転等により確認するほか、発電用原子炉施設の安全性確保の観点から、発電用原子炉に燃料体を挿入した状態において必要な工学的安全施設、安全設備等の機能又は性能を当該各系統の試運転等により確認する。	原子炉に燃料体を挿入するにあたり、確認が必要な範囲について、設工認のとおりであり、技術基準に適合するものであること。					

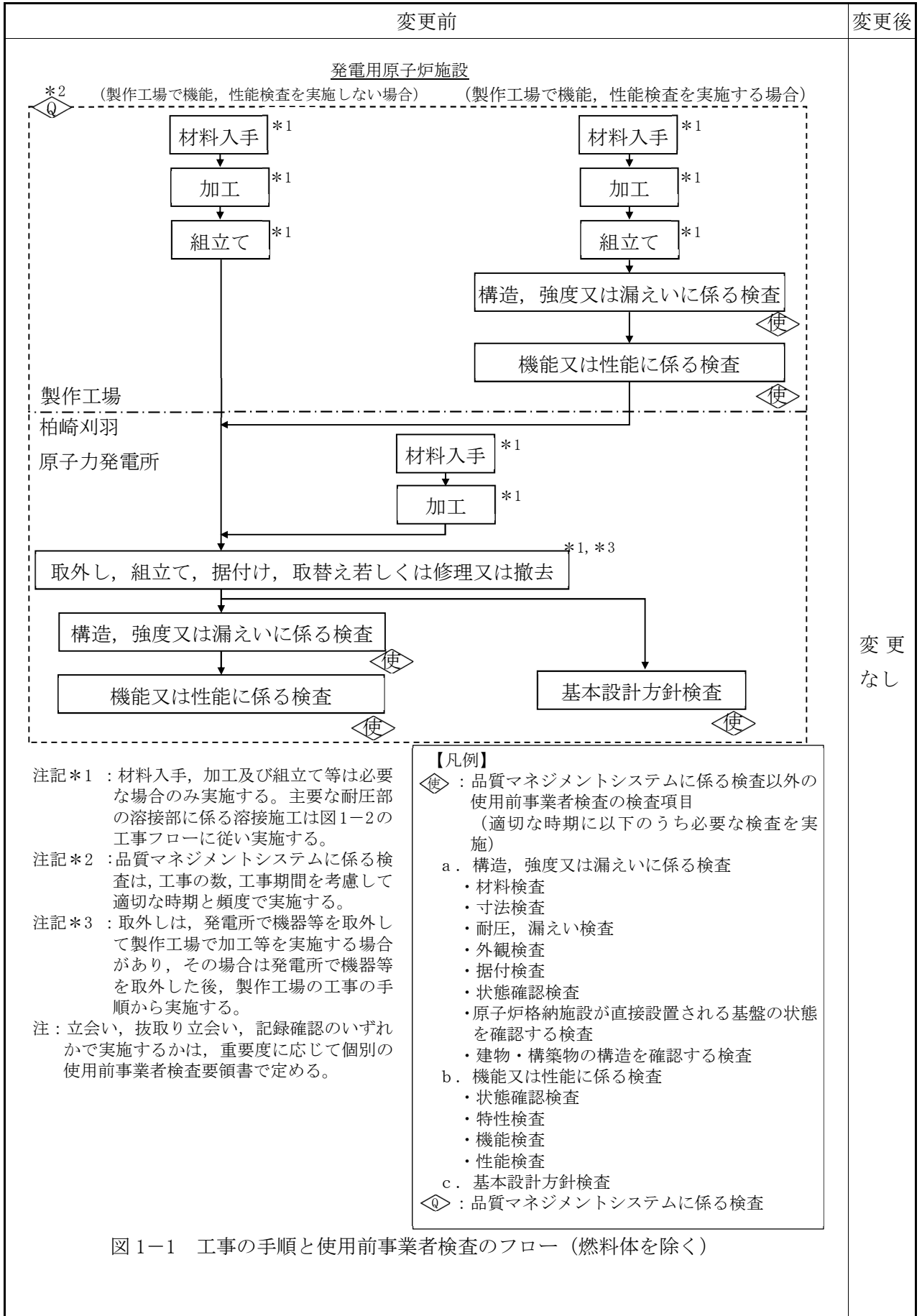


変更前		変更後
表 2-8 臨界反応操作を開始できる段階の検査*		
検査項目	検査方法	判定基準
発電用原子炉が臨界に達する時に必要なものを確認する検査及び工程上発電用原子炉が臨界に達する前でなければ実施できない検査	発電用原子炉の出力を上げるにあたり、発電用原子炉に燃料体を挿入した状態での確認項目として、燃料体の炉内配置及び原子炉の核的特性等を確認する。また、工程上発電用原子炉が臨界に達する前でなければ機能又は性能を確認できない設備について、機能又は性能を当該各系統の試運転等により確認する。	原子炉の臨界反応操作を開始するにあたり、確認が必要な範囲について、設工認のとおりであり、技術基準に適合するものであること。
注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。		
<p>2.2.3 工事完了時の検査</p> <p style="padding-left: 40px;">全ての工事が完了したとき、表 2-9 に示す検査を実施する。</p>		
表 2-9 工事完了時の検査*		
検査項目	検査方法	判定基準
発電用原子炉の出力運転時における発電用原子炉施設の総合的な性能を確認する検査、その他工事の完了を確認するために必要な検査	工事の完了を確認するために、発電用原子炉で発生した蒸気を用いる施設の試運転等により、当該各系統の機能又は性能の最終的な確認を行う。 発電用原子炉の出力を上げた状態における確認項目として、プラント全体での最終的な試運転により発電用原子炉施設の総合的な性能を確認する。	当該原子炉施設の供用を開始するにあたり、原子炉施設の安全性を確保するために必要な範囲について、設工認のとおりであり、技術基準に適合するものであること。
注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。		
<p>2.3 基本設計方針検査</p> <p style="padding-left: 40px;">基本設計方針のうち「構造、強度又は漏えいに係る検査」及び「機能又は性能に係る検査」では確認できない事項について、表 2-10 に示す検査を実施する。</p>		
表 2-10 基本設計方針検査		
検査項目	検査方法	判定基準
基本設計方針検査	基本設計方針のうち表 2-1、表 2-6、表 2-7、表 2-8、表 2-9 では確認できない事項について、基本設計方針に従い工事が実施されたことを工事中又は工事完了時における適切な段階で確認する。	「基本設計方針」のとおりであること。

変更なし

変更前	変更後						
<p>2.4 品質マネジメントシステムに係る検査</p> <p>実施した工事が、「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に記載したプロセス、「1. 工事の手順」並びに「2. 使用前事業者検査の方法」のとおり行われていることの実施状況を確認するとともに、使用前事業者検査で記録確認の対象となる工事の段階で作成される製造メーカー等の記録の信頼性を確保するため、表 2-11 に示す検査を実施する。</p> <p style="text-align: center;">表 2-11 品質マネジメントシステムに係る検査</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">検査項目</th> <th style="width: 40%;">検査方法</th> <th style="width: 30%;">判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品質マネジメントシステムに係る検査</td> <td>工事が設工認の「工事の方法」及び「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に示すプロセスのとおり実施していることを品質記録や聞取り等により確認する。この確認には、検査における記録の信頼性確認として、基となる記録採取の管理方法の確認やその管理方法の遵守状況の確認を含む。</td> <td>設工認で示す「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」及び「工事の方法」のとおり工事管理が行われていること。</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 工事上の留意事項</p> <p>3.1 設置又は変更の工事に係る工事上の留意事項</p> <p>発電用原子炉施設の設置又は変更の工事並びに主要な耐圧部の溶接部における工事の実施にあたっては、発電用原子炉施設保安規定を遵守するとともに、従事者及び公衆の安全確保や既設の安全上重要な機器等への悪影響防止等の観点から、以下に留意し工事を進める。</p> <p>a. 設置又は変更の工事を行う発電用原子炉施設の機器等について、周辺資機材、他の発電用原子炉施設及び環境条件からの悪影響や劣化等を受けないよう、隔離、作業環境維持、異物侵入防止対策等の必要な措置を講じる。</p> <p>b. 工事にあたっては、既設の安全上重要な機器等へ悪影響を与えないよう、現場状況、作業環境及び作業条件を把握し、作業に潜在する危険性又は有害性や工事用資機材から想定される影響を確認するとともに、隔離、火災防護、溢水防護、異物侵入防止対策、作業管理等の必要な措置を講じる。</p> <p>c. 設置又は変更の工事を行う発電用原子炉施設の機器等について、必要に応じて、供用後の施設管理のための重要なデータを採取する。</p> <p>d. プラントの状況に応じて、検査・試験、試運転等の各段階における工程を管理する。</p> <p>e. 設置又は変更の工事を行う発電用原子炉施設の機器等について、供用開始後に必要な機能性能を発揮できるよう製造から供用開始までの間、維持する。</p> <p>f. 放射性廃棄物の発生量低減に努めるとともに、その種類に応じて保管及び処理を</p>	検査項目	検査方法	判定基準	品質マネジメントシステムに係る検査	工事が設工認の「工事の方法」及び「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に示すプロセスのとおり実施していることを品質記録や聞取り等により確認する。この確認には、検査における記録の信頼性確認として、基となる記録採取の管理方法の確認やその管理方法の遵守状況の確認を含む。	設工認で示す「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」及び「工事の方法」のとおり工事管理が行われていること。	<p>変更なし</p>
検査項目	検査方法	判定基準					
品質マネジメントシステムに係る検査	工事が設工認の「工事の方法」及び「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に示すプロセスのとおり実施していることを品質記録や聞取り等により確認する。この確認には、検査における記録の信頼性確認として、基となる記録採取の管理方法の確認やその管理方法の遵守状況の確認を含む。	設工認で示す「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」及び「工事の方法」のとおり工事管理が行われていること。					

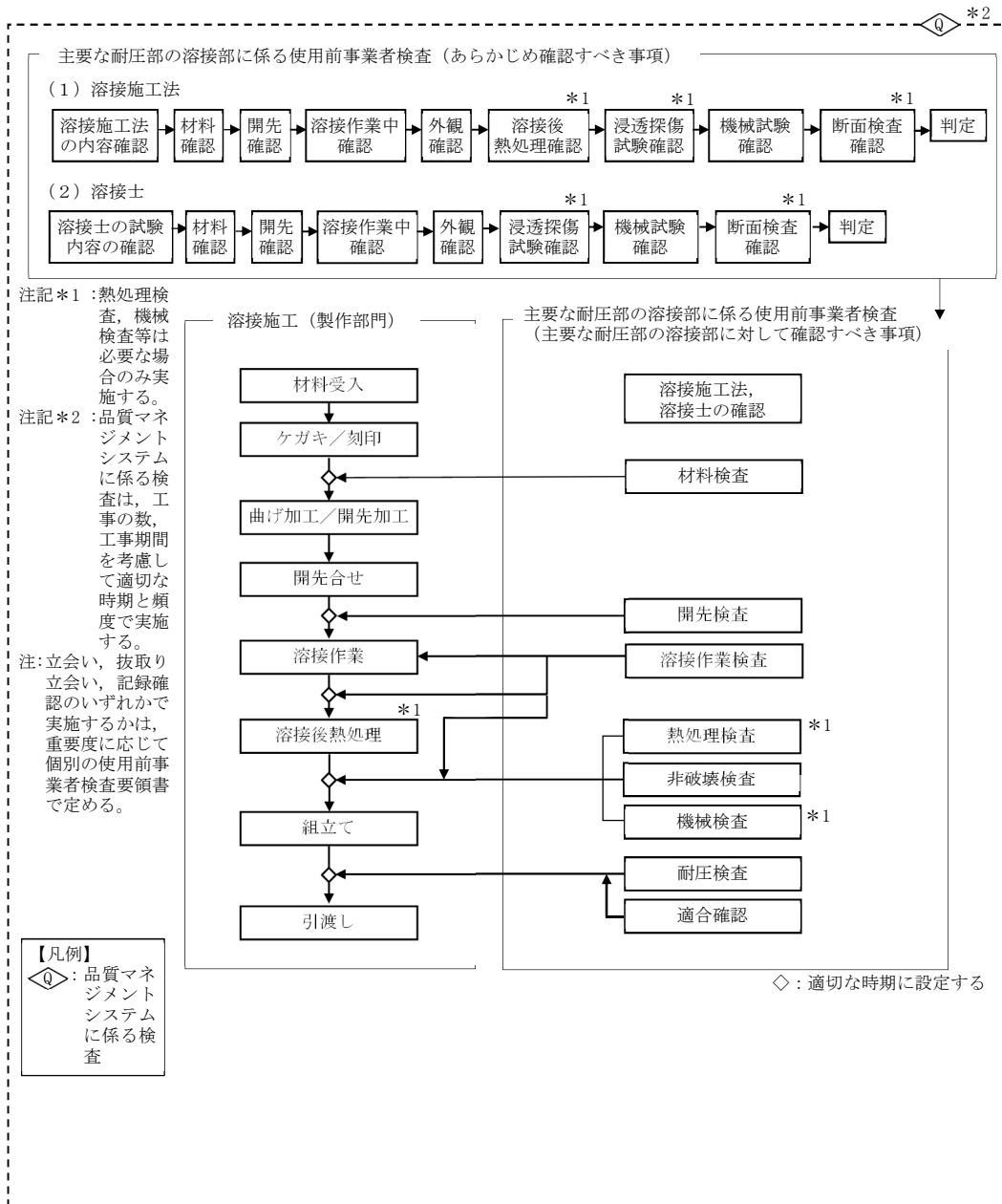
変更前	変更後
<p>行う。</p> <p>g. 現場状況，作業環境及び作業条件を把握し，放射線業務従事者に対して防護具の着用や作業時間管理等適切な被ばく低減措置と，被ばく線量管理を行う。また，公衆の放射線防護のため，気体及び液体廃棄物の放出管理については，周辺監視区域外の空气中・水中の放射性物質濃度が「線量限度等を定める告示」に定める値を超えないようにするとともに，放出管理目標値を超えないように努める。</p> <p>h. 修理の方法は，基本的に「図 1-1 工事の手順と使用前事業者検査のフロー（燃料体を除く）」の手順により行うこととし，機器等の全部又は一部について，撤去，切断，切削又は取外しを行い，据付け，溶接又は取付け，若しくは同等の方法により，同等仕様又は性能・強度が改善されたものに取替えを行う等，機器等の機能維持又は回復を行う。また，機器等の一部撤去，一部撤去の既設端部について閉止板の取付け，蒸気発生器，熱交換器又は冷却器の伝熱管への閉止栓取付け若しくは同等の方法により適切な処置を実施する。</p> <p>i. 特別な工法を採用する場合の施工方法は，技術基準に適合するよう，安全性及び信頼性について必要に応じ検証等により十分確認された方法により実施する。</p> <p>3.2 燃料体の加工に係る工事上の留意事項</p> <p>燃料体の加工に係る工事の実施にあたっては，以下に留意し工事を進める。</p> <p>a. 工事対象設備について，周辺資機材，他の加工施設及び環境条件から波及的影響を受けないよう，隔離等の必要な措置を講じる。</p> <p>b. 工事を行うことにより，他の供用中の加工施設が有する安全機能に影響を与えないよう，隔離等の必要な措置を講じる。</p> <p>c. 工事対象設備について，必要に応じて，供用後の施設管理のための重要なデータを採取する。</p> <p>d. 加工施設の状況に応じて，検査・試験等の各段階における工程を維持する。</p> <p>e. 工事対象設備について，供用開始後に必要な機能性能を発揮できるよう維持する。</p> <p>f. 放射性廃棄物の発生量低減に努めるとともに，その種類に応じて保管及び処理を行う。</p> <p>g. 放射線業務従事者に対する適切な被ばく低減措置と，被ばく線量管理を行う。</p>	<p>変更なし</p>



変更なし

変更前

変更後



変更なし

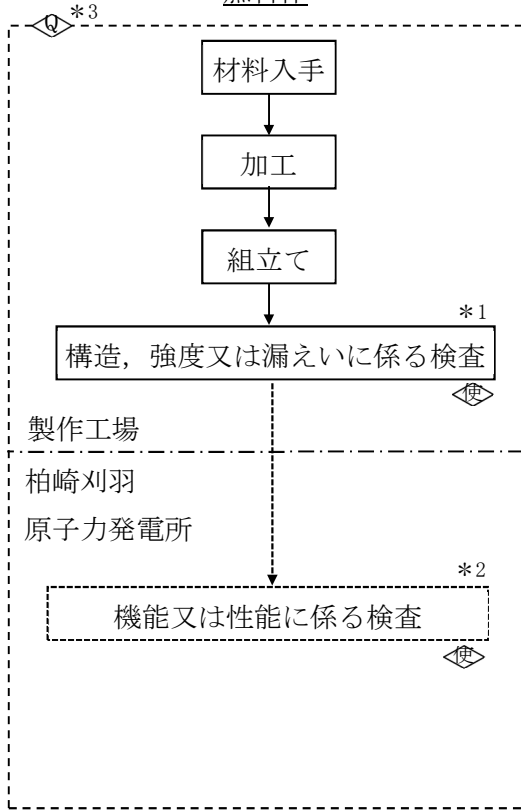
図 1-2 主要な耐圧部の溶接部に係る工事の手順と使用前事業者検査フロー

変更前

変更後

発電用原子炉施設

燃料体



注記\*1：下記の加工の工程ごとに構造、強度又は漏えいに係る検査を実施する。

①燃料材、燃料被覆材その他の部品については、組成、構造又は強度に係る試験をすることができる状態になった時

②燃料要素の加工が完了した時

③加工が完了した時

注記\*2：燃料体を発電用原子炉に受け入れた後は、原子炉本体として機能又は性能に係る検査を実施する。

注記\*3：品質マネジメントシステムに係る検査は、工事の数、工事期間を考慮して適切な時期と頻度で実施する。

注：立会い、抜き取り立会い、記録確認のいずれかで実施するかは、重要度に応じて個別の使用前事業者検査要領書で定める。

【凡例】

使：品質マネジメントシステムに係る検査以外の使用前事業者検査の検査項目（適切な時期に以下のうち必要な検査を実施）

a. 構造、強度又は漏えいに係る検査

- ・材料検査
- ・寸法検査
- ・外観検査
- ・表面汚染密度検査
- ・溶接部の非破壊検査
- ・漏えい検査
- ・質量検査

◇：品質マネジメントシステムに係る検査

変更なし

図1-3 工事の手順と使用前事業者検査のフロー（燃料体）

2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

沸騰水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

1 燃料取扱設備に係る次の事項

(1) 新燃料又は使用済燃料を取り扱う機器の名称、種類、容量、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

a. 燃料取替機 (1, 2, 5, 6 号機共用)

			変更前	変更後
名 称			燃料取替機 (1, 2, 5, 6 号機共用) <small>*1</small>	変更なし
種 類	—	燃料把握機付移床式		
容 量	燃 料 把 握 機	kg	460 (×1 台)	
	補 助 ホ イ ス ト	kg	460 (×1 台)	
	原 子 炉 冷 却 材 再 循 環 ポ ン プ 点 検 用 ホ イ ス ト	kg	1500 (×1 台)	
主 要 寸 法	走 行 レ ー ル 間 距 離	mm	<input type="text"/> <small>*2, *3</small>	
	ブ リ ッ ジ 幅	mm	<input type="text"/> <small>*2, *3</small>	
	高 さ	mm	<input type="text"/> <small>*2, *3</small>	
	ブ リ ッ ジ 高 さ	mm	<input type="text"/> <small>*2, *3</small>	
材 料	ブ リ ッ ジ	—	SS400, STKR400 <small>*3</small>	
個 数	—	1 <small>*3</small>		
取 付 箇 所	系 統 名	—	—	
	設 置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 31700mm <small>*3</small>	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1)燃料取替機」と記載。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

b. 原子炉建屋クレーン (1, 2, 5, 6 号機共用)

			変更前	変更後
名 称			原子炉建屋クレーン (1, 2, 5, 6 号機共用) <small>*1</small>	変更なし
種 類	—	天井走行式		
容 量	主 巻	t	150	
	補 巻	t	5	
主 要 寸 法	走 行 レ ー ル 間 距 離	mm	<input type="text"/> *2, *3	
	ク レ ー ン 本 体 ガ ー ダ 距 離	mm	<input type="text"/> *2, *3	
	高 さ	mm	<input type="text"/> *2, *3	
	ク レ ー ン 本 体 ガ ー ダ 幅	mm	<input type="text"/> *2, *3	
	ク レ ー ン 本 体 ガ ー ダ 高 さ	mm	<input type="text"/> *2, *3	
材 料	ク レ ー ン 本 体 ガ ー ダ	—	SM490A *3	
個 数	—	1 *3		
取 付 箇 所	系 統 名	—	—	
	設 置 床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 39700mm <small>*3</small>	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)原子炉建屋クレーン」と記載。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。



c. 燃料チャンネル着脱機 (1, 2, 5, 6 号機共用)

				変更前*1	変更後
名 称				燃料チャンネル着脱機 (1, 2, 5, 6 号機共用)	
種 類	—			可動台移動式	
容 量	体/個			1	
主 要 寸 法	全 長	mm		<input type="text"/> *2	変更なし
	機 器 高 さ	mm		<input type="text"/> *2	
	壁 面 か ら の 距 離	mm		<input type="text"/> *2	
	機 器 内 の り	mm		<input type="text"/> *2	
	ガ イ ド レ ー ル 幅 ( 横 )	mm		<input type="text"/> *2	
	ガ イ ド レ ー ル 幅 ( た て )	mm		<input type="text"/> *2	
材 料	カ ー ト	—	SUS304		
	ガ イ ド レ ー ル	—	SUS304		
個 数	—			2	
取 付 箇 所	系 統 名			—	
	設 置 床			原子炉建屋 T. M. S. L. 31700mm	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			—	

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(1) 使用済燃料貯蔵槽の名称, 種類, 容量, 主要寸法, 材料及び個数

a. 使用済燃料貯蔵プール (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)

			変更前	変更後	
名称			使用済燃料貯蔵プール (1, 2, 5, 6 号機共用) *1	使用済燃料貯蔵プール (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用) *2	
種類	—		ステンレス鋼内張りプール形 (ラック貯蔵方式)	変更なし	
容量	燃料集合体	体	3410*3		
	制御棒	本	234*4		
主要寸法	たて	mm*5	17900*6, *7, *8		
	横	mm*5	14000*6, *7, *9		
	深さ	mm*5	11820*10, *11, 8000*12, *13 *6		
要	ライニング材厚さ*14	mm	□(6.0*6), □(9.0*6) *15		
寸法	壁厚	東	mm		2000*6, *16, *17
		西	mm		1800*6, *16, *17
		南	mm		2000*6, *16, *17
		北	mm		2000*6, *16, *17
	高さ	底	mm		2300*18, 2400*19 *6, *16, *17
材料	ライニング材*20	—	SUS304		
	壁	—	鉄筋コンクリート*16		
個数	—		1		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1)使用済燃料貯蔵プール (第 1, 第 2, 第 5 及び第 6 号機共用)」と記載。

\*2 : 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (燃料プール冷却浄化系, 燃料プール代替注水系) と兼用。

\*3 : この他に, 制御棒・破損燃料貯蔵ラックに最大 30 体の破損燃料の貯蔵が可能。

\*4 : 制御棒・破損燃料貯蔵ラックに最大 30 本の制御棒を貯蔵した場合。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「m」と記載。

\*6 : 公称値を示す。

\*7 : 使用済燃料貯蔵プール内のりを示す。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「17.9」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「14.0」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*10 : 使用済燃料貯蔵ラック据付エリアの深さを示す。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「11.8」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*12 : RCCV トップスラブエリアの深さを示す。

\*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「8.0」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材厚さ (最小)」と記載。

- \*15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*16：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*17：ライニング材を含む厚さを示す。
- \*18：使用済燃料貯蔵ラック据付エリアの底厚さを示す。
- \*19：RCCV トップスラブエリアの底厚さを示す。
- \*20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料（内張り材）」と記載。

(2) 使用済燃料運搬用容器ピットの名称, 種類, 容量, 主要寸法, 材料及び個数

a. キャスクピット (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)

			変更前	変更後	
名称			キャスクピット (1, 2, 5, 6 号機共用) *1	キャスクピット (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用) *2	
種類	—		ステンレス鋼内張りプール形 (使用済燃料貯蔵プール内設置)	変更なし	
容量	個		1 (使用済燃料輸送容器) *3		
主	た	mm*4	3200*5, *6, *7		
	横	mm*4	3200*5, *6, *8		
要	深	mm*4	11801*5, *9		
	ライニング材厚さ*10	mm	□(6.0*5), □(25.0*5) *11		
寸	厚	東	mm		600*3, *5, *12
		西	mm		600*3, *5, *12
		南	mm		600*3, *5, *12
		北	mm		2000*3, *5, *12
		底	mm		2319*3, *5, *12
法	ライニング材*13	—	SUS304		
	壁	—	鉄筋コンクリート*3		
個	数	—	1		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)キャスクピット」と記載。

\*2 : 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (燃料プール冷却浄化系, 燃料プール代替注水系) と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「m」と記載。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : キャスクピット内のりを示す。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.2」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.2」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「11.8」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材厚さ(最小)」と記載。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「□」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*12 : ライニング材を含む厚さを示す。

\*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料 (内張り材)」と記載。

(3) 使用済燃料貯蔵ラックの名称, 種類, 容量, 主要寸法, 材料及び個数

		変 更 前					変 更 後
名 称		使用済燃料貯蔵ラック (1, 2, 5, 6 号機共用) *1					使用済燃料貯蔵ラック (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)
種 類	—	たて置ラック式					変更なし
容 量	体/個*2	176	187	120	187	210	
主 要 寸 法	高 さ	mm	□ *3, *4				
	中心間距離	mm	□ *3		□ *3		
	内 の り	mm	□ *3				
	厚 さ	mm	□ *5 (□ *3)		□ *5 (□ *3)		
材 料	—	ポロン添加ステンレス鋼鋼管, SUS304*5			ポロン添加ステンレス鋼板, SUS304*5		
個 数	—	5	8	2	2	2	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)貯蔵ラック a. 使用済燃料貯蔵ラック (第1, 第2, 第5及び第6号機共用)」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「体 (又は本)」と記載。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである「□」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

(参考) ボロン添加ステンレス鋼規格表

[変更前]

材 料 名	機 械 的 性 質			化 学 成 分 (wt%)							備 考	
	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	降伏点 (耐力) (N/mm <sup>2</sup> )	伸び (%)	C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr		B
ボロン添加 ステンレス鋼鋼管	≥519*	≥205*	≥20									
ボロン添加 ステンレス鋼板	≥520	≥205	≥16									

[変更後]

材 料 名	機 械 的 性 質			化 学 成 分 (wt%)							備 考
	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	降伏点 (耐力) (N/mm <sup>2</sup> )	伸び (%)	C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	
ボロン添加 ステンレス鋼鋼管	変更なし										
ボロン添加 ステンレス鋼板	変更なし										

注記\* : SI 単位に換算したものである。

(4) 破損燃料貯蔵ラックの名称, 種類, 容量, 主要寸法, 材料及び個数

a. 制御棒・破損燃料貯蔵ラック

		変更前		変更後	
名 称		制御棒・破損燃料貯蔵ラック <sup>*1</sup>		変更なし	
種 類	—	たて置ラック式			
容 量	体/個 <sup>*2</sup> (又は本/個)	8	2		
主 要 寸 法	高 さ	mm	□ <sup>*3, *4</sup>		
	中 心 間 距 離	mm	□ <sup>*3</sup>		
	内 の り	mm	□ <sup>*3</sup>		□ <sup>*3</sup>
	厚 さ	mm	□ <sup>*3</sup>		□ <sup>*3</sup>
材 料	—	SUS304TKA			
個 数	—	3			

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)貯蔵ラック b. 制御棒・破損燃料貯蔵ラック」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「体 (又は本) 」と記載。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである「□」と記載。記載内容は, 設計図書による。

(5) 制御棒貯蔵ラックの名称, 種類, 容量, 主要寸法, 材料及び個数

(4)項に含む。

(6) 制御棒貯蔵ハンガの名称, 種類, 容量, 主要寸法, 材料及び個数

		変更前		変更後			
名称		—		*1 制御棒貯蔵ハンガ			
種類	—	吊り下げ式					
容量*2	本/個	102 (6本×17列)					
主要寸法	たて	mm	□ *3, *4			変更なし	
	全長	mm	□ *3				
	高さ	mm	□ *3, *4				
	サポート外径	mm	*3, *4 角鋼管 □	*3, *4 □	*3, *4 □		*3, *4 □
	サポート厚さ	mm	*3, *4 □ □	*3, *4 □	*3, *4 □		*3, *4 □
材料*5	—	SUS304	SUS304TP*4				
個数	—	2					

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(4)制御棒貯蔵ハンガ」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御棒貯蔵容量」と記載。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料 (ハンガ)」と記載。



(8) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

変 更 前					変 更 後					
名 称	種 類	計 測 範 囲	取 付 箇 所	個 数	名 称	種 類	計 測 範 囲	取 付 箇 所	個 数	
—	使用済燃料貯蔵プ ール温度*1	0~100℃	系 統 名	—	1	燃料プール冷却浄 化系ポンプ入口温 度*1	0~100℃	系 統 名	—	
			設 置 床	原子炉建屋 T. M. S. L. 31700mm				設 置 床	原子炉建屋 T. M. S. L. 18100mm	
			溢水防護上の 区 画 番 号	R-4F-3 共				溢水防護上の 区 画 番 号	R-2F-1	
			溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ	EL0.00m 以上				溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ	EL0.92m 以上	
	使用済燃料貯蔵プ ール水位*2	フロート 式水位検 出器	T. M. S. L. 31233mm ~ T. M. S. L. 31427mm	系 統 名	—	1	変更なし	変更なし	系 統 名	—
				設 置 床	原子炉建屋 T. M. S. L. 31700mm				設 置 床	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm
				—	—				溢水防護上の 区 画 番 号	R-4F-3 共
	使用済燃料貯蔵プ ールライナ漏えい 検出*2	フロート 式水位検 出器	+523mm*3	系 統 名	—	1	変更なし	変更なし	系 統 名	—
設 置 床				原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	設 置 床				—	
—				—	溢水防護上の 区 画 番 号				—	
								溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ	—	

変更前						変更後					
名称	種類	計測範囲	取付	箇所	個数	名称	種類	計測範囲	取付	箇所	個数
—	—	—	—	—	—	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	熱電対	水位	系統名	—	1*4
								T. M. S. L. 23420mm			
								～	設置床	原子炉建屋 T. M. S. L. 31700mm	
								T. M. S. L. 30420mm			
						温度	溢水防護上の 区画番号	R-4F-3 共			
								0～150℃	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	EL0.00m 以上	
使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	熱電対	水位	系統名	—	1*5						
		T. M. S. L. 20180mm									
		～	設置床	原子炉建屋 T. M. S. L. 31700mm							
		T. M. S. L. 31170mm									
温度	溢水防護上の 区画番号	R-4F-3 共									
		0～150℃	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	EL0.00m 以上							

注記\*1 : 本設備は既存の設備である。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 基準点はドレン止め弁。

\*4 : 検出点 8 箇所。

\*5 : 検出点 14 箇所。

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

4.1 燃料プール冷却浄化系

(1) 熱交換器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力 (管側及び胴側の別に記載すること。), 最高使用温度 (管側及び胴側の別に記載すること。), 伝熱面積, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. 燃料プール冷却浄化系熱交換器 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)

			変更前	変更後	
名 称			燃料プール冷却浄化系熱交換器 (1, 2, 5, 6 号機共用) *1	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	
種 類	—		横置 U 字管式		
容 量 ( 設 計 熱 交 換 量 )	MW/個		□以上*2 (1.92*3, *4)	変更なし	
管 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.57*3		
	最 高 使 用 温 度	℃	66	変更なし 77*5	
胴 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.37*3		
	最 高 使 用 温 度	℃	70		
伝 熱 面 積			□以上*2 (□*4)		
主 要 寸 法	管 側	胴 内 径*6	mm	700*4	変更なし
		胴 板 厚 さ*7	mm	□*8(12.0*4)	
	鏡 板 厚 さ*9	mm	□*8(12.0*4)		
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	700*4, *8 (鏡板の内面における長径) 175*4, *8 (鏡板の内面における短径の 2 分の 1)		
	管 台 外 径 ( 管 側 入 口 )	mm	216.3*4, *8		
	管 台 厚 さ ( 管 側 入 口 )	mm	□(8.2*4) *8		
	管 台 外 径 ( 管 側 出 口 )	mm	216.3*4, *8		
	管 台 厚 さ ( 管 側 出 口 )	mm	□(8.2*4) *8		
	側	胴 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	50.0*8(50.0*4)	
	法 側	胴 内 径*10	mm	700*4	
胴 板 厚 さ*11		mm	□*8(12.0*4)		
鏡 板 厚 さ*12		mm	□*8(12.0*4)		
鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法		mm	700*4, *8 (鏡板の内面における長径) 175*4, *8 (鏡板の内面における短径の 2 分の 1)		
管 台 外 径 ( 胴 側 入 口 )		mm	216.3*4, *8		

				変更前	変更後
主 要 寸 法	洞 側	管台厚さ（洞側入口）	mm	□ (8.2*4) *8	変更なし
		管台外径（洞側出口）	mm	216.3*4, *8	
		管台厚さ（洞側出口）	mm	□ (8.2*4) *8	
	管板厚さ	mm	□ *8 (65.0*4)		
	伝熱管外径	mm	□ *4		
	伝熱管厚さ	mm	□ *8 (□ *4)		
	全長	mm	5987*4		
材 料	側	洞板	—	SUS304	変更なし
		鏡板	—	SUS304	
		洞フランジ	—	SUSF304*2	
	洞側	洞板	—	SGV410*13	
		鏡板	—	SGV410*13	
	管板	—	SUSF304		
	伝熱管	—	SUS304TB		
個数	—	2			
取 付 箇 所	系統名	—	燃料プール冷却浄化系*2		
	設置床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm *2		
	溢水防護上の区画番号	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1)燃料プール冷却浄化系熱交換器」と記載。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3：SI単位に換算したものである。

\*4：公称値を示す。

\*5：重大事故等時における使用時の値。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室胴部厚さ」と記載。

\*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成5年6月17日付け4資庁第14561号にて認可された工事計画のIV-3-4-1-1「燃料プール冷却浄化系熱交換器の強度計算書」による。

\*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

\*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

\*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

\*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴部鏡板厚さ」と記載。

\*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV42」と記載。記載内容は、設計図書による。

(2) ポンプの名称, 種類, 容量, 揚程又は吐出圧力, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所並びに原動機の種類, 出力, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. 燃料プール冷却浄化系ポンプ (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)

			変更前	変更後		
名 称			燃料プール冷却浄化系ポンプ (1, 2, 5, 6 号機共用) *1	燃料プール冷却浄化系ポンプ (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)		
ポ ン プ	種 類	—	うず巻形	変更なし		
	容 量*2	m <sup>3</sup> /h/個	□ 以上*3(250*4)			
	揚 程*5	m	□ 以上*3(80*4)			
	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.57*3			
	最 高 使 用 温 度	℃	66*3		変更なし 77*6	
	主	吸 込 内 径	mm		151*3, *4	変更なし
		吐 出 内 径	mm		151*3, *4	
	要 寸 法	ケ ー シ ン グ 厚 さ	mm		□ (15*4) *3	
		た て	mm		580*3, *4	
		横	mm		860*3, *4	
		高 さ	mm		870*3, *4	
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		□	
		ケ ー シ ン グ カ バ ー	—		□*3	
	個 数	—	2		燃料プール冷却浄化系*3 *3 原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm	
取 付 箇 所	系 統 名	—	燃料プール冷却浄化系*3			
	設 置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm			
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	R-2F-4		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	EL. 0.32m 以上		
原 動 機	種 類	—	誘導電動機	変更なし		
	出 力	kW/個	90			
	個 数	—	2			
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ*3			

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)燃料プール冷却浄化系ポンプ」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

- \*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*4 : 公称値を示す。
- \*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載。
- \*6 : 重大事故等時における使用時の値。

(5) スキマサージ槽の名称, 種類, 容量, 主要寸法, 材料及び個数

a. スキマサージタンク (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)

		変 更 前*1		変 更 後		
名 称		スキマサージタンク (1, 2, 5, 6 号機共用)		スキマサージタンク (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)		
種 類	—	たて形円筒タンク埋込式		変更なし		
容 量	m <sup>3</sup> /個	23.8				
主 要 寸 法	内 径	mm	2300*2			
	深 さ	mm	6210*2			
要 寸 法	ライニング材厚さ	mm	□ (6.0*2)			
	底 板 厚 さ	mm	□ (8.0*2)			
寸 法	管台外径 (流体出口)	mm	318.5*2			
	壁 厚 さ	使用済燃料貯蔵 プ ー ル 側	mm			850*2, *3
		原子炉ウェル側	mm			906*2, *3
材 料	ライニング材	—	SUS304			
	底 板	—	SUS304			
	壁	—	鉄筋コンクリート			
個 数	—	2				

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : ライニング材を含む厚さを示す。

(8) 主配管（スプレイヘッドを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

変 更 前						変 更 後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
燃 料 プ ール 冷 却 浄 化 系	スキマサージタンク ～ 燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系分岐部 (1, 2, 5, 6号機共用) <sup>*1</sup>	静水頭	66	318.5 <sup>*2</sup>	10.3 <sup>*2</sup>	SUS304TP	スキマサージタンク ～ 燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系分岐部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	変更なし 77 <sup>*3</sup>	変更なし			
		—						静水頭 <sup>*3</sup>	77 <sup>*3</sup>	<sup>*2, *4, *5</sup> 318.5	<sup>*2, *4, *5</sup> 10.3	<sup>*4, *5</sup> SUS304TP	
		—								<sup>*2, *5</sup> 318.5 /318.5	<sup>*2, *5</sup> 10.3 /10.3	<sup>*5</sup> SUS304TP	
	—					<sup>*2, *5</sup> 318.5 /318.5 / —	<sup>*2, *5</sup> 10.3 /10.3 / —	<sup>*5</sup> SUS304TP					
	燃 料 プ ール 冷 却 浄 化 系	燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系分岐部 ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ (1, 2, 5, 6号機共用) <sup>*1</sup>	静水頭	66	318.5 <sup>*2</sup>	10.3 <sup>*2</sup>	SUS304TP	燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系分岐部 ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	変更なし 77 <sup>*3</sup>	変更なし		
			1.57 <sup>*6</sup>	66	318.5 <sup>*2</sup>	10.3 <sup>*2</sup>	STS410 <sup>*7</sup>		1.57 <sup>*3</sup>	77 <sup>*3</sup>	<sup>*2, *4, *5</sup> 318.5	<sup>*2, *4, *5</sup> 10.3	<sup>*4, *5</sup> STS410
		—					<sup>*2, *5</sup> 318.5 /318.5	<sup>*2, *5</sup> 10.3 /10.3			<sup>*5</sup> STS410		
		—					<sup>*2, *5</sup> 318.5 /216.3	<sup>*2, *5</sup> 10.3 / 8.2			<sup>*5</sup> STS410		
		1.57 <sup>*6</sup>		66	216.3 <sup>*2</sup>	8.2 <sup>*2</sup>	STS410 <sup>*7</sup>	変更なし	変更なし 77 <sup>*3</sup>	変更なし			
		—					1.57 <sup>*3</sup>	77 <sup>*3</sup>	<sup>*2, *5</sup> 216.3 /216.3 / —	<sup>*2, *5</sup> 8.2 /8.2 / —	<sup>*5</sup> STS410		
—					<sup>*2, *4, *5</sup> 216.3	<sup>*2, *4, *5</sup> 8.2			<sup>*4, *5</sup> STS410				
—					<sup>*2, *5</sup> 216.3 /165.2	<sup>*2, *5</sup> 8.2 /7.1	<sup>*5</sup> STS410						



変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
燃 料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	*8 燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系分岐部	静水頭	66	318.5*2	10.3*2	SUS304TP	燃 料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	変更なし				
	燃料プール冷却浄化系配管残留熱 除去系配管(B)分岐部	1.57	66	318.5*2	10.3*2	STS410						
	*8 燃料プール冷却浄化系配管残留熱 除去系配管(B)分岐部 ～ E11-F016B	1.57	66	318.5*2	10.3*2	STS410						
	*8 燃料プール冷却浄化系配管残留熱 除去系配管(B)分岐部 ～ 燃料プール冷却浄化系配管残留熱 除去系配管(A)(C)分岐部	1.57	66	318.5*2	10.3*2	STS410						
	*8 燃料プール冷却浄化系配管残留熱 除去系配管(A)(C)分岐部 ～ E11-F016C	1.57	66	318.5*2	10.3*2	STS410						
	*8 燃料プール冷却浄化系配管残留熱 除去系配管(A)(C)分岐部 ～ E11-F016A	1.57	66	318.5*2	10.3*2	STS410						
	*9 燃料プール冷却浄化系ポンプ(B) ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ(B) 吐出ライン分岐部 (1, 2, 5, 6号機共用)  (次頁へ続く)	1.57*6	66	165.2*2	7.1*2	STS410*7		燃料プール冷却浄化系ポンプ(B) ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ(B) 吐出ライン分岐部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)  (次頁へ続く)	変更なし	変更なし 77*3	変更なし	
			—				1.57*3	77*3	*2, *4, *5 165.2	*2, *4, *5 7.1	*4, *5 STS410	
									*2, *5 216.3 /165.2	*2, *5 8.2 /7.1	*5 STS410	

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
燃料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	(前頁からの続き)	1.57*6	66	216.3*2	8.2*2	STS410*7	(前頁からの続き)	変更なし	変更なし 77*3	変更なし		
				—			1.57*3	77*3	*2, *4, *5 216.3	*2, *4, *5 8.2	*4, *5 STS410	
				—					*2, *5 267.4 /267.4 /216.3	*2, *5 9.3 /9.3 /8.2	*5 STS410	
	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B) 吐出ライン分岐部 ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ(A) 吐出ライン合流部 (1, 2, 5, 6号機共用)	1.57*6	66	267.4*2	9.3*2	STS410*7	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B) 吐出ライン分岐部 ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ(A) 吐出ライン合流部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	変更なし 77*3	変更なし		
	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A) ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ(A) 吐出ライン合流部 (1, 2, 5, 6号機共用)	1.57*6	66	165.2*2	7.1*2	STS410*7	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A) ～ 燃料プール冷却浄化系ポンプ(A) 吐出ライン合流部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	変更なし 77*3	*2, *4, *5 165.2	*2, *4, *5 7.1	*4, *5 STS410
				—			1.57*3	77*3	*2, *5 216.3 /165.2	*2, *5 8.2 /7.1	*5 STS410	
		1.57*6	66	216.3*2	8.2*2	STS410*7	変更なし	変更なし 77*3	変更なし			
				—			1.57*3	77*3	*2, *4, *5 216.3	*2, *4, *5 8.2	*4, *5 STS410	
				—					*2, *5 267.4 /216.3	*2, *5 9.3 /8.2	*5 STS410	
				—					*2, *4, *5 267.4	*2, *4, *5 9.3	*4, *5 STS410	

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
燃料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	*9 燃料プール冷却浄化系ポンプ(A) 吐出ライン合流部 ～ ろ過脱塩器バイパスライン分岐部 (1, 2, 5, 6号機共用)					—	燃料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A) 吐出ライン合流部 ～ ろ過脱塩器バイパスライン分岐部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)				
	1.57*6	66	267.4*2	9.3*2	STS410*7	変更なし		変更なし 77*3	変更なし			
	—					1.57*3		77*3	*2, *4, *5 267.4	*2, *4, *5 9.3	*4, *5 STS410	
						—	—	*2, *5 267.4 /267.4 /—	*2, *5 9.3 /9.3 /—	*5 STS410		
	*9 ろ過脱塩器バイパスライン分岐部 ～ 燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器 (1, 2, 5, 6号機共用)					燃料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	変更なし					
	1.57*6	66	267.4*2	9.3*2	STS410*7							
			267.4*2	9.3*2	STPT370*10							
			216.3*2	8.2*2	STPT370*10							
			216.3*2	8.2*2	SUS304TP							
	*11 燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器 ～ ろ過脱塩器出口ライン合流部 (1, 2, 5, 6号機共用)					燃料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	変更なし					
1.57*6	66	216.3*2	8.2*2	SUS304TP								
		165.2*2	7.1*2	SUS304TP								
		267.4*2	9.3*2	SUS304TP								
*11 ろ過脱塩器出口ライン合流部 ～ ろ過脱塩器バイパスライン合流部 (1, 2, 5, 6号機共用)					—	ろ過脱塩器出口ライン合流部 ～ ろ過脱塩器バイパスライン合流部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)						
1.57*6	66	267.4*2	9.3*2	SUS304TP	1.57*3	77*3	*2, *5 267.4 /— /267.4	*2, *5 9.3 /— /9.3	*5 SUS304TP			
—					1.57*3	77*3	変更なし					
					変更なし					変更なし	変更なし 77*3	変更なし

変 更 前						変 更 後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
燃 料 プ ール 冷 却 浄 化 系	*11 ろ過脱塩器バイパスライン合流部 ～ 燃料プール冷却浄化系熱交換器 (1, 2, 5, 6 号機共用)	—				燃 料 プ ール 冷 却 浄 化 系	ろ過脱塩器バイパスライン合流部 ～ 燃料プール冷却浄化系熱交換器 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	1.57*3	77*3	*2, *5 267.4 /267.4 /267.4	*2, *5 9.3 /9.3 /9.3	*5 SUS304TP	
		1.57*6	66	267.4*2	9.3*2			SUS304TP	変更なし	変更なし 77*3	変更なし		
		—						1.57*3	77*3	*2, *4, *5 267.4	*2, *4, *5 9.3	*4, *5 SUS304TP	
		—						1.57*3	77*3	*2, *5 267.4 /216.3	*2, *5 9.3 /8.2	*5 SUS304TP	
		1.57*6	66	216.3*2	8.2*2			SUS304TP	変更なし	変更なし 77*3	変更なし		
	—				1.57*3	77*3	*2, *4, *5 216.3	*2, *4, *5 8.2	*4, *5 SUS304TP				
	—					*5 ろ過脱塩器バイパスライン分岐部 ～ ろ過脱塩器出口ライン合流部	1.57*3	77*3	267.4*2	9.3*2	STS410		
	—					*5 燃料プール冷却浄化系ポンプ(B) 吐出ライン分岐部 ～ ろ過脱塩器バイパスライン合流部	1.57*3	77*3	267.4*2	9.3*2	STS410		
	—					*5 燃料プール冷却浄化系熱交換器 ～ G41-F015 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	1.57*3	77*3	*2, *4, *5 267.4*2	*2, *4, *5 9.3*2	SUS304TP		
	—					*5 燃料プール冷却浄化系熱交換器 ～ G41-F015 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	1.57*3	77*3	*2, *4, *5 216.3	*2, *4, *5 8.2	*4, *5 SUS304TP		
—					変更なし	変更なし 77*3	変更なし						
—					1.57*3	77*3	*2, *5 267.4 /216.3	*2, *5 9.3 /8.2	*5 SUS304TP				
*12 燃料プール冷却浄化系熱交換器 ～ G41-F015 (1, 2, 5, 6 号機共用)	1.57*6	66	216.3*2	8.2*2	SUS304TP								
(次頁へ続く)					(次頁へ続く)								

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
燃 料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	(前頁からの続き)					燃 料 プ ー ル 冷 却 浄 化 系	(前頁からの続き)					
	—						—					
	1.57*6	66	267.4*2	9.3*2	SUS304TP		変更なし	変更なし 77*3	変更なし			
	*12 G41-F015 ～ 燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系合流部 (1, 2, 5, 6号機共用)						*12 G41-F015 ～ 燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系合流部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)					
	1.57*6	66	267.4*2	9.3*2	SUS304TP		変更なし	変更なし 77*3	変更なし			
	*12 燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系合流部 ～ 使用済燃料貯蔵プール (1, 2, 5, 6号機共用)						燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系合流部 ～ 使用済燃料貯蔵プール (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)					
	1.57*6	66	267.4*2	9.3*2	SUS304TP		変更なし	変更なし 77*3	変更なし			
	—						—					
	1.57*6	66	216.3*2	8.2*2	SUS304TP		変更なし	変更なし 77*3	変更なし			
	—						—					
	—						—					

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
燃料プール冷却浄化系	E11-F015 ～ 燃料プール冷却浄化系及び 残留熱除去系合流部	1.57	66	406.4 <sup>*2</sup>	9.5 <sup>*2</sup>	燃料プール冷却浄化系	変更なし				
				406.4 <sup>*2</sup>	9.5 <sup>*2</sup>						
				267.4 <sup>*2</sup>	9.3 <sup>*2</sup>						

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「スキマサージタンクから燃料プール冷却浄化系ポンプまで」と記載。

\*2：公称値を示す。

\*3：重大事故等時における使用時の値。

\*4：エルボを示す。

\*5：本設備は既存の設備である。

\*6：SI単位に換算したものである。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系ポンプから燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器まで」と記載。

\*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器から燃料プール冷却浄化系熱交換器まで」と記載。

\*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系熱交換器から使用済燃料貯蔵プールへ」と記載。

#### 4.2 燃料プール代替注水系

- (2) ポンプの名称, 種類, 容量, 揚程又は吐出圧力, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所並びに原動機の種類, 出力, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

##### ・可搬型

以下の設備は, 7号機設備であり, 6号機及び7号機共用 (7号機で申請済) である。

可搬型代替注水ポンプ (A-1級) (7号機設備, 6, 7号機共用)

可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) \*

注記\* : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (格納容器圧力逃がし装置) 及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系, 水の供給設備) 並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備 (格納容器下部注水系, 代替格納容器スプレイ冷却系, 低圧代替注水系), 圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (格納容器圧力逃がし装置) 及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) と兼用。

(6) ろ過装置の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・可搬型

以下の設備は, 7号機設備であり, 6号機及び7号機共用 (7号機で申請済) である。

可搬型 Y 型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用) \*

注記\* : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (格納容器圧力逃がし装置) 及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系, 水の供給設備) 並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備 (格納容器下部注水系, 代替格納容器スプレー冷却系, 低圧代替注水系), 圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (格納容器圧力逃がし装置) 及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) と兼用。



(8) 主配管（スプレイヘッドを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
燃料プール冷却浄化系	—	—	—	—	—	燃料プール冷却浄化系	2.0*1	40*1	使用済燃料貯蔵プール 接続口（北）	76.3*2, *3	5.2*2, *3	SUS304TP*3
									～	89.1*2	5.5*2	SUS304TP
									使用済燃料貯蔵プール 接続口（北），（東）	/76.3	/5.2	SUS304TP
									配管合流部	114.3*2	6.0*2	SUS304TP
										/ 89.1	/5.5	SUS304TP
										114.3*2	6.0*2	SUS304TP
						燃料プール冷却浄化系	2.0*1	40*1	使用済燃料貯蔵プール 接続口（東）	114.3*2, *3	6.0*2, *3	SUS304TP*3
									～	89.1*2, *3	5.5*2, *3	SUS304TP*3
									使用済燃料貯蔵プール 接続口（北），（東）	89.1*2	5.5*2	SUS304TP
									配管合流部	76.3*2, *3	5.2*2, *3	SUS304TP*3
										89.1*2	5.5*2	SUS304TP
										89.1*2, *3	5.5*2, *3	SUS304TP*3

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
燃料プール冷却浄化系	—	—	—	—	—	燃料プール冷却浄化系	2.0*1	40*1	89.1 <sup>*2</sup> /89.1 /89.1	5.5 <sup>*2</sup> /5.5 /5.5	SUS304TP
									89.1*2	5.5*2	SUS304TP
									89.1 <sup>*2</sup> /— /89.1	5.5 <sup>*2</sup> /— /5.5	SUS304TP
									89.1*2, *3	5.5*2, *3	SUS304TP*3
									89.1*2	5.5*2	SUS304
補給水系	—	—	—	—	—	補給水系	2.0*1	40*1	114.3*2	6.0*2	STPT370
									114.3*2, *3	6.0*2, *3	STPT370*3
									165.2 <sup>*2</sup> /114.3	7.1 <sup>*2</sup> /6.0	STPT370
									165.2*2	7.1*2	STPT370
									165.2*2, *3	7.1*2, *3	STPT370*3

注記\*1 : 重大事故等時における使用時の値。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : エルボを示す。

・可搬型

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (—)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (—)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替給水設備			—					*1 可搬型代替注水ポンプ屋内用20mホース	2.0*2	40*2	75 A*3	—*4	ポリエステル	36*5 (予備1)	保管場所： 原子炉建屋 T.M.S.L.約 23500mm, T.M.S.L.約 12300mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L.約 35000mm 予備を含めた 37 本を上記 3 箇所のうち原子炉建屋 T.M.S.L.約 12300mm に 11 本, 原子炉建屋 T.M.S.L.約 23500mm に 8 本及び大湊側高台保管場所に 18 本保管する。  取付箇所： 原子炉建屋 T.M.S.L.約 12300mm 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース又は使用済燃料貯蔵プール可搬式接続口 (屋内南) ~原子炉建屋 T.M.S.L.約 31700mm 可搬型スプレイヘッダ*6:12 本*7 原子炉建屋 T.M.S.L.約 12300mm 復水補給水系可搬式接続口 (屋内東) ~原子炉建屋 T.M.S.L.約 12300mm 復水補給水系可搬式接続口 (屋内西) *8:6 本

K6 ① II R0

注記\*1 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備 (格納容器下部注水系, 代替格納容器スプレイ冷却系, 低圧代替注水系) と兼用。

\*2 : 重大事故等時における使用時の値。

\*3 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

\*4 : メーカー仕様によるものとし, 完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって, 使用材料の特性を踏まえた上で, 重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

\*5 : 必要本数 18 本を 2 セットに予備 1 本の数量を示す。

\*6 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (可搬型スプレイヘッダを用いた使用済燃料貯蔵プールへの注水及びスプレイ) で使用する場合。

\*7 : 最長のルートである「可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース～可搬型スプレイヘッド」に敷設した場合の本数を示す。

\*8 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系，代替格納容器スプレイ冷却系，低圧代替注水系）で使用する場合。

以下の設備は，7号機設備であり，6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース（7号機設備，6,7号機共用）\*9

代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ燃料プール代替注水用屋外 20m ホース（7号機設備，6,7号機共用）

燃料プール冷却浄化系 可搬型スプレイヘッド（7号機設備，6,7号機共用）

注記\*9 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系，水の供給設備）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系，代替格納容器スプレイ冷却系，低圧代替注水系），圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。

#### 4.3 原子炉建屋放水設備

- (2) ポンプの名称，種類，容量，揚程又は吐出圧力，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所並びに原動機の種類，出力，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

- ・可搬型

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）であり，核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建屋放水設備）として本工事計画で兼用とする。

大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）（7号機設備，6,7号機共用）

- (8) 主配管（スプレイヘッドを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）

・可搬型

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）であり，核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建屋放水設備）として本工事計画で兼用とする。

原子炉建屋放水設備 大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）吸込 20m ホース（7号機設備，6,7号機共用）

原子炉建屋放水設備 大容量送水車吐出放水砲用 5m, 10m, 50m ホース（7号機設備，6,7号機共用）

原子炉建屋放水設備 放水砲（7号機設備，6,7号機共用）

## 5 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格

## (1) 基本設計方針

変更前	変更後
<p>用語の定義は「発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令」, 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置, 構造及び設備の基準に 関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関 する規則」並びにこれらの解釈による。</p>	<p>用語の定義は「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置, 構造及び 設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の 技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>
<p>第1章 共通項目</p> <p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の共通項目である「1. 地盤等, 2. 自然現象, 3. 火災, 5. 設備に対する要求 (5.5 安全弁等, 5.6 逆止め弁, 5.7 内燃機関の設計条件を除く。), 6. その他」の基本設 計方針については, 原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共 通項目」に基づく設計とする。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の共通項目である「1. 地盤等, 2. 自然現象, 3. 火災, 4. 溢水等, 5. 設備に対する要求 (5.5 安 全弁等, 5.6 逆止め弁, 5.7 内燃機関及びガスタービンの設計条件を 除く。), 6. その他」の基本設計方針については, 原子炉冷却系統施設 の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 燃料取扱設備</p> <p>燃料体又は使用済燃料 (以下「燃料体等」という。) の取扱設備は, 燃料取替機 (「1, 2, 5, 6 号機共用」 (以下同じ。)), 原子炉建屋クレー ン (「1, 2, 5, 6 号機共用」 (以下同じ。)) 及び燃料チャンネル着脱機 (「1, 2, 5, 6 号機共用」 (以下同じ。)) で構成し, 燃料取替機, 原子炉 建屋クレーン及び燃料チャンネル着脱機は, 新燃料を原子炉建屋原 子炉区域 (二次格納施設) に搬入してから原子炉建屋原子炉区域 (二 次格納施設) 外へ搬出するまで, 燃料体等を安全に取り扱うことができ る設計とする。</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 燃料取扱設備</p> <p>燃料体又は使用済燃料 (以下「燃料体等」という。) の取扱設備は, 燃料取替機 (「1, 2, 5, 6 号機共用」 (以下同じ。)), 原子炉建屋クレー ン (「1, 2, 5, 6 号機共用」 (以下同じ。)) 及び燃料チャンネル着脱機 (「1, 2, 5, 6 号機共用」 (以下同じ。)) で構成し, 燃料取替機, 原子炉 建屋クレーン及び燃料チャンネル着脱機は, 新燃料を原子炉建屋原 子炉区域 (二次格納施設) に搬入してから原子炉建屋原子炉区域 (二 次格納施設) 外へ搬出するまで, 燃料体等を安全に取り扱うことができ る設計とする。</p>

変更前	変更後
<p>新燃料は、原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）内に設ける新燃料貯蔵設備から原子炉建屋クレーン及び燃料チャンネル着脱機を介して使用済燃料貯蔵プール（「1, 2, 5, 6 号機共用」（以下同じ。））に移し、燃料取替機により発電用原子炉に装荷できる設計とする。</p> <p>また、燃料の取替えは、原子炉上部の原子炉ウェルに水を張り、水中で燃料取替機により行うことができる設計とする。</p> <p>使用済燃料は、遮蔽に必要な水深を確保した状態で、燃料取替機により水中移送し、原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）内の使用済燃料貯蔵プールの使用済燃料貯蔵ラック（「1, 2, 5, 6 号機共用」（以下同じ。））に貯蔵できる設計とする。</p> <p>使用済燃料の発電所外への搬出には、使用済燃料輸送容器を使用する。使用済燃料はキャスクピット（1, 2, 5, 6 号機共用）で使用済燃料輸送容器に収納し、キャスク除染設備で使用済燃料輸送容器の除染を行い発電所外へ搬出する。</p> <p>燃料取替機及び燃料チャンネル着脱機は、燃料体等を一体ずつ取り扱う構造とすることにより、臨界を防止する設計とし、燃料体等の検査等を行う際に水面に近づいた状態であっても、燃料体等からの放射線の遮蔽に必要な水深を確保できる設計とする。</p> <p>原子炉建屋クレーンは、未臨界性を確保した容器に収納して吊り上げる場合を除き、燃料体等を取り扱う場合は、一体ずつ取り扱う構造とし、臨界を防止する設計とする。</p> <p>燃料取替機は、燃料体等の発電用原子炉から使用済燃料貯蔵プー</p>	<p>新燃料は、原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）内に設ける新燃料貯蔵設備から原子炉建屋クレーン及び燃料チャンネル着脱機を介して使用済燃料貯蔵プール（「設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用」（以下同じ。））に移し、燃料取替機により発電用原子炉に装荷できる設計とする。</p> <p>また、燃料の取替えは、原子炉上部の原子炉ウェルに水を張り、水中で燃料取替機により行うことができる設計とする。</p> <p>使用済燃料は、遮蔽に必要な水深を確保した状態で、燃料取替機により水中移送し、原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）内の使用済燃料貯蔵プールの使用済燃料貯蔵ラック（「設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用」（以下同じ。））に貯蔵できる設計とする。</p> <p>使用済燃料の発電所外への搬出には、使用済燃料輸送容器を使用する。使用済燃料はキャスクピット（「設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用」（以下同じ。））で使用済燃料輸送容器に収納し、キャスク除染設備で使用済燃料輸送容器の除染を行い発電所外へ搬出する。</p> <p>燃料取替機及び燃料チャンネル着脱機は、燃料体等を一体ずつ取り扱う構造とすることにより、臨界を防止する設計とし、燃料体等の検査等を行う際に水面に近づいた状態であっても、燃料体等からの放射線の遮蔽に必要な水深を確保できる設計とする。</p> <p>原子炉建屋クレーンは、未臨界性を確保した容器に収納して吊り上げる場合を除き、燃料体等を取り扱う場合は、一体ずつ取り扱う構造とし、臨界を防止する設計とする。</p> <p>燃料取替機は、燃料体等の発電用原子炉から使用済燃料貯蔵プー</p>



変更前	変更後
<p>ルへの移送操作，使用済燃料貯蔵プールから発電用原子炉への移送操作，使用済燃料輸送容器への収納操作等をすべて水中で行うことで，崩壊熱により燃料体等が溶融せず，燃料体等からの放射線に対して，適切な遮蔽能力を有する設計とする。</p> <p>燃料チャンネル着脱機は，燃料体等の検査等のための昇降操作等をすべて水中で行うことで，崩壊熱により燃料体等が溶融せず，燃料体等からの放射線に対して，適切な遮蔽能力を有する設計とする。</p> <p>燃料取替機の燃料把握機は，昇降を安全かつ確実に行うため，定格荷重を保持でき，必要な安全率を有するワイヤロープの二重化，フック部の外れ止めを有し，グラップルには機械的インターロックを設ける設計とする。</p> <p>原子炉建屋クレーンは，フック部の外れ止めを有し，使用済燃料輸送容器等を取り扱う主巻フックは，定格荷重を保持でき，必要な安全率を有するワイヤロープを二重化することにより，燃料体等の重量物取扱中に落下を防止できる設計とする。</p> <p>なお，ワイヤロープ及びフックは，それぞれクレーン構造規格，クレーン等安全規則の規定を満たす安全率を有する設計とする。</p> <p>燃料チャンネル着脱機は，下限ストoppによる機械的インターロック及び燃料体等を上部で保持する固定具により燃料体等の使用済燃料貯蔵プール床面への落下を防止できる設計とする。</p> <p>燃料取替機は，燃料体等の取扱中に過荷重となった場合に上昇を阻止するインターロックを設けるとともに荷重監視を行うことによ</p>	<p>ルへの移送操作，使用済燃料貯蔵プールから発電用原子炉への移送操作，使用済燃料輸送容器への収納操作等をすべて水中で行うことで，崩壊熱により燃料体等が溶融せず，燃料体等からの放射線に対して，適切な遮蔽能力を有する設計とする。</p> <p>燃料チャンネル着脱機は，燃料体等の検査等のための昇降操作等をすべて水中で行うことで，崩壊熱により燃料体等が溶融せず，燃料体等からの放射線に対して，適切な遮蔽能力を有する設計とする。</p> <p>燃料取替機の燃料把握機は，昇降を安全かつ確実に行うため，定格荷重を保持でき，必要な安全率を有するワイヤロープの二重化，フック部の外れ止めを有し，グラップルには機械的インターロックを設ける設計とする。</p> <p>原子炉建屋クレーンは，フック部の外れ止めを有し，使用済燃料輸送容器等を取り扱う主巻フックは，定格荷重を保持でき，必要な安全率を有するワイヤロープを二重化することにより，燃料体等の重量物取扱中に落下を防止できる設計とする。また，想定される使用済燃料貯蔵プール内への落下物によって使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等が破損しないことを計算により確認する。</p> <p>なお，ワイヤロープ及びフックは，それぞれクレーン構造規格，クレーン等安全規則の規定を満たす安全率を有する設計とする。</p> <p>燃料チャンネル着脱機は，下限ストoppによる機械的インターロック及び燃料体等を上部で保持する固定具により燃料体等の使用済燃料貯蔵プール床面への落下を防止できる設計とする。</p> <p>燃料取替機は，燃料体等の取扱中に過荷重となった場合に上昇を阻止するインターロックを設けるとともに荷重監視を行うことによ</p>

変更前	変更後
<p>り、過荷重による燃料体等の落下を防止できる設計とする。</p> <p>燃料取替機は、地震時にも転倒することがないように走行レール及び横行レール頭部を抱き込む構造をした脱線防止装置を設ける設計とする。</p> <p>原子炉建屋クレーンは、地震時にも転倒することがないように走行方向及び横行方向に対して、クレーン本体等の浮上り量を考慮し、脱線防止装置を設けることで、クレーン本体等の車輪がレール上から落下しない設計とする。</p> <p>また、原子炉建屋クレーンは、使用済燃料輸送容器等の重量物を吊った状態では、使用済燃料貯蔵ラック上を通過できないようにインターロックを設ける設計とする。</p> <p>使用済燃料を収納する使用済燃料輸送容器（1号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）は、取扱中における衝撃、熱、その他の容器に加わる負荷に耐え、容易かつ安全に取り扱うことができる設計とする。また、運搬中に予想される温度及び内圧の変化、振動等により、亀裂、破損等が生じない設計とする。さらに、理論的若しくは適切な試験等により所定の機能を満足できる設計とする。</p> <p>使用済燃料輸送容器（1号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）は、内部に使用済燃料が収納された場合に、放射線障害を防止するため、その容器表面の線量当量率が2mSv/h以下及び容器表面から1mの点における線量当量率が100<math>\mu</math>Sv/h以下となるよう、収納される使用済燃料の放射能強度を考慮して十分な遮蔽を行うことができる設計とする。</p> <p>燃料取替機の燃料把握機は、空気作動式とし、燃料体等をつかんだ</p>	<p>り、過荷重による燃料体等の落下を防止できる設計とする。</p> <p>燃料取替機は、地震時にも転倒することがないように走行レール及び横行レール頭部を抱き込む構造をした脱線防止装置を設ける設計とする。</p> <p>原子炉建屋クレーンは、地震時にも転倒することがないように走行方向及び横行方向に対して、クレーン本体等の浮上り量を考慮し、脱線防止装置を設けることで、クレーン本体等の車輪がレール上から落下しない設計とする。</p> <p>また、原子炉建屋クレーンは、使用済燃料輸送容器等の重量物を吊った状態では、使用済燃料貯蔵ラック上を通過できないようにインターロックを設ける設計とする。</p> <p>使用済燃料を収納する使用済燃料輸送容器（1号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）は、取扱中における衝撃、熱、その他の容器に加わる負荷に耐え、容易かつ安全に取り扱うことができる設計とする。また、運搬中に予想される温度及び内圧の変化、振動等により、亀裂、破損等が生じない設計とする。さらに、理論的若しくは適切な試験等により所定の機能を満足できる設計とする。</p> <p>使用済燃料輸送容器（1号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）は、内部に使用済燃料が収納された場合に、放射線障害を防止するため、その容器表面の線量当量率が2mSv/h以下及び容器表面から1mの点における線量当量率が100<math>\mu</math>Sv/h以下となるよう、収納される使用済燃料の放射能強度を考慮して十分な遮蔽を行うことができる設計とする。</p> <p>燃料取替機の燃料把握機は、空気作動式とし、燃料体等をつかんだ</p>

変更前	変更後
<p>状態で圧縮空気が喪失した場合にも、つかんだ状態を保持し、燃料体等が外れない設計とする。</p> <p>燃料取替機, 原子炉建屋クレーン及び燃料チャンネル着脱機は, 動力電源喪失時に電磁ブレーキによる保持機能により, 燃料体等の落下を防止できる設計とする。</p>	<p>状態で圧縮空気が喪失した場合にも、つかんだ状態を保持し、燃料体等が外れない設計とする。</p> <p>燃料取替機, 原子炉建屋クレーン及び燃料チャンネル着脱機は, 動力電源喪失時に電磁ブレーキによる保持機能により, 燃料体等の落下を防止できる設計とする。</p>
<p>2. 燃料貯蔵設備</p> <p>燃料体等を貯蔵する設備として, 新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵プールを設ける設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵設備は, 通常時の燃料取替を考慮し, 適切な貯蔵能力を有し, 全炉心燃料の約 30%を収納できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは, 約 390%炉心分の燃料の貯蔵が可能であり, さらに放射化された機器等の貯蔵及び取扱いができるスペースを確保した設計とする。なお, 通常運転中, 全炉心の燃料体等を貯蔵できる容量を確保できる設計とする。</p> <p>燃料体等の貯蔵設備は, 燃料取扱者以外の者がみだりに立ち入らないよう, フェンス等により立入を制限できる設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵設備は, 原子炉建屋原子炉区域(二次格納施設)内の独立した区画に設け, 新燃料を新燃料貯蔵ラックで貯蔵できる設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵設備は, 鉄筋コンクリート造とし, 想定されるいかなる状態においても新燃料が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>新燃料は, 乾燥状態で保管し, 堅固な構造のラックに垂直に入れ, 新燃料貯蔵設備には水が充満するのを防止するための排水口を設け</p>	<p>2. 燃料貯蔵設備</p> <p>燃料体等を貯蔵する設備として, 新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵プールを設ける設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵設備は, 通常時の燃料取替を考慮し, 適切な貯蔵能力を有し, 全炉心燃料の約 30%を収納できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは, 約 390%炉心分の燃料の貯蔵が可能であり, さらに放射化された機器等の貯蔵及び取扱いができるスペースを確保した設計とする。なお, 通常運転中, 全炉心の燃料体等を貯蔵できる容量を確保できる設計とする。</p> <p>燃料体等の貯蔵設備は, 燃料取扱者以外の者がみだりに立ち入らないよう, フェンス等により立入を制限できる設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵設備は, 原子炉建屋原子炉区域(二次格納施設)内の独立した区画に設け, 新燃料を新燃料貯蔵ラックで貯蔵できる設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵設備は, 鉄筋コンクリート造とし, 想定されるいかなる状態においても新燃料が臨界に達することのない設計とする。</p> <p>新燃料は, 乾燥状態で保管し, 堅固な構造のラックに垂直に入れ, 新燃料貯蔵設備には水が充満するのを防止するための排水口を設け</p>

変更前	変更後
<p>る設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵設備に設置する新燃料貯蔵ラックは、貯蔵燃料の臨界を防止するために必要な燃料間距離を保持し、たとえ新燃料を貯蔵容量最大で貯蔵した状態で、万一新燃料貯蔵設備が水で満たされるという厳しい状態を仮定しても、実効増倍率を 0.95 以下に保つ設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）内に設け、燃料体等を水中の使用済燃料貯蔵ラックに垂直に一体ずつ入れて貯蔵し、使用済燃料貯蔵ラックは、中性子吸収材であるほう素を添加したステンレス鋼を使用するとともに適切な燃料間距離をとることにより、燃料を貯蔵容量最大で貯蔵し、かつ使用済燃料貯蔵プール水温及び使用済燃料貯蔵ラック内燃料貯蔵位置等について、想定されるいかなる場合でも実効増倍率を 0.95 以下に保ち、貯蔵燃料の臨界を防止できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、鉄筋コンクリート造、ステンレス鋼内張りの水槽であり、使用済燃料貯蔵プールからの放射性物質を含む水があふれ、又は漏れない構造とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プール内の壁面及び底部は、コンクリート壁による遮蔽を施すとともに、燃料体等の上部には十分な遮蔽効果を有する水深を確保することにより、燃料体等からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有し、放射線業務従事者の被ばくを低減する設計とする。</p> <p>万一、使用済燃料貯蔵プールからの水の漏えいが発生し、かつ、使用済燃料貯蔵プール水の補給に復水貯蔵槽の水が使用できない場合</p>	<p>る設計とする。</p> <p>新燃料貯蔵設備に設置する新燃料貯蔵ラックは、貯蔵燃料の臨界を防止するために必要な燃料間距離を保持し、たとえ新燃料を貯蔵容量最大で貯蔵した状態で、万一新燃料貯蔵設備が水で満たされるという厳しい状態を仮定しても、実効増倍率を 0.95 以下に保つ設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）内に設け、燃料体等を水中の使用済燃料貯蔵ラックに垂直に一体ずつ入れて貯蔵し、使用済燃料貯蔵ラックは、中性子吸収材であるほう素を添加したステンレス鋼を使用するとともに適切な燃料間距離をとることにより、燃料を貯蔵容量最大で貯蔵し、かつ使用済燃料貯蔵プール水温及び使用済燃料貯蔵ラック内燃料貯蔵位置等について、想定されるいかなる場合でも実効増倍率を 0.95 以下に保ち、貯蔵燃料の臨界を防止できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、鉄筋コンクリート造、ステンレス鋼内張りの水槽であり、使用済燃料貯蔵プールからの放射性物質を含む水があふれ、又は漏れない構造とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プール内の壁面及び底部は、コンクリート壁による遮蔽を施すとともに、燃料体等の上部には十分な遮蔽効果を有する水深を確保することにより、燃料体等からの放射線に対して適切な遮蔽能力を有し、放射線業務従事者の被ばくを低減する設計とする。</p> <p>万一、使用済燃料貯蔵プールからの水の漏えいが発生し、かつ、使用済燃料貯蔵プール水の補給に復水貯蔵槽の水が使用できない場合</p>

変更前	変更後
<p>には、残留熱除去系を用いてサプレッションチェンバのプール水を補給できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、内面にステンレス鋼内張りを施設することにより、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下及び重量物の落下により機能を失うような損傷が生じない設計とする。</p> <p>燃料体等の落下に関しては、模擬燃料体の気中落下試験（以下「落下試験」という。）での最大減肉量を考慮しても使用済燃料貯蔵プールの機能が損なわれない厚さ以上のステンレス鋼内張りを施設する。なお、使用済燃料輸送容器等に使用済燃料を収納する場合などは、落下試験での落下高さを超えるため、水の浮力を考慮することにより落下試験時の落下エネルギーを下回ることを確認する。</p>	<p>には、残留熱除去系を用いてサプレッションチェンバのプール水を補給できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、内面にステンレス鋼内張りを施設することにより、燃料体等の取扱中に想定される燃料体等の落下及び重量物の落下により機能を失うような損傷が生じない設計とする。</p> <p>燃料体等の落下に関しては、模擬燃料体の気中落下試験（以下「落下試験」という。）での最大減肉量を考慮しても使用済燃料貯蔵プールの機能が損なわれない厚さ以上のステンレス鋼内張りを施設する。なお、使用済燃料輸送容器等に使用済燃料を収納する場合などは、落下試験での落下高さを超えるため、水の浮力を考慮することにより落下試験時の落下エネルギーを下回ることを確認する。</p> <p>重量物の落下に関しては、使用済燃料貯蔵プール周辺の状況、現場における作業実績、図面等にて確認することにより、落下時のエネルギーを評価し、落下試験時の燃料体等の落下エネルギー以上となる設備等に対しては、以下のとおり適切な落下防止対策を施し、使用済燃料貯蔵プールの機能を維持する設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済燃料貯蔵プールからの離隔を確保できる重量物については、使用済燃料貯蔵プールへ落下するおそれがないよう、転倒等を仮定しても使用済燃料貯蔵プールに届かない距離に設置する。また、転倒防止のため床面や壁面へ固定する。</li> <li>・原子炉建屋クレーンは、使用済燃料貯蔵ラック上を使用済燃料輸送容器等重量物を吊った状態で通過できないように可動範囲を制限するインターロックを設ける設計とする。</li> <li>・原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）の屋根を支持する屋根トラ</li> </ul>

変更前	変更後
	<p>スは、基準地震動 <math>S_s</math> に対する発生応力が終局耐力を超えず、使用済燃料貯蔵プール内に落下しない設計とする。また、屋根については鋼板（デッキプレート）の上に鉄筋コンクリート造の床を設けた構造とし、地震による剥落のない構造とする。また、原子炉建屋オペレーティングフロアの床面より上部を構成する壁は、鉄筋コンクリート造の耐震壁であり、原子炉建屋オペレーティングフロアの床面より下部の耐震壁と合わせて基準地震動 <math>S_s</math> に対して使用済燃料貯蔵プール内に落下しない設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料取替機及び原子炉建屋クレーンは、基準地震動 <math>S_s</math> による地震荷重に対し、燃料取替機本体及び原子炉建屋クレーン本体の健全性評価及び転倒落下防止評価を行い、使用済燃料貯蔵プールへの落下物とならない設計とする。</li> <li>・燃料取替機本体及び原子炉建屋クレーン本体の健全性評価においては、想定される使用条件において評価が保守的になるよう吊荷の条件を考慮し、地震時の各部発生応力が許容応力以下となる設計とする。</li> <li>・燃料取替機の転倒落下防止評価においては、走行レール及び横行レール頭部を抱き込む構造をした燃料取替機の脱線防止装置について、想定される使用条件において評価が保守的になるよう吊荷の条件を考慮し、地震時の各部発生応力が許容応力以下となる設計とする。</li> <li>・燃料取替機の走行レール及び横行レールの健全性評価においては、想定される使用条件において、地震時の発生応力が許容応力以下となる設計とする。</li> </ul>

変更前	変更後
<p>使用済燃料は、使用済燃料貯蔵ラックに収納するが、使用済燃料貯蔵ラックに収納できないような破損燃料が生じた場合は、使用済燃料貯蔵プール水の放射能汚染拡大を防ぐため、使用済燃料貯蔵プール内の制御棒・破損燃料貯蔵ラックに収納できる設計とする。</p> <p>使用済燃料を貯蔵する乾式キャスクは保有しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉建屋クレーンの転倒落下防止評価においては、走行方向及び横行方向に浮上り代を設けた構造をした原子炉建屋クレーンの脱線防止装置について、想定される使用条件において評価が保守的になるよう吊荷の条件を考慮し、地震時の各部発生応力が許容応力以下となる設計とする。</li> <li>・使用済燃料貯蔵プールからの離隔を確保できないその他の重量物については、基準地震動 <math>S_s</math> を考慮しても、地震時の各部発生応力が許容応力以下となる設計とすることで、使用済燃料貯蔵プールへの落下物とならない設計とする。</li> </ul> <p>使用済燃料は、使用済燃料貯蔵ラックに収納するが、使用済燃料貯蔵ラックに収納できないような破損燃料が生じた場合は、使用済燃料貯蔵プール水の放射能汚染拡大を防ぐため、使用済燃料貯蔵プール内の制御棒・破損燃料貯蔵ラックに収納できる設計とする。</p> <p>使用済燃料を貯蔵する乾式キャスク（兼用キャスクを含む。）は保有しない。</p>
<p>3. 計測装置等</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの水温を計測する装置として使用済燃料貯蔵プール温度及び燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度を設け、計測結果を中央制御室（「7号機設備，6,7号機共用」（以下同じ。））に表示できる設計とする。また、計測結果を記録できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの水位を計測する装置として使用済燃料貯蔵プール水位及び使用済燃料貯蔵プールライナ漏えい検出を設け、</p>	<p>3. 計測装置等</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの水温を計測する装置として使用済燃料貯蔵プール温度、燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度及び使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域）を設け、計測結果を中央制御室（「7号機設備，6,7号機共用」（以下同じ。））に表示できる設計とする。また、計測結果を記録し、及び保存することができる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの水位を計測する装置として使用済燃料貯蔵プール水位及び使用済燃料貯蔵プールライナ漏えい検出を設け、</p>

変更前	変更後
<p>計測結果を中央制御室に表示できる設計とする。また、記録はプロセス計算機から帳票として出力できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの水位の著しい低下を確実に検知して自動的に中央制御室に警報（使用済燃料貯蔵プール水位低）を発信する装置を設けるとともに、表示ランプの点灯、ブザー鳴動等により運転員に通報できる設計とする。</p>	<p>計測結果を中央制御室に表示できる設計とする。また、記録はプロセス計算機から帳票として出力し保存できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの水位を計測する装置として使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA 広域）を設け、計測結果を中央制御室に表示できる設計とする。また、計測結果を記録し、及び保存することができる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プール温度，燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度，使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA 広域），使用済燃料貯蔵プール水位及び使用済燃料貯蔵プールライナ漏えい検出は，外部電源が使用できない場合においても非常用所内電源系からの電源供給により，使用済燃料貯蔵プールの水温及び水位を計測することができる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの水温の著しい上昇又は使用済燃料貯蔵プールの水位の著しい低下の場合に，これらを確実に検知して自動的に中央制御室に警報（使用済燃料貯蔵プール水温高又は使用済燃料貯蔵プール水位低）を発信する装置を設けるとともに，表示ランプの点灯，ブザー鳴動等により運転員に通報できる設計とする。</p> <p>重大事故等時に使用済燃料貯蔵プールの監視設備として，使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）及び使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA 広域）を設け，想定される重大事故等により変動する可能性のある範囲にわたり測定可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プール監視カメラ（個数1）は，想定される重大事故等時において赤外線機能により使用済燃料貯蔵プールの状態を監視できる設計とする。</p>



変更前	変更後
	<p>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) は、常設代替直流電源設備又は可搬型直流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) は、所内蓄電式直流電源設備又は可搬型直流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プール監視カメラは、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プール監視カメラの耐環境性向上のため、使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 (個数 1, 容量 141.5L/min 以上) を設ける設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置は、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等が発生し、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータとして、使用済燃料貯蔵プールの監視に必要なパラメータを計測する装置を設ける設計とする。</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器 (非常用のものを含む。) の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する設計とする。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータは、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータとし、計測する装置は「表 1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト」の「使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵槽の温度、</p>

変更前	変更後
	<p>水位及び漏えいを監視する装置」に示す重大事故等対処設備の他、使用済燃料貯蔵プール監視カメラ（個数1）とする。</p> <p>炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータを計測する装置は、設計基準事故等に想定される変動範囲の最大値を考慮し、適切に対応するための計測範囲を有する設計とする。また、重大事故等が発生し、当該重大事故等に対処するために監視することが必要な使用済燃料貯蔵プールの監視のパラメータの計測が困難となった場合に、代替パラメータにより推定ができる設計とする。</p> <p>また、重大事故等時に設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力（計測可能範囲）を明確にするとともに、パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定等、複数のパラメータの中から確からしさを考慮した優先順位を保安規定に定めて管理する。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの監視で想定される重大事故等の対応に必要なパラメータは、計測又は監視できる設計とする。また、計測結果は中央制御室に指示又は表示し、記録できる設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、安全パラメータ表示システム（SPDS）（「6号機設備」、「7号機設備、6,7号機共用、5号機に設置」）のうち緊急時対策支援システム伝送装置にて電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われないようにするとともに帳票が出力できる設計とする。また、記録は必要な容量を保存できる設計とする。</p> <p>炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるため</p>

変更前	変更後
	<p>に必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータを計測する装置の電源は、非常用ディーゼル発電設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内蓄電式直流電源設備又は可搬型直流電源設備を使用できる設計とする。</p> <p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータを計測する装置のうち特に重要なパラメータとして、温度及び水位に係るものについて、乾電池を電源とした可搬型計測器（原子炉压力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、流量（注水量）等の計測用として測定時の故障を想定した予備1個含む1セット24個（予備24個（7号機設備、6,7号機共用、5号機に保管））（計測制御系統施設の設備を核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の設備として兼用（以下同じ。））により計測できる設計とし、これらを保管する設計とする。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視するものとする。</p>
<p>4. 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備</p> <p>4.1 燃料プール冷却浄化系による使用済燃料貯蔵プール水の冷却</p>	<p>4. 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備</p> <p>4.1 燃料プール冷却浄化系による使用済燃料貯蔵プール水の冷却</p>

変更前	変更後
<p>使用済燃料貯蔵プールは、燃料プール冷却浄化系ポンプ、燃料プール冷却浄化系熱交換器、燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器等で構成する燃料プール冷却浄化系（「1, 2, 5, 6 号機共用」（以下同じ。））を設け、通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、使用済燃料からの崩壊熱を除去するとともに、使用済燃料貯蔵プール水を浄化できる設計とする。また、補給水ラインを設け、使用済燃料貯蔵プール水の補給が可能な設計とする。</p> <p>さらに、全炉心燃料を使用済燃料貯蔵プールに取り出した場合や燃料プール冷却浄化系で使用済燃料貯蔵プール水の冷却ができない場合は、残留熱除去系（燃料プール冷却モード）を用いて使用済燃料からの崩壊熱を除去できる設計とする。</p> <p>燃料プール冷却浄化系熱交換器で除去した熱は、原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系を経て、最終的な熱の逃がし場である海へ輸送できる設計とする。</p>	<p>使用済燃料貯蔵プールは、燃料プール冷却浄化系ポンプ、燃料プール冷却浄化系熱交換器、燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器等で構成する燃料プール冷却浄化系（「設計基準対象施設としてのみ1, 2, 5, 6 号機共用」（以下同じ。））を設け、通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、使用済燃料からの崩壊熱を除去するとともに、使用済燃料貯蔵プール水を浄化できる設計とする。また、補給水ラインを設け、使用済燃料貯蔵プール水の補給が可能な設計とする。</p> <p>さらに、全炉心燃料を使用済燃料貯蔵プールに取り出した場合や燃料プール冷却浄化系で使用済燃料貯蔵プール水の冷却ができない場合は、残留熱除去系（燃料プール冷却モード）を用いて使用済燃料からの崩壊熱を除去できる設計とする。</p> <p>燃料プール冷却浄化系熱交換器で除去した熱は、原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系を経て、最終的な熱の逃がし場である海へ輸送できる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールから発生する水蒸気による悪影響を防止するための重大事故等対処設備として使用する燃料プール冷却浄化系は、燃料プール冷却浄化系ポンプ、燃料プール冷却浄化系熱交換器、配管・弁類、計測制御装置等で構成し、使用済燃料貯蔵プール水を燃料プール冷却浄化系ポンプにより燃料プール冷却浄化系熱交換器等を経由して循環させることで、使用済燃料貯蔵プールを冷却できる設計とする。</p> <p>燃料プール冷却浄化系は、非常用ディーゼル発電設備並びに原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系が機能喪失した場合</p>

変更前	変更後
	<p>でも、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備及び代替原子炉補機冷却系を用いて、使用済燃料貯蔵プールを除熱できる設計とする。</p> <p>燃料プール冷却浄化系の流路として、設計基準対象施設である使用済燃料貯蔵プール及びキャスクピットを重大事故等対処設備として使用することから、流路に係る機能について重大事故等対処設備としての設計を行う。</p> <p>4.2 使用済燃料貯蔵プールへの注水</p> <p>使用済燃料貯蔵プールの冷却機能又は注水機能が喪失し、又は使用済燃料貯蔵プールからの水の漏えいその他の要因により当該使用済燃料貯蔵プールの水位が低下した場合において使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するために必要な重大事故等対処設備として燃料プール代替注水系を設ける設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールに接続する配管の破損等により、使用済燃料貯蔵プールディフューザ配管からサイフォン現象による水の漏えいが発生した場合に、原子炉建屋原子炉区域（二次格納施設）4階における線量率が放射線被ばくを管理する上で定めた線量率を満足できるよう、漏えいの継続を防止し、燃料体等からの放射線の遮蔽に必要となる水位を維持するため、ディフューザ配管上部にサイフォンブレイク孔を設ける設計とする。また、現場で燃料プール冷却浄化系使用済燃料貯蔵プール入口弁（G41-F016）の隔離操作によっても漏えいを停止できる設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>サイフォンブレイク孔は、耐震性も含めて機器、弁類等の故障、誤操作等によりその機能を喪失することのない設計とする。</p> <p>4.2.1 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへの注水</p> <p>残留熱除去系（燃料プール冷却モード）及び燃料プール冷却浄化系の有する使用済燃料貯蔵プールの冷却機能喪失若しくは残留熱除去系ポンプによる使用済燃料貯蔵プールへの補給機能が喪失し、又は使用済燃料貯蔵プールに接続する配管の破損等により使用済燃料貯蔵プール水の小規模な漏えいにより使用済燃料貯蔵プールの水位が低下した場合に、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するための重大事故等対処設備として使用する燃料プール代替注水系（常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへの注水）は、可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）（「7 号機設備，6,7 号機共用」（以下同じ。））及び可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）（「7 号機設備，6,7 号機共用」（以下同じ。）），又は可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）により、代替淡水源の水を燃料プール代替注水系配管等を経由して常設スプレイヘッドから使用済燃料貯蔵プールへ注水することにより、使用済燃料貯蔵プールの水位を維持できる設計とする。</p> <p>また、使用済燃料貯蔵プールは、使用済燃料貯蔵ラックの形状を維持した状態において、燃料プール代替注水系（常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへの注水）によ</p>

変更前	変更後
	<p>る冷却及び水位確保により使用済燃料貯蔵プールの機能を維持し、実効増倍率が最も高くなる冠水状態においても実効増倍率は不確定性を含めて0.95以下で臨界を防止できる設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2級）は、ディーゼルエンジンにより駆動できる設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2級）は、想定される重大事故等時において、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するために必要な注水流量を有する設計とする。</p> <p>燃料プール代替注水系（常設スプレイヘッダを使用した使用済燃料貯蔵プールへの注水）の流路として、設計基準対象施設である使用済燃料貯蔵プール及びキャスクピットを重大事故等対処設備として使用することから、流路に係る機能について重大事故等対処設備としての設計を行う。</p> <p>4.2.2 燃料プール代替注水系による可搬型スプレイヘッダを使用した使用済燃料貯蔵プールへの注水</p> <p>残留熱除去系（燃料プール冷却モード）及び燃料プール冷却浄化系の有する使用済燃料貯蔵プールの冷却機能喪失若しくは残留熱除去系ポンプによる使用済燃料貯蔵プールへの補給機能が喪失し、又は使用済燃料貯蔵プールに接続する配管の破損等により使用済燃料貯蔵プール水の小規模な漏えいによ</p>

変更前	変更後
	<p>り使用済燃料貯蔵プールの水位が低下した場合に、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するための重大事故等対処設備として使用する燃料プール代替注水系（可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへの注水）は、可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）、又は可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）により代替淡水源の水をホース等を經由して可搬型スプレイヘッドから使用済燃料貯蔵プールへ注水することにより、使用済燃料貯蔵プールの水位を維持できる設計とする。</p> <p>また、使用済燃料貯蔵プールは、使用済燃料貯蔵ラックの形状を維持した状態において、燃料プール代替注水系（可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへの注水）による冷却及び水位確保により使用済燃料貯蔵プールの機能を維持し、実効増倍率が最も高くなる冠水状態においても実効増倍率は不確定性を含めて 0.95 以下で臨界を防止できる設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）は、ディーゼルエンジンにより駆動できる設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）は、想定される重大事故等時において、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するために必要な注水流量を有する設計とする。</p>



変更前	変更後
	<p>燃料プール代替注水系（可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへの注水）の流路として、設計基準対象施設である使用済燃料貯蔵プール及びキャスクピットを重大事故等対処設備として使用することから、流路に係る機能について重大事故等対処設備としての設計を行う。</p> <p>4.3 使用済燃料貯蔵プールへのスプレイ</p> <p>使用済燃料貯蔵プールからの大量の水の漏えいその他の要因により使用済燃料貯蔵プールの水位が異常に低下した場合において、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷の進行を緩和し、及び臨界を防止するために必要な重大事故等対処設備として燃料プール代替注水系を設ける設計とする。</p> <p>4.3.1 燃料プール代替注水系による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへのスプレイ</p> <p>使用済燃料貯蔵プールからの大量の水の漏えい等により使用済燃料貯蔵プールの水位が異常に低下した場合に、燃料損傷を緩和するとともに、燃料損傷時には使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の上部全面にスプレイすることによりできる限り環境への放射性物質の放出を低減するための重大事故等対処設備として使用する燃料プール代替注水系（常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへのスプレイ）は、可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）により、代替淡水源の水を燃料プール代替注水系配管等を経由して常設スプレイヘッドから使用済燃料貯蔵プール内</p>

変更前	変更後
	<p>の燃料体等に直接スプレーすることにより、燃料損傷を緩和するとともに、環境への放射性物質の放出をできる限り低減できるよう、使用済燃料貯蔵プールの全面に向けてスプレーし、使用済燃料貯蔵プール内に貯蔵している燃料体等からの崩壊熱による蒸発量を上回る量をスプレーできる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、燃料プール代替注水系（常設スプレーヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへのスプレー）にて、使用済燃料貯蔵ラック及び燃料体等を冷却し、臨界にならないように配慮したラック形状において、いかなる様な水密度であっても実効増倍率は不確定性を含めて0.95以下で臨界を防止できる設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2級）は、ディーゼルエンジンにより駆動できる設計とする。</p> <p>燃料プール代替注水系（常設スプレーヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへのスプレー）の流路として、設計基準対象施設である使用済燃料貯蔵プール及びキャスクピットを重大事故等対処設備として使用することから、流路に係る機能について重大事故等対処設備としての設計を行う。</p> <p>4.3.2 燃料プール代替注水系による可搬型スプレーヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへのスプレー</p> <p>使用済燃料貯蔵プールからの大量の水の漏えい等により使</p>

変更前	変更後
	<p>使用済燃料貯蔵プールの水位が異常に低下した場合に、燃料損傷を緩和するとともに、燃料損傷時には使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の上部全面にスプレーすることによりできる限り環境への放射性物質の放出を低減するための重大事故等対処設備として使用する燃料プール代替注水系（可搬型スプレーヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへのスプレー）は、可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）、又は可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）により、代替淡水源の水をホース等を経由して可搬型スプレーヘッドから使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等に直接スプレーすることにより、燃料損傷を緩和するとともに、環境への放射性物質の放出をできる限り低減できるよう使用済燃料貯蔵プールの全面に向けてスプレーし、使用済燃料貯蔵プール内に貯蔵している燃料体等からの崩壊熱による蒸発量を上回る量をスプレーできる設計とする。</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、燃料プール代替注水系（可搬型スプレーヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへのスプレー）にて、使用済燃料貯蔵ラック及び燃料体等を冷却し、臨界にならないように配慮したラック形状において、いかなる一様な水密度であっても実効増倍率は不確定性を含めて 0.95 以下で臨界を防止できる設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）及び可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）は、ディーゼルエンジンにより駆動できる設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>燃料プール代替注水系（可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料貯蔵プールへのスプレイ）の流路として、設計基準対象施設である使用済燃料貯蔵プール及びキャスクピットを重大事故等対処設備として使用することから、流路に係る機能について重大事故等対処設備としての設計を行う。</p> <p>4.4 発電所外への放射性物質の拡散抑制</p> <p>4.4.1 大気への放射性物質の拡散抑制</p> <p>使用済燃料貯蔵プールからの大量の水の漏えい等による使用済燃料貯蔵プールの水位の異常な低下により、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷に至った場合において、燃料損傷時にはできる限り環境への放射性物質の放出を低減するための重大事故等対処設備として、原子炉建屋放水設備を設ける設計とする。</p> <p>原子炉建屋放水設備は、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）（「7号機設備，6,7号機共用」（以下同じ。））により海水を取水し、ホースを経由して放水砲（「7号機設備，6,7号機共用」（以下同じ。））から原子炉建屋へ放水することにより、環境への放射性物質の放出を可能な限り低減できる設計とする。</p> <p>大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）及び放水砲は、設置場所を任意に設定し、複数の方向から原子炉建屋に向けて放水できる設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>4.4.2 海洋への拡散抑制</p> <p>使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷に至った場合において、発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための重大事故等対処設備として、海洋拡散抑制設備を設ける設計とする。</p> <p>海洋への放射性物質の拡散を抑制するための重大事故等対処設備として使用する海洋拡散抑制設備は、汚濁防止膜（「7号機設備，6，7号機共用，屋外に保管」（以下同じ。））（原子炉格納施設の設備を核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の設備として兼用（以下同じ。））、放射性物質吸着材（「7号機設備，6，7号機共用，屋外に保管」（以下同じ。））（原子炉格納施設の設備を核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の設備として兼用（以下同じ。））等で構成し、汚濁防止膜は、汚染水が発電所から海洋に流出する4箇所（北放水口1箇所及び取水口3箇所）に小型船舶（汚濁防止膜設置用）（7号機設備，6，7号機共用，屋外に保管）個数1（予備1）（原子炉格納施設の設備を核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の設備として兼用）により設置できる設計とする。</p> <p>汚濁防止膜は、海洋への放射性物質の拡散を抑制するため、設置場所に応じた高さ及び幅を有する設計とする。必要数は、各設置場所に必要な幅に対して汚濁防止膜を二重に設置することとし、北放水口側1箇所の設置場所に計14本（高さ約6m，幅約20m）及び取水口側3箇所の設置場所に計24本（高さ約8m，幅約20m）の合計38本使用する設計とする。また、予備</p>

変更前	変更後
<p>4.5 使用済燃料貯蔵プールの水質維持</p> <p>使用済燃料貯蔵プールは、使用済燃料からの崩壊熱を燃料プール冷却浄化系熱交換器で除去して使用済燃料貯蔵プール水を冷却するとともに、燃料体の被覆が著しく腐食するおそれがないよう燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器で使用済燃料貯蔵プール水をろ過脱塩して、使用済燃料貯蔵プール、原子炉ウエル等の水の純度、透明度を維持できる設計とする。</p>	<p>については、各設置場所に対して2本の計8本を保管することとし、予備を含めた保有数として設置場所4箇所分の合計46本を保管する。</p> <p>放射性物質吸着材は、雨水排水路等に流入した汚染水が通過する際に放射性物質を吸着できるよう、6号機及び7号機の雨水排水路集水桝に加え、6号機又は7号機雨水排水路集水桝の損傷等により汚染水が敷地に溢れた場合のバックアップとして5号機雨水排水路集水桝とフラップゲート入口3箇所の計6箇所に、網目状の袋に布状の放射性物質吸着材を詰めたもの約1020kg（7号機雨水排水路集水桝）、約1020kg（6号機雨水排水路集水桝）、約510kg（5号機雨水排水路集水桝）、約510kg（フラップゲート1箇所当たり）を使用時に設置できる設計とする。</p> <p>放射性物質吸着材は、各設置場所に必要となる保有量に加え、6号機又は7号機雨水排水路集水桝用の放射性物質吸着材の予備として約1020kgを保管する。</p> <p>4.5 使用済燃料貯蔵プールの水質維持 変更なし</p>

変更前	変更後
<p>4.6 使用済燃料貯蔵プール接続配管</p> <p>使用済燃料貯蔵プール水の漏えいを防止するため、使用済燃料貯蔵プールには排水口を設けない設計とし、使用済燃料貯蔵プールに接続された配管には逆止弁を設け、配管が破損しても、サイフォン現象により、使用済燃料貯蔵プール水が継続的に流出しない設計とする。</p>	<p>4.6 使用済燃料貯蔵プール接続配管</p> <p>変更なし</p>
<p>5. 設備の共用</p> <p>使用済燃料貯蔵プール（使用済燃料貯蔵ラックを含む。）、燃料プール冷却浄化系、燃料取替機、原子炉建屋クレーン、燃料チャンネル着脱機は、1号機、2号機、5号機及び6号機で共用とするが、必要な設備容量を確保することで、安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>5. 設備の共用</p> <p>変更なし</p>
<p>6. 主要対象設備</p> <p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の対象となる主要な設備について、「表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト」に示す。</p>	<p>6. 主要対象設備</p> <p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の対象となる主要な設備について、「表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト」に示す。</p> <p>本施設の設備として兼用する場合に主要設備リストに記載されない設備については、「表2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の兼用設備リスト」に示す。</p>

表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト (1/6)

設備区分	系統名	機器区分	名称	変更前				変更後				
				設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
燃料取扱設備	—	新燃料又は使用済燃料を取り扱う機器	燃料取替機 (1, 2, 5, 6 号機共用)	B-1 B-2	—	—	—	変更なし		—		
			原子炉建屋クレーン (1, 2, 5, 6 号機共用)	B-1 B-2	—	—	—	変更なし		—		
			燃料チャンネル着脱機 (1, 2, 5, 6 号機共用)	B-1	—	—	—	変更なし		—		
使用済燃料貯蔵設備	—	使用済燃料貯蔵槽	使用済燃料貯蔵プール (1, 2, 5, 6 号機共用)	S	クラス3	—	—	使用済燃料貯蔵プール (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	変更なし	常設耐震/防止 常設/緩和	SAクラス2	
		使用済燃料運搬用容器ピット	キャスクピット (1, 2, 5, 6 号機共用)	S	クラス3	—	—	キャスクピット (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	変更なし	常設耐震/防止 常設/緩和	SAクラス2	
		使用済燃料貯蔵ラック	使用済燃料貯蔵ラック (1, 2, 5, 6 号機共用)	S	—	—	—	使用済燃料貯蔵ラック (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	変更なし	常設耐震/防止 常設/緩和	—	
		破損燃料貯蔵ラック	制御棒・破損燃料貯蔵ラック	S	—	—	—	変更なし		—		
		制御棒貯蔵ラック										
		制御棒貯蔵ハンガ	制御棒貯蔵ハンガ	B-1	—	—	—	変更なし		—		
		使用済燃料貯蔵槽の温度, 水位及び漏えいを監視する装置	—	—	—	—	—	使用済燃料貯蔵プール温度	C	—	—	—
	—	—	—	—	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度	C	—	—	—		



表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト (2/6)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
使用済燃料貯蔵設備	—	使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置	使用済燃料貯蔵プール水位	C	—	—	変更なし					
			使用済燃料貯蔵プールライナ漏えい検出	C	—	—	変更なし					
			—	—	—	—	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	—	—	常設/防止 常設/緩和	—	
			—	—	—	—	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	C	—	常設/防止 常設/緩和	—	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	燃料プール冷却浄化系	熱交換器	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (1, 2, 5, 6 号機共用)	B	クラス3	—	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	変更なし		常設耐震/防止	SAクラス2	
		ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ (1, 2, 5, 6 号機共用)	B	Non*2	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	変更なし		常設耐震/防止	SAクラス2	
		スキマサージ槽	スキマサージタンク (1, 2, 5, 6 号機共用)	B	クラス3	—	スキマサージタンク (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	変更なし		常設耐震/防止	SAクラス2	
		主配管	スキマサージタンク～燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系分岐部 (1, 2, 5, 6 号機共用)	B-1	クラス3	—	スキマサージタンク～燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系分岐部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	変更なし		常設耐震/防止	SAクラス2	
			燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系分岐部～燃料プール冷却浄化系ポンプ (1, 2, 5, 6 号機共用)	B-1	クラス3	—	燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系分岐部～燃料プール冷却浄化系ポンプ (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6 号機共用)	変更なし		常設耐震/防止	SAクラス2	

表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト (3/6)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	燃料プール冷却浄化系	主配管	燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系分岐部～燃料プール冷却浄化系配管残留熱除去系配管(B)分岐部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			燃料プール冷却浄化系配管残留熱除去系配管(B)分岐部～E11-F016B	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			燃料プール冷却浄化系配管残留熱除去系配管(B)分岐部～燃料プール冷却浄化系配管残留熱除去系配管(A)(C)分岐部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			燃料プール冷却浄化系配管残留熱除去系配管(A)(C)分岐部～E11-F016C	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			燃料プール冷却浄化系配管残留熱除去系配管(A)(C)分岐部～E11-F016A	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)～燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)吐出ライン分岐部(1,2,5,6号機共用)	B-1	クラス3	—	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)～燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)吐出ライン分岐部(設計基準対象施設としてのみ1,2,5,6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2	
			燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)吐出ライン分岐部～燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)吐出ライン合流部(1,2,5,6号機共用)	B-1	クラス3	—	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)吐出ライン分岐部～燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)吐出ライン合流部(設計基準対象施設としてのみ1,2,5,6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2	
			燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)～燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)吐出ライン合流部(1,2,5,6号機共用)	B-1	クラス3	—	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)～燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)吐出ライン合流部(設計基準対象施設としてのみ1,2,5,6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2	

表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト (4/6)

設備区分	系統名	機器区分	名称	変更前				変更後				
				設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	燃料プール冷却浄化系	主配管	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)吐出ライン合流部～ろ過脱塩器バイパスライン分岐部 (1, 2, 5, 6号機共用)	B-1	クラス3	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)吐出ライン合流部～ろ過脱塩器バイパスライン分岐部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2		
			ろ過脱塩器バイパスライン分岐部～燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器 (1, 2, 5, 6号機共用)	B-1	クラス3	—	変更なし	—	—			
			燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器～ろ過脱塩器出口ライン合流部 (1, 2, 5, 6号機共用)	B-1	クラス3	—	変更なし	—	—			
			ろ過脱塩器出口ライン合流部～ろ過脱塩器バイパスライン合流部 (1, 2, 5, 6号機共用)	B-1	クラス3	—	ろ過脱塩器出口ライン合流部～ろ過脱塩器バイパスライン合流部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2		
			ろ過脱塩器バイパスライン合流部～燃料プール冷却浄化系熱交換器 (1, 2, 5, 6号機共用)	B-1	クラス3	—	ろ過脱塩器バイパスライン合流部～燃料プール冷却浄化系熱交換器 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2		
			—	—	—	ろ過脱塩器バイパスライン分岐部～ろ過脱塩器出口ライン合流部	—	常設耐震/防止	SAクラス2			
			—	—	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)吐出ライン分岐部～ろ過脱塩器バイパスライン合流部	—	常設耐震/防止	SAクラス2			
			燃料プール冷却浄化系熱交換器～G41-F015 (1, 2, 5, 6号機共用)	B-1	クラス3	—	燃料プール冷却浄化系熱交換器～G41-F015 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2		

表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト (5/6)

設備区分	系統名	機器区分	名称	変更前				変更後				
				設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	燃料プール冷却浄化系	主配管	G41-F015～燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系合流部 (1, 2, 5, 6号機共用)	S	クラス3	—	G41-F015～燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系合流部 (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2		
			燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系合流部～使用済燃料貯蔵プール (1, 2, 5, 6号機共用)	S	クラス3	—	燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系合流部～使用済燃料貯蔵プール (設計基準対象施設としてのみ 1, 2, 5, 6号機共用)	変更なし	常設耐震/防止	SAクラス2		
			E11-F015～燃料プール冷却浄化系及び残留熱除去系合流部	S	クラス3	—	変更なし	—				
	ポンプ	燃料プール代替注水系	—	—	—	可搬型代替注水ポンプ (A-1級) (7号機設備, 6, 7号機共用)	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3			
			—	—	—	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用)	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3			
	ろ過装置	—	—	—	可搬型 Y 型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用)	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3				
	主配管	—	—	—	使用済燃料貯蔵プール接続口 (北)～使用済燃料貯蔵プール接続口 (北), (東) 配管合流部	—	常設耐震/防止 常設/緩和	SAクラス2				
		—	—	—	使用済燃料貯蔵プール接続口 (東)～使用済燃料貯蔵プール接続口 (北), (東) 配管合流部	—	常設耐震/防止 常設/緩和	SAクラス2				

表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト (6/6)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	燃料プール代替注水系	主配管	—	—	—	—	使用済燃料貯蔵プール接続口（北）、（東）配管合流部～常設スプレイヘッダ	—	—	常設耐震／防止 常設／緩和	SAクラス2	
			—	—	—	—	使用済燃料貯蔵プール可搬式接続口（南）～使用済燃料貯蔵プール可搬式接続口（屋内南）	—	—	常設耐震／防止 常設／緩和	SAクラス2	
			—	—	—	—	可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース（7号機設備，6,7号機共用）	—	—	可搬／防止 可搬／緩和	SAクラス3	
			—	—	—	—	可搬型代替注水ポンプ燃料プール代替注水用屋外 20m ホース（7号機設備，6,7号機共用）	—	—	可搬／防止 可搬／緩和	SAクラス3	
			—	—	—	—	可搬型代替注水ポンプ屋内用 20m ホース	—	—	可搬／防止 可搬／緩和	SAクラス3	
			—	—	—	—	可搬型スプレイヘッダ（7号機設備，6,7号機共用）	—	—	可搬／防止 可搬／緩和	SAクラス3	
	原子炉建屋放水設備	主配管	ポンプ	—	—	—	—	大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）（7号機設備，6,7号機共用）	—	—	可搬／緩和	SAクラス3
			—	—	—	—	大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）吸込 20m ホース（7号機設備，6,7号機共用）	—	—	可搬／緩和	SAクラス3	
			—	—	—	—	大容量送水車吐出放水砲用 5m, 10m, 50m ホース（7号機設備，6,7号機共用）	—	—	可搬／緩和	SAクラス3	
			—	—	—	—	放水砲（7号機設備，6,7号機共用）	—	—	可搬／緩和	SAクラス3	

注記\*1：表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「8 原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」に記載する「表1 原子炉本体の主要設備リスト」の「付表1」による。

\*2：「発電用原子力設備規格 設計・建設規格（2005年度（2007年追補版含む））＜第I編 軽水炉規格＞J SME S NC1-2005/2007」（日本機械学会）における「クラス3ポンプ」である。

表2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の兼用設備リスト (1/1)

設備区分	系統名	機器区分	主たる機能の施設/設備区分	変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設*		重大事故等対処設備*		名称	設計基準対象施設*		重大事故等対処設備*	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	燃料プール冷却浄化系	—	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備	—	—	—	—	使用済燃料貯蔵プール（設計基準対象施設としてのみ1, 2, 5, 6号機共用）	—	常設耐震/防止	SAクラス2		
								キャスクピット（設計基準対象施設としてのみ1, 2, 5, 6号機共用）	—	常設耐震/防止	SAクラス2		
	燃料プール代替注水系	—						使用済燃料貯蔵プール（設計基準対象施設としてのみ1, 2, 5, 6号機共用）	—	常設耐震/防止 常設/緩和	SAクラス2		
								キャスクピット（設計基準対象施設としてのみ1, 2, 5, 6号機共用）	—	常設耐震/防止 常設/緩和	SAクラス2		

注記\*：表2に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「8 原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」に記載する「表1 原子炉本体の主要設備リスト」の「付表1」による。

## (2) 適用基準及び適用規格

変更前	変更後
<p>第1章 共通項目</p> <p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令の解釈（平成17年12月15日原院第5号）</li> <li>・実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の規定に基づく線量限度等を定める告示（平成13年経済産業省告示第187号）</li> <li>・発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針（平成2年8月30日原子力安全委員会決定）</li> </ul>	<p>第2章 個別項目</p> <p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈（平成25年6月19日原規技発第1306194号）</li> <li>・発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令の解釈（平成17年12月15日原院第5号）</li> <li>・核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示（平成27年原子力規制委員会告示第8号）</li> <li>・軽水型動力炉の非常用炉心冷却系の性能評価指針（平成4年6月11日原子力安全委員会一部改定）</li> <li>・発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針（平成2年8月30日原子力安全委員会決定）</li> </ul>

変更前	変更後
・安全機能を有する計測制御装置の設計指針（J E A G 4 6 1 1-2009）	・安全機能を有する計測制御装置の設計指針（J E A G 4 6 1 1-2009） ・クレーン構造規格（平成 15 年 12 月 19 日厚生労働省告示第 3 9 9 号） ・ J I S A 9 5 0 1-2014 保温保冷工事施工標準



6 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る工事の方法

変更前	変更後
<p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設に係る工事の方法は、「原子炉本体」における「9 原子炉本体に係る工事の方法」（「1.3 燃料体に係る工事の手順と使用前事業者検査」，「2.1.3 燃料体に係る検査」及び「3.2 燃料体の加工に係る工事上の留意事項」を除く。）に従う。</p>	<p>変更なし</p>

3. 原子炉冷却系統施設

沸騰水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

3 原子炉冷却材再循環設備に係る次の事項

3.1 原子炉冷却材再循環系

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、慣性定数又は回転速度半減時間、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに原動機の種類、出力及び個数（インターナルポンプにあつては、原動機の冷却方式及び定格回転速度を付記すること。）

a. 原子炉冷却材再循環ポンプ

			変更前	変更後	
名 称			原子炉冷却材再循環ポンプ (インターナルポンプ：R I P) <sup>*1</sup>	変更なし	
ポ ン プ	種 類	—	ターボ形		
	容 量 <sup>*2</sup>	m <sup>3</sup> /h/個	□以上 <sup>*3</sup> (7700 <sup>*4</sup> )		
	揚 程 <sup>*5</sup>	m	□以上 <sup>*3</sup> (40 <sup>*4</sup> )		
	回 転 速 度 半 減 時 間	s	□以上(□ <sup>*4</sup> ) <sup>*3</sup>		
	最 高 使 用 圧 力	MPa	8.62 <sup>*3</sup>		
	最 高 使 用 温 度	℃	302 <sup>*3</sup>		
	主 要 寸 法	モ ー タ カ バ ー 厚 さ	mm		□(□ <sup>*4</sup> ) <sup>*3</sup>
		補 助 カ バ ー 厚 さ	mm		□(□ <sup>*4</sup> ) <sup>*3</sup>
	耐 圧 部	材 質	モ ー タ カ バ ー		SFVQ1A
			補 助 カ バ ー		SFVQ1A
ス タ ッ ド ボ ル ト			SNB24-3		
補 助 カ バ ー 取 付 ボ ル ト			SNB24-3		
水 力 部	材 質	羽 根 車	□		
		軸	□		
		デ ィ フ ュ ー ザ	□		
個 数	—	10 (予備 2 <sup>*3, *6</sup> )			
原 動 機	種 類	—	誘導電動機 (逆転防止装置付)		
	出 力	kW/個	□		
	冷 却 方 式	—	外部ループ循環方式 (□kW/個 <sup>*7</sup> )		
	定 格 回 転 速 度 <sup>*8</sup>	rpm	□		
	個 数	—	10		

- 注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 原子炉冷却材再循環ポンプ (インターナルポンプ: R I P)」と記載。
- \*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。
- \*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*4 : 公称値を示す。
- \*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載。
- \*6 : 予備のモータカバー, 補助カバーの個数を示す。
- \*7 : SI 単位に換算したものである。
- \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格回転数」と記載。

4 原子炉冷却材の循環設備に係る次の事項

4.1 主蒸気系

(3) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

a. 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ

			変 更 前	変 更 後
名 称			主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 アキュムレータ <sup>*1</sup>	主蒸気逃がし安全弁 逃がし弁機能用 アキュムレータ <sup>*2</sup>
種 類	—		たて置円筒形	変更なし
容 量	L/個		<input type="text"/> <sup>*3</sup> (15 <sup>*4</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa		1.77 <sup>*5</sup>	変更なし 2.00 <sup>*6</sup>
最 高 使 用 温 度	℃		171	変更なし
主 要 寸 法	胴 外 径	mm	216.3 <sup>*4</sup>	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> <sup>*7</sup> (8.2 <sup>*4</sup> )	
	平 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> <sup>*7</sup> (29.0 <sup>*4</sup> )	
	管台外径(流体出入口)	mm	60.5 <sup>*4, *7</sup>	
	管台厚さ(流体出入口)	mm	<input type="text"/> <sup>*7</sup> (3.9 <sup>*4</sup> )	
	高 さ <sup>*8</sup>	mm	570 <sup>*4</sup>	
材 料	胴 板	—	SUS304TP	
	平 板	—	SUS304	
個 数	—		18	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(4)主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータ」と記載。

\*2 : 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備)と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : SI 単位に換算したものである。

\*6 : 重大事故等時における使用時の値。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画のIV-3-1-1-2「主蒸気逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータの強度計算書」による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

b. 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ

			変 更 前	変 更 後
名 称			主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 アキュムレータ <sup>*1</sup>	主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機能用 アキュムレータ <sup>*2</sup>
種 類	—		たて置円筒形	変更なし
容 量	L/個		<input type="text"/> <sup>*3</sup> (200 <sup>*4</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa		1.77 <sup>*5</sup>	変更なし 2.00 <sup>*6</sup>
最 高 使 用 温 度	℃		171	変更なし
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	450 <sup>*4</sup>	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> <sup>*7</sup> (12.0 <sup>*4</sup> )	
	平 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> <sup>*7</sup> (56.0 <sup>*4</sup> )	
	管台外径(流体出入口)	mm	60.5 <sup>*4, *7</sup>	
	管台厚さ(流体出入口)	mm	<input type="text"/> <sup>*7</sup> (3.9 <sup>*4</sup> )	
	高 さ <sup>*8</sup>	mm	1420 <sup>*4</sup>	
材 料	胴 板	—	SUS304	
	平 板	—	SUS304	
個 数	—		8	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(5)主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ」と記載。

\*2 : 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備)と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : SI 単位に換算したものである。

\*6 : 重大事故等時における使用時の値。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画のIV-3-1-1-3「主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータの強度計算書」による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

(6) 安全弁及び逃がし弁の名称, 種類, 吹出圧力, 吹出量, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数 (自動減圧機能を有する場合は, その個数を付記すること。), 取付箇所及び吹出場所

		変更前						変更後	
名称		B21-F001 <sup>*1</sup> P	B21-F001 <sup>*1</sup> J	B21-F001 <sup>*1</sup> B, G, M, S	B21-F001 <sup>*1</sup> D, E, K, U	B21-F001 <sup>*1, *2</sup> C, H, N, T	B21-F001 <sup>*1, *2</sup> A, F, L, R		
種類	—	平衡型							
吹出圧力 (逃がし弁機能)	MPa	7.51 <sup>*3, *4</sup>	7.58 <sup>*3, *4</sup>	7.64 <sup>*3, *4</sup>	7.71 <sup>*3, *4</sup>	7.78 <sup>*3, *4</sup>	7.85 <sup>*3, *4</sup>		
吹出圧力 (安全弁機能)	MPa	7.92 <sup>*3, *4</sup>	7.92 <sup>*3, *4</sup>	7.99 <sup>*3, *4</sup>	8.06 <sup>*3, *4</sup>	8.12 <sup>*3, *4</sup>	8.19 <sup>*3, *4</sup>		
吹出量 (逃がし弁機能)	t/h/個	363 <sup>*3, *5</sup>	367 <sup>*3, *5</sup>	370 <sup>*3, *5</sup>	373 <sup>*3, *5</sup>	377 <sup>*3, *5</sup>	380 <sup>*3, *5</sup>		
吹出量 (安全弁機能)	t/h/個	395 <sup>*3, *5</sup>	395 <sup>*3, *5</sup>	399 <sup>*3, *5</sup>	402 <sup>*3, *5</sup>	406 <sup>*3, *5</sup>	409 <sup>*3, *5</sup>		
主要寸法	呼び径	— <sup>*6</sup>						150A <sup>*7</sup>	
	のど部の径	mm						<input type="text"/> <sup>*5</sup>	
	弁座口の径	mm						134 <sup>*5</sup>	
	リフト	mm						<input type="text"/> 以上	
材料 (弁箱)	—	SCPH2							
駆動方法	—	窒素及びバネ作動 <sup>*8</sup>							
個数	—	18(8 <sup>*8, *9</sup> )(予備 18 <sup>*8, *10</sup> )							
取付箇所	系統名	—						主蒸気系 <sup>*8</sup>	
	設置床	—						原子炉格納容器 <sup>*11</sup> T. M. S. L. 12300 mm	
	溢水防護上の区画番号	—						—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—						—	
吹出場所	—	サプレッションプール水面下 <sup>*3</sup>							

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1)主蒸気逃がし安全弁」と記載。

\*2 : 自動減圧機能を有する弁を示す。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画のIV-4-1「主蒸気逃がし安全弁の吹出量計算書」による。

\*4 : SI単位に換算したものである。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(A)」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「150」と記載。

\*8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*9 : 18個のうち自動減圧機能を有する弁の個数を示す。

\*10 : 予備品 (6,7号機共用) の個数を示す。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は, 設計図書による。

(7) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (主蒸気隔離弁にあつては, 閉止時間及び漏えい率を付記すること。)

			変 更 前	変更後
名 称*1			B21-F002A, B, C, D*2	
種 類	—		止め弁	
最 高 使 用 圧 力	MPa		8.62*3	
最 高 使 用 温 度	℃		302*3	
主 要 寸 法	呼 び 径	—*4	700A*5	
	弁 箱 厚 さ	mm		以上*3
	弁 ふ た 厚 さ	mm		以上*3
材 料	弁 箱	—	SCPH2	
	弁 ふ た	—	SFVC2B	
	弁 体	—	SFVC2B*3	
駆 動 方 法	—	空気作動 (窒素作動)		
閉 止 時 間	s		3~4.5*3	
漏 え い 率	%/d/個		10 以下 (主蒸気逃がし安全弁 (逃がし弁機能) 最低設定圧力において, 原子炉圧力容器気相の体積に対し, 飽和蒸気で)	
個 数	—		4	
取 付 箇 所	系 統 名	—	主蒸気系*3	
	設 置 床	—	原子炉格納容器 T. M. S. L. 12300 mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要 な 高 さ	—	—	

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F002A, B, C, D」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「700」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は, 設計図書による。

			変更前	変更後
名称 <sup>*1</sup>			B21-F003A, B, C, D <sup>*2</sup>	
種類	—		止め弁	
最高使用圧力	MPa		8.62 <sup>*3</sup>	
最高使用温度	℃		302 <sup>*3</sup>	
主要寸法	呼び径	— <sup>*4</sup>	700A <sup>*5</sup>	
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/>	以上 <sup>*3</sup>
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/>	以上 <sup>*3</sup>
材料	弁箱	—	SCPH2	
	弁ふた	—	SFVC2B	
	弁体	—	SFVC2B <sup>*3</sup>	
駆動方法	—	空気作動		
閉止時間	s		3～4.5 <sup>*3</sup>	
漏えい率	%/d/個		10以下（主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能）最低設定圧力において、原子炉圧力容器気相の体積に対し、飽和蒸気で） <sup>*3</sup>	
個数	—		4	
取付箇所	系統名	—	主蒸気系 <sup>*3</sup>	
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300 mm <sup>*6</sup>	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	

変更なし

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「F003A, B, C, D」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「（呼び径A）」と記載。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「700」と記載。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。



			変 更 前	変 更 後
名 称 又 は 弁 番 号			タービンバイパス弁	—*
種	類	—	制御弁	
主 要 寸 法	呼 び 径 A	—	228.6mm (弁座口の径)	
材 料	弁 箱	—	SCPH1 相当	
	弁 ふ た	—	SCPH1 相当	
駆 動 方 法			油圧作動	
個 数			3	
取 付 箇 所			タービン建屋内	

注記\*：当該弁については，主要弁に該当しないため記載の適正化を行う。

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
主 蒸 気 系	*1 原子炉压力容器 ～ B21-F003A, C, D 及び B21-F001A, B, C, D, K, L, M, N, P, R, S, T, U	8.62*2	302	711.2*3	□*4(35.7*3)	STS480*5	変更なし				
				228.6*3	□*4(34.3*3)	SFVC2B					
	*1 原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部	8.62*2	302	711.2*3	□*4(35.7*3)	STS480*5	*6 原子炉压力容器 ～ 原子炉隔離時冷却系分岐部	変更なし 9.22*7	変更なし 306*7	変更なし	
				165.2*3	□*4(14.3*3)	SFVC2B					
	*1 原子炉隔離時冷却系分岐部 ～ B21-F003B 及び B21-F001E, F, G, H, J	8.62*2	302	711.2*3	□*4(35.7*3)	STS480*5	変更なし				
				228.6*3	□*4(34.3*3)	SFVC2B					
	*1 B21-F003A, B, C, D ～ 主蒸気ヘッド	8.62*2	302	711.2*3	□*4(35.7*3)	SGV480*8					
				711.2*3	□*4(35.7*3)	SFVC2B					
	主蒸気ヘッド	8.62*2	302	813.8*3	□*4(87.0*3)	SFVC2B					
				1676.4*3	□*4(90.0*3)	SFVC2B					
				1676.4*3, *9	□*4(90.0*3, *9)	SGV480*9					
				653.6*3	□*4(76.0*3)	SFVC2B					
558.8*3				□*4(28.6*3)	SFVC2B						

変更前						変更後								
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料			
主 蒸 気 系	*10 主蒸気ヘッド ～ N31-F001A, B, C, D	8.62*2	302	711.2*3	□*4(35.7*3)	SGV480*8	変更なし							
	*11 B21-F001A, C, F, H, L, N, R, T ～ 逃がし安全弁排気管貫通部	3.73*2	250	267.4*3	15.1*3	STS410*12	変更なし							
							—							
	*11 逃がし安全弁排気管貫通部 ～ サプレッションチェンバ	3.73*2	250	267.4*3	15.1*3	SUS316TP	3.73*7	250*7	*3, *13 267.4 /267.4		*3, *13 15.1 /15.1		STS410*13	
				267.4*3	12.7*3	SUS316TP			*3, *13, *14 267.4		*3, *13, *14 15.1		STS410*13, *14	
		—						変更なし						
		3.73*2	250	318.5*3	14.3*3	SUS316TP	3.73*7	250*7	*3, *13 318.5 /267.4		*3, *13 17.4 /15.1		SUS316TP*13	
				318.5*3	□*4(17.4*3)	SCS16A			変更なし					
				563.0*3, *4	□*4(31.8*3)*4	SCS16A*4								
	609.6*3			□*4(55.1*3)	SCS16A									
399.6*3	□*4(58.0*3)	SCS16A												
322.0*3	□*4(19.2*3)	SCS16A	変更なし											
—														
—														
—														

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
主 蒸 気 系						主 蒸 気 系	*13 B21-F001B, D, E, G, J, K, M, P, S, U ~ サプレッションチェンバ	3.73*7	250*7	267.4*3	15.1*3	STS410
										*3, *14 267.4	*3, *14 15.1	STS410*14
										*3 267.4 /267.4 /—	*3 15.1 /15.1 /—	STS410
										267.4*3	15.1*3	SUS316TP
										267.4*3	12.7*3	SUS316TP
										*3 318.5 /267.4	*3 17.4 /15.1	SUS316TP
										318.5*3	14.3*3	SUS316TP
										318.5*3	<input type="text" value=""/> (17.4*3)	SCS16A
										563.0*3	<input type="text" value=""/> (31.8*3)	SCS16A
										609.6*3	<input type="text" value=""/> (55.1*3)	SCS16A
										399.6*3	<input type="text" value=""/> (58.0*3)	SCS16A
322.0*3	<input type="text" value=""/> (19.2*3)	SCS16A										

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
主蒸気系	*9 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁 機能用アキュムレータ ～ 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁 機能用窒素供給配管合流部	1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP	*15 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁 機能用アキュムレータ ～ 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁 機能用窒素供給配管合流部	変更なし 2.00*7	変更なし			
		—						2.00*7	171*7	*3, *13, *14 60.5	*3, *13, *14 3.9	*13, *14 SUS304TP
	*9 B21-F029A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U ～ 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁 機能用窒素供給配管合流部	1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP	*15 B21-F029A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U ～ 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁 機能用窒素供給配管合流部	変更なし 2.00*7	変更なし			
		—						2.00*7	171*7	*3, *13, *14 60.5	*3, *13, *14 3.9	*13, *14 SUS304TP
	*9 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁 機能用窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U	—					*15 主蒸気逃がし安全弁逃がし弁 機能用窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, T, U	2.00*7	171*7	*3, *13 60.5 /60.5	*3, *13 3.9 /3.9	SUS304TP*13
		1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP		変更なし 2.00*7	変更なし			
		—						2.00*7	171*7	*3, *13, *14 60.5	*3, *13, *14 3.9	*13, *14 SUS304TP
	*9 主蒸気逃がし安全弁自動減圧 機能用アキュムレータ ～ 主蒸気逃がし安全弁自動減圧 機能用窒素供給配管合流部	—					*15 主蒸気逃がし安全弁自動減圧 機能用アキュムレータ ～ 主蒸気逃がし安全弁自動減圧 機能用窒素供給配管合流部	2.00*7	171*7	*3, *13 60.5	*3, *13 3.9	SUS304*13
		1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP		変更なし 2.00*7	変更なし			
		—						2.00*7	171*7	*3, *13 61.5	*3, *13 (0.4*3)	SUS304*13
	*9 B21-F026A, C, F, H, L, N, R, T ～ 主蒸気逃がし安全弁自動減圧 機能用窒素供給配管合流部	1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP	*15 B21-F026A, C, F, H, L, N, R, T ～ 主蒸気逃がし安全弁自動減圧 機能用窒素供給配管合流部	変更なし 2.00*7	変更なし			
		—						2.00*7	171*7	*3, *13, *14 60.5	*3, *13, *14 3.9	*13, *14 SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
*9 主蒸気逃がし安全弁自動減圧 機能用窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, C, F, H, L, N, R, T	—					*15 主蒸気逃がし安全弁自動減圧 機能用窒素供給配管合流部 ～ B21-F001A, C, F, H, L, N, R, T	2.00*7	171*7	*3, *13 60.5 /60.5 /60.5	*3, *13 3.9 /3.9 /3.9	SUS304TP*13
	1.77	171	60.5*3	3.9*3	SUS304TP		変更なし 2.00*7	変更なし			
	—						2.00*7	171*7	*3, *13, *14 60.5	*3, *13, *14 3.9	*13, *14 SUS304TP
*16 主蒸気ヘッド ～ N37-F001	8.62*2	302	558.8*3, *14	<input type="text"/> *4(28.6*3)	*8, *14 SGV480	*17 N37-F001 ～ タービンバイパス 減圧管	6.01*2	302	406.4*3	21.4*3	STPT480*18
			558.8*3	<input type="text"/> *4(28.6*3)	SGV480*8						
			601.6*3	<input type="text"/> *4(50.0*3)	SGV480*8						
*19 主蒸気ヘッド ～ 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン 分岐部	8.62*2	302	558.8*3	<input type="text"/> *4(28.6*3)	SGV480*8	*19 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気 タービン分岐部 ～ 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン(A) 分岐部	8.62*2	302	267.4*3	18.2*3	STPT410*22
			558.8*3, *14	<input type="text"/> *4(28.6*3)	*8, *14 SGV480						
			558.8*3	<input type="text"/> *4(28.6*3)	SB480*20						
			331.0*3	<input type="text"/> *4(50.0*3)	SF490A*21						
			267.4*3	<input type="text"/> *4(18.2*3)	SF490A*21						
変更なし											

変更前							変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
主 蒸 気 系	*19 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン(A) 分岐部 ～ N38-F001A	8.62*2	302	216.3*3	15.1*3	STPT410*22	主 蒸 気 系	変更なし				
	*19 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン(A) 分岐部 ～ N38-F001B	8.62*2	302	216.3*3	15.1*3	STPT410*22						
	*23 原子炉給水ポンプ 駆動用蒸気タービン 分岐部 ～ タービン補助蒸気系 A系分岐部	8.62*2	302	558.8*3	□*4(28.6*3)	SB480*20						
				611.6*3	□*4(55.0*3)	SB480*20						
				555.6*3	□*4(50.0*3)	SB480*20						
				508.0*3	□*4(26.2*3)	SB480*20						
				374.6*3	□*4(33.3*3)	SB480*20						
	*23 タービン補助蒸気系 A系分岐部 ～ N39-F300A, F301A, F350A, F351A	8.62*2	302	355.6*3	23.8*3	STPT480*18						
				267.4*3	18.2*3	STPT410*22						
	*23 タービン補助蒸気系 A系分岐部 ～ N39-F300B, F301B, F350B, F351B	8.62*2	302	555.6*3	□*4(50.0*3)	SB480*20						
508.0*3				□*4(26.2*3)	SB480*20							
355.6*3				23.8*3	STPT480*18							
267.4*3				18.2*3	STPT410*22							

- 注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から主蒸気ヘッダ、原子炉隔離時冷却系及び主蒸気逃がし安全弁まで」と記載。
- \*2：SI単位に換算したものである。
- \*3：公称値を示す。
- \*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画のIV-3-1-1-1-1「管の基本板厚計算書」による。
- \*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS49」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*6：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（原子炉隔離時冷却系、高圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（高圧代替注水系）と兼用。
- \*7：重大事故等時における使用時の値。
- \*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*9：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダから主蒸気止め弁まで」と記載。
- \*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気逃がし安全弁（自動減圧機能用）からサブプレッションチェンバへ」と記載。
- \*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*13：本設備は既存の設備である。
- \*14：エルボを示す。
- \*15：計測制御系統施設のうち制御用空気設備（逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備）と兼用。
- \*16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダからタービンバイパス弁まで」と記載。
- \*17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービンバイパス弁からタービンバイパス減圧管まで」と記載。
- \*18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT49」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気ヘッダから原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンまで」と記載。
- \*20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB49」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF50A」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*22：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*23：記載の適正化を行う。既工事計画書には「RFPタービン入口配管からタービン補助蒸気系（湿分分離加熱器へ）まで」と記載。



4.2 復水給水系

(1) 熱交換器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力(管側及び胴側の別に記載すること。), 最高使用温度(管側及び胴側の別に記載すること。), 伝熱面積, 主要寸法, 材料及び個数

a. 第1給水加熱器

			変更前	変更後	
名称			第1給水加熱器*1		
種類	—	横置U字管式			
容量(設計熱交換量)	MW/個	[ ]*2 ( [ ]*3, *4 )			
管側	最高使用圧力	MPa	10.00*4		
	最高使用温度	℃	230		
胴側	最高使用圧力	MPa	2.67*4		
	最高使用温度	℃	230		
伝熱面積		m <sup>2</sup> /個	[ ]*2 (2840*3)		
主要寸法	管側	胴内径*5	mm	2300*3	
		鏡板厚さ*6	mm	[ ]*7 (75.0*3)	
		鏡板の形状に係る寸法	mm	1150*3, *7 (鏡板の内半径)	
		管台外径(給水入口)	mm	787.4*3, *7	
		管台厚さ(給水入口)	mm	[ ]*7 (122.0*3)	
		管台外径(給水出口)	mm	787.4*3, *7	
	胴側	管台厚さ(給水出口)	mm	[ ]*7 (122.0*3)	
		胴内径*8	mm	2250*3	
		胴板厚さ*9	mm	[ ]*7 (40.0*3)	
		鏡板厚さ*10	mm	[ ]*7 (40.0*3)	
		鏡板の形状に係る寸法	mm	2250*3, *7 (鏡板の内面における長径)	
				562.5*3, *7 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
		管台外径(蒸気入口)	mm	406.4*3, *7	
		管台厚さ(蒸気入口)	mm	[ ]*7 (17.0*3)	
		管台外径(ドレン入口*11)	mm	216.3*3, *7	
		管台厚さ(ドレン入口*11)	mm	[ ]*7 (18.0*3)	
		管台外径(ドレン入口*12)	mm	267.4*3, *7	
		管台厚さ(ドレン入口*12)	mm	[ ]*7 (19.0*3)	

変更なし

				変更前	変更後
主 要 寸 法	胴 側	管台外径(ドレン出口)	mm	520 <sup>*3, *7</sup>	変更なし
		管台厚さ(ドレン出口)	mm	□ (70.0 <sup>*3</sup> ) <sup>*7</sup>	
	管板厚さ	mm	□ <sup>*7</sup> (420.0 <sup>*3</sup> )		
	伝熱管外径	mm	15.9 <sup>*3</sup>		
	伝熱管厚さ	mm	□ <sup>*7</sup> (□ <sup>*3</sup> )		
	マンホール外径	mm	605 <sup>*3, *7</sup>		
	マンホール厚さ	mm	□ (100.0 <sup>*3</sup> ) <sup>*7</sup>		
	マンホール平板厚さ	mm	□ (85.0 <sup>*3</sup> ) <sup>*7</sup>		
全	長	mm	13265 <sup>*3</sup>		
材 料	管 側	鏡板	—	SB480 <sup>*13</sup>	
		胴板	—	SCMV3	
	胴 側	鏡板	—	SCMV3	
		管板	—	SF490A <sup>*14</sup>	
	伝熱管	—	SUS304TB		
	マンホール	—	SF490A <sup>*2</sup>		
マンホール平板	—	SB480 <sup>*2</sup>			
個	数	—	2		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 第1給水加熱器」と記載。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : SI 単位に換算したものである。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13003号にて認可された工事計画のIV-3-1-6-1「第1給水加熱器の強度計算書」による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴部鏡板厚さ」と記載。

\*11 : 管台符号 N4 を示す。

\*12 : 管台符号 N5 を示す。

\*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB49」と記載。

\*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF50A」と記載。

(7) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (主蒸気隔離弁にあつては, 閉止時間及び漏えい率を付記すること。)

			変更前	変更後
名 称 <sup>*1</sup>			B21-F051A, B <sup>*2</sup>	
種 類	—		逆止め弁	
最 高 使 用 圧 力	MPa		8.62 <sup>*3</sup>	
最 高 使 用 温 度	℃		302 <sup>*3</sup>	
主 要 寸 法	呼 び 径	— <sup>*4</sup>	550A <sup>*5</sup>	
	弁 箱 厚 さ	mm	□ 以上 <sup>*3</sup>	
	弁 ふ た 厚 さ	mm	□ 以上 <sup>*3</sup>	
材 料	弁 箱	—	SCPH2	
	弁 ふ た	—	SCPH2	
	弁 体	—	SCPH2 <sup>*3</sup>	
駆 動 方 法	—	空気作動		
個 数	—	2		
取 付 箇 所	系 統 名	—	B21-F051A <sup>*3</sup> 復水給水系 A 系	B21-F051B <sup>*3</sup> 復水給水系 B 系
	設 置 床	—	原子炉建屋 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 12300mm
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F051A, B」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「550」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は, 設計図書による。

			変更前		変更後
名称 <sup>*1</sup>			B21-F052A, B <sup>*2</sup>		変更なし
種類	類	—	逆止め弁		
最高使用圧力		MPa	8.62 <sup>*3</sup>		
最高使用温度		℃	302 <sup>*3</sup>		
主要寸法	呼び径	— <sup>*4</sup>	550A <sup>*5</sup>		
	弁箱厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>		
	弁ふた厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>		
材料	弁箱	—	SCPH2		
	弁ふた	—	SCPH2		
	弁体	—	SCPH2 <sup>*3</sup>		
駆動方法			—		
個数			2		
取付箇所	系統名	—	B21-F052A <sup>*3</sup> 復水給水系 A 系	B21-F052B <sup>*3</sup> 復水給水系 B 系	
		—	原子炉格納容器 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 12300mm	原子炉格納容器 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 12300mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F052A, B」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「550」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は、設計図書による。

(8) 主配管の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 ( )	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 ( )	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
復水給水系	*1 N26-F003A,B,C ~ 給水加熱器ドレンベント系 (低圧ドレンポンプ)合流部	1.94 <sup>*2</sup>	84	406.4 <sup>*3</sup>	12.7 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>	復水給水系	変更なし				
				406.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (12.7 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*6</sup>						
				419.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (19.1 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*6</sup>						
				711.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (17.4 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>						
				728.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (26.1 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>						
				762.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (17.4 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>						
	*1 給水加熱器ドレンベント系 (低圧ドレンポンプ)合流部 ~ N27-F001A,B,C,D,E,F	1.94 <sup>*2</sup>	84	355.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (11.1 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*6</sup>						
				366.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (16.7 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*6</sup>						
				762.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (17.4 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>						
				779.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (26.1 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>						
				328.9 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (15.5 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*6</sup>						
				318.5 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (10.3 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*6</sup>						
	*8 N22-F041 ~ 給水加熱器ドレンベント系 (低圧ドレンポンプ)合流部	1.94 <sup>*2</sup>	84	355.6 <sup>*3</sup>	11.1 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						
	*9 N27-F002A,B,C,D,E,F ~ 制御棒駆動系分岐部	1.94 <sup>*2</sup>	84	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						
				318.5 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (10.3 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*6</sup>						
				328.9 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (15.5 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*6</sup>						
				762.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (17.4 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>						
779.4 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (26.1 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>							
179.6 <sup>*3, *10</sup>				□ <sup>*10</sup> (14.3 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*10</sup>							
165.2 <sup>*3, *10</sup>	□ <sup>*10</sup> (7.1 <sup>*3</sup> )	SF440A <sup>*10</sup>										



















K6 RO

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
復 水 給 水 系	*9 制御棒駆動系分岐部 ~ 高压復水ポンプ	1.94 <sup>*2</sup>	84	762.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (17.4 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>	復 水 給 水 系	変更なし			
				779.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (26.1 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>					
				571.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (19.1 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>					
				558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (12.7 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*7</sup>					
	*10 制御棒駆動系分岐部 ~ N21-F028	1.94	84	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	STPT410					
	高压復水ポンプ ~ 第 6 給水加熱器	5.98 <sup>*2</sup>	84	558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (22.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				592.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (38.9 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				711.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (28.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				739.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (42.9 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (24.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				646.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (43.1 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (19.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
476.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (28.5 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>									
第 6 給水加熱器 ~ 第 5 給水加熱器	5.98 <sup>*2</sup>	149	457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (19.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
第 5 給水加熱器 ~ 第 4 給水加熱器	5.98 <sup>*2</sup>	149	457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (19.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
第 4 給水加熱器 ~ 第 3 給水加熱器	5.98 <sup>*2</sup>	149	457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (19.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						

変更前						変更後												
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 ( )	外径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料							
復 水	第 3 給水加熱器 ~ 給水加熱器ドレンベント系 ( 高圧ドレンポンプ ) 合流部	5.98 <sup>*2</sup>	158	457.2 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (19.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>	復 水	5.98 <sup>*2</sup>	207	457.2 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (19.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
			485.8 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (33.3 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>													
			609.6 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (24.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>													
			646.6 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (43.1 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>													
			711.2 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (28.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>													
			754.2 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (50.1 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>													
			914.4 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (35.7 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>													
			950.2 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (53.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>													
			給 水 系	給水加熱器ドレンベント系 ( 高圧ドレンポンプ ) 合流部 ~ タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)分岐部	5.98 <sup>*2</sup>	207				558.8 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (22.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>	給 水 系	5.98 <sup>*2</sup>	207	603.2 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (44.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>
										950.2 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (53.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
914.4 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (35.7 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>																
700.0 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (46.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>																
660.4 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (26.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>																
タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)分岐部 ~ タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)分岐部	5.98 <sup>*2</sup>	207					950.2 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (53.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>	変更なし								
914.4 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (35.7 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>																
700.0 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (46.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>																
660.4 <sup>*3</sup>	<input type="text" value=""/> <sup>*5</sup> (26.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>																

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 ( )	外径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
復 水 給 水 系	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)分岐部 ~ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)分岐部	5.98 <sup>*2</sup>	207	950.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (53.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>	復 水 給 水 系	変更なし				
				914.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (35.7 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
				539.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (36.1 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
				508.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (20.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)分岐部 ~ タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)	5.98 <sup>*2</sup>	207	660.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (26.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)分岐部 ~ タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)	5.98 <sup>*2</sup>	207	660.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (26.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
	電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)分岐部 ~ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)	5.98 <sup>*2</sup>	207	508.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (20.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
	電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)分岐部 ~ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)	5.98 <sup>*2</sup>	207	950.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (53.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
				914.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (35.7 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
				508.0 <sup>*3, *15</sup>	□ <sup>*15</sup> (26.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*10</sup>						
				508.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*15</sup> (20.6 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
	N22-F006A, B, C ~ 給水加熱器ドレンベント系 (高圧ドレンポンプ)合流部	5.98 <sup>*2</sup>	207	406.4 <sup>*3</sup>	16.7 <sup>*3</sup>	STPT480 <sup>*17</sup>						
				558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (22.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
				603.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (44.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
				406.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (16.7 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
				431.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (29.3 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A) ~ 給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)側)合流部	16.57 <sup>*2</sup>	207	609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (52.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
				609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (52.4 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>						
662.0 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (78.6 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>							
10.00 <sup>*2</sup>		207	609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>							
			668.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (60.5 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>							



変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
復 水 給 水 系	*18 給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)側)合流部 ~ 第2給水加熱器(A)	10.00 <sup>*2</sup>	207	609.6 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>	復 水 給 水 系	変更なし			
				668.6 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (60.5 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
	*18 タービン駆動原子炉給水ポンプ(B) ~ 給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)側)合流部	16.57 <sup>*2</sup>	207	609.6 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (52.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				609.6 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (52.4 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>					
				662.0 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (78.6 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>					
				10.00 <sup>*2</sup>	207	609.6 <sup>*3</sup>					
	*18 給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)側)合流部 ~ 第2給水加熱器(B)	10.00 <sup>*2</sup>	207	609.6 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				668.6 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (60.5 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
	*20, *21 電動機駆動原子炉給水ポンプ(A) ~ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)合流部	16.57 <sup>*2</sup>	207	457.2 <sup>*3</sup>	 <sup>*15</sup> (39.7 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				457.2 <sup>*3</sup>	 <sup>*15</sup> (39.7 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>					
				497.0 <sup>*3</sup>	 <sup>*15</sup> (59.6 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>					
		10.00 <sup>*2</sup>	207	457.2 <sup>*3</sup>	 <sup>*15</sup> (23.8 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				500.0 <sup>*3</sup>	 <sup>*15</sup> (45.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				609.6 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				668.6 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (60.5 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
	*20 電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)合流部 ~ 給水ポンプ出口配管分岐部	10.00 <sup>*2</sup>	207	457.2 <sup>*3</sup>	 <sup>*5</sup> (23.8 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
500.0 <sup>*3</sup>				 <sup>*5</sup> (45.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
668.6 <sup>*3</sup>				 <sup>*5</sup> (60.5 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
609.6 <sup>*3</sup>				 <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 ( )	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 ( )	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
復水給水系	電動機駆動原子炉給水ポンプ(B) ～ 電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)合流部	16.57 <sup>*2</sup>	207	457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (39.7 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>	復水給水系	変更なし			
				457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (39.7 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>					
				497.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (59.6 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>					
	10.00 <sup>*2</sup>	207	457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (23.8 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
			500.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (45.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
	給水ポンプ出口配管分岐部 ～ 給水ポンプ出口配管 (タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)側及び(B)側)合流部	10.00 <sup>*2</sup>	207	609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				668.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (60.5 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
	第2給水加熱器 ～ 第1給水加熱器	10.00 <sup>*2</sup>	207	609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
	第1給水加熱器 ～ 代替注水配管復水給水系(A)合流部及び 原子炉隔離時冷却系配管復水給水系(B)合流部	10.00 <sup>*2</sup>	230	609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>					
				609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (31.0 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>					
684.0 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (68.2 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*19</sup>						
863.6 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (42.8 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
906.4 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (64.2 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
609.6 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (52.4 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
609.6 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (52.4 <sup>*3</sup> )	SUSF316						
609.6 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (51.0 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
609.6 <sup>*3</sup>				51.0 <sup>*3</sup>	SUS316TP						
668.6 <sup>*3</sup>				□ <sup>*5</sup> (60.5 <sup>*3</sup> )	SB480 <sup>*11</sup>						
8.62 <sup>*2</sup>	302	558.8 <sup>*3</sup>	34.9 <sup>*3</sup>	STS480 <sup>*23</sup>							

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
復 水 給 水 系	*22 代替注水配管復水給水系(A) 合流部 ~ 原子炉压力容器	8.62 <sup>*2</sup>	302	558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (34.9 <sup>*3</sup> )	SFVC2B	*24 代替注水配管復水給水系(A) 合流部 ~ 原子炉压力容器	9.22 <sup>*25</sup>	306 <sup>*25</sup>	変更なし	
				267.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (18.2 <sup>*3</sup> )	SFVC2B					
				558.8 <sup>*3</sup>	34.9 <sup>*3</sup>	STS480 <sup>*23</sup>					
				558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (34.9 <sup>*3</sup> )	SFVC2B					
				318.5 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (21.4 <sup>*3</sup> )	SFVC2B					
				558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (34.9 <sup>*3</sup> )	SFVC2B					
				318.5 <sup>*3</sup>	21.4 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*26</sup>					
	*22 原子炉隔離時冷却系配管 復水給水系(B)合流部 ~ 原子炉压力容器	8.62 <sup>*2</sup>	302	558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (34.9 <sup>*3</sup> )	SFVC2B	*27 原子炉隔離時冷却系配管 復水給水系(B)合流部 ~ 原子炉压力容器	9.22 <sup>*25</sup>	306 <sup>*25</sup>	変更なし	
				165.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (14.3 <sup>*3</sup> )	SFVC2B					
				558.8 <sup>*3</sup>	34.9 <sup>*3</sup>	STS480 <sup>*23</sup>					
				558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (34.9 <sup>*3</sup> )	SFVC2B					
				318.5 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (21.4 <sup>*3</sup> )	SFVC2B					
				558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (34.9 <sup>*3</sup> )	SFVC2B					
				318.5 <sup>*3</sup>	21.4 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*26</sup>					
	*28 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部 ~ 代替注水配管復水給水系(A) 合流部	8.62 <sup>*2</sup>	302	267.4 <sup>*3</sup>	21.4 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*26</sup>	*24 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部 ~ 代替注水配管復水給水系(A) 合流部	9.22 <sup>*25</sup>	306 <sup>*25</sup>	変更なし	
				/267.4	/21.4						
				/165.2	/14.3	STS410 <sup>*26, *29</sup>					
				267.4 <sup>*3, *29</sup>	18.2 <sup>*3, *29</sup>						
	*28 原子炉隔離時冷却系配管 B21-F056B 出口合流部 ~ 原子炉隔離時冷却系配管 復水給水系(B)合流部	8.62 <sup>*2</sup>	302	165.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*5</sup> (14.3 <sup>*3</sup> )	SFVAF11A	*27 原子炉隔離時冷却系配管 B21-F056B 出口合流部 ~ 原子炉隔離時冷却系配管 復水給水系(B)合流部	9.22 <sup>*25</sup>	306 <sup>*25</sup>	変更なし	
				165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>	SFVAF11A					
				/165.2	/14.3	STS410 <sup>*26</sup>					
				/165.2	/14.3						
				165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>						
	165.2 <sup>*3, *29</sup>	14.3 <sup>*3, *29</sup>	STS410 <sup>*26, *29</sup>								

変 更 前						変 更 後											
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 ( )	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料						
復 水 給 水 系	*28 G31-F015 ~ B21-F056A,B	10.20 <sup>*2</sup>	302	216.3 <sup>*3</sup>	18.2 <sup>*3</sup>	復 水 給 水 系	変更なし										
				165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>							STS410 <sup>*26</sup>					
				8.62 <sup>*2</sup>	302							165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*26</sup>			
	*28 B21-F056A ~ 高压代替注水配管合流部	8.62 <sup>*2</sup>	302	165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>							STS410 <sup>*26</sup>					
				165.2 <sup>*3, *29</sup>	14.3 <sup>*3, *29</sup>							STS410 <sup>*26, *29</sup>					
	*28 高压代替注水配管合流部 ~ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	8.62 <sup>*2</sup>	302	165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>							*30 高压代替注水配管合流部 ~ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	8.62	302	165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>	STS410
				165.2 <sup>*3, *29</sup>	14.3 <sup>*3, *29</sup>										165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>	
				変更なし													
	*28 B21-F056B ~ 原子炉隔離時冷却系配管 B21-F056B 出口合流部	8.62 <sup>*2</sup>	302	165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>							*3 165.2 <sup>*3</sup>	*3 14.3 <sup>*3</sup>	STS410			
				165.2 <sup>*3, *29</sup>	14.3 <sup>*3, *29</sup>										165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>	STS410
変更なし						変更なし											

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系（復水ろ過装置より）から復水浄化系（復水脱塩装置へ）まで」と記載。

\*2：SI 単位に換算したものである。

\*3：公称値を示す。

\*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の -3-1-6-7-1「管の基本板厚計算書」による。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF45A」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「給水加熱器ドレンベント系（低圧ドレンポンプより）から復水ろ過装置出口配管まで」と記載。

\*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系（復水脱塩装置より）から高压復水ポンプまで」と記載。

\*10：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB49」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第3給水加熱器からタービン駆動原子炉給水ポンプまで」と記載。

\*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「給水ポンプ入口配管から電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)まで」と記載。

- \* 14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「MD - RFP(B)入口配管から電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)まで」と記載。
- \* 15 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成5年8月19日付け5資庁第8684号にて認可された工事計画の -3-1-6-7-1「管の基本板厚計算書」による。
- \* 16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「給水加熱器ドレンベント系(高圧ドレンポンプより)から給水ポンプ入口配管まで」と記載。
- \* 17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT49」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \* 18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン駆動原子炉給水ポンプから第2給水加熱器まで」と記載。
- \* 19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF50A」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \* 20 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動機駆動原子炉給水ポンプ(B)から給水ポンプ出口配管まで」と記載。
- \* 21 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)からMD - RFP(B)出口配管まで」と記載。
- \* 22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1給水加熱器から原子炉圧力容器まで」と記載。
- \* 23 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS49」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \* 24 : 残留熱除去設備(残留熱除去系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(高圧代替注水系, 低圧注水系, 低圧代替注水系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系, 高圧代替注水系, 低圧代替注水系)と兼用。
- \* 25 : 重大事故等時における使用時の値。
- \* 26 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \* 27 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(原子炉隔離時冷却系)と兼用。
- \* 28 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系, 残留熱除去系及び原子炉隔離時冷却系から原子炉圧力容器入口配管まで」と記載。
- \* 29 : エルボを示す。
- \* 30 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(高圧代替注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)と兼用。

4.3 給水加熱器ドレンベント系

(6) 安全弁及び逃がし弁の名称, 種類, 吹出圧力, 吹出量, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数 (自動減圧機能を有する場合は, その個数を付記すること。), 取付箇所及び吹出場所

		変更前*1	変更後
名 称		N22-F400A, B	
種 類	—	平衡型	
吹 出 圧 力	MPa	2.67	
吹 出 量	kg/h/個	□*2	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	150A
	の ど 部 の 径	mm	□*2
	弁 座 口 の 径	mm	□*2
	リ フ ト	mm	□以上
材 料	弁 箱	—	SCPH21
駆 動 方 法		—	—
個 数		—	2
取 付 箇 所	系 統 名	—	給水加熱器ドレンベント系
	設 置 床	—	タービン建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
吹 出 場 所		—	復水器

変更なし

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

		変更前*1	変更後
名 称		N22-F401A, B	
種 類	—	平衡型	
吹 出 圧 力	MPa	1.67	
吹 出 量	kg/h/個	□*2	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	150A
	の ど 部 の 径	mm	□*2
	弁 座 口 の 径	mm	□*2
	リ フ ト	mm	□以上
材 料	弁 箱	—	SCPH21
駆 動 方 法		—	—
個 数		—	2
取 付 箇 所	系 統 名	—	給水加熱器ドレンベント系
	設 置 床	—	タービン建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		
吹 出 場 所		—	復水器

変更なし

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

		変 更 前*1	変 更 後
名 称		N22-F402A, B, C	
種 類	—	平衡型	
吹 出 圧 力	MPa	0.48	
吹 出 量	kg/h/個	□*2	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	150A
	の ど 部 の 径	mm	□*2
	弁 座 口 の 径	mm	□*2
	リ フ ト	mm	□以上
材 料	弁 箱	—	SCPH21
駆 動 方 法		—	—
個 数		—	3
取 付 箇 所	系 統 名	—	給水加熱器ドレンベント系
	設 置 床	—	タービン建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
吹 出 場 所		—	復水器

変更なし

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。



		変 更 前*1	変 更 後
名 称		N22-F403A, B, C	
種 類	—	平衡型	
吹 出 圧 力	MPa	0.36	
吹 出 量	kg/h/個	□*2	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	200A
	の ど 部 の 径	mm	□*2
	弁 座 口 の 径	mm	□*2
	リ フ ト	mm	□以上
材 料	弁 箱	—	SCPH21
駆 動 方 法		—	—
個 数		—	3
取 付 箇 所	系 統 名	—	給水加熱器ドレンベント系
	設 置 床	—	タービン建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
吹 出 場 所		—	復水器

変更なし

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
給 水 加 熱 器 ド レ ン ベ ン ト 系	N22-F023A, B, C, D ～ 第 1 給水加熱器	8.62 <sup>*2</sup>	302	216.3 <sup>*3</sup>	15.1 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>	給 水 加 熱 器 ド レ ン ベ ン ト 系	変 更 な し			
	第 1 給水加熱器	2.67 <sup>*2</sup>	230	267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	STPA23					
	N22-F026A, B, C, D ～ 第 1 給水加熱器	3.57 <sup>*2</sup>	246	165.2 <sup>*3</sup>	11.0 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
	第 1 給水加熱器	2.67 <sup>*2</sup>	230	216.3 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STPA23					
	第 1 給水加熱器 ～ 高圧ドレンタンク	2.67 <sup>*2</sup>	230	406.4 <sup>*3</sup>	12.7 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
	高圧ドレンタンク	1.67 <sup>*2</sup>	207	457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (12.7 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
	第 2 給水加熱器 ～ 高圧ドレンタンク	1.67 <sup>*2</sup>	207	558.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (12.7 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
	N22-F029A, B, C, D ～ 高圧ドレンタンク	1.67 <sup>*2</sup>	207	267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	STPA23					
	高圧ドレンタンク ～ 高圧ドレンポンプ	1.67 <sup>*2</sup>	207	863.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (33.3 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>					
	高圧ドレンポンプ			457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (12.7 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>					
				470.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (19.1 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>					
	高圧ドレンポンプ ～ N22-F006A, B, C	7.85 <sup>*2</sup>	207	406.4 <sup>*3</sup>	21.4 <sup>*3</sup>	STPT480 <sup>*10</sup>					
	第 3 給水加熱器 ～ 第 4 給水加熱器	0.48 <sup>*2</sup>	158	216.3 <sup>*3</sup>	8.2 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
	第 4 給水加熱器	0.35 <sup>*2</sup>	149	216.3 <sup>*3</sup>	8.2 <sup>*3</sup>	STPA23					
	第 4 給水加熱器 ～ 第 5 給水加熱器	0.35 <sup>*2</sup>	149	216.3 <sup>*3</sup>	8.2 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
第 5 給水加熱器	355.6 <sup>*3</sup>			11.1 <sup>*3</sup>	STPA23						

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
給水加熱器 ドレン ベント 系	第5給水加熱器 ～ 低圧ドレンタンク	0.35 <sup>*2</sup>	149	267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>	給水加熱器 ドレン ベント 系	変更なし			
				267.4 <sup>*3, *6</sup>	□ <sup>*6</sup> (9.3 <sup>*3</sup> )	SCMV3 <sup>*6</sup>					
				508.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (9.5 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
	第6給水加熱器 ～ 低圧ドレンタンク	0.35 <sup>*2</sup>	149	355.6 <sup>*3</sup>	11.1 <sup>*3</sup>	STPA23					
				457.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (9.5 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
				466.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (14.3 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
				609.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (9.5 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
				619.2 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (14.3 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
				355.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (11.1 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
				366.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (16.7 <sup>*3</sup> )	SCMV3					
	低圧ドレンタンク ～ 低圧ドレンポンプ	0.35 <sup>*2</sup>	84	812.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (9.5 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>					
				822.4 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (14.3 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>					
				508.0 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (9.5 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>					
				517.6 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (14.3 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>					
				366.8 <sup>*3</sup>	□ <sup>*6</sup> (16.7 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>					
355.6 <sup>*3</sup>				□ <sup>*6</sup> (11.1 <sup>*3</sup> )	SB410 <sup>*8</sup>						
355.6 <sup>*3</sup>				11.1 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						
低圧ドレンポンプ ～ N22-F041 <sup>*11</sup>	3.14 <sup>*2</sup>	84	267.4 <sup>*3</sup>	12.7 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						
			355.6 <sup>*3</sup>	15.1 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンクより第1給水加熱器まで」と記載。

\*2 : SI単位に換算したものである。

\*3 : 公称値を示す。

- \*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンクより第1給水加熱器まで」と記載。
- \*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画のIV-3-1-7-3「管の強度計算書」による。
- \*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離加熱器湿分分離器ドレンタンクより高圧ドレンタンクまで」と記載。
- \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB42」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧ドレンポンプから復水給水系まで」と記載。
- \*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT49」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧ドレンポンプから復水給水系まで」と記載。

4.4 復水浄化系

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
復水浄化系	N26-F001A, B, C ～ 復水ろ過装置復水ろ過器	1.94 <sup>*2</sup>	66	406.4 <sup>*3</sup>	12.7 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>	復水浄化系	変更なし				
	復水ろ過装置復水ろ過器 ～ N26-F003A, B, C	1.94 <sup>*2</sup>	66	406.4 <sup>*3</sup>	12.7 <sup>*3</sup>	SUS304TP						
	N27-F001A, B, C, D, E, F ～ 復水脱塩装置復水脱塩塔	1.94 <sup>*2</sup>	84	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						
	復水脱塩装置復水脱塩塔 ～ N27-F002A, B, C, D, E, F	1.94 <sup>*2</sup>	84	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水給水系から復水ろ過装置復水ろ過器まで」と記載。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水ろ過装置復水ろ過器から復水給水系まで」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水給水系から復水脱塩装置復水脱塩塔まで」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水脱塩装置復水脱塩塔から復水給水系まで」と記載。

4.5 抽気系

(8) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
抽気系	*1 N36-F041A, B ～ 第1給水加熱器	2.67*2	230	406.4*3	12.7*3	STPA23	抽気系	変更なし				
	*4 N36-F042A, B ～ 第2給水加熱器	1.67*2	207	609.6*3	□*5(12.7*3)	SCMV3						
	*6 N36-F043A, B, C ～ 第3給水加熱器	0.48*2	200	508.0*3	□*5(9.5*3)	SCMV3						
	*7 N36-F044A, B, C ～ 第4給水加熱器	0.35*2	149	660.4*3	□*5(9.5*3)	SCMV3						
	低圧タービン ～ 第5給水加熱器	0.35*2	149	508.0*3	□*5(9.5*3)	SCMV3						
	低圧タービン ～ 第6給水加熱器	0.35*2	149	558.8*3	□*5(9.5*3)	SCMV3						
	*8 N36-F045A, B ～ N38-F002A, B	1.67*2	302	355.6*3	11.1*3	STPA23						
	*9 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン ～ N36-F047A, B	0.05*2	108	*3, *10 1180×2583	□*11(16.0*3)	SCMV3						
			1828.8*3	□*5(16.0*3)	SCMV3							

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧タービンより第1給水加熱器まで」と記載。

\*2 : SI単位に換算したものである。

\*3 : 公称値を示す。

- \*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「クロスアラウンド管より第2 給水加熱器まで」と記載。
- \*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3 資庁第13033号にて認可された工事計画のIV-3-1-9-1「管の強度計算書」による。
- \*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧タービンより第3 給水加熱器まで」と記載。
- \*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧タービンより第4 給水加熱器まで」と記載。
- \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「クロスアラウンド管より原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンまで」と記載。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンから復水器(A)へ」と記載。
- \*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「角形 1180W×2583H」と記載。
- \*11 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

5 残留熱除去設備に係る次の事項

5.1 残留熱除去系

(2) 熱交換器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力 (管側及び胴側の別に記載すること。), 最高使用温度 (管側及び胴側の別に記載すること。), 伝熱面積, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. 残留熱除去系熱交換器

			変更前	変更後	
名 称			残留熱除去系熱交換器*1	残留熱除去系熱交換器*2	
種	類	—	横置U字管式	変更なし	
容量 (設計熱交換量)		MW/個	<input type="text"/> 以上*3(8.15*4, *5)		
管側	最高使用圧力	MPa	3.43*4		
	最高使用温度	℃	182		
胴側	最高使用圧力	MPa	1.37*4	変更なし 90*6	
	最高使用温度	℃	70		
伝熱面積		m <sup>2</sup> /個	<input type="text"/> 以上*3( <input type="text"/> *5)	変更なし	
主要寸法	管側	水室内径	mm		1600*5
		鏡板厚さ*7	mm		<input type="text"/> *8(45.0*5)
		鏡板の形状に係る寸法	mm		800*5, *8(鏡板の内半径)
		管台外径 (管側入口)	mm		318.5*5, *8
		管台厚さ (管側入口)	mm		<input text="" type="text/&gt;(10.3*5)&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;管台外径 (管側出口)&lt;/td&gt; &lt;td&gt;mm&lt;/td&gt; &lt;td&gt;318.5*5, *8&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;管台厚さ (管側出口)&lt;/td&gt; &lt;td&gt;mm&lt;/td&gt; &lt;td&gt;&lt;input type="/> (10.3*5)



			変更前	変更後	
主要寸法	胴側	胴内径 <sup>*9</sup>	mm	1600 <sup>*5</sup>	変更なし
		胴板厚さ <sup>*10</sup>	mm	<input type="text"/> <sup>*8</sup> (16.0 <sup>*5</sup> )	
		鏡板厚さ <sup>*11</sup>	mm	<input type="text"/> <sup>*8</sup> (16.0 <sup>*5</sup> )	
		鏡板の形状に係る寸法	mm	1600 <sup>*5, *8</sup> (鏡板の内面における長径)	
			mm	400 <sup>*5, *8</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	
		管台外径(胴側入口)	mm	406.4 <sup>*5, *8</sup>	
		管台厚さ(胴側入口)	mm	<input type="text"/> <sup>*8</sup> (9.5 <sup>*5</sup> )	
		管台外径(胴側出口)	mm	406.4 <sup>*5, *8</sup>	
	管台厚さ(胴側出口)	mm	<input type="text"/> <sup>*8</sup> (9.5 <sup>*5</sup> )		
	管板厚さ	mm	<input type="text"/> <sup>*8</sup> (191.0 <sup>*5, *12</sup> )		
	伝熱管外径	mm	<input type="text"/> <sup>*5</sup>		
	伝熱管厚さ	mm	<input type="text"/> <sup>*8</sup> ( <input type="text"/> <sup>*5</sup> )		
	全長	mm	6540 <sup>*5</sup>		
材料	管側	鏡板	—	SGV49	
	胴側	胴板	—	SGV49	
		鏡板	—	SGV49	
	管	板	—	SGV49	
	伝熱管	—	SUS316LTB		
個	数	—	3		

			変更前			変更後	
取 付 箇 所	系	統 名	—	残留熱除去系 熱交換器 A 残留熱除去系 A 系	残留熱除去系 熱交換器 B 残留熱除去系 B 系	残留熱除去系 熱交換器 C 残留熱除去系 C 系	変更なし
	設	置 床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	
	溢水防護上の区画番号	—					
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—				

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1)残留熱除去系熱交換器」と記載。

\*2 : 残留熱除去系熱交換器(A), (B), (C)のうち残留熱除去系熱交換器(A), (B), (C)が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(サブプレッションチェンバプール水冷却系), 残留熱除去系熱交換器(B)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系), 残留熱除去系熱交換器(B), (C)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系)と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : SI 単位に換算したものである。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 重大事故等時における使用時の値。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

\*8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の IV-3-1-3-1「残留熱除去系熱交換器の強度計算書」による。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴部鏡板厚さ」と記載。

\*12 : ステンレス鋼クラッドを含まない厚さである。

(3) ポンプの名称, 種類, 容量, 揚程又は吐出圧力, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所並びに原動機の種類, 出力, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. 残留熱除去系ポンプ

名 称			変 更 前			変 更 後			
			残留熱除去系ポンプ*1			残留熱除去系ポンプ*2			
			(A)	(B)	(C)				
ポン プ	種 類	—	ターボ形						
	容 量*3	m <sup>3</sup> /h/個	[ ] 以上*4(954*5)						
	揚 程*6	m	[ ] 以上*4(125*5)	[ ] 以上*4(125*5)	[ ] 以上*4(125*5)				
	最 高 使 用 圧 力	MPa	*4 吸込側 1.37 吐出側 3.43						
	最 高 使 用 温 度	℃	182*4						
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	438.2*4, *5					
		吐 出 内 径	mm	297.9*4, *5					
		ケ ー シ ン グ 外 径	mm	1238*4, *5					
		ケ ー シ ン グ 厚 さ	mm	[ ] (19.0*5) *4					
		高 さ	mm	5600*5, *7					
	材 料	ケ ー シ ン グ	—	[ ] *8, [ ]					
		ケ ー シ ン グ カ バ ー	—	[ ]					
	個 数	—	3						
	取 付 箇 所	系 統 名	—	*4 残留熱除去系ポンプ A 残留熱除去系 A 系	*4 残留熱除去系ポンプ B 残留熱除去系 B 系	*4 残留熱除去系ポンプ C 残留熱除去系 C 系			
設 置 床		—	*4 原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	*4 原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	*4 原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm				
			変更なし						

				変 更 前	変 更 後		
ポンプ	取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	—	R-B3-5	R-B3-11	R-B3-8
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		EL <input type="text"/> m以上	EL <input type="text"/> m以上	EL <input type="text"/> m以上
原動機	種類	—	誘導電動機				変更なし
	出力	kW/個	540				
	個数	—	3				
	取付箇所	—	ポンプと同じ*4				

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)残留熱除去系ポンプ」と記載。

\*2 : 残留熱除去系ポンプ(A), (B), (C)のうち残留熱除去系ポンプ(A), (B), (C)が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(サブプレッションチェンバプール水冷却系), 残留熱除去系ポンプ(B)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系), 残留熱除去系ポンプ(B), (C)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系)と兼用。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画の第2-3-5図「残留熱除去系ポンプ構造図」による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載。記載内容は, 設計図書による。

(5) ろ過装置の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. 残留熱除去系ストレーナ

		変更前			変更後			
名称		残留熱除去系ストレーナ			残留熱除去系ストレーナ <sup>*1</sup>			
種類	—	ディスク形			変更なし			
容量	m <sup>3</sup> /h/組 <sup>*2</sup>	[ ] 以上 <sup>*3, *4</sup> ( [ ] <sup>*5</sup> )			変更なし			
最高使用圧力	kPa	— [310] <sup>*6</sup>			変更なし — [620] <sup>*6, *7</sup>			
最高使用温度	℃	104 <sup>*8</sup>			変更なし 166 <sup>*7</sup>			
主要寸法	外径	mm	[ ] <sup>*5, *9</sup>			変更なし		
	長さ	mm	[ ] <sup>*5, *10</sup>					
	エンドディスク幅	mm	[ ] <sup>*5, *11</sup>					
	中間ディスク幅	mm	[ ] <sup>*5, *12</sup>					
	ディスク間ギャップ	mm	[ ] <sup>*5, *13</sup>					
	インナーギャップ径	mm	[ ] <sup>*5, *14</sup>					
	コアチューブ径	mm	[ ] <sup>*5, *15</sup>					
	エンドディスク枚数	—	[ ] <sup>*5</sup>					
	中間ディスク枚数	—	[ ] <sup>*5</sup>					
材料	コアチューブ	—	[ ]			変更なし		
	多孔プレート	—	[ ]					
個数	—	2 <sup>*16</sup>	2 <sup>*16</sup>	2 <sup>*16</sup>				
取付箇所	系統名	—	残留熱除去系 ストレーナ A 残留熱除去系 A 系 <sup>*3</sup>	残留熱除去系 ストレーナ B 残留熱除去系 B 系 <sup>*3</sup>	残留熱除去系 ストレーナ C 残留熱除去系 C 系 <sup>*3</sup>			
	設置床	—	原子炉格納容器 T. M. S. L. -8200mm <sup>*3</sup>	原子炉格納容器 T. M. S. L. -8200mm <sup>*3</sup>	原子炉格納容器 T. M. S. L. -8200mm <sup>*3</sup>			
	溢水防護上の区画番号	—	—					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—					

注記\*1 : 残留熱除去系ストレーナ(A), (B), (C)のうち残留熱除去系ストレーナ(A), (B), (C)が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(サブプレッションチェンバプール水冷却系), 残留熱除去系ストレーナ(B)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系), 残留熱除去系ストレーナ(B), (C)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系)と兼用。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「m<sup>3</sup>/h」と記載。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 残留熱除去系ポンプ1台の定格容量を示す。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 残留熱除去系ストレーナは, その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため, 最高使用圧力を設定しないが, ここでは, 原子炉格納容器(内圧)の最高使用圧力を [ ] 内に示す。

\*7 : 重大事故等時における使用時の値。

\*8 : サプレッションチェンバの最高使用温度を示す。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「( [ ] )」と記載。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「( [ ] )」と記載。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「( [ ] )」と記載。

\*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「( )」と記載。

\*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「( )」と記載。

\*14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「( )」と記載。

\*15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「( )」と記載。

\*16：記載の適正化を行う。既工事計画書には独立した3系列を組み合わせた「6」と記載。残留熱除去系ストレーナは、独立した3系列のそれぞれで2個を1組として使用する。

(6) 安全弁及び逃がし弁の名称, 種類, 吹出圧力, 吹出量, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

			変更前*1			変更後		
名称			E11-F039A, B, C			変更なし		
種類	類	—	平衡形					
吹出圧力	MPa	—	8.62					
吹出量	kg/h/個	—	□*2					
主要寸法	呼び径	—	20A					
	のど部の径	mm	□*2					
	弁座口の径	mm	□*2					
	リフト	mm	□以上					
材料	弁箱	—	SF490A					
駆動方法	—	—						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F039A 残留熱除去系 A 系	E11-F039B 残留熱除去系 B 系	E11-F039C 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm			
	溢水防護上の区画番号	—	—					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—						

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

			変更前*1			変更後		
名称			E11-F042A, B, C			変更なし		
種類	類	—	平衡形					
吹出圧力	MPa	—	1.37					
吹出量	kg/h/個	—	□*2					
主要寸法	呼び径	—	25A					
	のど部の径	mm	□*2					
	弁座口の径	mm	□*2					
	リフト	mm	□以上					
材料	弁箱	—	SCPH2					
駆動方法	—	—						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F042A 残留熱除去系 A 系	E11-F042B 残留熱除去系 B 系	E11-F042C 残留熱除去系 C 系			
		設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm			
	溢水防護上の区画番号	—	—					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—						

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。



			変更前*1			変更後		
名称			E11-F051A, B, C			E11-F051A, B, C*2		
種類	—		平衡形			変更なし		
吹出圧力	MPa		3.43					
吹出量	kg/h/個		□*3					
主要寸法	呼び径	—	25A					
	のど部の径	mm	□*3					
	弁座口の径	mm	□*3					
	リフト	mm	□以上					
材料	弁箱	—	SCPH2					
駆動方法	—	—						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F051A 残留熱除去系 A 系	E11-F051B 残留熱除去系 B 系	E11-F051C 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm			
	溢水防護上の区画番号	—						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—					

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : E11-F051A, B, C のうち E11-F051A, B, C が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サプレッションチェンバプール水冷却系）、E11-F051A, B が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系、低圧代替注水系）、E11-F051B が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）、E11-F051B, C が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）と兼用。

\*3 : 公称値を示す。

(7) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

		変 更 前		変 更 後	
名 称 *1		E11-F001A, B, C*2		—*3	
種 類	—	止め弁			
主 要 寸 法 ( 呼 び 径 A )		450			
材 弁 箱	—	SCPH2			
	弁 ふ た	—	SCPH2		
駆 動 方 法		電気作動			
個 数		3			
取 付 箇 所		原子炉格納容器外			

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F001A, B, C」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*3 : 当該弁は, 主要弁に該当しないため記載の適正化を行う。

			変更前*			変更後		
名称			E11-F004A, B, C			変更なし		
種類	類	—	止め弁					
最高使用圧力	MPa	—	3.43					
最高使用温度	℃	—	182					
主要寸法	呼び径	—	300A					
	弁箱厚さ	mm	□	以上				
	弁ふた厚さ	mm	□	以上				
材料	弁箱	—	SCPH2					
	弁ふた	—	SCPH2					
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F004A 残留熱除去系 A 系	E11-F004B 残留熱除去系 B 系	E11-F004C 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm			
箇所	溢水防護上の区画番号	—	—			R-B3-5	R-B3-11	R-B3-8
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—				EL □ m	EL □ m	EL □ m

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称 *1			E11-F005A *2	変更なし
種類	—	止め弁		
最高使用圧力	MPa	8.62 *3		
最高使用温度	℃	302 *3		
主要寸法	呼び径	— *4	250A *5	
	弁箱厚さ	mm	□ 以上 *3	
	弁ふた厚さ	mm	□ 以上 *3	
材料	弁箱	—	SCPH2	
	弁ふた	—	SCPH2	
駆動方法	—	電気作動		
個数	—	1		
取付箇所	系統名	—	残留熱除去系 A 系 *3	
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm *6	
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	EL1.91m 以上

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F005A」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「250」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

			変更前		変更後	
名称 *1			E11-F005B, C *2		変更なし	
種類	—	止め弁				
最高使用圧力	MPa	8.62 *3				
最高使用温度	℃	302 *3				
主要寸法	呼び径	— *4	250A *5			
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/>	以上 *3		
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/>	以上 *3		
材料	弁箱	—	SCPH2			
	弁ふた	—	SCPH2			
	弁体	—	SCPH2 *3			
駆動方法	—	電気作動				
個数	—	2				
取付箇所	系統名	—	E11-F005B 残留熱除去系 B系 *3	E11-F005C 残留熱除去系 C系 *3		
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm *6	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm *6		
	溢水防護上の区画番号	—			R-1F-8	R-1F-9
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		EL0.78m 以上	EL2.70m 以上

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F005B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「250」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称 *1			E11-F006B, C *2	
種類		—	逆止め弁	
最高使用圧力	MPa		8.62 *3	
最高使用温度	℃		302 *3	
主要寸法	呼び径	— *4	250A *5	
	弁箱厚さ	mm		以上 *3
	弁ふた厚さ	mm		以上 *3
材料	弁箱	—	SCPH2	
	弁ふた	—	SCPH2	
	弁体	—	S25C *3	
駆動方法		—	空気作動 (窒素作動)	
個数		—	2	
取付箇所	系統名	—	E11-F006B 残留熱除去系 B 系 *3	E11-F006C 残留熱除去系 C 系 *3
	設置床	—	原子炉格納容器 T. M. S. L. 12300mm *6	原子炉格納容器 T. M. S. L. 12300mm *6
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F006B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「250」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は、設計図書による。

			変更前			変更後		
名称 *1			E11-F008A, B, C *2			変更なし		
種類	—		止め弁					
最高使用圧力	MPa		3.43 *3					
最高使用温度	℃		182 *3					
主要寸法	呼び径	— *4	250A *5					
	弁箱厚さ	mm		□ 以上 *3				
	弁ふた厚さ	mm		□ 以上 *3				
材料	弁箱	—	SCPH2					
	弁ふた	—	SCPH2					
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F008A *3 残留熱除去系 A 系	E11-F008B *3 残留熱除去系 B 系	E11-F008C *3 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 *6 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 *6 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 *6 T. M. S. L. -1700mm			
所	溢水防護上の区画番号	—				R-B2-3	R-B2-5	R-B2-4
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			EL □ m 以上	EL □ m 以上	EL □ m 以上

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F008A, B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「250」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

			変更前			変更後		
名称 *1			E11-F010A, B, C *2			変更なし		
種類	—		止め弁					
最高使用圧力	MPa		8.62 *3					
最高使用温度	℃		302 *3					
主要寸法	呼び径	— *4	350A *5					
	弁箱厚さ	mm		□ 以上 *3				
	弁ふた厚さ	mm		□ 以上 *3				
材料	弁箱	—	SCPH2					
	弁ふた	—	SCPH2					
	弁体	—	SCPH2 *3					
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F010A *3 残留熱除去系 A 系	E11-F010B *3 残留熱除去系 B 系	E11-F010C *3 残留熱除去系 C 系			
		—	原子炉格納容器 *6 T. M. S. L. 12300mm	原子炉格納容器 *6 T. M. S. L. 12300mm	原子炉格納容器 *6 T. M. S. L. 12300mm			
	設置床	—						
	溢水防護上の区画番号	—						
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—					

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F010A, B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「350」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は、設計図書による。



			変更前			変更後		
名称 *1			E11-F011A, B, C *2			変更なし		
種類	類	—	止め弁					
最高使用圧力	MPa	—	8.62 *3					
最高使用温度	℃	—	302 *3					
主要寸法	呼び径	— *4	350A *5					
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/>	以上 *3				
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/>	以上 *3				
材料	弁箱	—	SCPH2					
	弁ふた	—	SCPH2					
	弁体	—	SCPH2 *3					
駆動方法			電気作動					
個数			3					
取付箇所	系統名	—	E11-F011A *3 残留熱除去系 A 系	E11-F011B *3 残留熱除去系 B 系	E11-F011C *3 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 *6 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 *6 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 *6 T. M. S. L. 12300mm			
溢水防護上の区画番号			—			R-1F-1	R-1F-8	R-1F-9
溢水防護上の配慮が必要な高さ			—			EL <input type="text"/> m 以上	EL0.78m 以上	EL2.70m 以上

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F011A, B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「350」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

			変更前*			変更後		
名称			E11-F013A, B, C			変更なし		
種類	—		止め弁					
最高使用圧力	MPa		3.43					
最高使用温度	℃		182					
主要寸法	呼び径	—	300A					
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/>	以上				
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/>	以上				
材料	弁箱	—	SCPH2					
	弁ふた	—	SCPH2					
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F013A 残留熱除去系 A 系	E11-F013B 残留熱除去系 B 系	E11-F013C 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm			
箇所	溢水防護上の区画番号	—	—			R-B3-5	R-B3-11	R-B3-8
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—				EL <input type="text"/> m	EL <input type="text"/> m	EL <input type="text"/> m

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変 更 前		変 更 後
名 称 *1		E11-F018B, C*2		—*3
種 類	—	止め弁		
主 要 寸 法 ( 呼 び 径 A )	—	250		
材 弁 箱	—	SCPH2		
料 弁 ふ た	—	SCPH2		
駆 動 方 法	—	電気作動		
個 数	—	2		
取 付 箇 所	—	原子炉格納容器外		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F018B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 当該弁は、主要弁に該当しないため記載の適正化を行う。

			変更前		変更後	
名称 *1			E11-F019B, C*2		変更なし	
種類	—	止め弁				
最高使用圧力	MPa	3.43*3				
最高使用温度	℃	182*3				
主要寸法	呼び径	—*4	100A*5			
	弁箱厚さ	mm	□	以上*3		
	弁ふた厚さ	mm	□	以上*3		
材料	弁箱	—	SCPH2			
	弁ふた	—	SCPH2			
駆動方法	—	電気作動				
個数	—	2				
取付箇所	系統名	—	E11-F019B 残留熱除去系 B 系 *3	E11-F019C 残留熱除去系 C 系 *3		
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800mm *6	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800mm *6		
所	溢水防護上の区画番号	—	—		R-B-15b	R-B-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			EL0.79m 以上	EL0.96m 以上

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F019B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「100」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

			変更前*			変更後
名称			E11-F029A, B, C			変更なし
種類	類	—	止め弁			
最高使用圧力	MPa	—	3.43			
最高使用温度	℃	—	182			
主要寸法	呼び径	—	150A			
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/>	以上		
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/>	以上		
材料	弁箱	—	SCPH2			
	弁ふた	—	SCPH2			
駆動方法	—	電気作動				
個数	—	3				
取付箇所	系統名	—	E11-F029A 残留熱除去系 A 系	E11-F029B 残留熱除去系 B 系	E11-F029C 残留熱除去系 C 系	
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—				

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前*			変更後
名称			E11-F030A, B, C			変更なし
種類	類	—	止め弁			
最高使用圧力	MPa	—	3.43			
最高使用温度	℃	—	182			
主要寸法	呼び径	—	150A			
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/>	以上		
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/>	以上		
材料	弁箱	—	SCPH2			
	弁ふた	—	SCPH2			
駆動方法	—	電気作動				
個数	—	3				
取付箇所	系統名	—	E11-F030A 残留熱除去系 A 系	E11-F030B 残留熱除去系 B 系	E11-F030C 残留熱除去系 C 系	
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—				

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(8) 主配管（使用済燃料貯蔵槽の補給及び冷却に用いるものを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）  
 ・常設

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
残留熱除去系 *1 残留熱除去系ストレーナ(A) ～ 原子炉压力容器(A)系出口配管 合流部	0.31*2	104	*3, *4			*4	残留熱除去系ストレーナ(A) ～ 原子炉压力容器(A)系出口配管 合流部	変更なし 0.62*6	変更なし 166*6	変更なし		
			457.2*3	*7(9.5*3)	SGV42							
	1.37*2	182	457.2*3	*7(9.5*3)	SGV410*8	変更なし		変更なし	変更なし	変更なし		
			457.2*3, *9	*7(9.5*3)*9	SGV410*8, *9							
	*1 原子炉压力容器(A)系出口配管 合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(A)	1.37*2	182	457.2*3	*7(9.5*3)	SGV410*8		*5 原子炉压力容器(A)系出口配管 合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(A)	変更なし	変更なし	変更なし	
				457.2 / 457.2	*7(9.5*3)	SGV410*8						
457.2*3, *9				*7(9.5*3)*9	SGV410*8, *9							
*10 原子炉压力容器 ～ 残留熱除去系(A)燃料プール 冷却浄化系配管合流部	8.62*2	302	318.5*3	21.4*3	STS410*11	*5 原子炉压力容器(A)系出口配管 合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(A)	変更なし	変更なし	変更なし			
			318.5*3, *9	21.4*3, *9	STS410*9, *11							
			355.6*3	27.8*3	STS410*11							
			355.6 / 318.5	27.8 / 25.4	STS410*11							
	1.37*2	182	355.6*3	11.1*3	STS410*11					変更なし	変更なし	変更なし
			355.6*3, *9	11.1*3, *9	STS410*9, *11							
*10 残留熱除去系(A)燃料プール 冷却浄化系配管合流部 ～ 原子炉压力容器(A)系出口配管 合流部	1.37*2	182	355.6*3	11.1*3	STS410*11	変更なし	変更なし	変更なし				
			355.6 / 318.5*12	11.1 / 10.3*12	STS410*11							
			355.6*3, *9	11.1*3, *9	STS410*9, *11							
			457.2*3	9.5*3	STS410*11							
			355.6 / 318.5	11.1 / 10.3	STS410*11							

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
E11-F016A ～ 残留熱除去系(A)燃料プール 冷却浄化系配管合流部	1.37	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410	変更なし					
残留熱除去系ポンプ(A) ～ 残留熱除去系ポンプ(A)出口 分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	残留熱除去系ポンプ(A) ～ 残留熱除去系ポンプ(A)出口 分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>
			318.5 <sup>*3</sup> /318.5	10.3 <sup>*3</sup> /10.3	STS410 <sup>*11</sup>						
			318.5 <sup>*3, *9</sup> /318.5 <sup>*12</sup>	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 <sup>*12</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						
残留熱除去系ポンプ(A)出口 分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(A)	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	残留熱除去系ポンプ(A)出口 分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(A)	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>
			318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>						
残留熱除去系熱交換器(A) ～ サプレッションプール水移送 配管(A)分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>	残留熱除去系熱交換器(A) ～ サプレッションプール水移送 配管(A)分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>
			318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						
			318.5 <sup>*3</sup> /318.5	10.3 <sup>*3</sup> /10.3	STS410 <sup>*11</sup>						
サプレッションプール水移送 配管(A)分岐部 ～ 熱交換器(A)出口配管合流部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	サプレッションプール水移送 配管(A)分岐部 ～ 熱交換器(A)出口配管合流部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>
			318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>						
熱交換器(A)出口配管合流部 ～ サプレッションプール注水配管 (A)分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup> /318.5	10.3 <sup>*3</sup> /10.3	STS410 <sup>*11</sup>	熱交換器(A)出口配管合流部 ～ サプレッションプール注水配管 (A)分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>
			318.5 <sup>*3, *9</sup> /318.5 <sup>*12</sup>	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 <sup>*12</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						
			318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						
			318.5 <sup>*3</sup> /318.5	10.3 <sup>*3</sup> /10.3	STS410 <sup>*11</sup>				318.5 <sup>*3</sup> /267.4	9.3	STS410 <sup>*11</sup>



変更前						変更後										
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料					
*14 サプレッションプール注水配管 (A)分岐部 ～ 残留熱除去系配管 (A)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部	3.43*2	182	318.5*3	10.3*3	STS410*11	*15 サプレッションプール注水配管 (A)分岐部 ～ 残留熱除去系配管 (A)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部	3.43*2	182	318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9, *11	変更なし				
			318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9, *11											
			318.5*3 /318.5 /318.5*12	10.3*3 /10.3 /10.3*12	STS410*11											
	*14 残留熱除去系配管 (A)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部 ～ 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部	3.43*2	182	318.5*3	10.3*3		STS410*11	*15 残留熱除去系配管 (A)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部 ～ 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部	3.43*2	182	318.5*3, *9		10.3*3, *9	STS410*9, *11	変更なし	
				318.5*3, *9	10.3*3, *9		STS410*9, *11									
				318.5*3, *9	10.3*3, *9		STS410*9, *11									
*14 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部 ～ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	3.43*2	182	—	—	—	*16 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部 ～ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	3.43*6	182*6	152.3*3, *17	(25.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17	変更なし				
			318.5*3	10.3*3	STS410*11				114.3*3, *17	(6.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17					
			318.5*3 /267.4	10.3*3 /9.3	STS410*11											
*14 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部 ～ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	8.62*2	302	267.4*3	18.2*3	STS410*11	*16 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部 ～ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	3.43*6	182*6	152.3*3, *17	(25.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17		変更なし			
			318.5*3	10.3*3	STS410*11				114.3*3, *17	(6.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17					
			318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9, *11											
*4 残留熱除去系ポンプ (A) 出口分岐部 ～ 熱交換器 (A) 出口配管合流部	3.43	182	318.5*3	10.3*3	STS410	*16 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部 ～ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	3.43*6	182*6	152.3*3, *17	(25.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17	変更なし				
			318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9				114.3*3, *17	(6.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17					
*4 サプレッションプール水移送配管 (A)分岐部 ～ E11-F030A	3.43	182	165.2*3	7.1*3	STS410				*16 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部 ～ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	3.43*6	182*6			152.3*3, *17	(25.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17
			165.2*3, *9	7.1*3, *9	STS410*9								114.3*3, *17	(6.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17	
			165.2*3 /165.2 /—	7.1*3 /7.1 /—	STS410											
*4 E11-F030A ～ 残留熱除去系配管 (A), (C) 圧力抑制室プール水排水系入口配管合流部	1.72	66	165.2*3	7.1*3	STPT370								*16 低圧代替注水配管残留熱除去系 (A)合流部 ～ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部	3.43*6	182*6	152.3*3, *17
			165.2*3, *9	7.1*3, *9	STS410*9	114.3*3, *17	(6.0*3) <sup>*17</sup>	SF490A*17								
165.2*3 /165.2 /—	7.1*3 /7.1 /—	STS410														
165.2*3	7.1*3	STPT370														
165.2*3, *9	7.1*3, *9	STS410*9														
165.2*3, *9	7.1*3, *9	STS410*9														

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
残留熱除去系	*4 残留熱除去系配管(A), (C) 圧力抑制室プール水排水系入口配管合流部 ～ 残留熱除去系配管(B) 圧力抑制室プール水排水系入口配管合流部	1.72	66	165.2*3	7.1*3	STPT370	変更なし					
												*4 残留熱除去系配管(B) 圧力抑制室プール水排水系入口配管合流部 ～ U49-F061
				165.2*3	7.1*3	SUS304TP						
	*18 サプレッションプール注水配管(A) 分岐部 ～ サプレッションチェンバ	3.43*2	182	267.4*3	9.3*3	STS410*11	*19 サプレッションプール注水配管(A) 分岐部 ～ サプレッションチェンバ	変更なし				
				267.4*3, *9	9.3*3, *9	STS410*9, *11						
		0.31*2	104	267.4*3	9.3*3	STS410*11	変更なし	0.62*6	166*6	変更なし		
				267.4*3, *9	9.3*3, *9	STS410*9, *11						
				267.4*3, *9	9.3*3, *9	SUS304LTP*9						
				267.4*3	9.3*3	SUS304LTP						
	*4 残留熱除去系配管(A) 燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部 ～ 残留熱除去系配管(A), (C) 燃料プール冷却浄化系入口配管合流部	3.43	182	318.5*3	10.3*3	STS410	変更なし					
				318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9						
		66	318.5*3	10.3*3	STS410							
			318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9							
	*4 残留熱除去系配管(A), (C) 燃料プール冷却浄化系入口配管合流部 ～ 残留熱除去系配管(B) 燃料プール冷却浄化系入口配管合流部	3.43	66	406.4*3	(12.7*3)	SGV410	変更なし					
				/406.4	(12.7*3)	SGV410						
/318.5				(10.3*3)	SGV410							
			406.4*3	(12.7*3)	SGV410	変更なし						
			406.4*3, *9	(12.7*3)*9	SGV410*9							

変更前						変更後											
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料						
残留熱除去系	*4 残留熱除去系配管(B)燃料プール冷却浄化系入口配管合流部 ～ E11-F015	3.43	66	*3	406.4 /406.4 /318.5	[ ] (12.7*3) (12.7*3) (10.3*3)	SGV410	変更なし									
				406.4*3	(12.7*3)								SGV410				
				406.4*3,*9	(12.7*3)*9								SGV410*9				
	*20 残留熱除去系ストレーナ(B) ～ 原子炉压力容器(B)系出口配管合流部	0.31*2	104	*3,*4 [ ] *4			*21 残留熱除去系ストレーナ(B) ～ 原子炉压力容器(B)系出口配管合流部	変更なし 0.62*6	変更なし 166*6	変更なし							
				*3	457.2*3	[ ]*7(9.5*3)							SGV42				
		1.37*2	182	*3	457.2*3	[ ]*7(9.5*3)	SGV410*8	変更なし									
				*3,*9	457.2*3,*9	[ ]*7(9.5*3)*9	SGV410*8,*9										
	*20 原子炉压力容器(B)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(B)	1.37*2	182	*3	457.2 /457.2 /355.6	[ ]*7(9.5*3) *7(9.5*3) *7(11.1*3)	SGV410*8						*21 原子炉压力容器(B)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(B)	変更なし			
				*3,*9	457.2*3,*9	[ ]*7(9.5*3)*9	SGV410*8,*9										
				*3	457.2*3	[ ]*7(9.5*3)	SGV410*8										
	*22 原子炉压力容器 ～ 残留熱除去系(B)原子炉冷却材浄化系配管分岐部	8.62*2	302	*3	355.6*3	23.8*3	STS410*11	変更なし									
				*3	355.6 /355.6 /355.6	27.8 /27.8 /27.8	STS410*11										
*22 残留熱除去系(B)原子炉冷却材浄化系配管分岐部 ～ 残留熱除去系(B)燃料プール冷却浄化系配管合流部	8.62*2	302	*3	355.6*3	23.8*3	STS410*11	変更なし						変更なし 9.22*6	変更なし 306*6	変更なし		
			*3	355.6*3	11.1*3	STS410*11											
*22 残留熱除去系(B)燃料プール冷却浄化系配管合流部 ～ 原子炉压力容器(B)系出口配管合流部 (次頁へ続く)	1.37*2	182	*3	355.6 /355.6 /318.5*12	11.1 /11.1 /10.3*12	STS410*11	変更なし										
			*3	355.6*3	11.1*3	STS410*11											

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 度 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 度 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
(前頁からの続き)	1.37 <sup>*2</sup>	182	355.6 <sup>*3, *9</sup>	11.1 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>	変更なし					
E11-F016B ～ 残留熱除去系(B)燃料プール 冷却浄化系配管合流部 <sup>*4</sup>	1.37	182	318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9</sup>						
残留熱除去系ポンプ(B) ～ 残留熱除去系ポンプ(B)出口 分岐部 <sup>*23</sup>	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	残留熱除去系ポンプ(B) ～ 残留熱除去系ポンプ(B)出口 分岐部 <sup>*21</sup>					
			318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>						
			318.5 /318.5 /318.5 <sup>*12</sup>	10.3 /10.3 /10.3 <sup>*12</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						
残留熱除去系ポンプ(B)出口 分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(B) <sup>*23</sup>	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	残留熱除去系ポンプ(B)出口 分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(B) <sup>*21</sup>					
			318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>						
残留熱除去系熱交換器(B) ～ サブプレッションプール水移送 配管(B)分岐部 <sup>*24</sup>	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	残留熱除去系熱交換器(B) ～ サブプレッションプール水移送 配管(B)分岐部 <sup>*21</sup>					変更なし
			318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>						
			318.5 /318.5 /165.2 <sup>*12</sup>	10.3 /10.3 /7.1 <sup>*12</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						
サブプレッションプール水移送 配管(B)分岐部 ～ 熱交換器(B)出口配管合流部 <sup>*24</sup>	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	サブプレッションプール水移送 配管(B)分岐部 ～ 熱交換器(B)出口配管合流部 <sup>*25</sup>					
			318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>						
熱交換器(B)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管 (B)分岐部 <sup>*24</sup>	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 /318.5 <sup>*12</sup> /318.5	10.3 /10.3 <sup>*12</sup> /10.3	STS410 <sup>*11</sup>	熱交換器(B)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管 (B)分岐部 <sup>*25</sup>					
			318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						
			318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>						
(次頁へ続く)						(次頁へ続く)					

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 度 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 度 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
(前頁からの続き)	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup> /318.5 /267.4	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 /9.3	STS410 <sup>*11</sup>	(前頁からの続き)					
サプレッションプール注水配管 (B)分岐部 ～ サプレッションチェンバ スプレイモード(B)分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	サプレッションプール注水配管 (B)分岐部 ～ サプレッションチェンバ スプレイモード(B)分岐部					
サプレッションチェンバ スプレイモード(B)分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	サプレッションチェンバ スプレイモード(B)分岐部					
			152.3 <sup>*3</sup>	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <sup>*7</sup> (25.0 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*28</sup>						
			114.3 <sup>*3</sup>	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <sup>*7</sup> (6.0 <sup>*3</sup> )	SF490A <sup>*28</sup>						
サプレッションチェンバ スプレイモード(B)分岐部 ～ 残留熱除去系配管(B)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup> /318.5 /318.5 <sup>*12</sup>	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 /10.3 <sup>*12</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	サプレッションチェンバ スプレイモード(B)分岐部 ～ 残留熱除去系配管(B)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部					変更なし
残留熱除去系配管(B)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部 ～ ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	残留熱除去系配管(B)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部 ～ ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部					
ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup> /318.5 /318.5	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 /10.3	STS410 <sup>*11</sup>	ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部					
ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部 ～ 低圧代替注水配管残留熱除去系 (B)合流部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部 ～ 低圧代替注水配管残留熱除去系 (B)合流部					
			318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>						
低圧代替注水配管残留熱除去系 (B)合流部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup> /318.5 /—	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 /—	STS410 <sup>*11</sup>	低圧代替注水配管残留熱除去系 (B)合流部	変更なし		318.5 <sup>*3, *17</sup> /318.5 /165.2	10.3 <sup>*3, *17</sup> /10.3 /7.1	変更なし

変更前						変更後										
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料					
残留熱除去系	*24 低圧代替注水配管残留熱除去系 (B)合流部 ～ 原子炉圧力容器	3.43*2	182	318.5*3 /267.4	10.3*3 /9.3	STS410*11	*32 低圧代替注水配管残留熱除去系 (B)合流部 ～ 原子炉圧力容器	変更なし				変更なし 9.22*6	変更なし 306*6	変更なし		
				267.4*3	18.2*3	STS410*11										
		8.62*2	302	267.4*3 /216.3	21.4*3 /18.2	STS410*11		変更なし	9.22*6	306*6	変更なし					
				216.3*3	15.1*3	STS410*11										
	*4 残留熱除去系ポンプ(B)出口 分岐部 ～ 熱交換器(B)出口配管合流部	3.43	182	318.5*3	10.3*3	STS410	変更なし	3.43*6	182*6	165.2*3 /165.2	7.1*3 /7.1	STS410				
				318.5*3,*9	10.3*3,*9	STS410*9				165.2*3 /165.2	7.1*3 /7.1	STS410				
	*4 サプレッションプール水移送 配管(B)分岐部 ～ 代替循環冷却配管残留熱除去系 (B)分岐部	3.43	182	165.2*3	7.1*3	STS410	*33 サプレッションプール水移送 配管(B)分岐部 ～ 代替循環冷却配管残留熱除去系 (B)分岐部	変更なし				3.43*6	182*6	165.2*3 /165.2	7.1*3 /7.1	STS410
				165.2*3,*9	7.1*3,*9	STS410*9										
	*4 代替循環冷却配管残留熱除去系 (B)分岐部 ～ E11-F030B	3.43	182	165.2*3,*9	7.1*3,*9	STS410*9	変更なし	3.43*6	182*6	165.2*3 /165.2	7.1*3 /7.1	STS410				
				165.2*3	7.1*3	STS410										
165.2*3 /165.2 /—				7.1*3 /7.1 /—	STS410											
*4 E11-F030B ～ 残留熱除去系配管(B)圧力抑制室 プール水排水系入口配管合流部	1.72	66	165.2*3	7.1*3	STPT370	*19 サプレッションプール注水配管 (B)分岐部 ～ サプレッションチェンバ (次頁へ続く)	変更なし				3.43*2	182	267.4*3	9.3*3	STS410*11	
*34 サプレッションプール注水配管 (B)分岐部 ～ サプレッションチェンバ (次頁へ続く)	3.43*2	182	267.4*3,*9	9.3*3,*9	STS410*9,*11											

		変 更 前				変 更 後									
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 度 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 度 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料				
残 留 熱 除 去 系	(前頁からの続き)	0.31 <sup>*2</sup>	104	267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	(前頁からの続き)	変更なし 0.62 <sup>*6</sup>	変更なし 166 <sup>*6</sup>	変更なし					
				267.4 <sup>*3</sup> /267.4 /—	9.3 <sup>*3</sup> /9.3 /—	STS410 <sup>*11</sup>									
				267.4 <sup>*3, *9</sup>	9.3 <sup>*3, *9</sup>	STS42 <sup>*9</sup>									
				267.4 <sup>*3</sup> /— /267.4	9.3 <sup>*3</sup> /— /9.3	STS410 <sup>*11</sup>									
				267.4 <sup>*3, *9</sup>	9.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>									
				267.4 <sup>*3, *9</sup>	9.3 <sup>*3, *9</sup>	SUS304LTP <sup>*9</sup>									
				267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	SUS304LTP									
残 留 熱 除 去 系	サプレッションチェンバ スプレイモード(B)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (サプレッションチェンバ側) <sup>*35</sup>	3.43 <sup>*2</sup>	182	114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>	サプレッションチェンバ スプレイモード(B)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (サプレッションチェンバ側) <sup>*36</sup>	変更なし							
				114.3 <sup>*3, *9</sup>	6.0 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>									
			104	114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>		変更なし	変更なし 200 <sup>*6</sup>	変更なし					
				114.3 <sup>*3, *9</sup>	6.0 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>									
残 留 熱 除 去 系	ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウェル側) <sup>*37</sup>	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>	ドライウェルスプレイモード(B) 分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウェル側) <sup>*38</sup>	変更なし							
				318.5 <sup>*3</sup> /267.4	10.3 <sup>*3</sup> /9.3	STS410 <sup>*11</sup>									
				267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>									
				267.4 <sup>*3, *9</sup>	9.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>									
			171	267.4 <sup>*3</sup> /216.3	9.3 <sup>*3</sup> /8.2	STS410 <sup>*11</sup>						変更なし	変更なし 200 <sup>*6</sup>	変更なし	
				216.3 <sup>*3</sup>	8.2 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>									

変更前						変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
残留熱除去系	*4 残留熱除去系配管(B)燃料プール冷却浄化系入口配管分岐部 ～ 残留熱除去系配管(B)燃料プール冷却浄化系入口配管合流部	3.43	182	318.5*3	10.3*3	STS410	変更なし						
			66	318.5*3	10.3*3	STS410							
			318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9								
	*39 残留熱除去系ストレーナ(C) ～ 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部	0.31*2	104	*3, *4			*4	*25 残留熱除去系ストレーナ(C) ～ 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部	変更なし 0.62*6	変更なし 166*6	変更なし		
				457.2*3	*7(9.5*3)	SGV42							
		1.37*2	182	457.2*3	*7(9.5*3)	SGV410*8	*25 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(C)	変更なし	変更なし	変更なし			
				457.2*3, *9	*7(9.5*3)*9	SGV410*8, *9							
	*39 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(C)	1.37*2	182	457.2*3 /457.2 /355.6	*7(9.5*3) *7(9.5*3) *7(11.1*3)	SGV410*8	*25 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(C)	変更なし	変更なし	変更なし			
				457.2*3, *9	*7(9.5*3)*9	SGV410*8, *9							
				457.2*3	*7(9.5*3)	SGV410*8							
	*40 原子炉压力容器 ～ 残留熱除去系(C)燃料プール冷却浄化系配管合流部	8.62*2	302	318.5*3	21.4*3	STS410*11	変更なし	変更なし 9.22*6	変更なし 306*6	変更なし			
				318.5*3, *9	21.4*3, *9	STS410*9, *11							
				355.6*3 /318.5	27.8*3 /25.4	STS410*11							
				355.6*3	23.8*3	STS410*11							
		1.37*2	182	355.6*3	11.1*3	STS410*11	変更なし						
*40 残留熱除去系(C)燃料プール冷却浄化系配管合流部 ～ 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部	1.37*2	182	355.6*3 /355.6 /355.6*12	11.1*3 /11.1 /11.1*12	STS410*11	変更なし							
			355.6*3, *9	11.1*3, *9	STS410*9, *11								
			355.6*3	11.1*3	STS410*11								



変更前						変更後											
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料						
残留熱除去系	E11-F016C ～ 残留熱除去系(C)燃料プール 冷却浄化系配管合流部	1.37	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410	残留熱除去系	変更なし	変更なし								
				355.6 <sup>*3</sup> /318.5	11.1 <sup>*3</sup> /10.3	STS410											
	残留熱除去系ポンプ(C) ～ 残留熱除去系ポンプ(C)出口 分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						残留熱除去系ポンプ(C) ～ 残留熱除去系ポンプ(C)出口 分岐部	*25	*25			
				318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>											
				318.5 <sup>*3</sup> /318.5 /318.5 <sup>*12</sup>	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 /10.3 <sup>*12</sup>	STS410 <sup>*11</sup>											
	残留熱除去系ポンプ(C)出口 分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(C)	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						残留熱除去系ポンプ(C)出口 分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(C)	*25	*25			
				318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>											
	残留熱除去系熱交換器(C) ～ サブプレッションプール水移送 配管(C)分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						残留熱除去系熱交換器(C) ～ サブプレッションプール水移送 配管(C)分岐部	*25	*25	変更なし		
				318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>											
				318.5 <sup>*3</sup> /318.5 /165.2 <sup>*12</sup>	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 /7.1 <sup>*12</sup>	STS410 <sup>*11</sup>											
	サブプレッションプール水移送 配管(C)分岐部 ～ 熱交換器(C)出口配管合流部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>						サブプレッションプール水移送 配管(C)分岐部 ～ 熱交換器(C)出口配管合流部	*25	*25			
				318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>											
	熱交換器(C)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管 (C)分岐部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup> /318.5 <sup>*12</sup> /318.5	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 <sup>*12</sup> /10.3	STS410 <sup>*11</sup>						熱交換器(C)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管 (C)分岐部	*25	*25			
				318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*11</sup>											
				318.5 <sup>*3, *9</sup>	10.3 <sup>*3, *9</sup>	STS410 <sup>*9, *11</sup>											
				318.5 <sup>*3</sup> /318.5 /267.4	10.3 <sup>*3</sup> /10.3 /9.3	STS410 <sup>*11</sup>											

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
残留熱除去系	*42 サプレッションプール注水配管 (C)分岐部 ～ サプレッションチェンバ スプレイモード(C)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	10.3*3	STS410*11	残留熱除去系	*26 サプレッションプール注水配管 (C)分岐部 ～ サプレッションチェンバ スプレイモード(C)分岐部	*26 サプレッションチェンバ スプレイモード(C)分岐部 ～ ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部	*15 ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部 ～ 原子炉圧力容器	変更なし
				318.5*3 /318.5	10.3*3 /10.3	STS410*11					
	*42 サプレッションチェンバ スプレイモード(C)分岐部 ～ ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部	3.43*2	182	318.5*3	10.3*3	STS410*11		*26 サプレッションチェンバ スプレイモード(C)分岐部 ～ ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部	*15 ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部 ～ 原子炉圧力容器	変更なし	
				318.5*3 /318.5	10.3*3 /10.3	STS410*11					
	*42 ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部 ～ 原子炉圧力容器	3.43*2	182	318.5*3	10.3*3	STS410*11		*15 ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部 ～ 原子炉圧力容器	変更なし		
				318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9, *11					
				318.5*3 /267.4	10.3*3 /9.3	STS410*11					
	*42 ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部 ～ 原子炉圧力容器	8.62*2	302	267.4*3	18.2*3	STS410*11		*15 ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部 ～ 原子炉圧力容器	変更なし		
				267.4*3 /216.3	18.2*3 /18.2	STS410*11					
				216.3*3	15.1*3	STS410*11					
	*4 残留熱除去系ポンプ(C)出口 分岐部 ～ 熱交換器(C)出口配管合流部	3.43	182	318.5*3	10.3*3	STS410		*4 残留熱除去系ポンプ(C)出口 分岐部 ～ 熱交換器(C)出口配管合流部	変更なし		
				318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9					
*4 サプレッションプール水移送 配管(C)分岐部 ～ E11-F030C	3.43	182	165.2*3	7.1*3	STS410	*4 サプレッションプール水移送 配管(C)分岐部 ～ E11-F030C	変更なし				
			165.2*3, *9	7.1*3, *9	STS410*9						
			165.2*3 /165.2 /—	7.1*3 /7.1 /—	STS410						
*4 E11-F030C ～ 残留熱除去系配管(A), (C)圧力 抑制室プール水排水系入口配管 合流部	1.72	66	165.2*3	7.1*3	STPT370	*4 E11-F030C ～ 残留熱除去系配管(A), (C)圧力 抑制室プール水排水系入口配管 合流部	変更なし				

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
*43 サブプレッションプール注水配管 (C)分岐部 ～ サブプレッションチェンバ	3.43*2	182	267.4*3	9.3*3	STS410*11	*19 サブプレッションプール注水配管 (C)分岐部 ～ サブプレッションチェンバ	変更なし					
			267.4*3, *9	9.3*3, *9	STS410*9, *11							
	0.31*2	104	267.4*3	9.3*3	STS410*11		変更なし 0.62*6	変更なし 166*6	変更なし			
			267.4*3 /267.4 /—	9.3*3 /9.3 /—	STS410*11							
			267.4*3, *9	9.3*3, *9	STS42*9							
			267.4*3 /— /267.4	9.3*3 /— /9.3	STS410*11							
			267.4*3, *9	9.3*3, *9	STS410*9, *11							
			267.4*3, *9	9.3*3, *9	SUS304LTP*9							
	267.4*3	9.3*3	SUS304LTP	変更なし	変更なし		変更なし					
	*44 サブプレッションチェンバ スプレイモード(C)分岐部 ～ 残留熱除去系配管(C)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部	3.43*2	182	318.5*3	10.3*3		STS410*11	*45 サブプレッションチェンバ スプレイモード(C)分岐部 ～ 残留熱除去系配管(C)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部	変更なし			
152.3*3				7(25.0*3)	SF490A*28							
114.3*3				7(6.0*3)	SF490A*28							
*44 残留熱除去系配管(C)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (サブプレッションチェンバ側)	3.43*2	182	114.3*3	6.0*3	STS410*11	*45 残留熱除去系配管(C)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (サブプレッションチェンバ側)	変更なし	変更なし 200*6	変更なし			
			114.3*3, *9	6.0*3, *9	STS410*9, *11							
	104	114.3*3	6.0*3	STS410*11								
		114.3*3, *9	6.0*3, *9	STS410*9, *11								
*46 ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウェル側)  (次頁へ続く)	3.43*2	182	318.5*3, *9	10.3*3, *9	STS410*9, *11	*45 ドライウェルスプレイモード(C) 分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウェル側)  (次頁へ続く)	変更なし					
			318.5*3 /267.4	10.3*3 /9.3	STS410*11							
			267.4*3	9.3*3	STS410*11							
			267.4*3, *9	9.3*3, *9	STS410*9, *11							

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 度 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 度 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
残 留 熱 除 去 系	(前頁からの続き)	3.43 <sup>*2</sup>	171	267.4 <sup>*3</sup> /216.3	9.3 <sup>*3</sup> /8.2	STS410 <sup>*11</sup>	(前頁からの続き)	変更なし	200 <sup>*6</sup>	変更なし		
				216.3 <sup>*3</sup>	8.2 <sup>*3</sup>							STS410 <sup>*11</sup>
	*4 残留熱除去系配管(C)燃料プール 冷却浄化系入口配管分岐部 ～ 残留熱除去系配管(A),(C) 燃料プール冷却浄化系入口配管 合流部	3.43	182	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410	変更なし					
				318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	STS410						
				318.5 <sup>*3,*9</sup>	10.3 <sup>*3,*9</sup>	STS410 <sup>*9</sup>						
				406.4 <sup>*3</sup> /318.5	12.7 <sup>*3</sup> /10.3	STS410						

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(A)まで」と記載。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*5 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(サブプレッションチェンバプール水冷却系)と兼用。

\*6 : 重大事故等時における使用時の値。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13033号にて認可された工事計画のIV-3-1-3-2-1「管の基本板厚計算書」による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*9 : エルボを示す。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器からポンプ(A)入口配管まで」と記載。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「一」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ポンプ(A)から残留熱除去系熱交換器(A)まで」と記載。

\*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系熱交換器(A)から復水給水系まで」と記載。

\*15 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)と兼用。

\*16 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系、低圧代替注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系、低圧代替注水系)と兼用。

\*17 : 本設備は既存の設備である。

\*18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(A)出口配管からサブプレッションチェンバへ」と記載。

\*19 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(サブプレッションチェンバプール水冷却系)と兼用。

\*20 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(B)まで」と記載。

\*21 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系、サブプレッションチェンバプール水冷却系、代替循環冷却系)と兼用。

\*22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から原子炉冷却材浄化系及びポンプ(B)入口配管まで」と記載。

\*23 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ポンプ(B)から残留熱除去系熱交換器(B)まで」と記載。

\*24 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系熱交換器(B)から原子炉圧力容器まで」と記載。

\*25 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系、サブプレッションチェンバプール水冷却系)と兼用。

\*26 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系)と兼用。

\*27 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系、代替格納容器スプレイ冷却系)と兼用。

- \*28：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF50A」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*29：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系，代替格納容器スプレイ冷却系，代替循環冷却系）と兼用。
- \*30：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系，代替循環冷却系）と兼用。
- \*31：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系，低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系，代替循環冷却系，低圧代替注水系）と兼用。
- \*32：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系，低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）と兼用。
- \*33：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）と兼用。
- \*34：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(B)出口配管からサブプレッションチェンバへ」と記載。
- \*35：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(B)出口配管からサブプレッションチェンバスプレイ管へ」と記載。
- \*36：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系，代替格納容器スプレイ冷却系）と兼用。
- \*37：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(B)出口配管からドライウェルスプレイ管へ」と記載。
- \*38：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系，代替格納容器スプレイ冷却系，代替循環冷却系）と兼用。
- \*39：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(C)まで」と記載。
- \*40：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器からポンプ(C)入口配管まで」と記載。
- \*41：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ポンプ(C)から残留熱除去系熱交換器(C)まで」と記載。
- \*42：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系熱交換器(C)から原子炉圧力容器まで」と記載。
- \*43：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(C)出口配管からサブプレッションチェンバへ」と記載。
- \*44：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(C)出口配管からサブプレッションチェンバスプレイ管へ」と記載。
- \*45：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）と兼用。
- \*46：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(C)出口配管からドライウェルスプレイ管へ」と記載。

以下の設備は、既存の原子炉冷却材の循環設備（復水給水系）であり、残留熱除去設備（残留熱除去系）として本工事計画で兼用とする。

復水給水系 代替注水配管復水給水系(A)合流部～原子炉圧力容器  
 復水給水系 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部～代替注水配管復水給水系(A)合流部

## 5.2 耐圧強化ベント系

- (8) 主配管（使用済燃料貯蔵槽の補給及び冷却に用いるものを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）

### ・常設

以下の設備は，既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）であり，残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

非常用ガス処理系 耐圧強化ベントライン合流部～主排気筒

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）であり，残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

不活性ガス系 耐圧強化ベントライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン分岐部

不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～T31-F072

格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン合流部

格納容器圧力逃がし装置 T31-F072～耐圧強化ベントバイパスライン合流部

格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパスライン合流部～格納容器フィルタベントライン分岐部

以下の設備は，既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）であり，残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

非常用ガス処理系 格納容器フィルタベントライン分岐部～耐圧強化ベントライン合流部

以下の設備は，既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）であり，残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

不活性ガス系 ドライウエル～ドライウエル・サプレッションチェンバ合流部

不活性ガス系 サプレッションチェンバ～不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部

不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部～ドライウエル・サプレッションチェンバ合流部

不活性ガス系 ドライウエル・サプレッションチェンバ合流部～耐圧強化ベントラ

イン分岐部

### 5.3 格納容器圧力逃がし装置

- (3) ポンプの名称，種類，容量，揚程又は吐出圧力，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所並びに原動機の種類，出力，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

ドレン移送ポンプ

・可搬型

以下の設備は，核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

可搬型代替注水ポンプ（A-2級）（7号機設備，6,7号機共用）

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

スクラバ水 pH 制御設備用ポンプ（7号機設備，6,7号機共用）

- (4) 圧縮機の名称，種類，容量，吐出圧力，主要寸法，個数及び取付箇所並びに原動機の種類，出力，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用）



(5) ろ過装置の名称，種類，容量，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

以下の設備は，核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

可搬型 Y 型ストレーナ（7 号機設備，6, 7 号機共用）

(7) 主要弁の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，駆動方法，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

以下の設備は，既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

T31-F019

T31-F022

以下の設備は，既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

T31-F070

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

T31-F072

T61-F001

- (8) 主配管（使用済燃料貯蔵槽の補給及び冷却に用いるものを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

可燃性ガス濃度制御系 フィルタベントドレン移送ライン合流部～サプレッションチェンバ

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

不活性ガス系 耐圧強化ベントライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン分岐部

不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～T31-F072

格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～耐圧強化ベントバイパスライン合流部

格納容器圧力逃がし装置 T31-F072～耐圧強化ベントバイパスライン合流部

格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベントバイパスライン合流部～格納容器フィルタベントライン分岐部

以下の設備は，既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

不活性ガス系 ドライウエル～ドライウエル・サプレッションチェンバ合流部

不活性ガス系 サプレッションチェンバ～不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部

不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部～ドライウエル・サプレッションチェンバ合流部

不活性ガス系 ドライウエル・サプレッションチェンバ合流部～耐圧強化ベントライン分岐部

以下の設備は，原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）であり，残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベントライン分岐部～格納容器フィル

	タベントライン窒素パージライン合流部
格納容器圧力逃がし装置	格納容器フィルタベントライン窒素パージライン合流部 ～フィルタ装置入口ノズル
格納容器圧力逃がし装置	フィルタ装置出口ノズル～よう素フィルタ入口分岐部
格納容器圧力逃がし装置	よう素フィルタ入口分岐部～よう素フィルタ(A)入口ノ ズル
格納容器圧力逃がし装置	よう素フィルタ入口分岐部～よう素フィルタ(B)入口ノ ズル
格納容器圧力逃がし装置	よう素フィルタ(A)出口ノズル～ベントガス放出ライン 合流部
格納容器圧力逃がし装置	よう素フィルタ(B)出口ノズル～ドレンタンクライン分 岐部
格納容器圧力逃がし装置	ドレンタンクライン分岐部～ベントガス放出ライン合流 部
格納容器圧力逃がし装置	ベントガス放出ライン合流部～原子炉建屋頂部放出口
格納容器圧力逃がし装置	ドレンタンクライン分岐部～ドレンタンク入口ノズル
格納容器圧力逃がし装置	ドレンタンク出口ノズル～ドレン移送ポンプ入口ライン 合流部
格納容器圧力逃がし装置	フィルタ装置～ドレン移送ポンプ入口ライン合流部
格納容器圧力逃がし装置	ドレン移送ポンプ入口ライン合流部～ドレン移送ポン プ分岐部
格納容器圧力逃がし装置	ドレン移送ポンプ分岐部～ドレン移送ポンプ(A)
格納容器圧力逃がし装置	ドレン移送ポンプ分岐部～ドレン移送ポンプ(B)
格納容器圧力逃がし装置	ドレン移送ポンプ(A)～ドレン移送ポンプ出口合流部
格納容器圧力逃がし装置	ドレン移送ポンプ(B)～ドレン移送ポンプ出口合流部
格納容器圧力逃がし装置	ドレン移送ポンプ出口合流部～ドレン移送ポンプ窒素パ ージライン合流部
格納容器圧力逃がし装置	ドレン移送ポンプ窒素パージライン合流部～T49-F020
可燃性ガス濃度制御系	T49-F020～フィルタベントドレン移送ライン合流部
格納容器圧力逃がし装置	フィルタ装置補給用接続口～フィルタ装置

・可搬型

以下の設備は、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）であり、残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース（7号機設備，6,7号機共用）

以下の設備は、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）であり、残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）として本工事計画で兼用とする。

格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御設備用 3m, 5m ホース（7号機設備，6,7号機共用）